

**真岡市**  
**子ども・子育て支援事業ニーズ調査**  
**【結果報告書】**

**平成31年3月**

**真岡市**



# 目 次

## I 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査対象者.....	3
3. 実施概要.....	3
4. 回収結果.....	3
5. 報告書を見る際の留意点.....	4

## II 調査結果のまとめ

1. 就学前児童の調査結果のまとめ.....	7
2. 小学生の調査結果のまとめ.....	11
3. 中学生の調査結果のまとめ.....	15
4. 中学生保護者の調査結果のまとめ.....	17
5. 妊婦の調査結果のまとめ.....	19
6. 共通調査項目の結果のまとめ.....	21

## III 就学前児童の調査結果

1. お住まいの地域について.....	25
2. お子さんご家族の状況について.....	25
3. 子育て環境について.....	28
4. 保護者の就労状況について.....	33
5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	38
6. 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	44
7. 土日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	50
8. 病気の際の対応について.....	55
9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	60
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	68
11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について.....	75
12. 暮らしやお子さんのことについて.....	85
13. 子どもの虐待防止について.....	92
14. 少子化について.....	93
15. 子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について.....	96

16. 子育て全般について .....	99
---------------------	----

#### IV 小学生の調査結果

1. お住まいの地域について.....	113
2. お子さんご家族の状況について .....	113
3. 子育て環境について .....	116
4. 保護者の就労状況について.....	118
5. 放課後や休日の過ごし方について .....	124
6. 病気の際の対応について.....	134
7. 一時預かりや宿泊を伴う一時預かりの利用について .....	137
8. 子育て支援事業について.....	143
9. 暮らしやお子さんのことについて .....	146
10. 子どもの虐待防止について.....	153
11. 少子化について .....	154
12. 子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について .....	157
13. 子育て全般について .....	160

#### V 中学生の調査結果

1. あなたご自身のことについて.....	173
2. 友だちのことについて .....	175
3. あなたのふだんの生活について.....	176
4. 食事、健康、暮らしのことについて .....	183
5. 学校や勉強のことについて.....	185
6. あなたがふだん考えていることについて.....	189
7. あなたの将来について .....	191

#### VI 中学生保護者の調査結果

1. あなたと、あなたのご家族のことについて.....	197
2. お母さん、お父さんのお仕事について .....	199
3. あなたの健康や心の状態について .....	203

4. お子さんの健康や受診状況について .....	205
5. 子育てについて .....	207
6. 現在の暮らしについて .....	216
7. 制度の利用やご意見について .....	218

## VII 妊婦の調査結果

1. お住まいの地域について .....	225
2. あなたご自身のことについて .....	225
3. 育児休業の取得予定について .....	227
4. 保育所（園）や幼稚園について .....	229
5. 妊娠中の相談先について .....	234
6. 子育て支援事業について .....	236
7. 暮らしについて .....	239
8. 少子化について .....	242
9. 真岡市の子育て施策について .....	245

## VIII 資料編（調査票）

1. 就学前児童の調査票 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
2. 小学生の調査票 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
3. 中学生の調査票 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
4. 中学生保護者の調査票 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。
5. 妊婦の調査票 .....	エラー! ブックマークが定義されていません。



## I 調査の概要

---





## 1. 調査の目的

本調査は、平成27年3月に策定した「子ども・子育て支援事業計画（第1期計画）」及び「次世代育成支援対策行動計画（第3期計画）」が平成31年度に終了することに伴い、平成32（2020）年度からの次期計画策定の基礎資料とするため、市民の皆さまの子育て支援事業に関するニーズ量や子育て支援に関するご意見・ご要望等を把握することを目的に実施しました。

## 2. 調査対象者

調査区分	内容	調査方法
就学前児童保護者調査	平成30年12月1日現在、本市に在住する就学前児童のいる保護者を対象に調査を実施	郵送配布／ 郵送回収
小学生保護者調査	小学校に通学しているお子さんの保護者を対象に調査を実施	学校を通じて 配布／ 郵送回収
中学生調査	中学校に通学している生徒を対象に調査を実施	学校を通じて 配布／ 郵送回収
中学生保護者調査	中学校に通学している生徒の保護者を対象に調査を実施	学校を通じて 配布／ 郵送回収
妊婦調査	平成30年6月13日から平成30年12月13日の間で、妊娠の届出を行った妊婦を対象に調査を実施	郵送配布／ 郵送回収

## 3. 実施概要

- 調査方法：真岡市全域
- 調査期間：平成31年1月7日～平成31年2月13日

## 4. 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者調査	2,000件	1,249件	62.5%
小学生保護者調査	986件	506件	51.3%
中学生調査	295件	184件	62.4%
中学生保護者調査	285件	179件	62.8%
妊婦調査	300件	179件	59.7%
合計	3,866件	2,297件	59.4%

## 5. 報告書を見る際の留意点

---

- 調査結果の割合は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答割合の合計は100.0%を超える場合があります。
- グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数）を表しています。
- 調査票の選択肢について、一部簡略化している場合があります。
- 回答者数（母数）が少数の場合、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

## II 調査結果のまとめ

---



## 1. 就学前児童の調査結果のまとめ

---

### 〈お子さんご家族の状況について〉

- 妊娠の際、または生まれた時に真岡市に住んでいたかについては、「はい」が85.7%、「いいえ」が13.9%と、お子さんが生まれた後、真岡市に転入した方は約1割となっています。真岡市への転入理由は、「親族が真岡市に住んでいる」が49.1%と約5割を占めていることから、転入理由としては、親族が真岡市に住んでいることが、大きく影響していることがうかがえます。

### 〈子育て環境について〉

- 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「いずれもない」が9.9%と、前回調査と比べると2.1ポイント増加し、約10人に1人の割合となっています。また、子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無については、「いない/ない」が3.2%となっています。日頃、お子さんを親族・知人にみてもらえない方、子育てについて気軽に相談できる人がいない方の割合は低いものの一定数いることから、保護者が抱える悩みや負担を軽減できるよう、公的な支援や周囲のサポートが必要であると考えられます。

### 〈保護者の就労状況について〉

- 母親の就労している割合（フルタイムまたはパート・アルバイト等）は68.2%、父親が就労している割合（フルタイムまたはパート・アルバイト等）は93.4%となっています。
- 現在、就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったら就労したい」が50.8%と約5割を占めており、子どもの年齢については、「3歳」が34.9%で最も高く、次いで「7歳以上」が23.1%と、就労していない母親が希望する就労時期は、子育てに慣れてきた頃か、就学後が多い状況がうかがえます。

### 〈平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について〉

- 定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が75.7%と、前回調査と比べると3.9ポイント増加していることから、利用者が増加している状況となっています。
- 利用している事業については、「認可保育所（園）」が36.8%で最も高く、次いで「認定こども園」が36.2%、「幼稚園」が22.5%となっています。前回調査と比べると、「認可保育所（園）」が5.2ポイント、「幼稚園」が18.3ポイント減少し、「認定こども園」が32.1ポイントの増加となっています。幼稚園から認定こども園への移行が、今回の調査結果に反映されていることがうかがえます。

### 〈地域の子育て支援事業の利用状況について〉

- 子育て支援センターの認知度については、「知っている」が94.4%と認知度は高い一方で、子育て支援センターを「利用している」は17.9%となっています。また、利用したことがある地域の子育て支援事業では、『子育て支援センター』が59.0%となっていることから、子育て支援センターを継続的に利用している方は2割程度であることがうかがえます。

### 〈土日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について〉

- 土曜日の利用希望については、『利用希望がある』割合（「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計値）は31.9%、日曜日・祝日の『利用希望がある』割合は18.3%、幼稚園利用者の長期休暇期間中の『利用希望がある』割合は54.4%となっています。土日・祝日の利用希望は2割から3割程度である一方、幼稚園利用者は5割以上の方が利用希望を持っています。今後、保護者の就労状況等の変化により、利用希望にも影響していくことが考えられます。

### 〈病気の際の対応について〉

- 病気やケガで通常の事業が利用できなかった有無については、「あった」が77.1%と、前回調査と比べると12.6ポイント増加しており、増加の要因としては、女性就業率の上昇に伴い、定期的に教育・保育事業を利用している方の増加が考えられます。
- 教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が79.4%と、前回調査と比べると25.2ポイント増加している一方、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」は16.2%と、前回調査と比べると19.8ポイント減少しています。共働き世帯の増加に伴い、母親の負担が増加している状況がうかがえます。

### 〈不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について〉

- 私用等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が85.3%と、約9割を占めています。
- 利用していない理由については、「利用料がわからない」、「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」を理由として挙げている割合の合計値が約4割と、事業に対する理解が進んでいないことが利用に繋がっていない要因のひとつと考えられます。

### 〈小学校就学後の放課後の過ごし方について〉

- 「放課後児童クラブ」に対する希望は、低学年が45.8%、高学年が23.8%と、高学年になると放課後児童クラブを希望する割合は減少する傾向となっています。

### 〈育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について〉

- 父母の育児休業の取得状況について、「取得していない」をみると、母親が12.3%、父親が85.5%となっています。
- 取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が41.6%で最も高く、父親では「仕事が忙しかった」が43.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.0%と、父親は職場において、育児休業を取得しにくい状況にあることがうかがえます。

### 〈暮らしやお子さんのことについて〉

- お子さんと過ごす時間について、「よく過ごせていると思う」をみると、母親が 43.2%、父親が 11.4%と、母親のほうがお子さんと過ごす時間は長い状況となっています。
- 子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『子どもの成長が楽しい』が 91.8%で最も高く、次いで『この子を産んでよかったと思える』が 90.1%と、お子さんへの愛情に対する割合が多くを占めている一方で、『いらいらして子どもにあたってしまった』が 40.5%、『感情的な言葉で怒鳴った』が 28.9%と、その時の感情でお子さんと接してしまったことがあるという保護者も一定数いる状況がうかがえます。
- 世帯の経済状況については、『ゆとりがある』割合（「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計値）は 16.2%、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は 35.1%と、経済的に苦しいと感じている世帯が約 4割を占めています。

### 〈子どもの虐待防止について〉

- 児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が 64.8%で最も高く、次いで「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が 61.4%、「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が 52.1%と、虐待の発見、虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合の通報義務、匿名の通報でもかまわないということは周知されてきている状況がうかがえる一方で、約 4割の方は通報義務があることを認知していない状況でもあることから、今後も児童虐待に係る施策等について、周知していくことが必要であると考えられます。

### 〈少子化について〉

- 理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が 27.9%、「実現することは難しいと思う」が 64.2%と、実現することは難しいが大きく上回る結果となっています。
- 実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が 66.5%で最も多くを占めており、少子化対策として大切だと思うことについても、「教育費の負担軽減」が 73.2%、「保育所（園）や幼稚園などの費用軽減」が 69.7%と、費用負担の軽減を求める声が多くを占めています。2019 年 10 月から開始予定の幼児教育・保育無償化の制度は、費用負担に係る大きな変化として捉えられます。この変化が、少子化対策に限らず、今後どのような支援・施策に影響していくのか、あらゆる視点で注視していく必要があると考えられます。

### 〈子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について〉

- 子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が 66.3%で最も高く、次いで「子育てとの両立」が 56.3%となっています。女性就業率の上昇に伴い、共働き世帯も増加していくことが予測されることから、お子さんが病気の際の支援や、職場における子育て世代への理解が、より重要となっていくことが考えられます。
- 子育てと介護を同時に行った経験のある人の割合（「現在行っている」と「現在行っていないが、過去に経験がある」の合計値）は 5.1%と低いものの、「現在行っていないが数年先に行う可能性がある」が 53.4%と約 5割を占めていることから、今後、子育てと介護を同時に行う家庭も増えていくことが予測されます。

〈子育て全般について〉

- 子育てに関する情報の入手状況については、「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」の合計値が35.3%と、約4割の方が情報を入手できていないと感じています。
- 子育てに関する情報の入手先については、「知人や友人」が67.7%で最も高く、次いで「幼稚園、保育所（園）、認定こども園」が65.3%、「親族（親、きょうだいなど）」が54.7%と、上位3位については、日常的に接点がある人から情報を入手する方が多くなっています。また、第4位には「インターネット」が49.5%と続き、インターネットから情報を得る方も多くなっています。情報発信の媒体も多様化していることから、必要とする情報をスムーズに入手できることで、情報を入手できていないと感じる方の減少にも繋がるのではないかと考えられます。
- 真岡市の子育て環境や支援への満足度については、『低い』割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は18.5%、『高い』割合（「やや高い」と「高い」の合計値）は32.8%と、『高い』が14.3ポイント上回る結果となっています。



## 2. 小学生の調査結果のまとめ

---

### 〈お子さんご家族の状況について〉

- 妊娠の際、または生まれた時に真岡市に住んでいたかについては、「はい」が79.6%、「いいえ」が19.4%と、お子さんが生まれた後、真岡市に転入した方は約2割となっています。真岡市への転入理由は、「親族が真岡市に住んでいる」が58.2%と約6割を占めていることから、転入理由としては、親族が真岡市に住んでいることが、大きく影響していることがうかがえます。

### 〈子育て環境について〉

- 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「いずれもない」が7.7%と、前回調査と比べると1.3ポイントの減少となっています。また、子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無については、「いない／ない」が4.3%となっています。日頃、お子さんを親族・知人にみてもらえない方、子育てについて気軽に相談できる人がいない方の割合は低いものの一定数いることから、保護者が抱える悩みや負担を軽減できるよう、公的な支援や周囲のサポートが必要であると考えられます。

### 〈保護者の就労状況について〉

- 母親の就労している割合（フルタイムまたはパート・アルバイト等）は78.3%と、就学前児童の母親の就労している割合68.2%を10.1ポイント上回る結果となっています。父親が就労している割合（フルタイムまたはパート・アルバイト等）は87.2%となっています。
- 現在、就労していない母親の就労希望は、就学前児童の調査結果では「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったころに就労したい」が約5割を占めていた一方で、小学生の調査結果では約3割に留まり、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.8%で約4割を占め、早期に就労を希望している母親が多いことがわかります。

### 〈放課後や休日の過ごし方について〉

- 平日の放課後の過ごし方、土曜日の過ごし方、日曜日の過ごし方ともに、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が最も多くを占めています。第2位に挙げられている項目をみると、平日の放課後の過ごし方では「学習塾や習いごとに行っている」、土曜日の過ごし方、日曜日の過ごし方ではともに「公園などで友だちと遊ぶ」となっています。
- 放課後児童クラブの利用状況については、「利用している」が20.6%と、前回調査と比べると2.1ポイントの増加と、利用者は若干増えているという状況ではありますが、就学前児童の調査結果において、定期的に教育・保育事業を利用している方が増加傾向にあることを踏まえると、今後、放課後児童クラブの利用者は増加していくことが予測されます。
- 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ」と回答した方は16.8%と、前回調査と比べると3.1ポイント増加しています。また、小学4年生以降も放課後児童クラブを利用したいと回答した方のうち75.3%は、「6年生まで」利用したいという意向を持っています。

### 〈病気の際の対応について〉

- 病気やケガで学校を休んだ有無については、「あった」が63.2%と、前回調査と比べると9.2ポイント増加しています。増加の要因としては、小学生においては、女性就業率の上昇が影響することは少ないと考えられることから、体調が悪化する前に学校を休ませて病院を受診させたり、職場においては、子どもの体調を理由に休みやすくなったなど、医療費助成や職場環境の改善など、さまざまな施策等が影響しているのではないかと考えられます。
- 学校を休んだ際の対処方法については、「母親が休んだ」が66.9%と、前回調査と比べると7.9ポイント増加している一方、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」は18.4%と、前回調査と比べると4.9ポイント減少しています。共働き世帯の増加に伴い、母親の負担が増加している状況がうかがえます。

### 〈一時預かりや宿泊を伴う一時預かりの利用について〉

- 私用等の目的で家族以外に預けた有無については、「ある」が14.6%と、前回調査と比べると3.3ポイント減少しています。減少の要因として、家族以外に預けた理由において「不定期の就労」が35.1%と、前回調査と比べると17.2ポイント減少していることが影響していると考えられます。

### 〈子育て支援事業について〉

- 事業の認知度については、「はい（知っている）」は『真岡児童館』が74.1%で最も多くを占めている一方で、事業の利用状況「はい（利用した）」においては『真岡児童館』が26.9%と、認知はされているものの、実際の利用には繋がっていない状況がうかがえます。また、事業の利用意向「はい（利用したい）」においては『真岡児童館』が18.0%と、第5位の事業として挙げられています。

### 〈暮らしやお子さんのことについて〉

- お子さんと過ごす時間について、「よく過ごせていると思う」をみると、母親が36.0%、父親が12.1%と、母親のほうがお子さんと過ごす時間は長い状況となっていますが、就学前児童の母親の調査結果と比べると7.2ポイントの減少となっています。
- 子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『この子を産んでよかったと思える』が85.2%で最も高く、次いで『子どもの成長が楽しい』が83.6%と、お子さんへの愛情に対する割合が多くを占めていますが、就学前児童の調査結果と比べると、どちらの項目も割合は減少しています。一方で、『いらいらして子どもにあたってしまった』が44.1%、『感情的な言葉で怒鳴った』が33.4%と、その時の感情でお子さんと接してしまっただことがあるという保護者は、就学前児童の調査結果と比べると、どちらの項目も割合が増加しています。
- 世帯の経済状況については、『ゆとりがある』割合（「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計値）は17.0%、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は30.0%と、経済的に苦しいと感じている世帯が約3割を占めています。

### 〈子どもの虐待防止について〉

- 児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が63.4%で最も高く、次いで「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が59.7%、「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が51.4%と、虐待の発見、虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合の通報義務、匿名の通報でもかまわないということは周知されてきている状況がうかがえる一方で、約4割の方は通報義務があることを認知していない状況でもあることから、今後も児童虐待に係る施策等について、周知していくことが必要であると考えられます。

### 〈少子化について〉

- 理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が6.4%、「実現することは難しいと思う」が90.2%と、実現することは難しいが大きく上回り、就学前児童の調査結果と比べると、「実現することは難しいと思う」が26.0ポイント上回る結果となっています。
- 実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」、「年齢的あるいは健康上の理由から」がともに6割を超えており、少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が70.8%、「保育所（園）や幼稚園などの費用軽減」が60.5%と、費用負担の軽減を求める声が多くを占めています。2019年10月から開始予定の幼児教育・保育無償化の制度は、費用負担に係る大きな変化として捉えられます。この変化が、少子化対策に限らず、今後どのような支援・施策に影響していくのか、あらゆる視点で注視していく必要があると考えられます。

### 〈子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について〉

- 子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が60.9%で最も高く、次いで「子育てとの両立」が47.0%となっています。女性就業率の上昇に伴い、共働き世帯も増加していくことが予測されることから、お子さんが病気の際の支援や、職場における子育て世代への理解が、より重要となっていくことが考えられます。
- 子育てと介護を同時に行った経験のある人の割合（「現在行っている」と「現在行っていないが、過去に経験がある」の合計値）は8.7%と約1割となっていますが、「現在行っていないが数年先に行う可能性がある」が57.5%と約6割を占めていることから、今後、子育てと介護を同時に行う家庭も増えていくことが予測されます。

### 〈子育て全般について〉

- 子育てに関する情報の入手状況については、「あまり入手できていない」と「ほとんど入手できていない」の合計値が40.3%と、約4割の方が情報を入手できていないと感じています。
- 子育てに関する情報の入手先については、「知人や友人」が74.5%で最も高く、次いで「学校」が53.2%、「親族（親、きょうだいなど）」が52.6%と、上位3位については、日常的に接点がある人から情報を入手する方が多くなっています。また、第4位には「インターネット」が43.9%と続き、インターネットから情報を得る方も多くなっています。情報発信の媒体も多様化していることから、必要とする情報をスムーズに入手できることで、情報を入手できていないと感じる方の減少にも繋がるのではないかと考えられます。

## Ⅱ 調査結果のまとめ

- 真岡市の子育て環境や支援への満足度については、『低い』割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は24.7%、『高い』割合（「やや高い」と「高い」の合計値）は16.6%と、『低い』が8.1ポイント上回る結果となっています。

### 3. 中学生の調査結果のまとめ

---

#### 〈あなたご自身のことについて〉

- 性別については、「男性」が45.7%、「女性」が52.7%、「答えたくない」が1.1%となっています。近年、性的マイノリティやLGBT等について、メディア等を通じて触れる機会が多くなっています。今回の調査結果においても「答えたくない」が1.1%と少数ではあるものの、性自認において男性とも女性とも答えられない方がいます。性自認を理由とした差別や偏見をなくすためには、学校をはじめ、地域や職場など、あらゆる場面において、多様な性のあり方について正しく理解していくことが必要だと考えられます。

#### 〈友だちのことについて〉

- 一番仲が良い友だちについては、「学校の友だち」と「学校外の友だち」の合計値が9割を超えている一方で、「特に仲の良い友だちはいない」が3.8%となっています。
- 友だち関係については、『友だちとたくさん遊んでいる』、『友だちを信頼している』、『友だちと違う意見でも自分の意見は言う』、『友だちに自分の悩みを相談できる』の項目において、「とてもそう思う」、「そう思う」の合計値が高く、学校生活を送るうえで友だち関係が重要な位置づけとなっていることがうかがえます。そのため、前述で「特に仲の良い友だちはいない」と回答した3.8%は少数ではあるものの、教職員等によるフォローが必要であると考えられます。

#### 〈あなたのふだんの生活について〉

- 相談相手については、『親』、『学校の友だち』が約9割を占め、相談先として友だちの存在が大きいことがうかがえます。
- 『スマートフォン・携帯電話・タブレット』の1日の使用時間について、1時間以上と回答している割合は約7割と、日常的にスマートフォン・携帯電話・タブレットを使用している状況がうかがえます。

#### 〈食事、健康、暮らしのことについて〉

- 平日の朝食については、「毎日、食べる」が85.3%と、前回調査と比べると3.6ポイントの減少となっています。
- 現在の健康状態については、「よい」、「まあよい」、「ふつう」の合計値が約9割を占めている一方で、「あまりよくない」と「よくない」が約1割となっています。
- 経済状況については、『ゆとりがある』割合（「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計値）は24.0%、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は15.3%と、約2割が経済的に苦しいと感じています。

#### 〈学校や勉強のことについて〉

- 『学校に行くのが好き・楽しみ』については、「非常にそう思う」と「まあそう思う」の合計値が71.2%と、約7割を占めています。また、『学校を休みたいと思うことがある』については、「非常にそう思う」と「まあそう思う」の合計値が31.5%と、約3割となっています。
- 学習塾や家庭教師の利用状況については、「利用していない」が47.8%と約5割で、約半数は学習塾や家庭教師を利用している状況で、その内「週に2日」が29.3%で最も高くなっています。

〈あなたがふだん考えていることについて〉

- 『自分は家族に大事にされている』については、「とてもそう思う」と「まあそう思う」の合計値が87.0%と、約9割を占めている一方で、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計値が13.0%と、約1割となっています。
- いじめを受ける心配については、「心配している」と「少し心配している」の合計値が39.1%と、約4割の方がいじめを受けないか心配しながら学校生活を送っている状況となっています。

〈あなたの将来について〉

- 将来なりたい職業の有無については、「なりたい職業が、はっきり決まっている」と「なりたい職業が、何となく決まっている」の合計値が58.2%と、約6割の方が将来のなりたい職業に対してイメージできている状況となっています。
- なりたい職業に対する経験については、『なりたい職業について親と話をする』、『なりたい職業につくために勉強しようと思う』の項目において、「よくある」と「時々ある」の合計値が約8割となっています。

## 4. 中学生保護者の調査結果のまとめ

---

### 〈あなたと、ご家族のことについて〉

- 調査票への回答者については、「母親」が約9割を占め、年齢については、「40～44歳」が35.2%で最も高く、次いで「45～49歳」が27.9%、「35～39歳」が21.2%となっています。
- 家族の人数については、4人以下が約4割を占める状況となっています。

### 〈お母さん、お父さんのお仕事について〉

- 母親の就労形態については、「パート・アルバイト」が約4割を占め、「正規の職員」が約2割となっています。父親の就労形態については、「正規の職員」が約6割を占め、「自営」が約1割となっています。

### 〈あなたの健康や心の状態について〉

- 健康状態については、「健康である」が76.0%で最も高く、次いで「通院している」が21.8%となっています。
- 現在の生活を楽しんでいるかについては、「あまり楽しくない」と「楽しくない」の合計値が16.2%と、約2割の方が現在の生活を楽しめていない状況となっています。

### 〈お子さんの健康や受診状況について〉

- お子さんの健康・発達の状況については、「健康である」が86.6%で最も高く、次いで「通院している病気がある」が10.1%となっています。
- 病院や歯医者を受診させたほうがよい状況であったが、実際には受診させなかったことがあったかについては、「あった」が24.6%で、受診させなかった理由については、「仕事で連れていく時間がなかった」、「子どもが忙しかった」がともに約5割となっています。病院への送迎も主に母親が担っていると想定されることから、共働き世帯の増加とともに、受診が困難となるお子さんも増加することが予測されます。

### 〈子育てについて〉

- 【アンケートを持ち帰ったお子さんについて】ここ1か月のうち、お子さんにかかったすべての費用については、「2～3万円未満」が20.7%で最も高く、次いで「2万円未満」が19.6%、「3～4万円未満」が16.2%と、4万円未満で約6割を占めています。
- 【すべてのお子さんについて】ここ1か月のうち、兄弟姉妹を含むすべてのお子さんにかかった費用については、「0～4万円未満」が21.2%で最も高く、次いで「4～6万円未満」が20.7%、「6～8万円未満」が19.0%と、8万円未満で約6割を占めています。
- 相談できる人の有無については、「いない」が9.5%と、就学前児童の調査結果、小学生の調査結果と比べて高くなっています。就学前児童では子育て支援センター、小学生では真岡児童館など、子育て支援施設を通じて、同世代のお子さんをもつ保護者同士の交流が図れる機会があると想定される一方、中学生になると利用施設も限定的となり、保護者同士が気軽に交流できる機会が減少することが、相談できる人がいない割合が高くなる要因のひとつと考えられます。

## Ⅱ 調査結果のまとめ

- 子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『子どもを産んでよかったと思える』が86.0%で最も高く、次いで『子どもの成長が楽しい』が82.7%と、お子さんへの愛情に対する割合が多くを占めています。一方で、『いらいらして子どもにあたってしまった』が31.3%、『感情的な言葉で怒鳴った』が26.3%と、その時の感情でお子さんと接してしまったことがあるという保護者は、小学生の調査結果では、就学前児童の調査結果より割合が増加していましたが、中学生保護者の調査結果では減少に転じています。

### 〈現在の暮らしについて〉

- 世帯の経済状況については、『ゆとりがある』割合（「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計値）は11.7%、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は42.5%と、経済的に苦しいと感じている世帯が約4割を占めています。

### 〈制度の利用やご意見について〉

- 子どもに関連する情報を得るために参考になっているものについては、『学校などからのお便り（メール）』、『家族や友人からの情報』の項目において、「よくある」と「たまにある」の合計値が8割を超えています。
- すべての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が必要だと思うかについては、「子どもの就学にかかる費用の軽減などの支援」が77.1%と、費用負担の軽減を求める声が多くなっています。すべてのお子さんにかかる1か月の費用をみても8万円未満が約6割で、世帯の経済状況をみても『苦しい』と感じている割合が約4割と、中学生保護者の経済的負担感は大きいと予測されます。



## 5. 妊婦の調査結果のまとめ

---

### 〈あなたご自身のことについて〉

- 家族形態については、「自分(たち夫婦)と子ども(2世代)」が46.4%と、前回調査と比べて12.1ポイント増加しており、核家族が増えている状況がうかがえます。
- 就労形態については、「正規の職員」が40.2%で最も高く、次いで「働いていない」が30.2%となっています。前回調査と比べて「働いていない」は18.1ポイント減少しており、お子さんの妊娠後も働き続けている妊婦が多い状況がうかがえます。

### 〈育児休業の取得予定について〉

- 父母の育児休業の取得状況について、「取得する予定はない」をみると、母親が31.8%、父親が81.0%となっています。
- 取得する予定がない理由については、母親では「その他」が49.1%で最も高く、その他の回答の多くは働いていないを理由として挙げています。父親では「収入源となり、経済的に苦しくなるから」が40.0%で最も高く、次いで「仕事が忙しいため」が38.6%と、父親は家庭の経済面や、現在の仕事の状況を考えると、育児休業を取得する予定はないと考える方が多い状況となっています。

### 〈保育所(園)や幼稚園について〉

- 出産後の幼稚園や保育所(園)、認定こども園の利用意向については、「思っている」が96.1%と、ほとんどの方が利用したいと考えています。
- 利用したいと思う時期については、「1歳」が48.8%と約5割を占めていることから、育児休業から職場へ復帰する時期が影響していると考えられるとともに、保育事業の利用を考えている方が多いことがわかります。

### 〈妊娠中の相談先について〉

- 妊娠中の不安や悩みの有無については、「ある」が69.3%と、約7割の方が不安や悩みを抱えている状況となっています。
- 不安や悩みの相談先については、「家族や親族に相談する」が92.7%、「友人・知人に相談する」が75.0%と、身近な人が相談先となっている状況がうかがえます。また、「医師・助産師・看護師に相談する」が47.6%と、医療機関等での相談も多くなっています。
- 妊娠中や出産時に必要だと思うことについては、「お金(経済的支援)」が79.0%と、約8割の方が経済的支援を求めている状況となっています。

### 〈子育て支援事業について〉

- 事業の認知度(「はい(知っている)」)、事業の利用状況(「はい(利用した)」)ともに、『母親(父親)学級、両親学級、育児学級』が最も多くを占めています。また、事業の利用意向(「はい(利用したい)」)では、『延長保育』が最も多くを占めており、妊娠中から保育事業への関心が高いことがうかがえます。

### 〈暮らしについて〉

- 世帯の経済状況については、『ゆとりがある』割合（「大変ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計値）は7.8%、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は32.4%と、経済的に苦しいと感じている世帯が約3割を占めています。
- 仕事を持っている女性が妊娠・出産、子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことについては、「子どもが病気やけがの時などに休暇がとれること」が88.9%で最も高く、次いで「育児のために、就業時間をある程度希望する時間帯に動かすことができること」が77.8%、「産前産後の休暇が十分に取得できること」が75.9%となっています。その他の項目についても高い割合を占めている項目もあることから、出産前後における職場への理解を求める声が多いことがわかります。

### 〈少子化について〉

- 理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が60.4%、「実現することは難しいと思う」が22.5%と、妊婦の調査結果においては、実現することが可能だと思うが大きく上回る結果となっています。
- 実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が8割を超えており、就学前児童の調査結果、小学生の調査結果と同様の傾向がみられるなか、「年齢的あるいは健康上の理由から」と回答した方は約3割に留まっています。また、少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が77.7%、「保育所（園）や幼稚園などの費用軽減」が76.5%と、やはり費用負担の軽減を求める声は多くなっています。2019年10月から開始予定の幼児教育・保育無償化の制度は、費用負担に係る大きな変化として捉えられます。この変化が、少子化対策に限らず、今後どのような支援・施策に影響していくのか、あらゆる視点で注視していく必要があると考えられます。

### 〈真岡市の子育て施策について〉

- 妊娠・出産に関する情報の入手先については、「インターネット」が76.5%で最も多くを占めており、「親族（親、きょうだいなど）」、「隣近所の人、知人、友人」の割合を上回っています。妊娠期における情報収集は、主にインターネットを活用している状況となっていることから、インターネットによる情報発信が求められていると考えられます。
- 本市の独自事業である出産準備手当（マタニティ手当）や赤ちゃん誕生祝金により、子育て支援が図られていると感じるかについては、8割を超える方が子育て支援が図られていると感じています。一方で、約2割の方は子育て支援が図られていないと感じている状況もあるため、より子育て支援の充実を図るためにはどのような事業等が求められているのか、検討していく必要があると考えられます。
- 真岡市の子育て環境や支援への満足度については、『低い』割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は9.5%、『高い』割合（「やや高い」と「高い」の合計値）は51.4%と、『高い』が41.9ポイント上回る結果となっています。就学前児童の調査結果、小学生の調査結果と比べて、『低い』の割合は最も低く、『高い』の割合は最も高くなっていることから、妊娠期における、満足度は高い状況となっていることがうかがえます。

## 6. 共通調査項目の結果のまとめ

### 〈お子さんご家族の状況について〉 就学前児童／小学生

- 妊娠の際、または生まれた時に真岡市に住んでいたかについて、「いいえ」は就学前児童が13.9%、小学生が19.4%と、小学生では約2割の状況となっています。真岡市への転入理由は、親族が真岡市に住んでいることを理由として挙げている割合が多く、就学前児童では約5割、小学生では約6割と、お子さんの年齢があがるとともに増加する傾向がみられ、親の高齢化も一部、影響しているのではないかと考えられます。

### 〈子育て環境について〉 就学前児童／小学生／中学生保護者

- 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人について、「いずれもない」は就学前児童が9.9%、小学生が7.7%と、就学前児童の割合が若干上回っています。また、相談先の有無について、「いない」は就学前児童が3.2%、小学生が4.3%、中学生保護者が9.5%と、お子さんの年齢があがるとともに増加する傾向がみられ、中学生保護者では約1割となっています。お子さんの年齢があがるとともに、気軽に相談できる場所（機会）が減少しているのではないかと考えられます。

### 〈母親の就労状況について〉 就学前児童／小学生

- 母親の就労している割合（フルタイムまたはパート・アルバイト等）については、就学前児童が68.2%、小学生が78.3%と、小学生では約8割の母親が就労している状況となっています。就学前児童に比べて小学生の割合が高いことから、お子さんの就学後に就労している母親が多い状況がうかがえます。

### 〈病気の際の対応について〉 就学前児童／小学生

- 就学前児童が教育・保育事業を利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が79.4%、小学生が学校を休んだ際の対処方法については、「母親が休んだ」が66.9%と、いずれも母親が休んだ割合が最も多く占めていることから、お子さんが病気の際における母親の負担は大きいものであると考えられます。

### 〈世帯の経済状況について〉 就学前児童／小学生／中学生保護者／妊婦

- 世帯の経済状況については、『苦しい』割合（「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計値）は就学前児童が35.1%、小学生が30.0%、中学生保護者が42.5%、妊婦が32.4%と、中学生保護者が最も高い割合となっています。習い事や部活動など、お子さんにかかる費用や、高校、大学受験を見据えた貯蓄など、お金のことを考える場面が増えることも経済的負担感の増加に影響しているのではないかと考えられます。

### 〈少子化について〉 就学前児童／小学生／妊婦

- 理想とする子どもの数は実現可能かについて、「実現可能だと思う」は就学前児童が27.9%、小学生が6.4%、妊婦が60.4%と、小学生では1割にも満たない結果となっています。実現することは難しいと考える理由としては、経済的負担が大きいことが上位に挙げられていることから、幼児教育・保育無償化により、どのような影響を少子化に及ぼすのか、経年的な分析が必要であると考えられます。

〈子育てと介護（ダブルケア）について〉 就学前児童／小学生

- 子育てと介護について、「現在行っていないが数年先に行く可能性がある」は就学前児童が53.4%、小学生が57.5%と、いずれも5割を超える結果となっています。また、「過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない」は就学前児童が40.0%、小学生が32.8%と、小学生では親の高齢化に伴い、親の介護を現実的に考える割合が高まることから、結果として表れているのではないかと考えられます。

〈情報の入手先について〉 就学前児童／小学生／妊婦

- 情報の入手先については、「インターネット」が上位に挙げられており、就学前児童では49.5%、小学生では43.9%、妊婦では76.5%となっています。インターネットから情報を入手する方は、今後も増加していくことが予測されることから、情報発信ツールのひとつとして、今後も充実を図っていく必要があると考えられます。

〈真岡市の子育て環境や支援への満足度について〉 就学前児童／小学生／妊婦

- 真岡市の子育て環境や支援への満足度について、『低い』割合（「低い」と「やや低い」の合計値）は就学前児童が18.5%、小学生が24.7%、妊婦が9.5%と、お子さんの年齢があがるとともに『低い』の割合は増加していく傾向がみられます。また、『高い』割合（「やや高い」と「高い」の合計値）は就学前児童が32.8%、小学生が16.6%、妊婦が51.4%と、妊婦の満足度は、他の調査区分と比べて高いものとなっています。妊婦においては、市の独自事業（出産準備手当、赤ちゃん誕生祝金）を実施していることにより、子育て支援は図られていると感じている割合が高いことも影響しているのではないかと考えられます。小学生の満足度が低い要因としては、妊婦や就学前児童と比べると、子育て支援を受ける機会が減ることなどが影響しているのではないかと考えられます。

### Ⅲ 就学前児童の調査結果

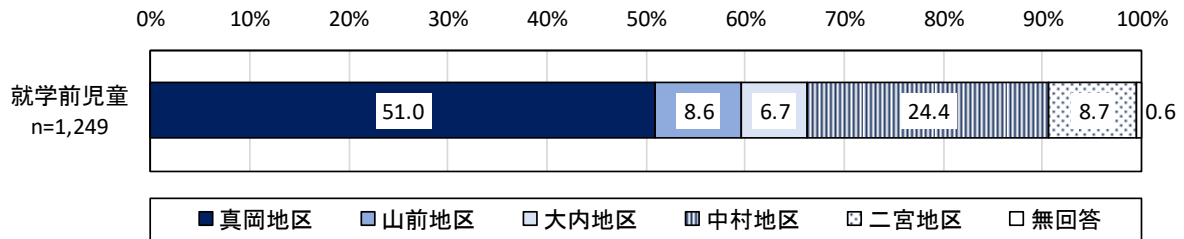
---



## 1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(口内に数字をご記入ください。)

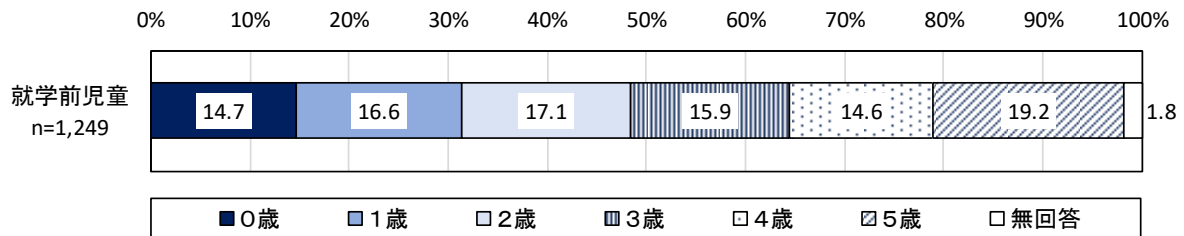
居住地区については、「真岡地区」が51.0%で最も高く、次いで「中村地区」が24.4%、「二宮地区」が8.7%となっています。



## 2. お子さんご家族の状況について

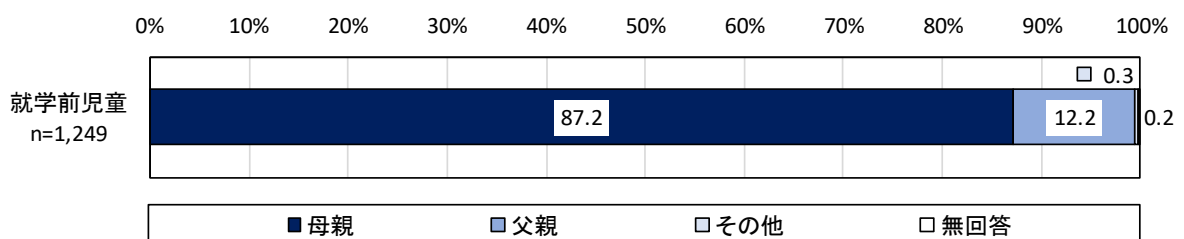
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

お子さんの年齢については、「5歳」が19.2%で最も高く、次いで「2歳」が17.1%、「1歳」が16.6%となっています。



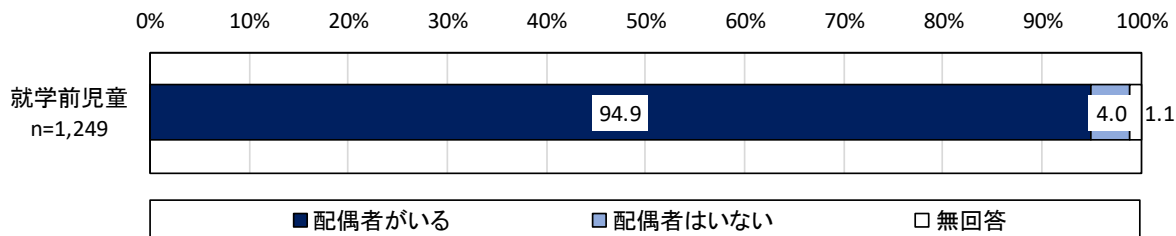
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

回答者については、「母親」が87.2%で最も高く、次いで「父親」が12.2%、「その他」が0.3%となっています。



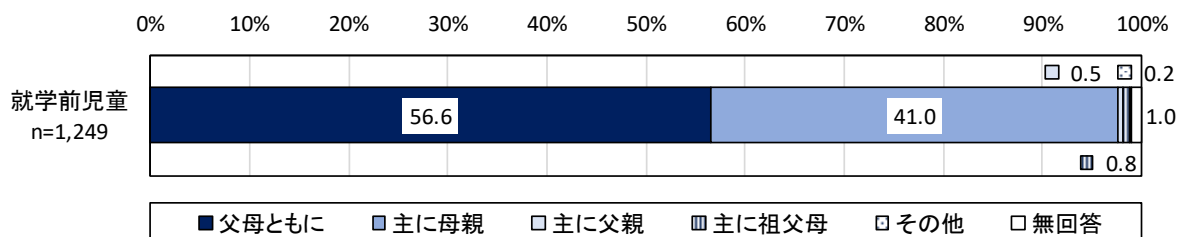
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が94.9%、「配偶者はいない」が4.0%となっています。



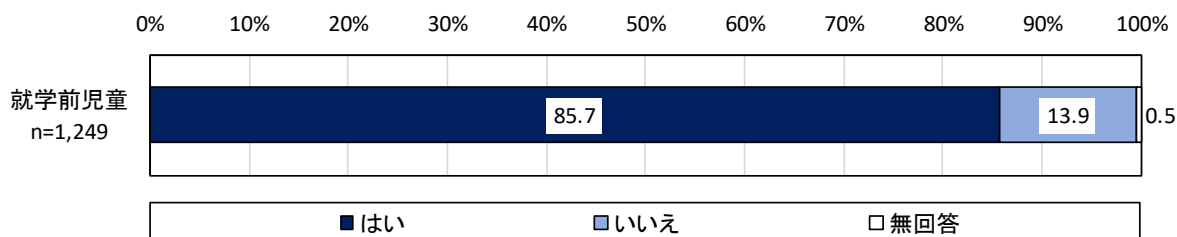
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が56.6%で最も高く、次いで「主に母親」が41.0%、「主に祖父母」が0.8%となっています。



問6 宛名のお子さんが妊娠の際、または生まれた時に真岡市にお住まいでしたか。(〇は1つ)

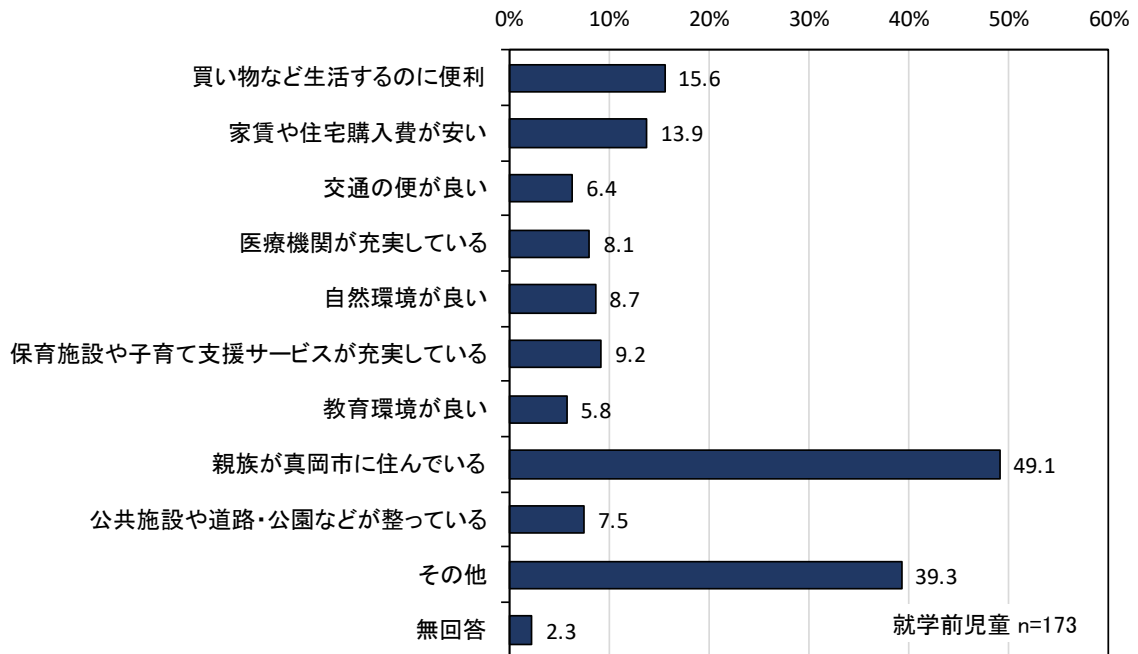
妊娠の際、または生まれた時に真岡市に住んでいたかについては、「はい」が85.7%、「いいえ」が13.9%となっています。





問6-1 問6で「2. いいえ」と回答した方にうかがいます。  
 真岡市に転入した理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

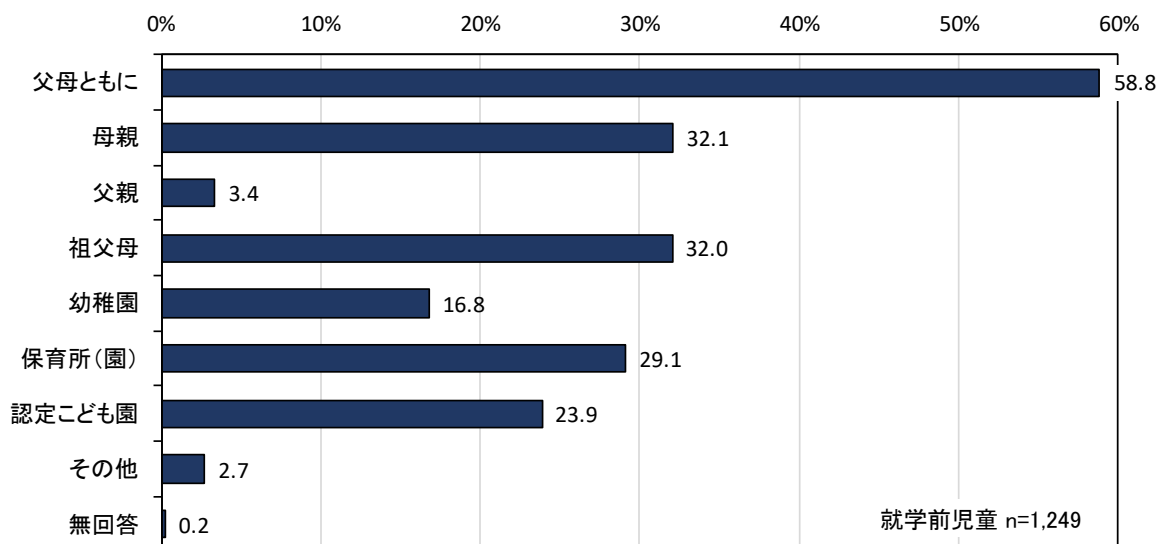
真岡市に転入した理由については、「親族が真岡市に住んでいる」が49.1%で最も高く、次いで「その他」が39.3%、「買い物など生活するのに便利」が15.6%となっています。



### 3. 子育て環境について

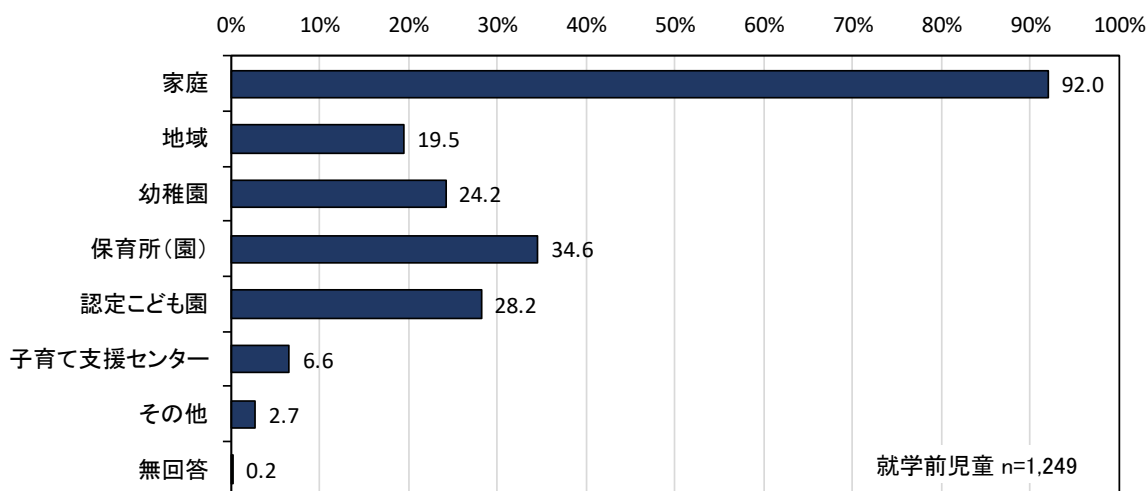
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。（あてはまるものすべてに○）

お子さんの子育てに日常的に関わっている方（施設）については、「父母ともに」が58.8%で最も高く、次いで「母親」が32.1%、「祖父母」が32.0%となっています。



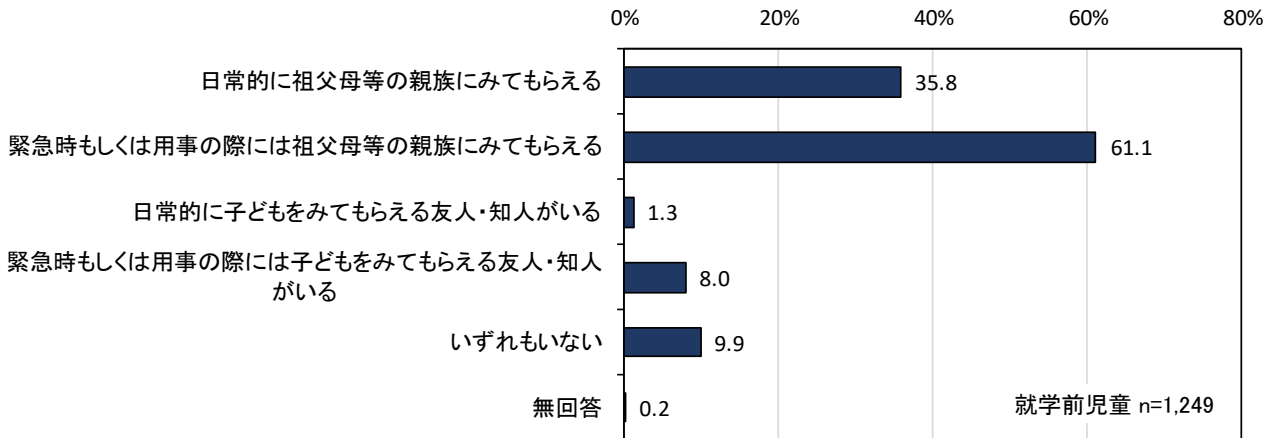
問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、特に影響すると思われる環境は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

子育てに影響すると思われる環境については、「家庭」が92.0%で最も高く、次いで「保育所(園)」が34.6%、「認定こども園」が28.2%となっています。



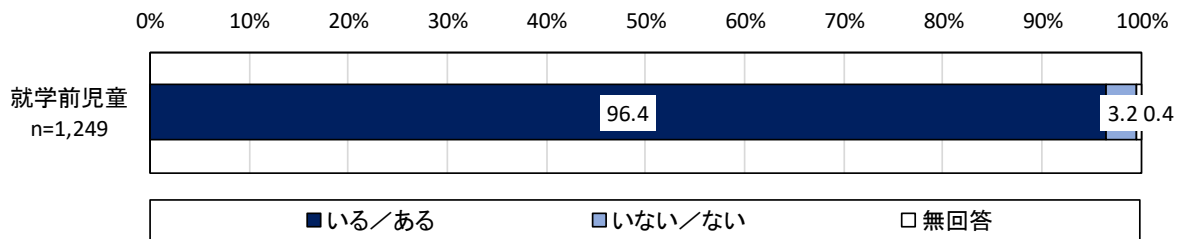
問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.1%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が35.8%、「いずれもない」が9.9%となっています。



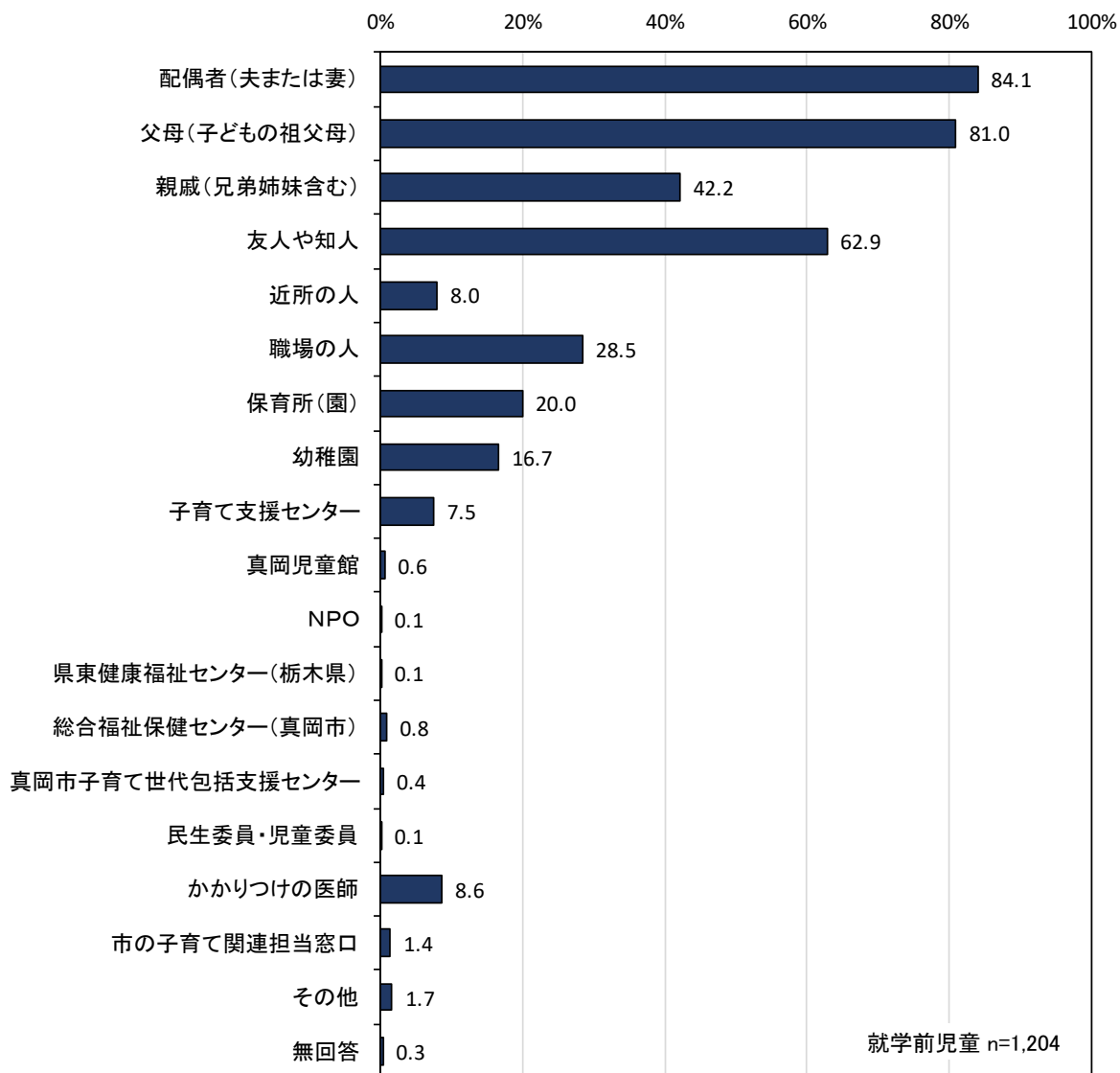
問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

子育てについて気軽に相談できる人（場所）の有無については、「いる／ある」が96.4%、「いない／ない」が3.2%となっています。



問 10-1 問 10で「1. いる／ある」と回答した方にうかがいます。  
 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。  
 （あてはまるものすべてに○）

相談先については、「配偶者（夫または妻）」が84.1%で最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が81.0%、「友人や知人」が62.9%となっています。



問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

全部で 393 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●預かり施設について</b>	81
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に預けられると良い。</li> <li>・急な用事の際にでも預けられると良い。</li> <li>・土日、祝日でも預けられると良い</li> </ul>	
<b>●遊び場、公園、交流について</b>	40
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日でも、子どもが遊べる施設がほしい。</li> <li>・ほとんど人が来ない古い公園などは、定期的に改修してほしい。</li> <li>・父親への子育て講話などしてほしい。</li> </ul>	
<b>●相談支援について</b>	39
<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に 1、2 回、子育て相談の機会をつくってほしい。</li> <li>・親が思いつかないアドバイスをしてくれる所があると良い。新しい発見が得られて良いと思う。</li> <li>・ちょっとした悩みは、電話をしてまで相談したいとはならないので、子育て支援センターなどに遊びに行った際に相談できるという感じが、気軽に相談しやすい。</li> </ul>	
<b>●子育て支援全般について</b>	39
<ul style="list-style-type: none"> <li>・習い事の送迎。</li> <li>・精神面のサポート。</li> <li>・一緒に遊んでくれるような場所。</li> </ul>	
<b>●経済的支援について</b>	35
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おむつ券の給付を 2 年間とする。</li> <li>・医療費助成や児童手当が 18 歳までであると良い。</li> <li>・不妊治療に対する経済的支援。</li> </ul>	
<b>●病児・病後児保育について</b>	32
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育を利用しやすいものにしてほしい。</li> <li>・早い時間から預かってもらえる病児保育。</li> <li>・病児保育施設の充実。</li> </ul>	
<b>●幼稚園、保育所（園）について</b>	31
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育所（園）を希望したとき、必ず入園できるようにしてほしい。</li> <li>・子育てと仕事を両立するため、土日や延長保育の充実。</li> <li>・求職中でも、保育園に入れるようにしてほしい。</li> <li>・定期的に幼稚園などにもスクールカウンセラーのような先生が来てくれると良い。</li> </ul>	

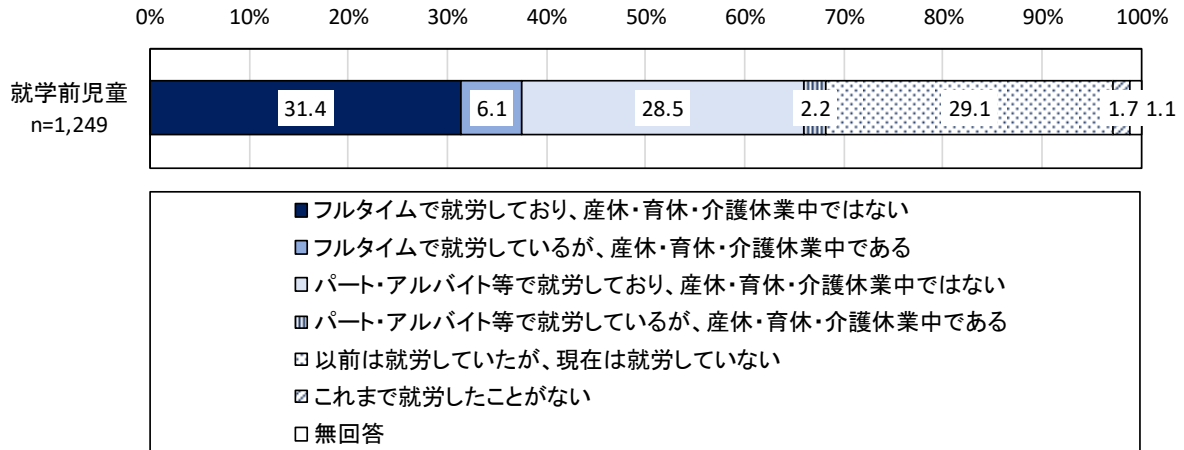
分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●情報提供について</b>	17
<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設の名称は知っていても利用方法がわからないため、広報やホームページ等で定期的に情報を発信してほしい。</li> <li>何歳のときに何をしたら良いのか、できたら良いのかなどの情報がほしい。</li> </ul>	
<b>●子育て支援センターについて</b>	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援センターへの誘い（先生からの声掛けなど）。</li> <li>小学生になると利用できなくなってしまうので、小学生が室内で遊べる所があると助かる。</li> </ul>	
<b>●保健・医療について</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>健診以外でも、専門家から意見をもらえたり、相談できると良い。</li> <li>芳賀地区救急医療センター（急患センター）の診療時間をもう少し長くしてほしい。</li> </ul>	
<b>●家事・学習支援について</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>家事代行サービス、宅食サービス。</li> <li>定期的な学習教室。</li> </ul>	
<b>●就労について</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが病気ของときには休みやすい職場環境であること。</li> <li>託児所がある職場を増やしてほしい。</li> </ul>	
<b>●安心・安全について</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>外出時、子どもが騒いだり、泣いたりしたときに、あたたかい目で見てもらえると良い。</li> <li>見回りによる地域の安全対策。</li> </ul>	
<b>●放課後児童クラブ（学童保育）・真岡児童館について</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学6年生まで放課後児童クラブを利用できるようにしてほしい。</li> <li>真岡児童館の充実。</li> </ul>	
<b>●障がい児支援・発達支援について</b>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児通所支援施設がもっと身近な場所にあれば良いと思う。</li> <li>障がいのある児童に対する育児、教育に関する情報がほしい。</li> </ul>	
<b>●その他</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>男子トイレにもおむつ替えの台が普及してくれると良い。</li> <li>現状のサポートで満足している。</li> </ul>	

## 4. 保護者の就労状況について

問 12 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（○は1つ）

### （1）母親の就労状況について

母親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が31.4%で最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が29.1%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.5%となっています。



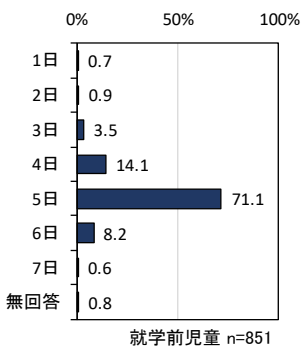
### （1）-①・② （1）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（口内に数字をご記入ください。）

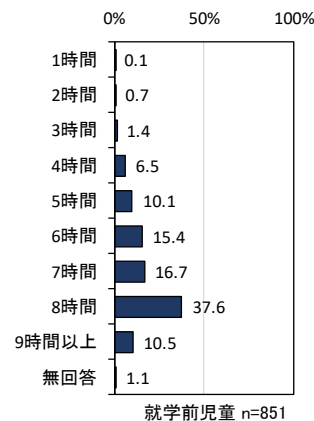
母親の1週当たりの就労日数は「5日」が71.1%で最も高く、次いで「4日」が14.1%、1日当たりの就労時間は「8時間」が37.6%で最も高く、次いで「7時間」が16.7%となっています。

また、家を出る時間は「8時」が50.2%で最も高く、次いで「7時」が28.9%、帰宅時間は「18時」が39.0%で最も高く、次いで「17時」が21.4%となっています。

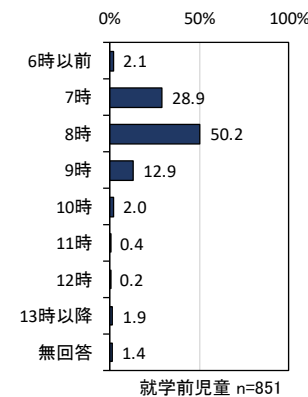
#### 【1週当たりの就労日数】



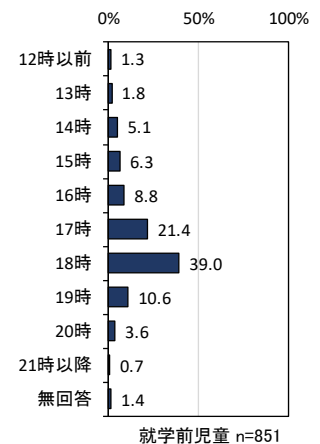
#### 【1日当たりの就労時間】



#### 【家を出る時間】

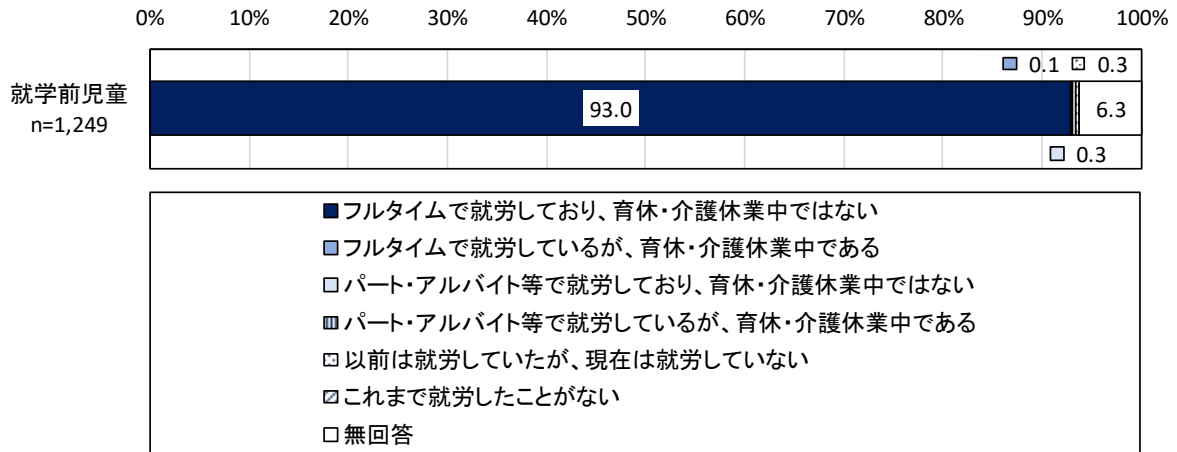


#### 【帰宅時間】



(2) 父親の就労状況について

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.0%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「以前は就労していたが、現在は就労していない」がともに0.3%となっています。



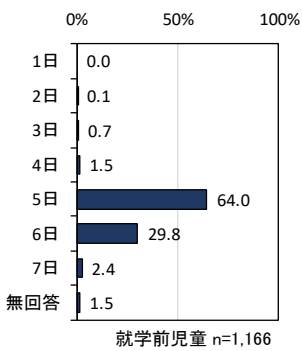
(2) -①・② (2)で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

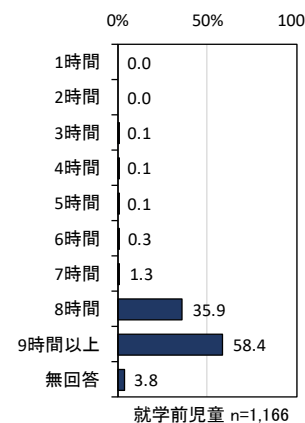
父親の1週当たりの就労日数は「5日」が64.0%で最も高く、次いで「6日」が29.8%、1日当たりの就労時間は「9時間以上」が58.4%で最も高く、次いで「8時間」が35.9%となっています。

また、家を出る時間は「7時」が46.9%で最も高く、次いで「8時」が22.7%、帰宅時間は「19時」が22.6%で最も高く、次いで「21時以降」が21.5%となっています。

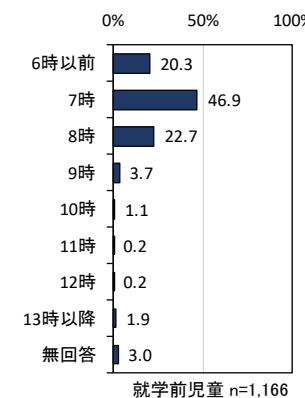
【1週当たりの就労日数】



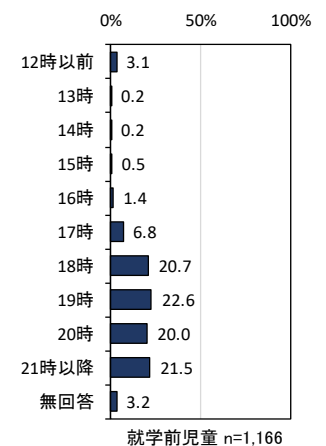
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時間】



【帰宅時間】



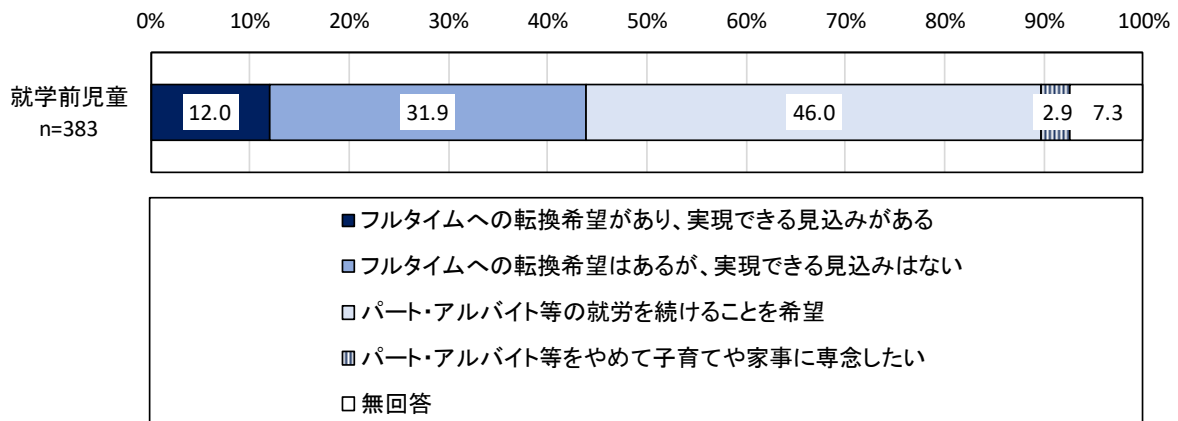


問 13 問 12 の (1) または (2) で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している) と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親のフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 46.0%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 12.0%となっています。



(2) 父親のフルタイムへの転換希望

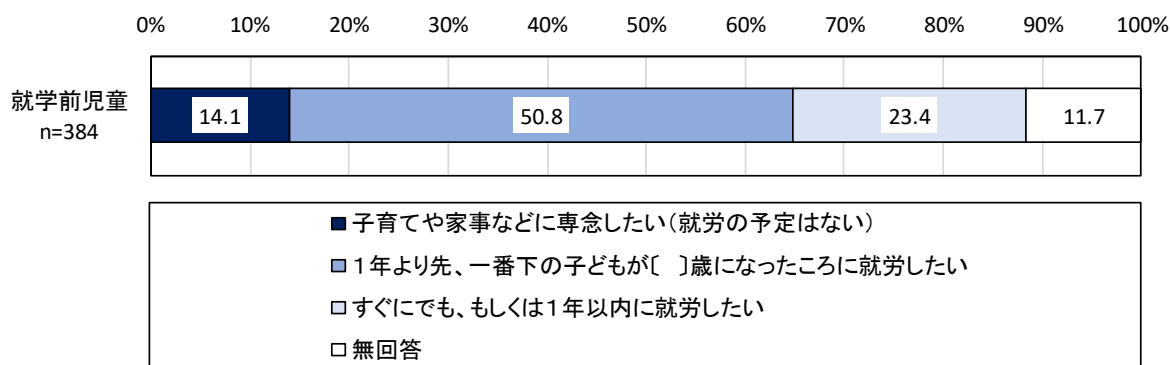
父親のフルタイムへの転換希望については、該当する回答者は4人で、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が1人、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2人、「無回答」が1人となっています。

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5」、「6」(就労していない) と回答した方にうかがいます。  
 就労したいという希望はありますか。  
 (〇は1つ、該当する記号に〇、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親

●就労希望

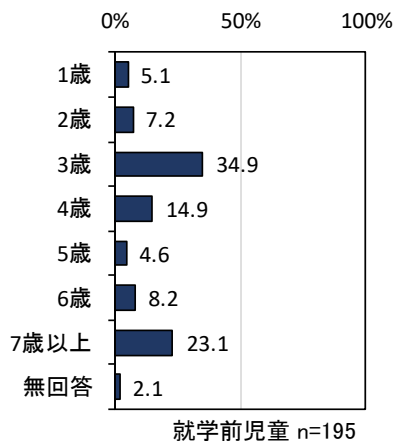
母親の就労希望については、「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が50.8%で最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が23.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が14.1%となっています。



●『1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい』と回答した方の希望年齢

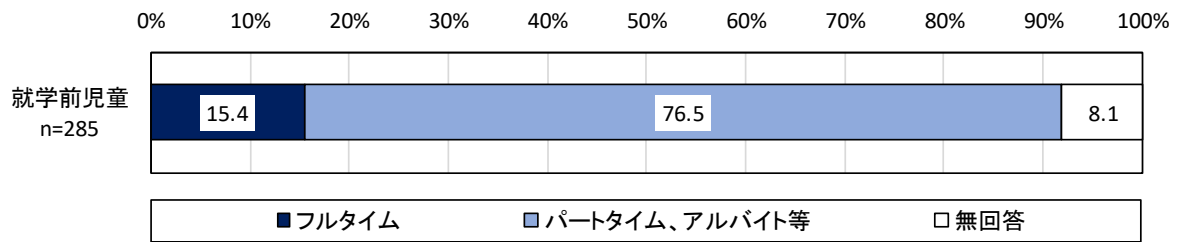
一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、「3歳」が34.9%で最も高く、次いで「7歳以上」が23.1%、「4歳」が14.9%となっています。

【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】



●希望する就労形態

希望する就労形態については、「フルタイム」が15.4%、「パートタイム、アルバイト等」が76.5%となっています。

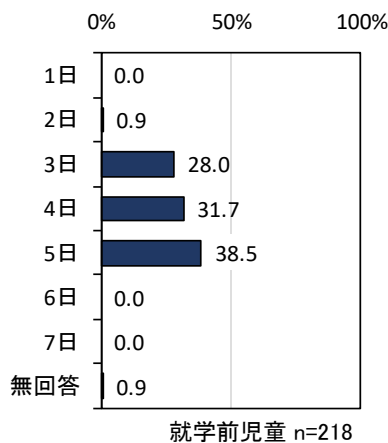


●希望する就労日数・就労時間（『パートタイム、アルバイト等』と回答した方）

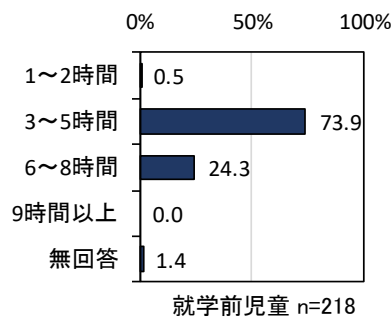
希望する1週当たりの就労日数は、「5日」が38.5%で最も高く、次いで「4日」が31.7%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「3～5時間」が73.9%で最も高く、次いで「6～8時間」が24.3%となっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



(2) 父親

●就労希望

父親の就労希望については、該当する回答者は4人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3人、「無回答」が1人となっています。

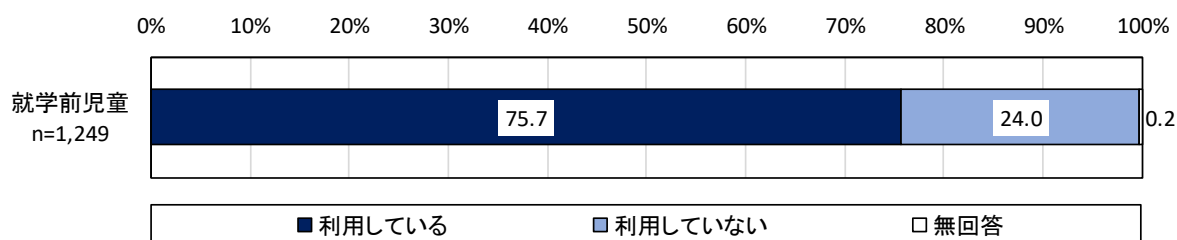
●希望する就労形態

希望する就労形態については、該当する回答者は3人で、「フルタイム」が2人、「無回答」が1人となっています。

## 5. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所（園）などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（〇は1つ）

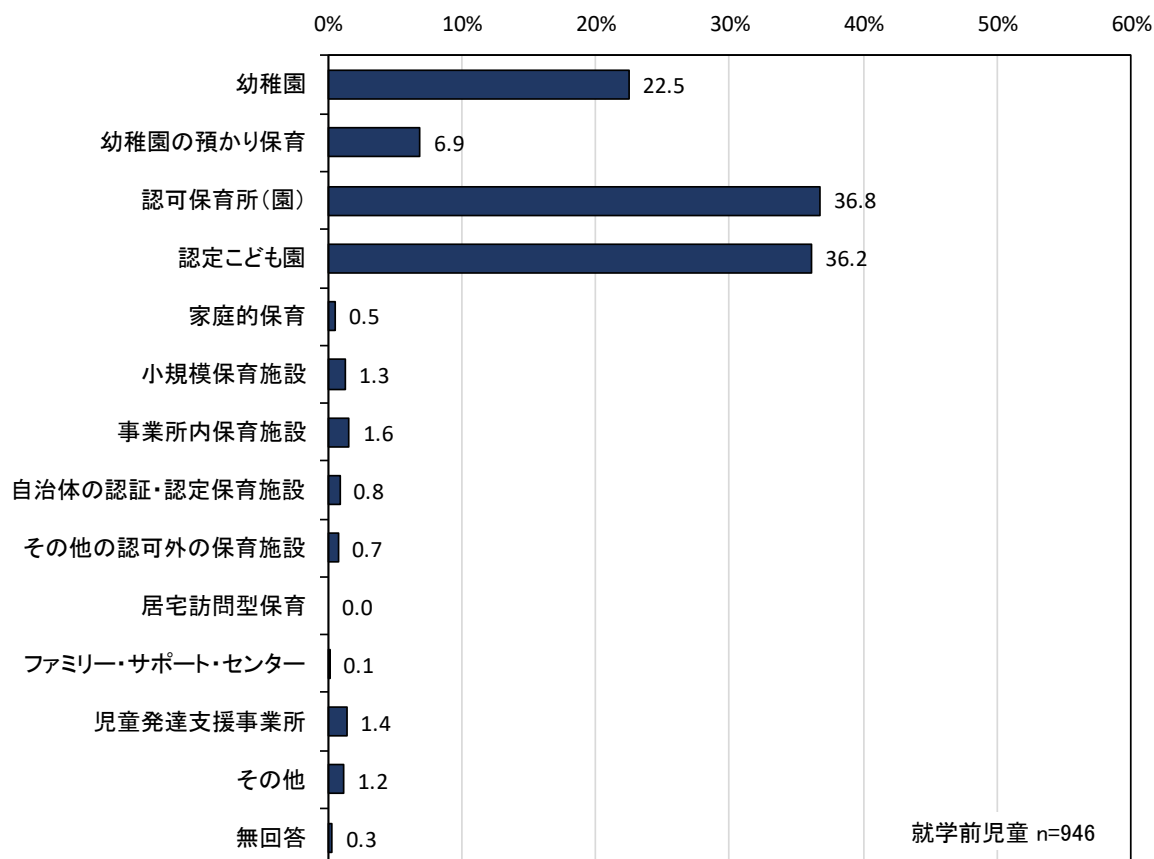
定期的な教育・保育事業の利用状況については、「利用している」が 75.7%、「利用していない」が 24.0%となっています。



問 15-1 問 15 で「1. 利用している」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんは、平日にどのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに〇）

利用している事業については、「認可保育所（園）」が 36.8%で最も高く、次いで「認定こども園」が 36.2%、「幼稚園」が 22.5%となっています。



問 15-2 問 15で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

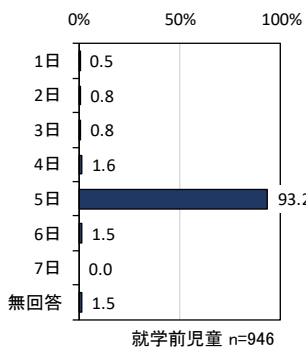
平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。(口内に数字をご記入ください。)

●現在の利用状況

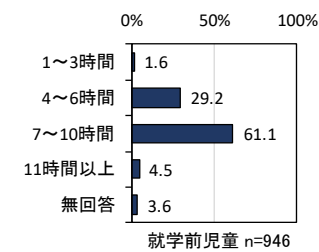
現在の利用状況については、利用日数は「5日」が93.2%で最も高く、利用時間は「7～10時間」が61.1%で最も高く、次いで「4～6時間」が29.2%となっています。

また、開始時間は「8時」が43.6%で最も高く、次いで「9時」が40.1%、終了時間は「17時」が29.0%で最も高く、次いで「14時」が22.2%となっています。

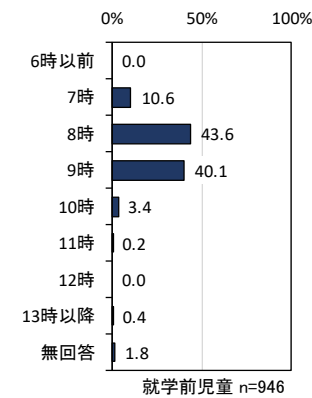
【1週当たりの利用日数】



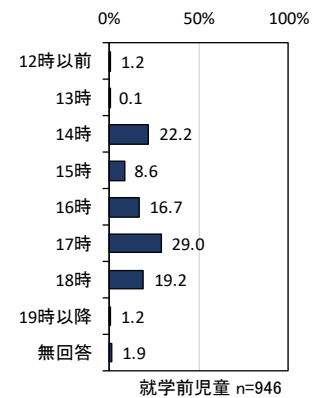
【1日当たりの利用時間】



【開始時間】



【終了時間】

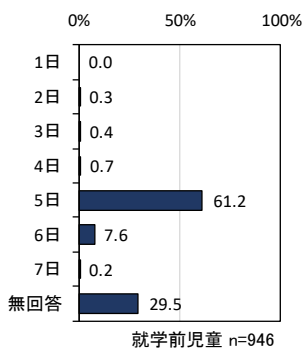


●利用希望

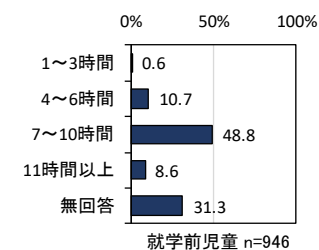
利用希望については、利用日数は「5日」が61.2%で最も高く、利用時間は「7～10時間」が48.8%で最も高く、次いで「4～6時間」が10.7%となっています。

また、開始時間は「8時」が34.9%で最も高く、次いで「9時」が23.6%、終了時間は「17時」が20.1%で最も高く、次いで「18時」が18.7%となっています。

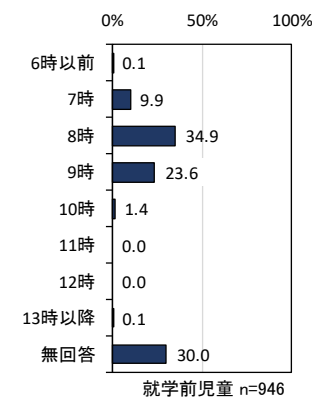
【1週当たりの利用日数】



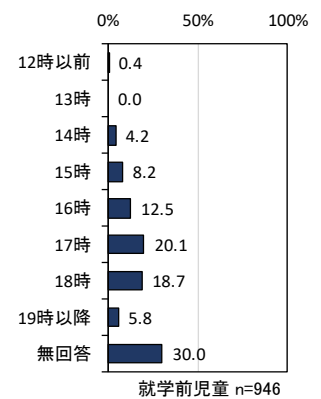
【1日当たりの利用時間】



【開始時間】



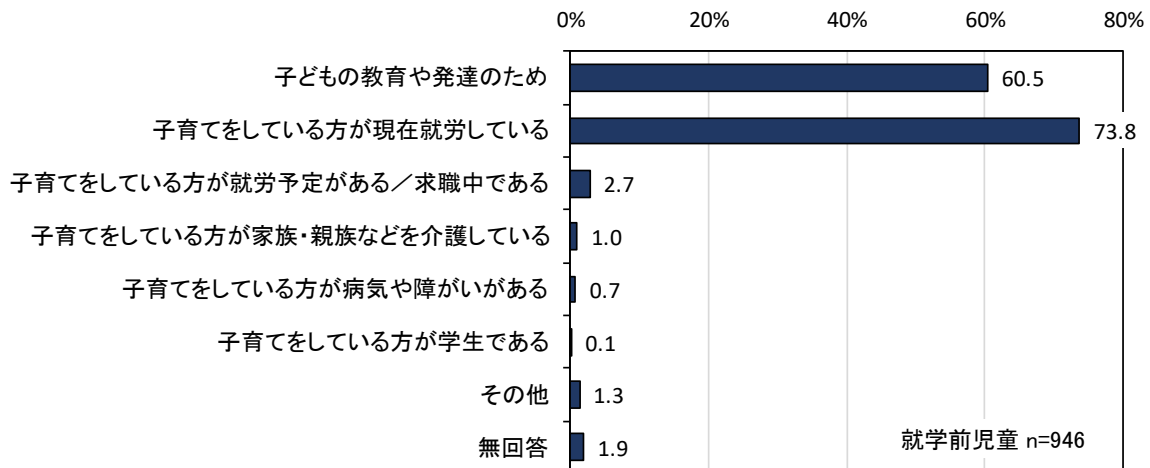
【終了時間】



問 15-3 問 15 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

事業を利用している理由については、「子育てをしている方が現在就労している」が 73.8%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 60.5%、「子育てをしている方が就労予定がある／求職中である」が 2.7%となっています。

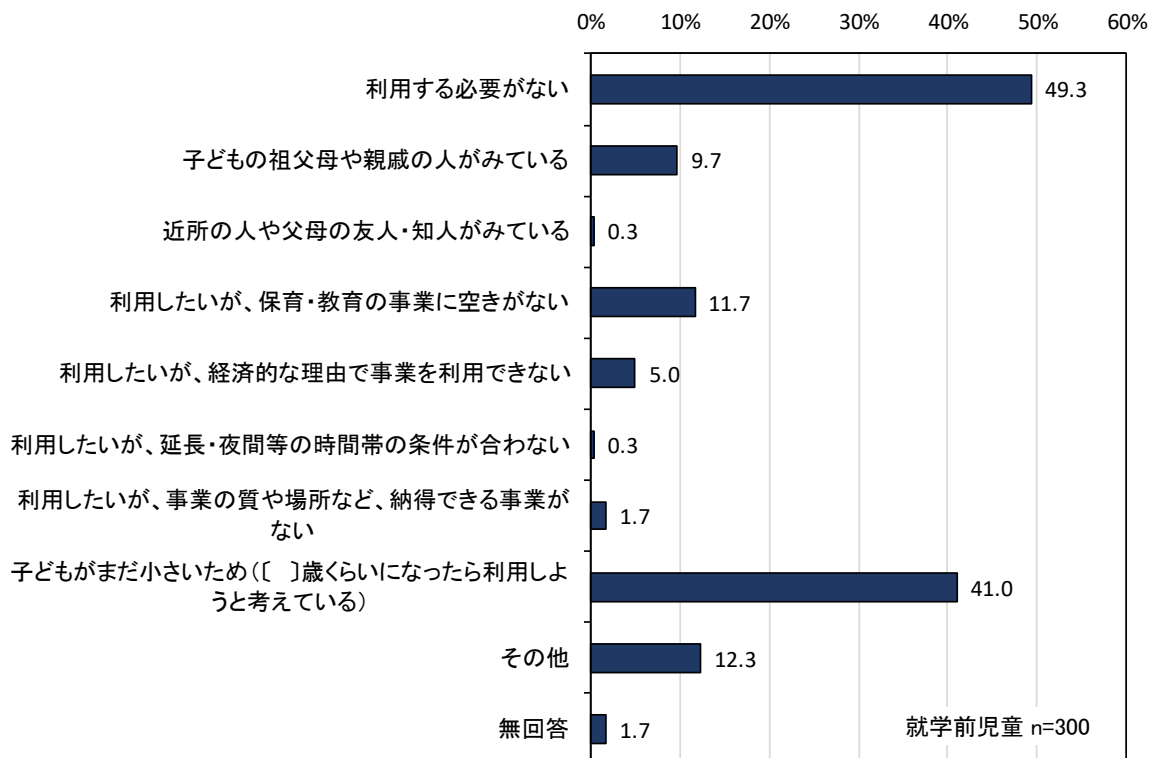


問 15-4 問 15で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

平日に定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。

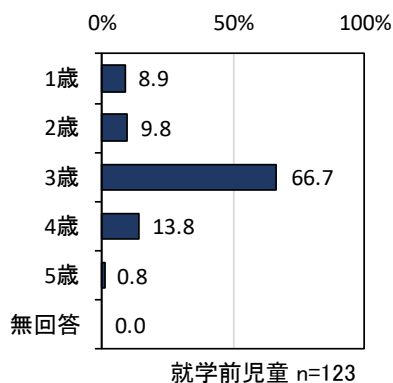
(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

事業を利用していない理由については、「利用する必要がない」が49.3%で最も高く、次いで「子どもがまだ小さいため(〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている)」が41.0%、「その他」が12.3%となっています。



●『子どもがまだ小さいため(〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている)』と回答した方の希望年齢  
〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えているかについては、「3歳」が66.7%で最も高く、次いで「4歳」が13.8%、「2歳」が9.8%となっています。

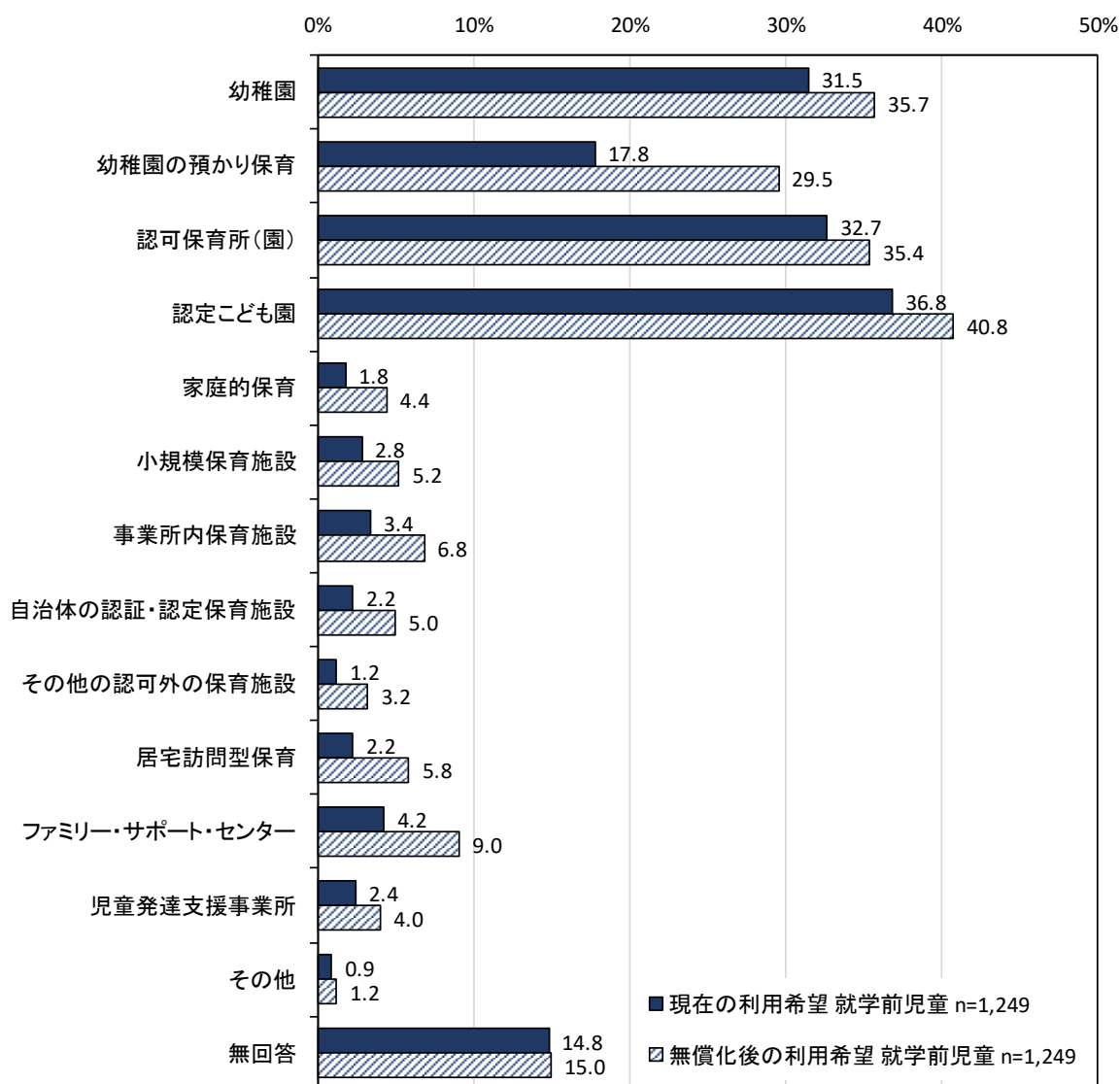
【〔 〕歳くらいになったら利用しようと考えている】



問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業について、『現在の利用希望』と『無償化後の利用希望』のそれぞれにお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（それぞれあてはまるものすべてに〇）

『現在の利用希望』については、「認定こども園」が36.8%で最も高く、次いで「認可保育所（園）」が32.7%、「幼稚園」が31.5%となっています。

『無償化後の利用希望』については、「認定こども園」が40.8%で最も高く、次いで「幼稚園」が35.7%、「認可保育所（園）」が35.4%となっています。

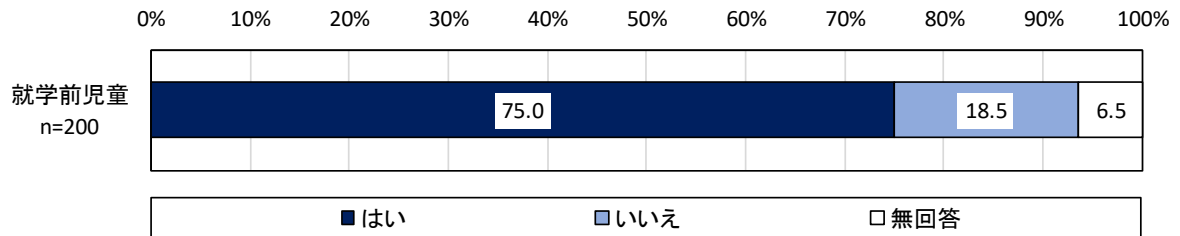




問 16-1 問 16 で「1」または「2」を回答し、かつ「3」～「13」を回答した方にうかがいます。特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

本設問は、幼稚園かつ保育所等への利用希望がある方に対して、「幼稚園」の利用希望が強いかを問う設問となっています。

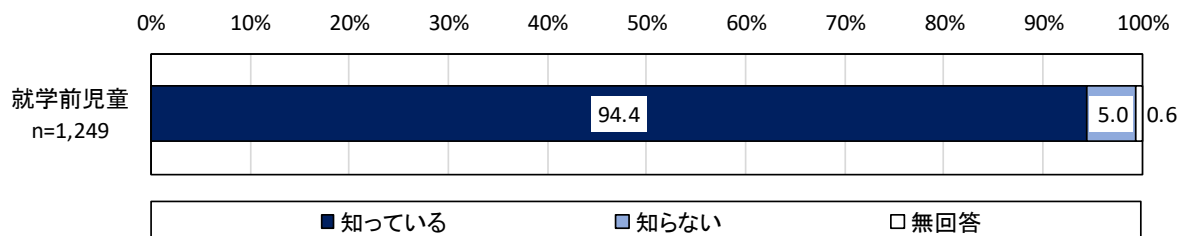
結果は、「はい」が 75.0%（幼稚園を強く希望する割合）、「いいえ」が 18.5%となっています。



## 6. 地域の子育て支援事業の利用状況について

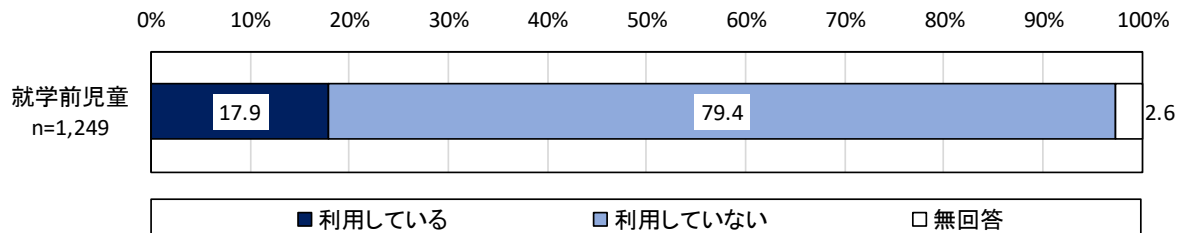
問 17 真岡市の子育て支援センターを知っていますか。(〇は1つ)

子育て支援センターの認知度については、「知っている」が94.4%、「知らない」が5.0%となっています。



問 18 宛名のお子さんは、現在、真岡市の子育て支援センターを利用していますか。また、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。(〇は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。)

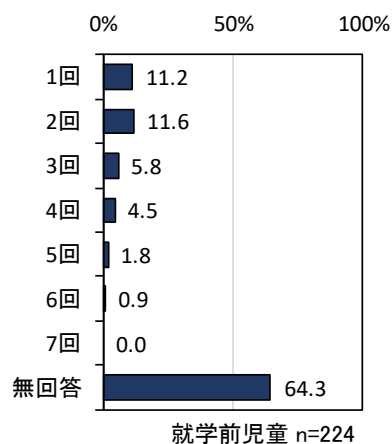
子育て支援センターの利用状況については、「利用している」が17.9%、「利用していない」が79.4%となっています。



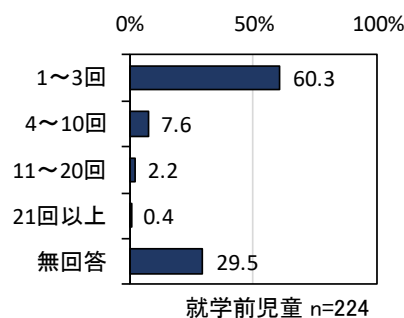
### ● 『利用している』と回答した方の利用頻度

1週当たりの利用回数は、「2回」が11.6%で最も高く、次いで「1回」が11.2%となっています。また、1か月当たりの利用回数は、「1～3回」が60.3%で最も高くなっています。

#### 【1週当たりの利用回数】



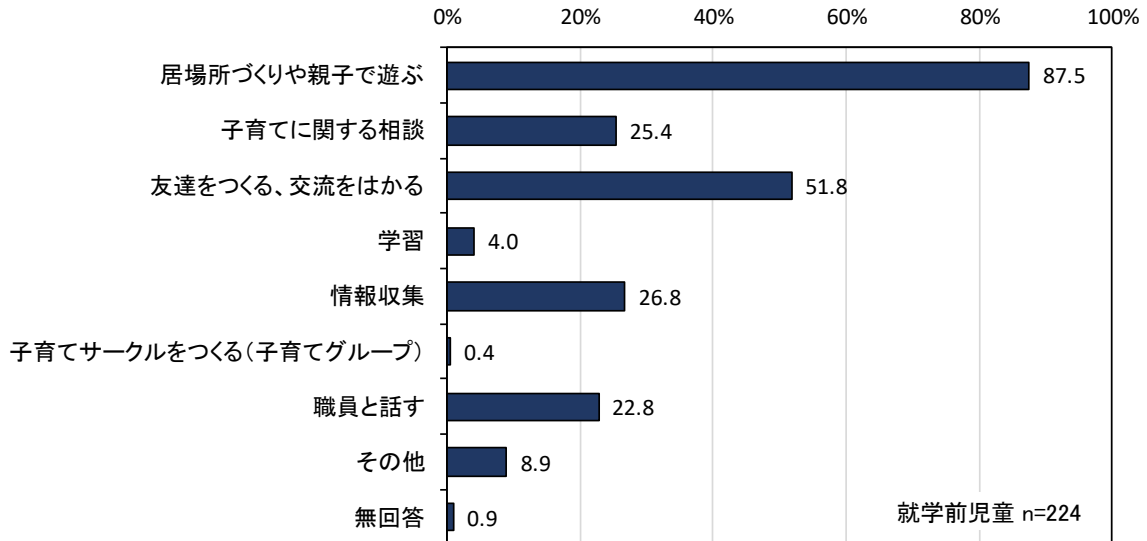
#### 【1か月当たりの利用回数】



問 18-1 問 18 で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

子育て支援センターを利用された理由や目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

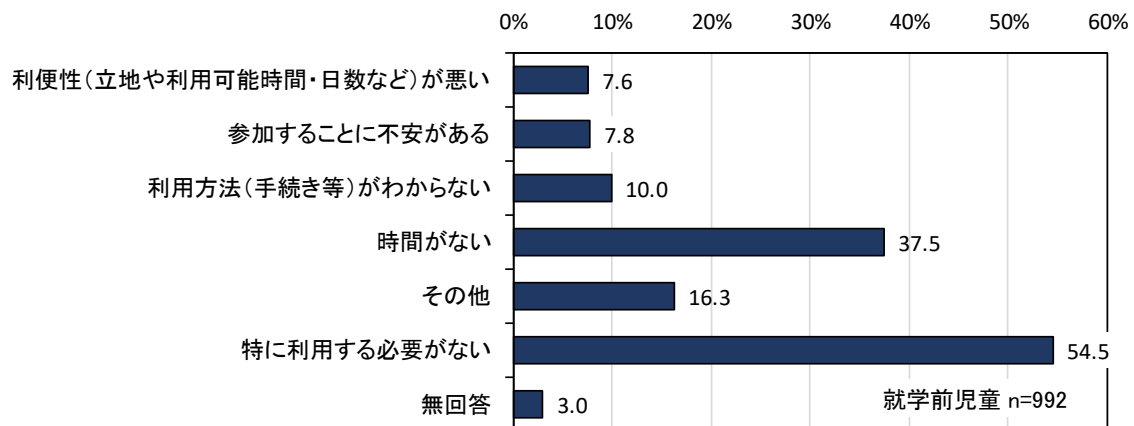
子育て支援センターを利用している理由や目的については、「居場所づくりや親子で遊ぶ」が 87.5%で最も高く、次いで「友達をつくる、交流をはかる」が 51.8%、「情報収集」が 26.8%となっています。



問 18-2 問 18 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

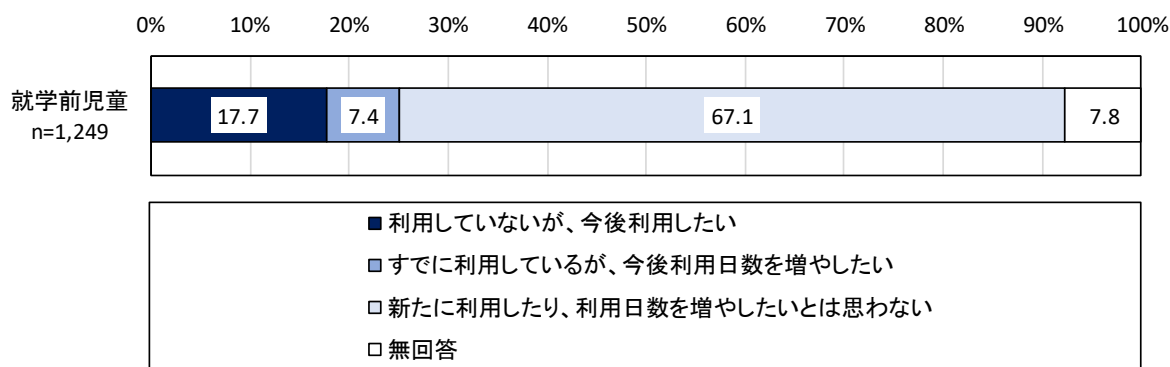
子育て支援センターを利用されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育て支援センターを利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 54.5%で最も高く、次いで「時間がない」が 37.5%、「その他」が 16.3%となっています。



問 19 真岡市の子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。おおよその利用回数（頻度）もご記入ください。（〇は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。）

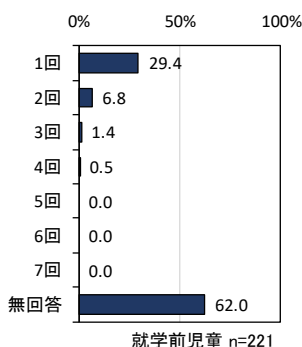
子育て支援センターの利用意向については、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が67.1%で最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が17.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が7.4%となっています。



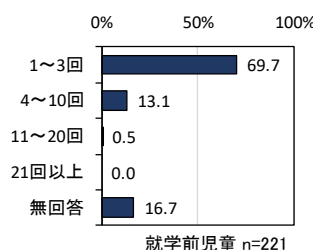
● 『利用していないが、今後利用したい』と回答した方の利用希望

1週当たりの利用希望回数は、「1回」が29.4%で最も高くなっています。  
また、1か月当たりの利用希望回数は、「1～3回」が69.7%で最も高くなっています。

【1週当たりの利用希望回数】



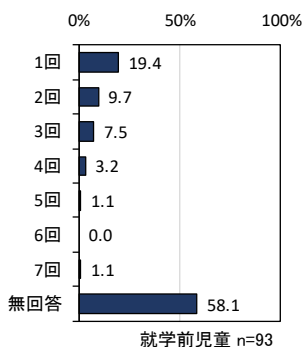
【1か月当たりの利用希望回数】



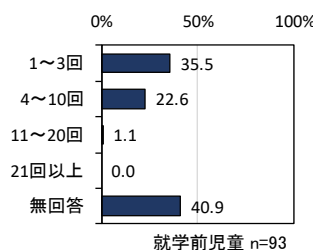
● 『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』と回答した方の増やしたい回数

1週当たりで増やしたい利用回数は、「1回」が19.4%で最も高くなっています。  
また、1か月当たりで増やしたい利用回数は、「1～3回」が35.5%で最も高くなっています。

【1週当たりで増やしたい利用回数】



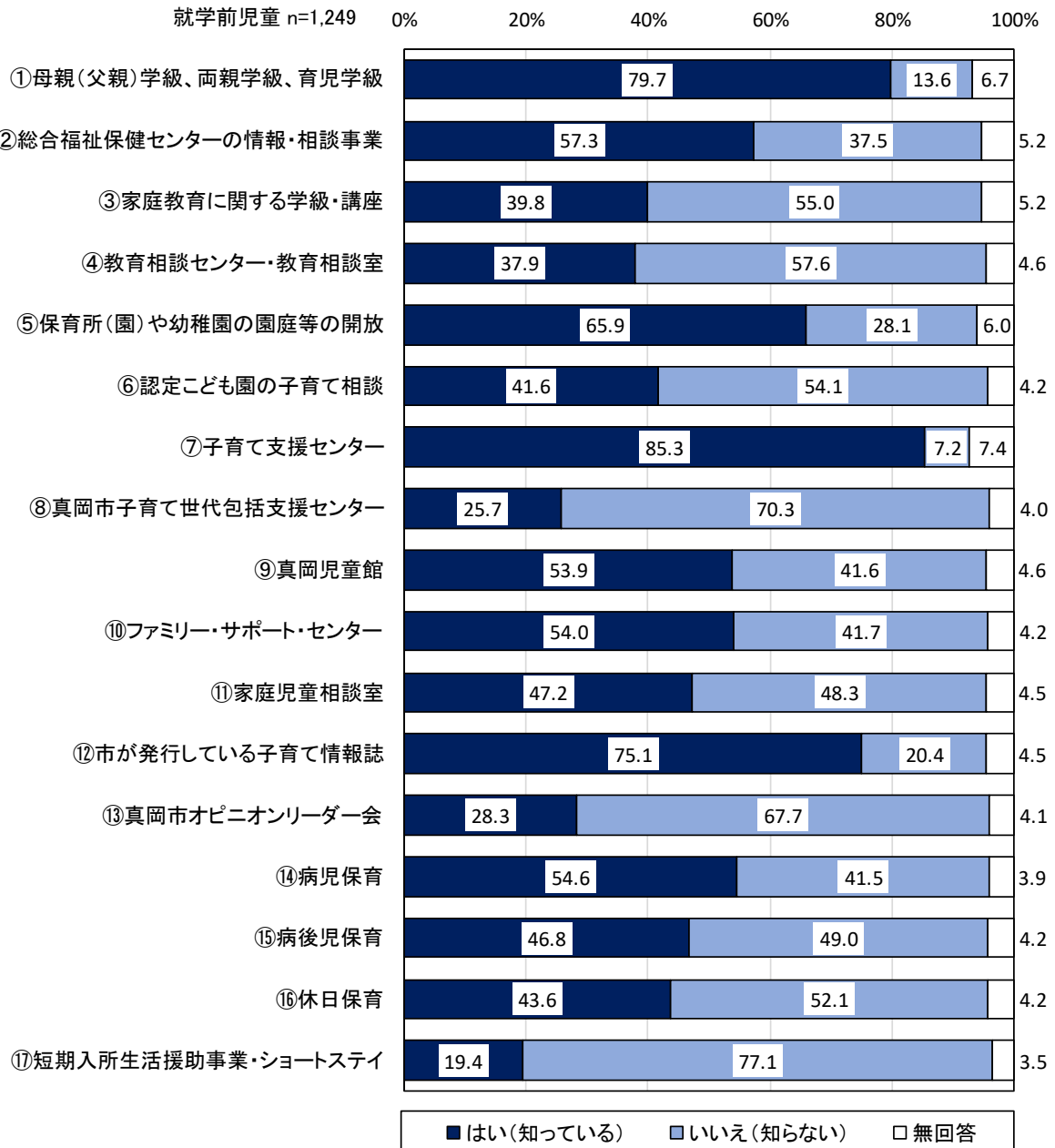
【1か月当たりで増やしたい利用回数】



問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑰の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、〇は1つ)

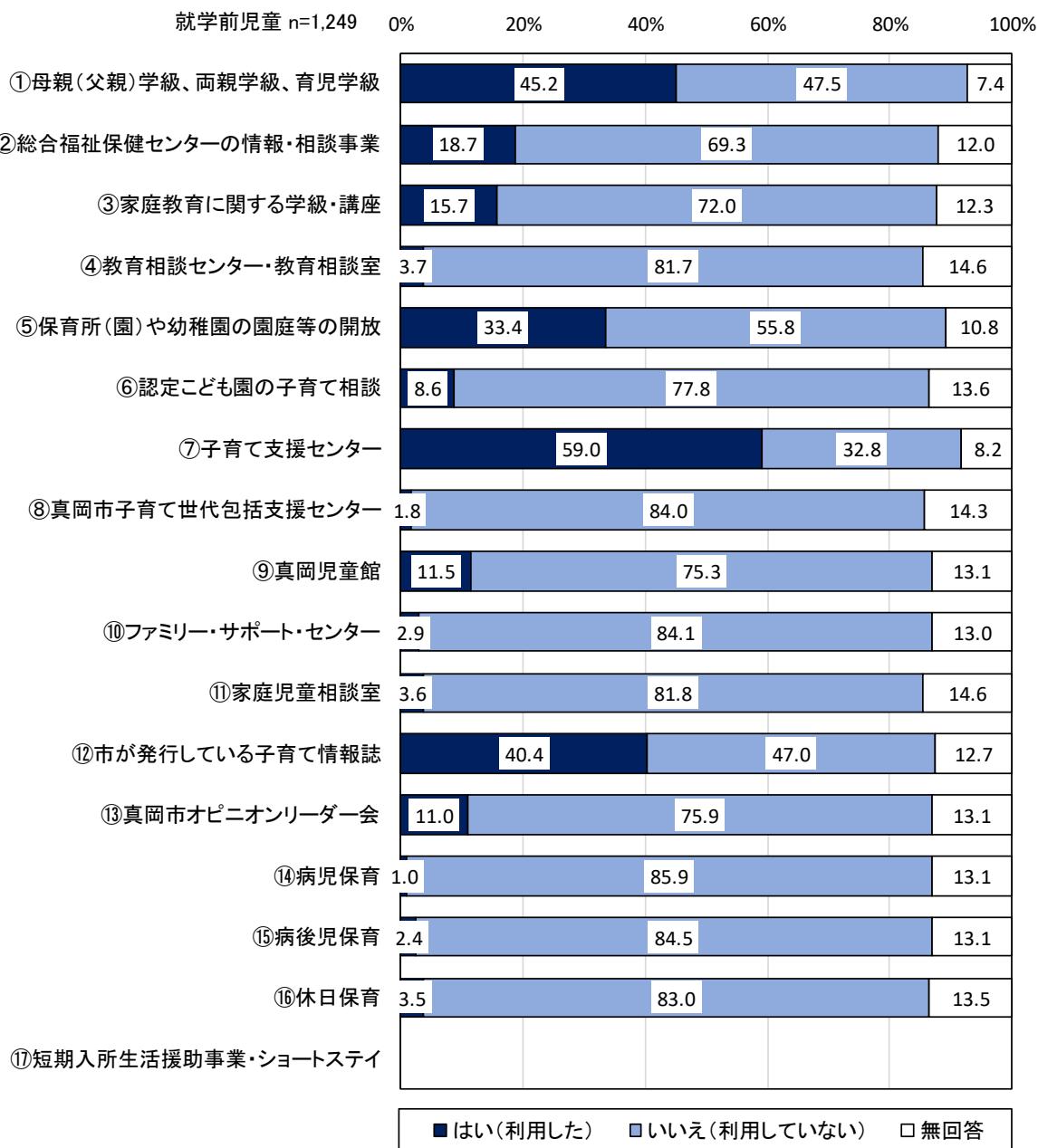
(1) 事業の認知度

事業の認知度について、「はい(知っている)」をみると、『⑦子育て支援センター』が85.3%で最も高く、次いで『①母親(父親)学級、両親学級、育児学級』が79.7%、『⑫市が発行している子育て情報誌』が75.1%となっています。「はい(知っている)」の割合が最も低い事業は、『⑰短期入所生活援助事業・ショートステイ』で19.4%となっています。



(2) 事業の利用状況

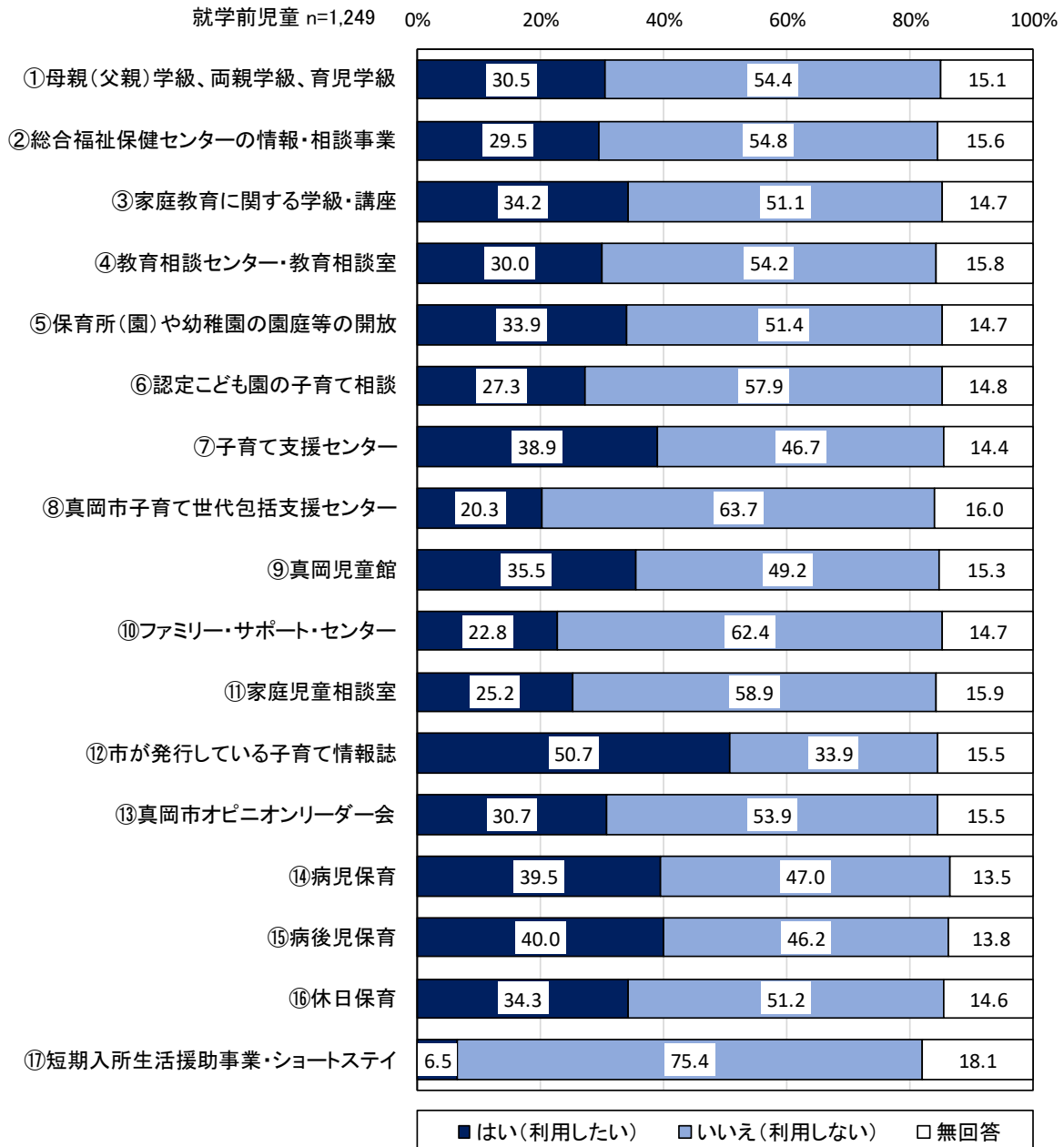
事業の利用状況について、「はい（利用した）」をみると、『⑦子育て支援センター』が 59.0%で最も高く、次いで『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』が 45.2%、『⑫市が発行している子育て情報誌』が 40.4%となっています。「はい（利用した）」の割合が最も低い事業は、『⑭病児保育』で 1.0%となっています。



※『⑰短期入所生活援助事業・ショートステイ』は、回答不要の項目のため空白となっています。

(3) 事業の利用意向

事業の利用意向について、「はい(利用したい)」をみると、『⑫市が発行している子育て情報誌』が50.7%で最も高く、次いで『⑮病後児保育』が40.0%、『⑭病児保育』が39.5%となっています。「はい(利用したい)」の割合が最も低い事業は、『⑰短期入所生活援助事業・ショートステイ』で6.5%となっています。

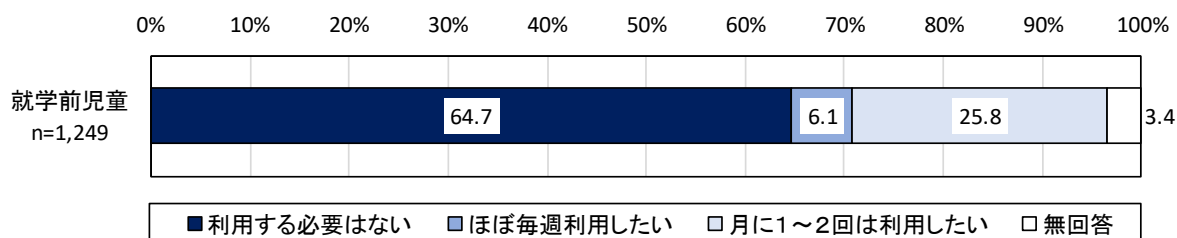


## 7. 土日・祝日や長期休暇中の 「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除きます。）はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。  
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。  
 （それぞれ〇は1つ、口内に数字をご記入ください。）

### （1）土曜日の利用希望

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が64.7%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.8%、「ほぼ毎週利用したい」が6.1%となっています。

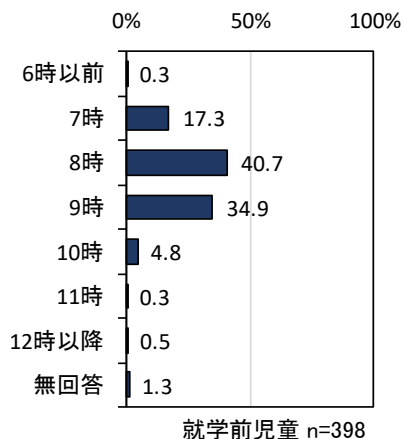


### ●土曜日の利用を希望している方の利用希望

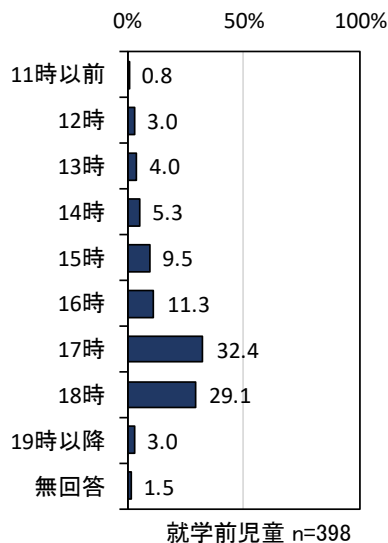
希望開始時間は、「8時」が40.7%で最も高く、次いで「9時」が34.9%となっています。

また、希望終了時間は、「17時」が32.4%で最も高く、次いで「18時」が29.1%となっています。

#### 【希望開始時間】



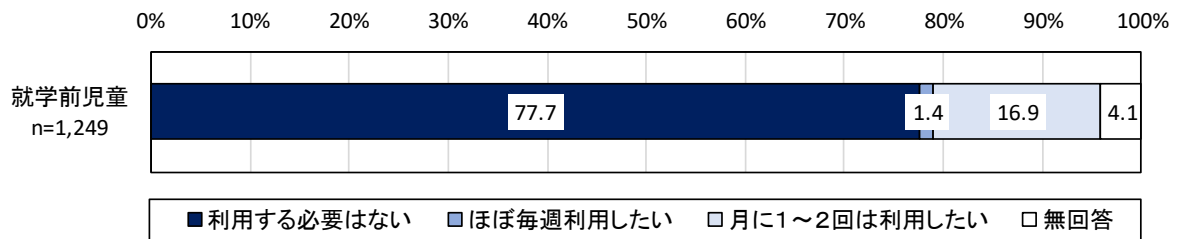
#### 【希望終了時間】





(2) 日曜日・祝日の利用希望

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が77.7%で最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が16.9%、「ほぼ毎週利用したい」が1.4%となっています。

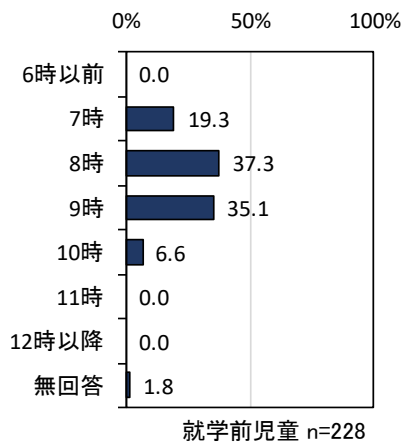


●日曜日・祝日の利用を希望している方の利用希望

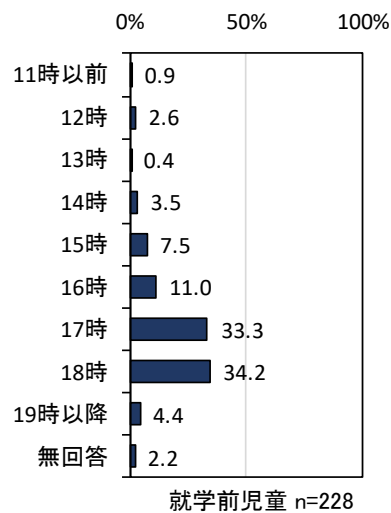
希望開始時間は、「8時」が37.3%で最も高く、次いで「9時」が35.1%となっています。

また、希望終了時間は、「18時」が34.2%で最も高く、次いで「17時」が33.3%となっています。

【希望開始時間】



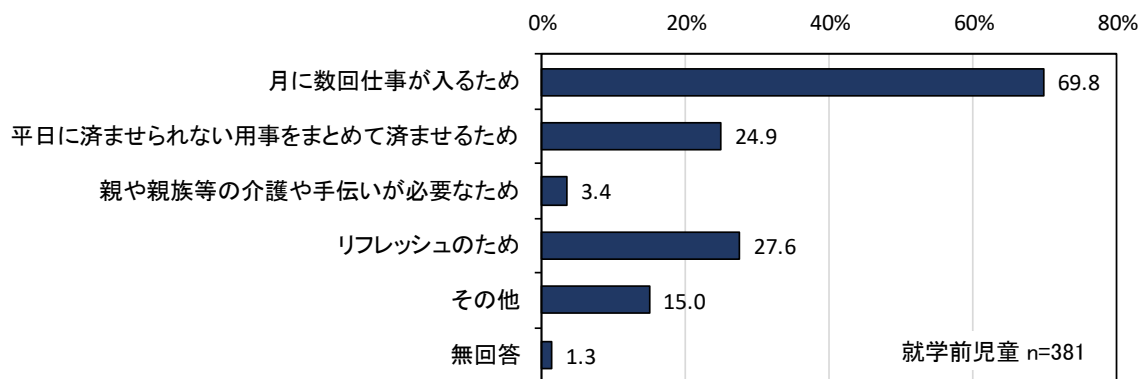
【希望終了時間】



問21-1 問21の(1)もしくは(2)で「3.月に1～2回は利用したい」と回答した方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

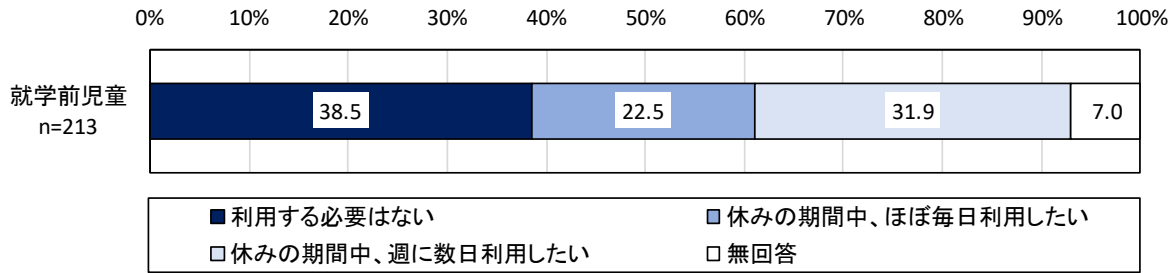
たまに利用したい理由については、「月に数回仕事が入るため」が69.8%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が27.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が24.9%となっています。



問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(○は1つ、□内に数字をご記入ください。)

長期の休暇期間中の利用希望については、「利用する必要はない」が 38.5%で最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が 31.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 22.5%となっています。

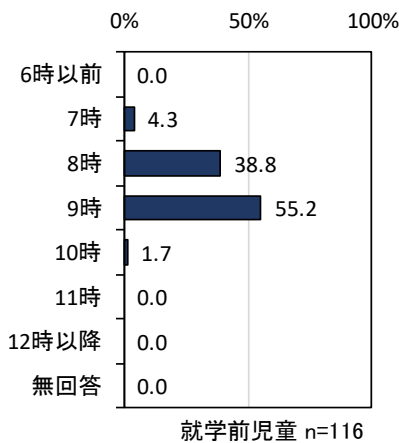


●長期の休暇期間中の利用を希望している方の利用希望

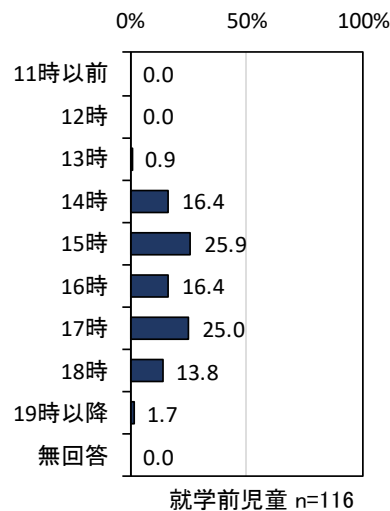
希望開始時間は、「9時」が 55.2%で最も高く、次いで「8時」が 38.8%となっています。

また、希望終了時間は、「15時」が 25.9%で最も高く、次いで「17時」が 25.0%となっています。

【希望開始時間】

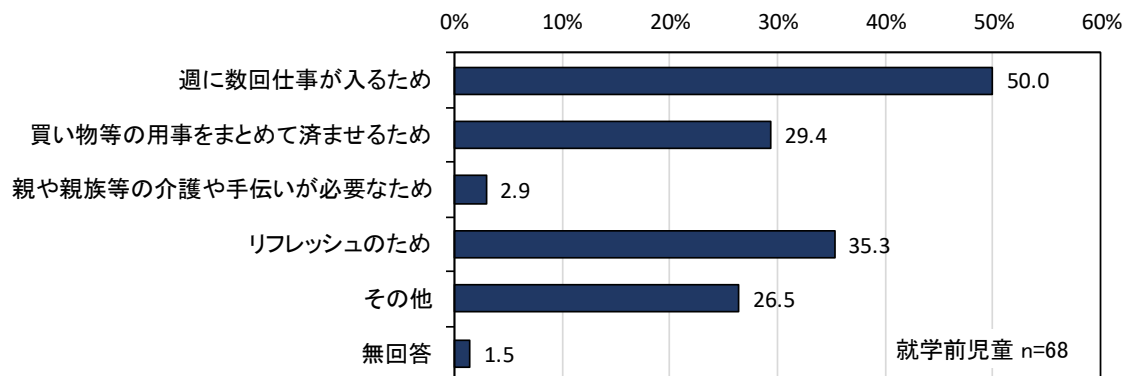


【希望終了時間】



問 22-1 問 22 で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方にうかがいます。  
 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

たまに利用したい理由については、「週に数回仕事が入るため」が50.0%で最も高く、次いで「リフレッシュのため」が35.3%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が29.4%となっています。

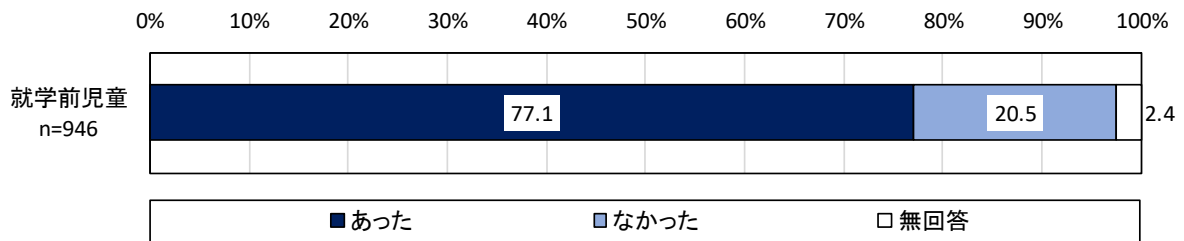


## 8. 病気の際の対応について

問 23 問 15で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありましたか。  
(〇は1つ)

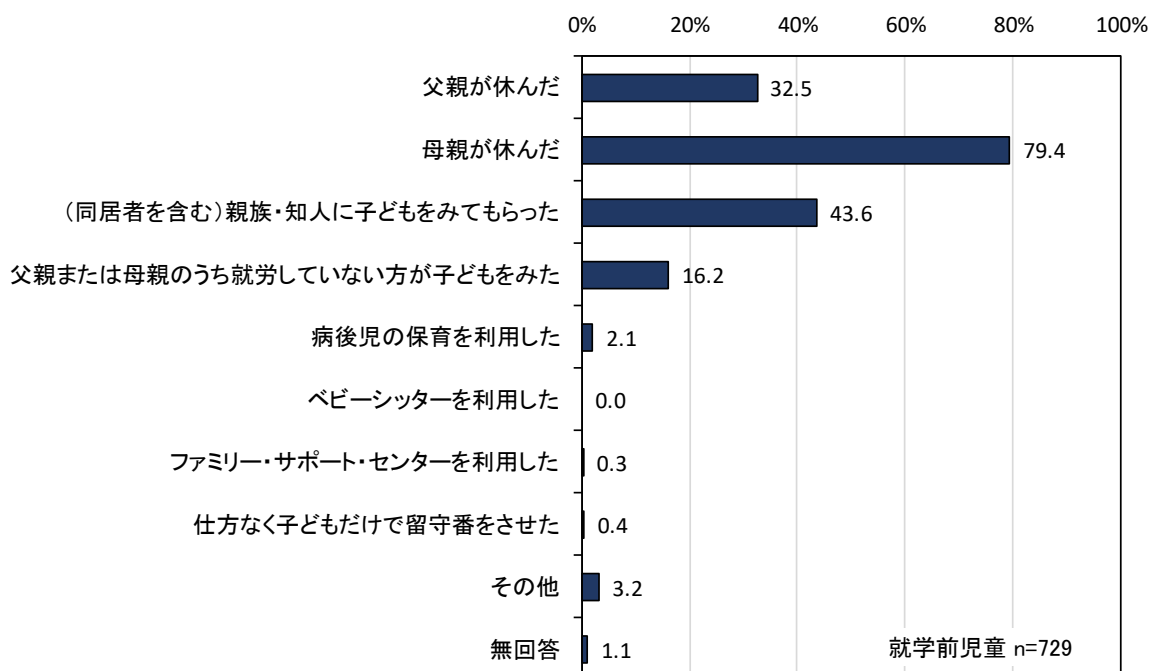
病気やケガで通常の事業が利用できなかった有無については、「あった」が77.1%、「なかった」が20.5%となっています。



問 23-1 問 23で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。  
(あてはまるものすべてに〇、口内に数字をご記入ください。)

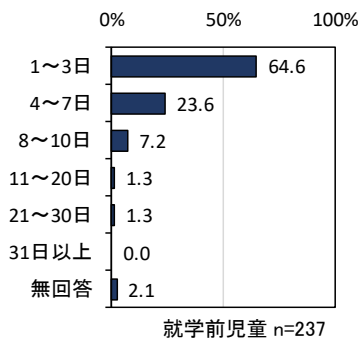
利用できなかった場合の対処方法については、「母親が休んだ」が79.4%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が43.6%、「父親が休んだ」が32.5%となっています。



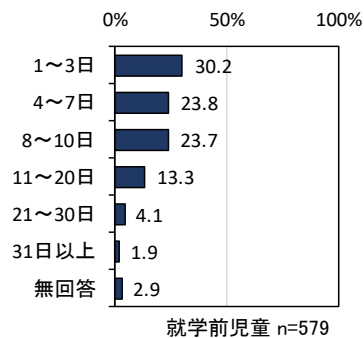
●対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

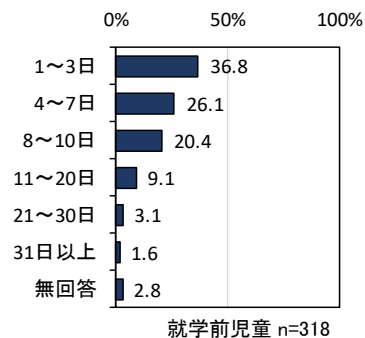
【父親が休んだ】



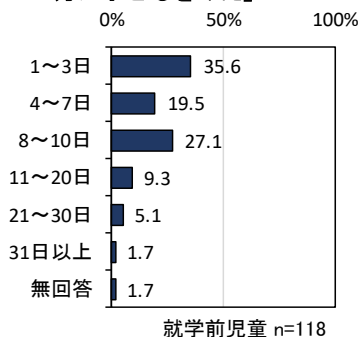
【母親が休んだ】



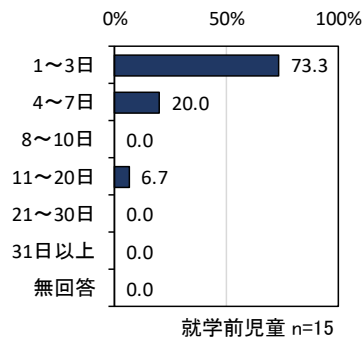
【親族・知人に子どもをみてもらった】



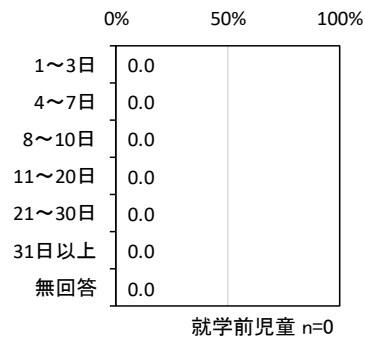
【父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた】



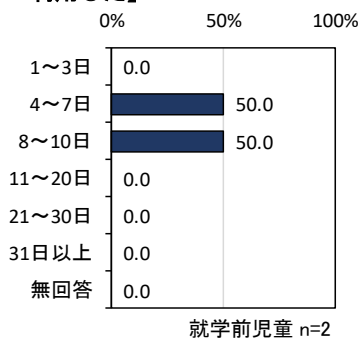
【病後児の保育を利用した】



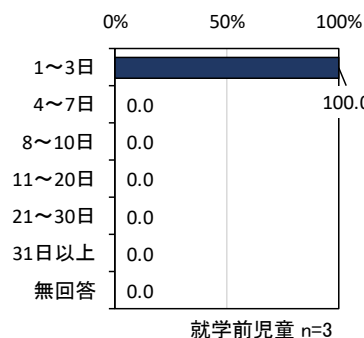
【ベビーシッターを利用した】



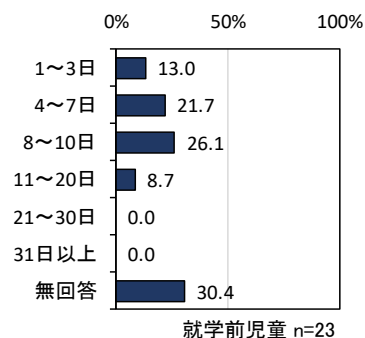
【ファミリー・サポート・センターを利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

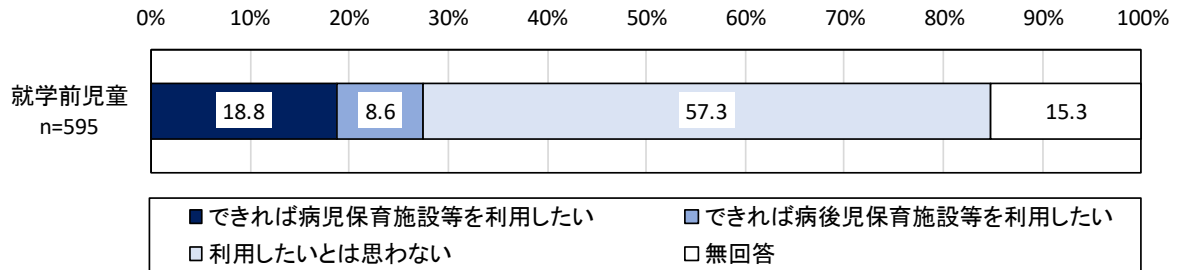


【その他】



問 23-2 問 23-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方にうかがいます。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(○は1つ、□内に数字をご記入ください。)

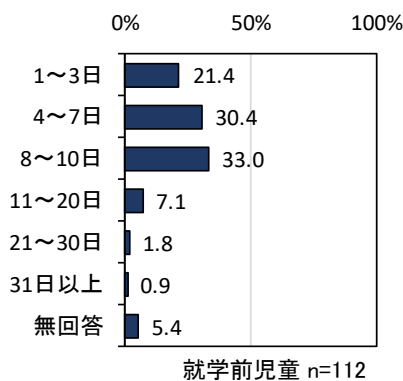
病児・病後児のための保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わない」が 57.3%で最も高く、次いで「できれば病児保育施設等を利用したい」が 18.8%、「できれば病後児保育施設等を利用したい」が 8.6%となっています。



● 『できれば病児保育施設等を利用したい』と回答した方の利用希望日数（年間）

利用希望日数は、「8～10日」が 33.0%で最も高く、次いで「4～7日」が 30.4%となっています。

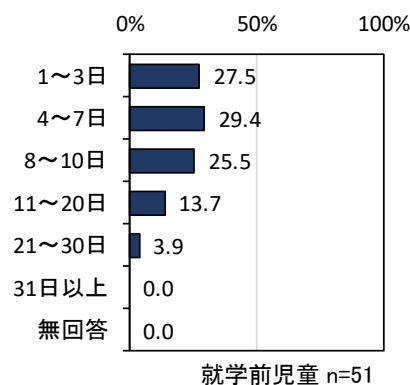
【利用希望日数（年間）】



● 『できれば病後児保育施設等を利用したい』と回答した方の利用希望日数（年間）

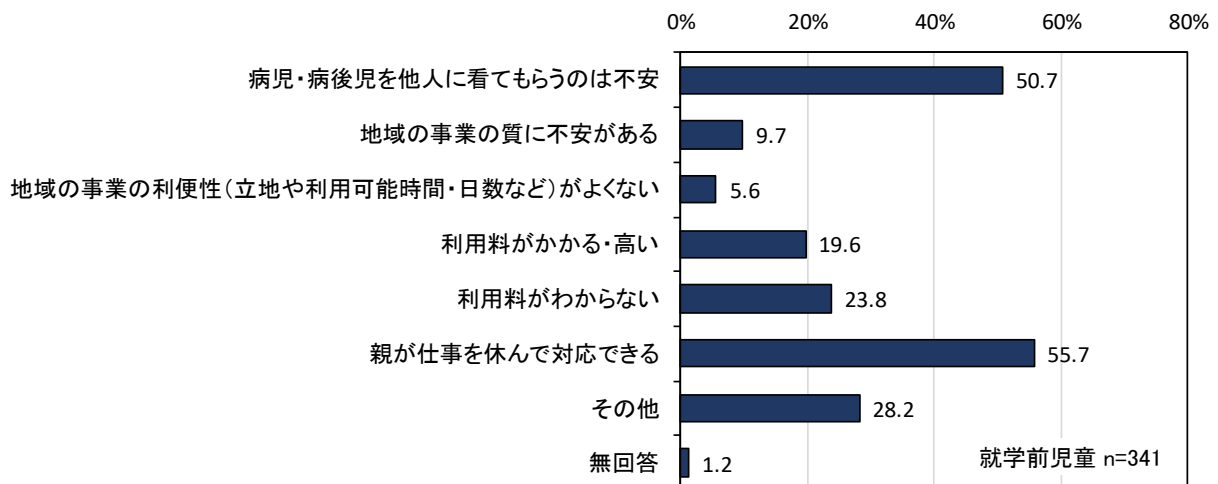
利用希望日数は、「4～7日」が 29.4%で最も高く、次いで「1～3日」が 27.5%となっています。

【利用希望日数（年間）】



問 23-3 問 23-2で「3. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。  
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応できる」が55.7%で最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が50.7%、「その他」が28.2%となっています。



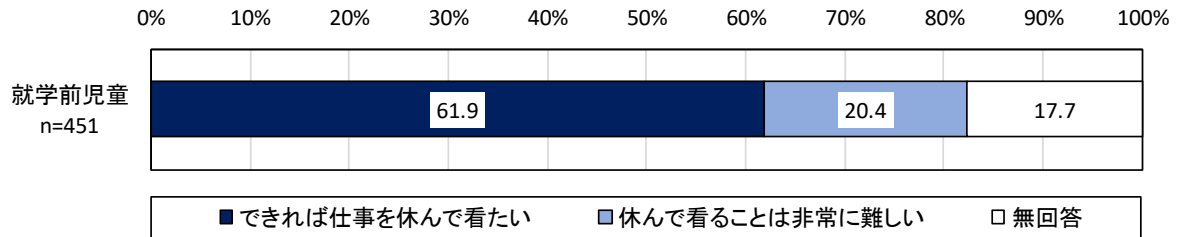


問 23-4 問 23-1 で「3」～「9」を回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。問 23-1 の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んで看たかった日数についてもご記入ください。

(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

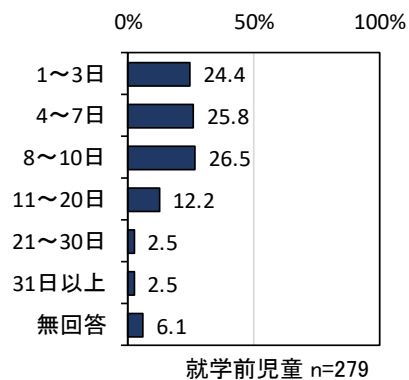
父母のいずれかが仕事を休んで看たいかについては、「できれば仕事を休んで看たい」が61.9%、「休んで看ることは非常に難しい」が20.4%となっています。



● 『できれば仕事を休んで看たい』と回答した方の希望日数（年間）

できれば仕事を休んで看たい希望日数については、「8～10日」が26.5%で最も高く、次いで「4～7日」が25.8%、「1～3日」が24.4%となっています。

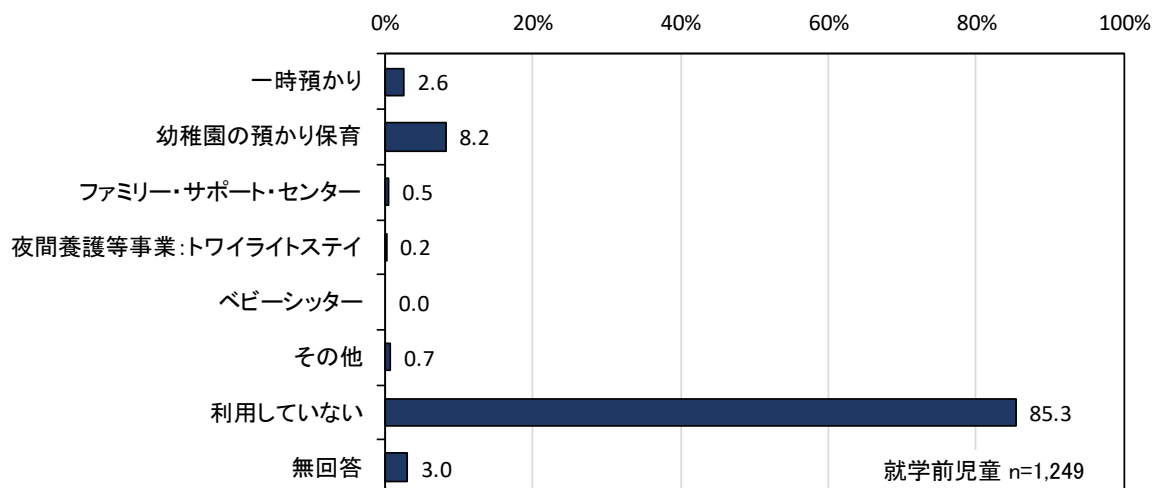
【希望日数（年間）】



## 9. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

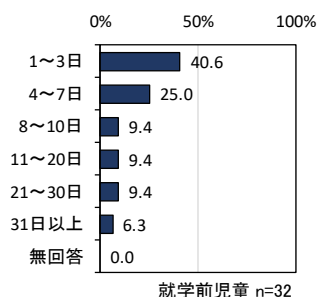
私用等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が85.3%で最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が8.2%、「一時預かり」が2.6%となっています。



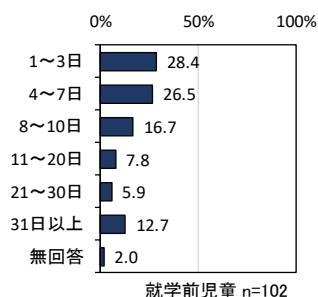
### ●事業別の年間利用日数

事業別の年間利用日数については、以下のとおりとなっています。

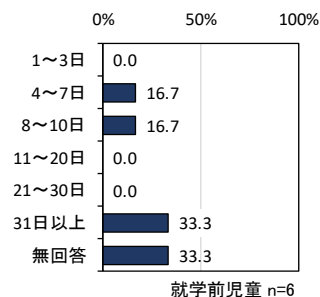
#### 【一時預かり】



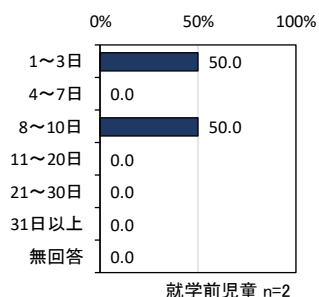
#### 【幼稚園の預かり保育】



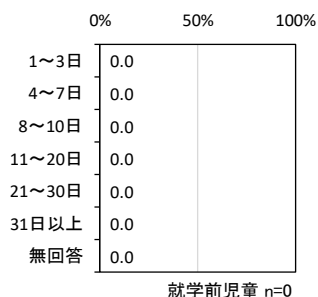
#### 【ファミリー・サポート・センター】



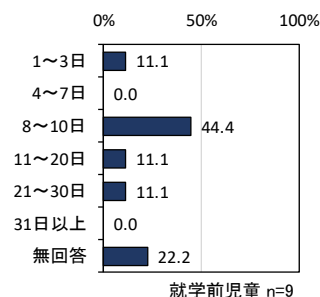
#### 【夜間養護等事業】



#### 【ベビーシッター】



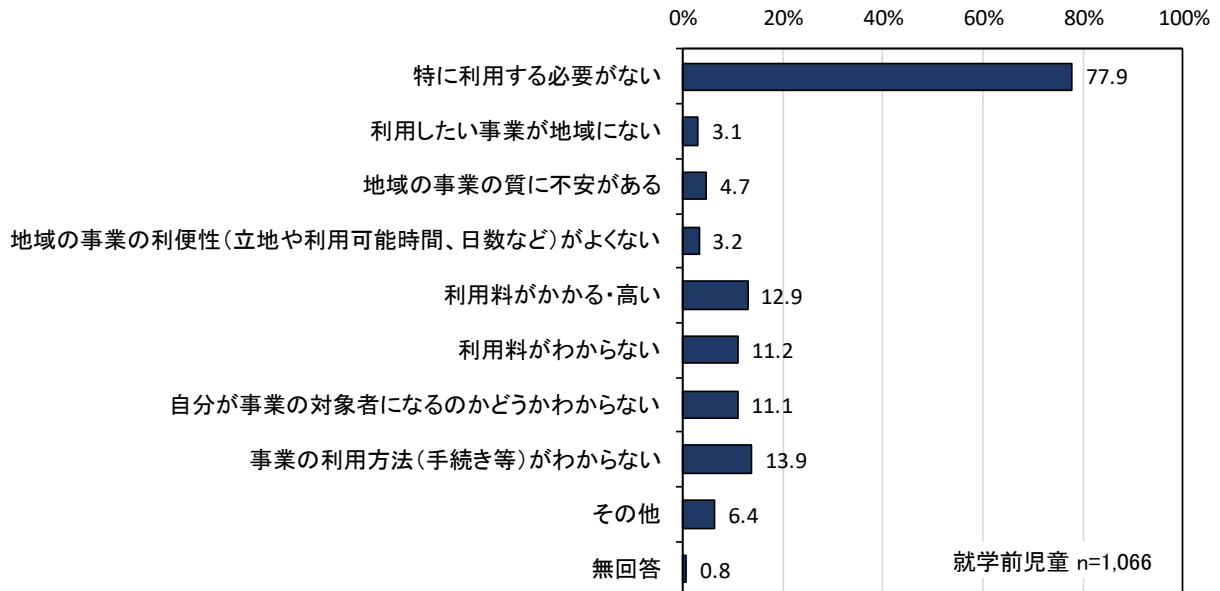
#### 【その他】



問 24-1 問 24 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

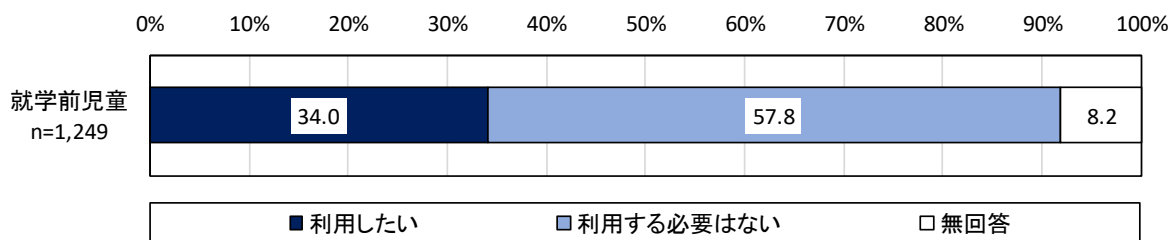
利用していない理由については、「特に利用する必要がない」が 77.9%で最も高く、次いで「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が 13.9%、「利用料がかかる・高い」が 12.9%となっています。



問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について選択し、必要な日数をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。  
(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 事業の利用希望

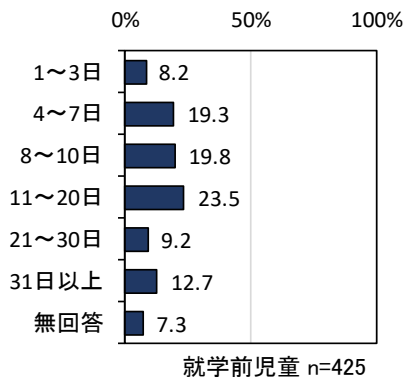
私用等の目的での事業の利用希望については、「利用したい」が 34.0%、「利用する必要はない」が 57.8%となっています。



●事業の利用希望日数（年間）

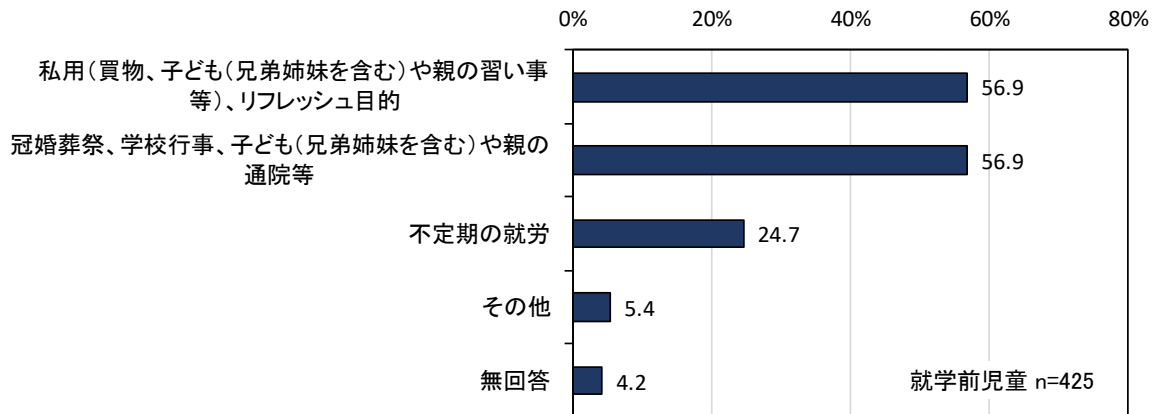
利用希望日数については、「11～20日」が 23.5%で最も高く、次いで「8～10日」が 19.8%、「4～7日」が 19.3%となっています。

【利用希望日数（年間）】



(2) 事業の利用目的

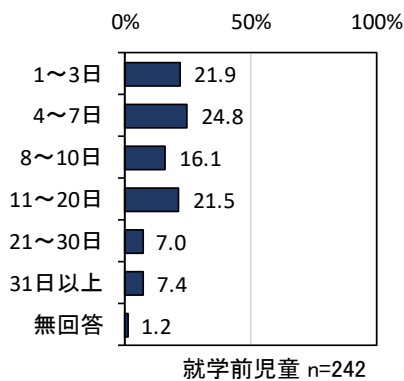
事業の利用目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」がともに 56.9%で最も高く、次いで「不特定の就労」が 24.7%となっています。



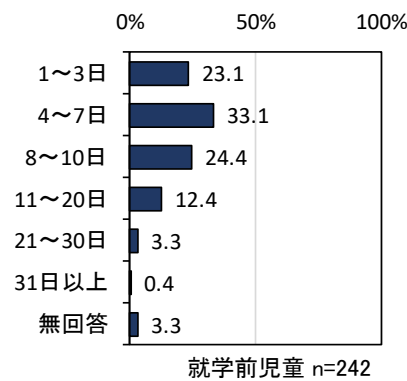
●利用目的別の希望日数（年間）

利用目的別の希望日数については、以下のとおりとなっています。

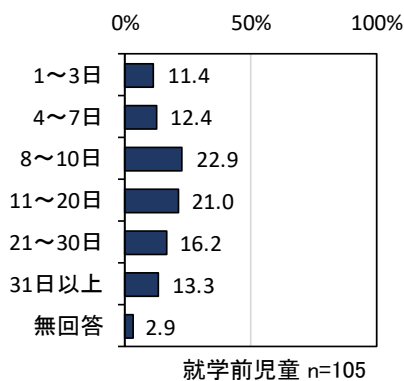
【私用、リフレッシュ目的】



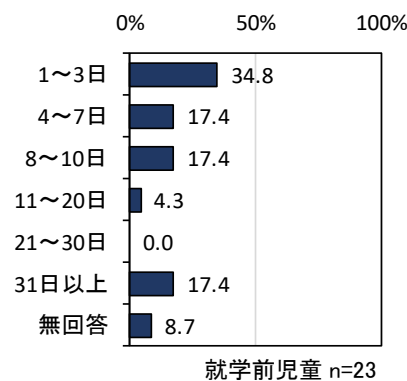
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不特定の就労】



【その他】

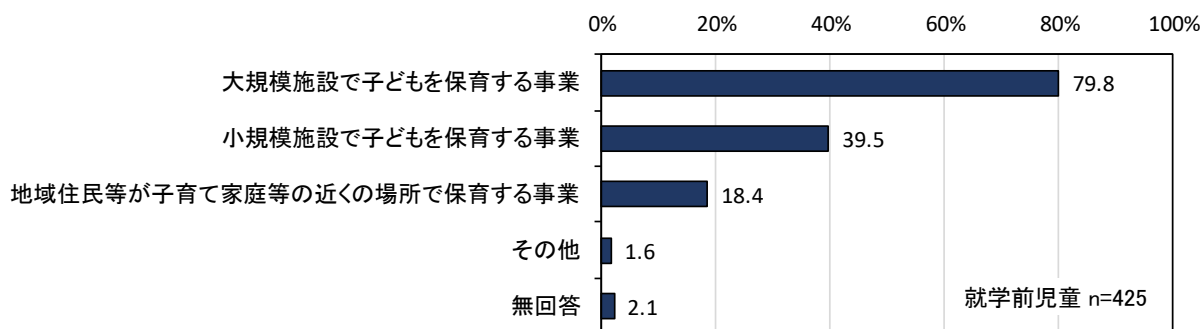


問 25-1 問 25 で「1. 利用したい」と回答した方にうかがいます。

問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。

(あてはまるものすべてに○)

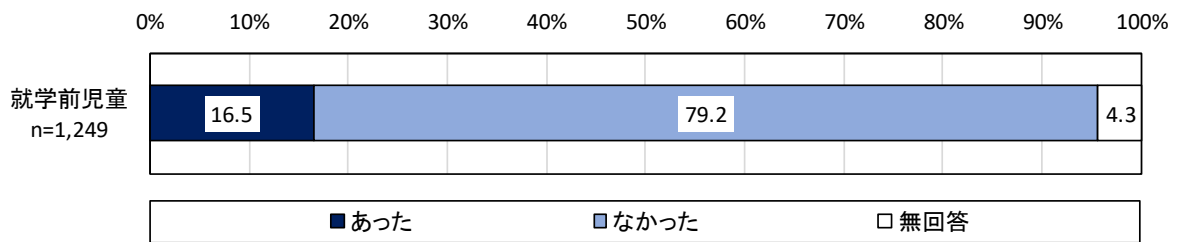
私用等の目的でお子さんを預ける場合の望ましい事業形態については、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 79.8%で最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 39.5%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が 18.4%となっています。



問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）はありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。）

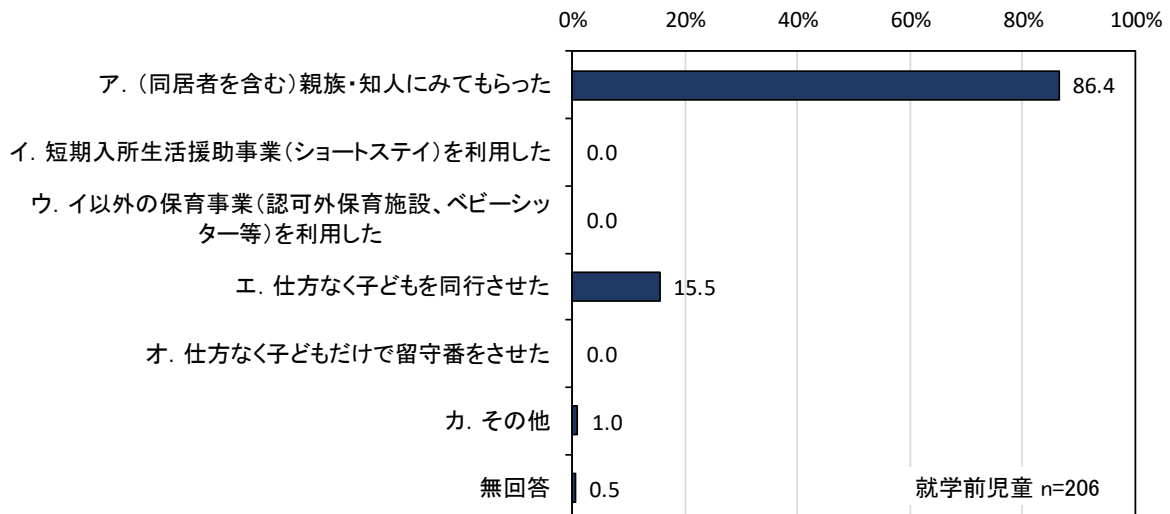
（1）家族以外にみてもらった有無

家族以外にみてもらった有無については、「あった」が16.5%、「なかった」が79.2%となっています。



（2）対処方法

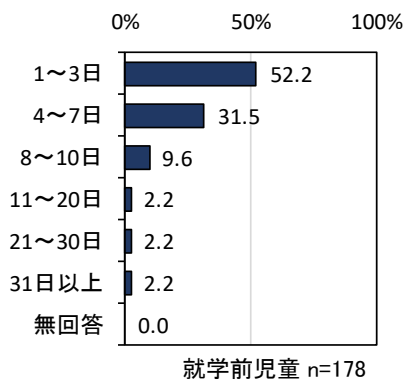
対処方法については、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」が86.4%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が15.5%、「その他」が1.0%となっています。



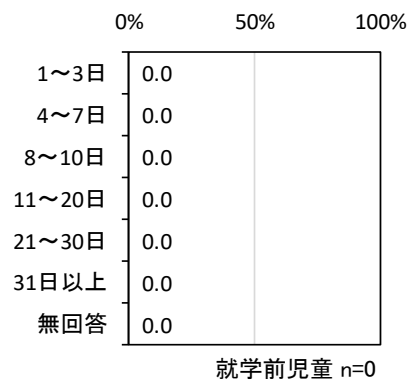
● 対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

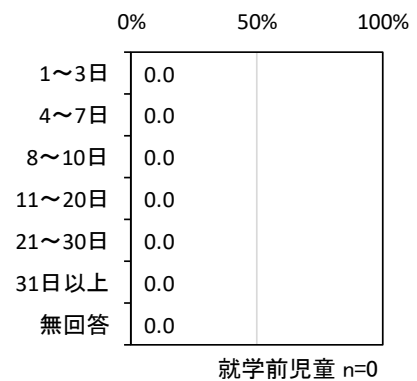
【親族・知人にみてもらった】



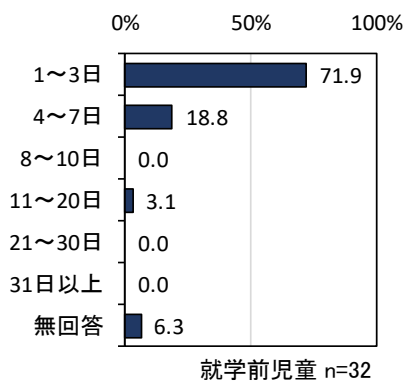
【短期入所生活援助事業】



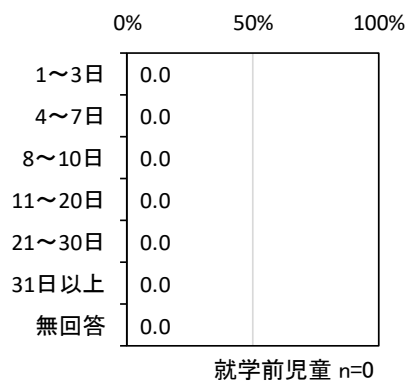
【認可外保育施設、ベビーシッター等】



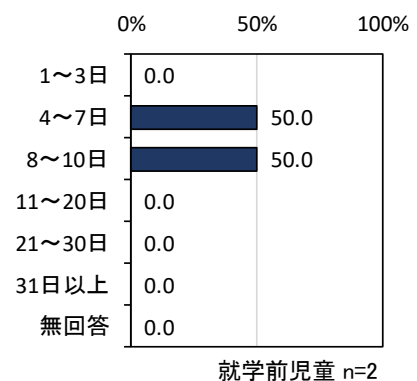
【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



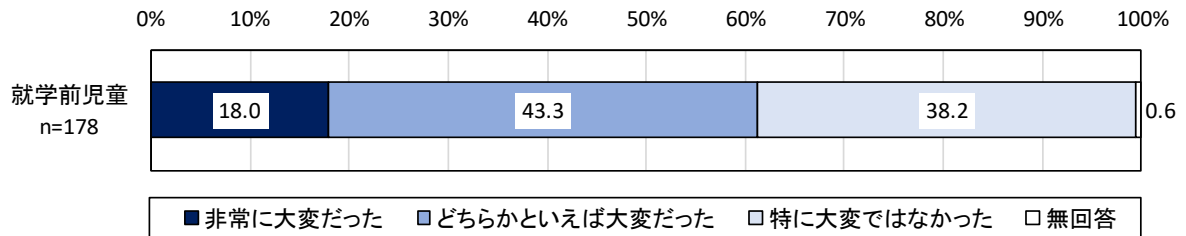
【その他】





問 26-1 問 26 で「ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方にうかがいます。その場合の状況はどうでしたか。(〇は1つ)

親族・知人にみてもらった場合の状況については、「どちらかといえば大変だった」が 43.3%で最も高く、次いで「特に大変ではなかった」が 38.2%、「非常に大変だった」が 18.0%となっています。



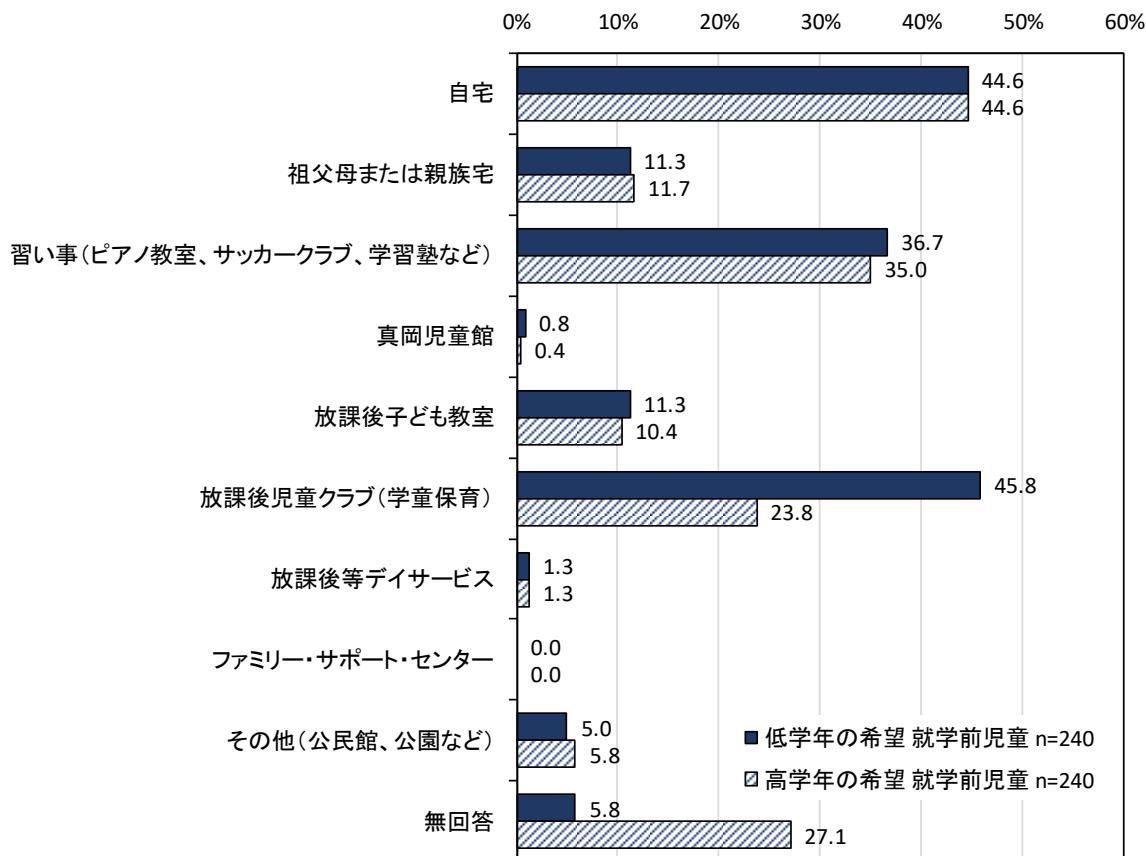
## 10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

※宛名のお子さんが5歳以上である方にうかがいます。

問 27 宛名のお子さんが小学校に入ったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものを選択し、それぞれ希望する週当たりの希望日数をご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間もご記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

低学年の希望する放課後の過ごし方については、「放課後児童クラブ（学童保育）」が45.8%で最も高く、次いで「自宅」が44.6%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が36.7%となっています。

高学年の希望する放課後の過ごし方については、「自宅」が44.6%で最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が35.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が23.8%となっています。

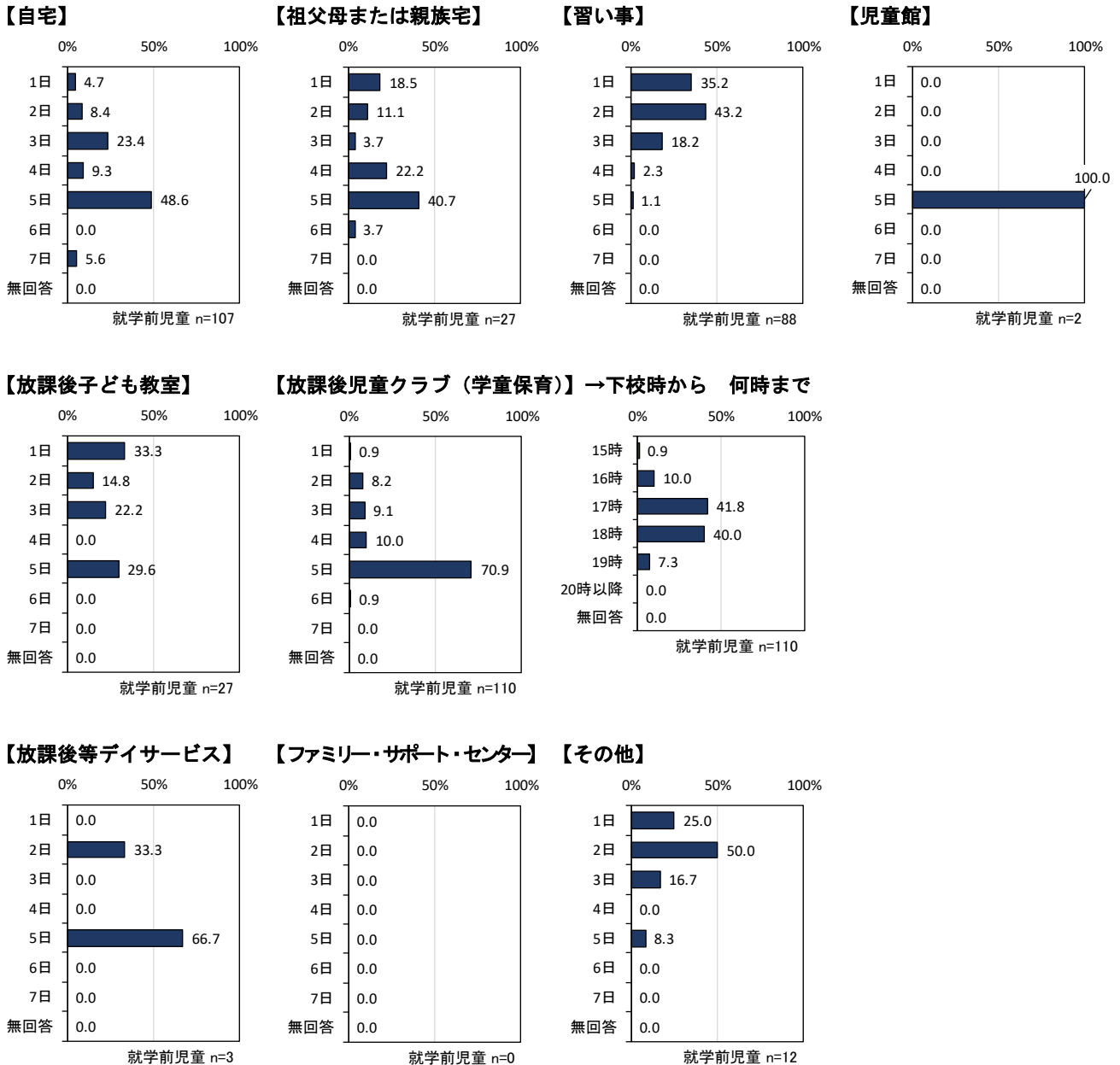


● 1週当たりの利用希望日数 低学年（1～3年生）

1週当たりの利用希望日数について、『放課後児童クラブ（学童保育）』をみると、「5日」が70.9%で最も高く、次いで「4日」が10.0%、「3日」が9.1%となっています。

また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「17時」が41.8%で最も高く、次いで「18時」が40.0%、「16時」が10.0%となっています。

その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。

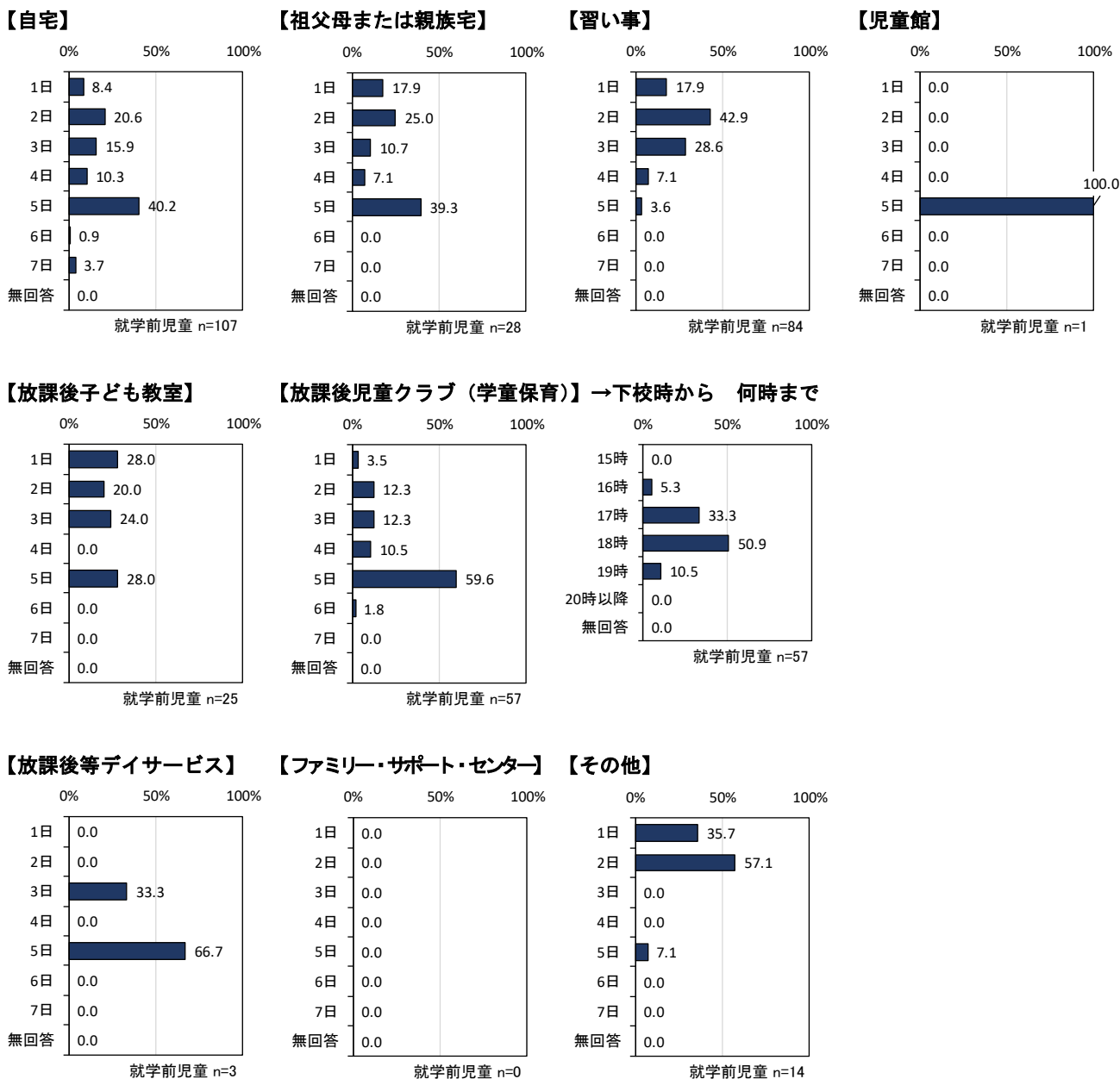


● 1週当たりの利用希望日数 高学年（4～6年生）

1週当たりの利用希望日数について、『放課後児童クラブ（学童保育）』をみると、「5日」が59.6%で最も高く、次いで「2日」、「3日」がともに12.3%、「4日」が10.5%となっています。

また、下校時から何時まで利用を希望するかについては、「18時」が50.9%で最も高く、次いで「17時」が33.3%、「19時」が10.5%となっています。

その他の1週当たりの利用希望日数は、以下のとおりとなっています。

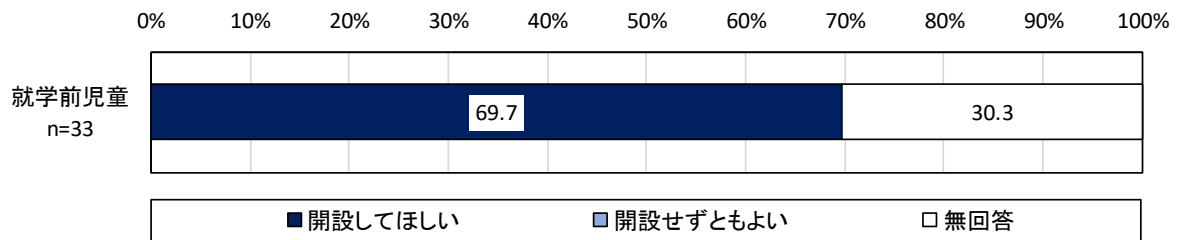


問 27-1 問 27 で「5. 放課後子ども教室」と回答した方にうかがいます。

現在放課後子ども教室は、真岡小学校、真岡東小学校の2校で開設していますが、宛名のお子さんについて、対象2校以外の学校でも開設希望がありますか。また、開設中の2校に通学予定の方は開設を継続することへの希望をお答えください。(〇は1つ)

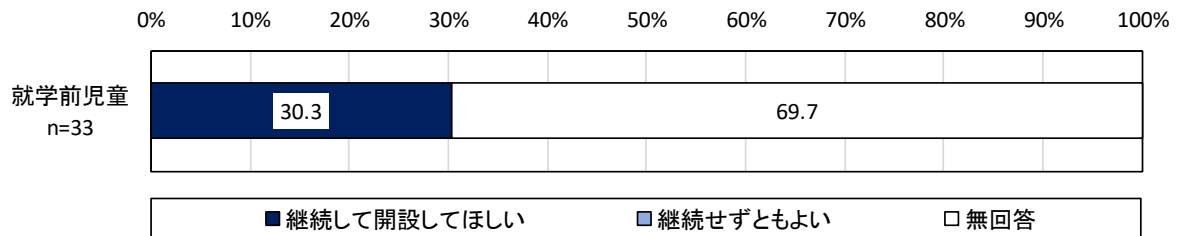
(1) 真岡小学校・真岡東小学校以外へ通学予定の方

真岡小学校・真岡東小学校以外へ通学予定の方の『放課後子ども教室』の開設希望については、「開設してほしい」が69.7%となっています。



(2) 真岡小学校・真岡東小学校へ通学予定の方

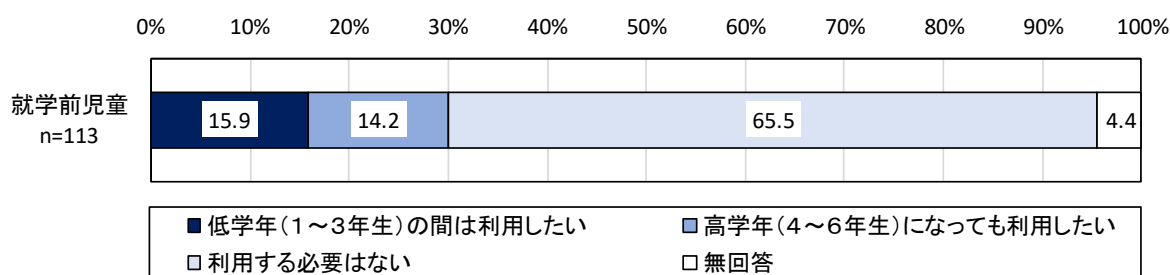
真岡小学校・真岡東小学校へ通学予定の方の『放課後子ども教室』の継続希望については、「継続して開設してほしい」が30.3%となっています。



問 27-2 問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」と回答した方にうかがいます。  
 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。  
 （それぞれ〇は1つ、口内に数字をご記入ください。）

**（1）土曜日の利用希望**

土曜日の利用希望については、「利用する必要はない」が65.5%で最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.9%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が14.2%となっています。

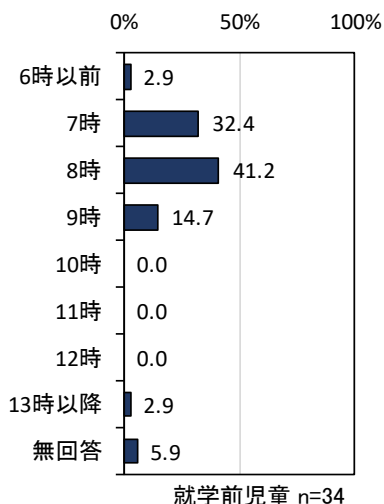


**●土曜日の利用を希望する方の利用希望**

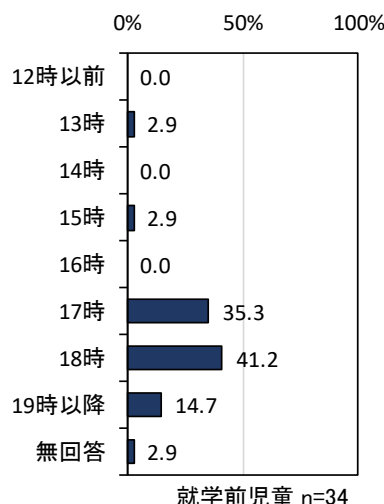
希望開始時間は、「8時」が41.2%で最も高く、次いで「7時」が32.4%となっています。

また、希望終了時間は、「18時」が41.2%で最も高く、次いで「17時」が35.3%となっています。

**【希望開始時間】**

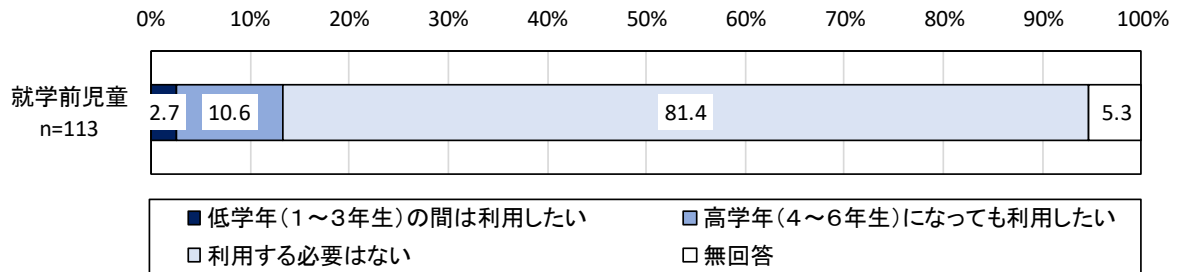


**【希望終了時間】**



(2) 日曜日・祝日の利用希望

日曜日・祝日の利用希望については、「利用する必要はない」が 81.4%で最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 10.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 2.7%となっています。

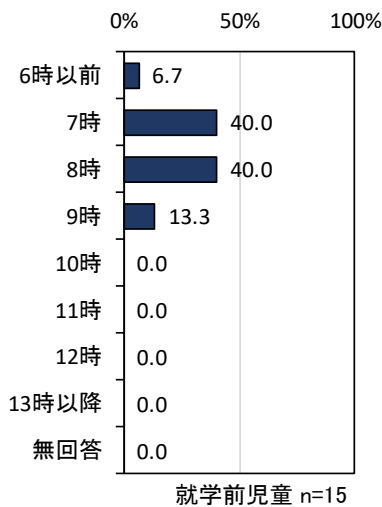


●日曜日・祝日の利用を希望する方の利用希望

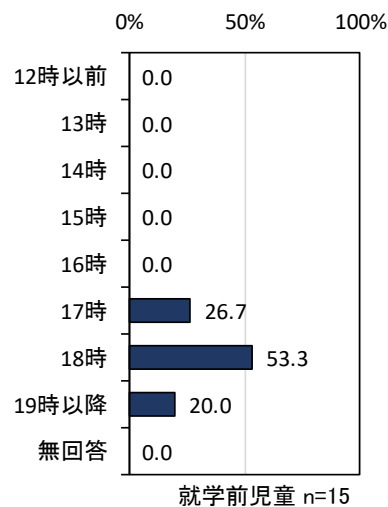
希望開始時間は、「7時」、「8時」がともに 40.0%で最も高く、次いで「9時」が 13.3%となっています。

また、希望終了時間は、「18時」が 53.3%で最も高く、次いで「17時」が 26.7%となっています。

【希望開始時間】

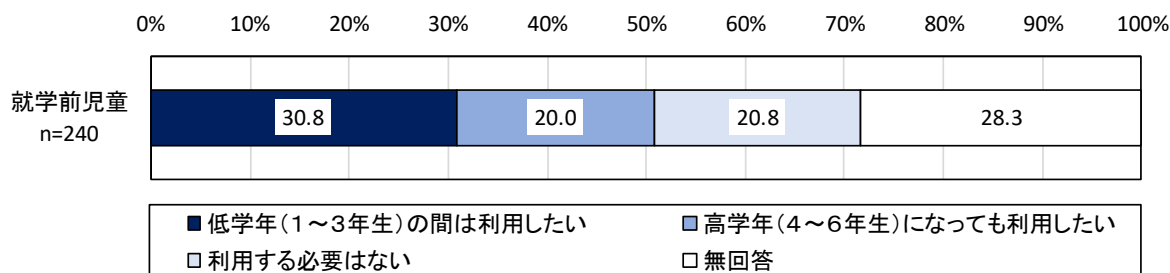


【希望終了時間】



問 28 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。  
 (〇は1つ、口内に数字をご記入ください。)

長期休暇中の利用希望については、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 30.8%で最も高く、次いで「利用する必要はない」が 20.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 20.0%となっています。

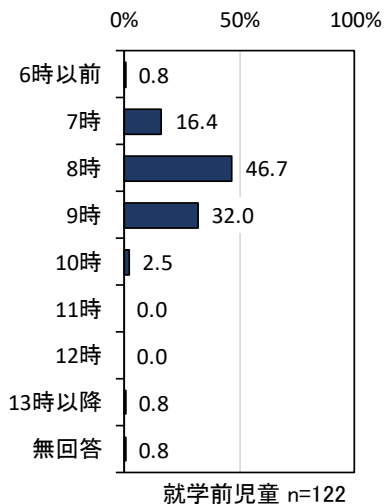


●長期休暇中の利用を希望する方の利用希望

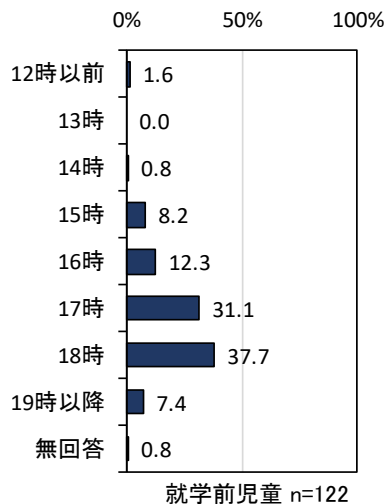
希望開始時間は、「8時」が 46.7%で最も高く、次いで「9時」が 32.0%となっています。

また、希望終了時間は、「18時」が 37.7%で最も高く、次いで「17時」が 31.1%となっています。

【希望開始時間】



【希望終了時間】





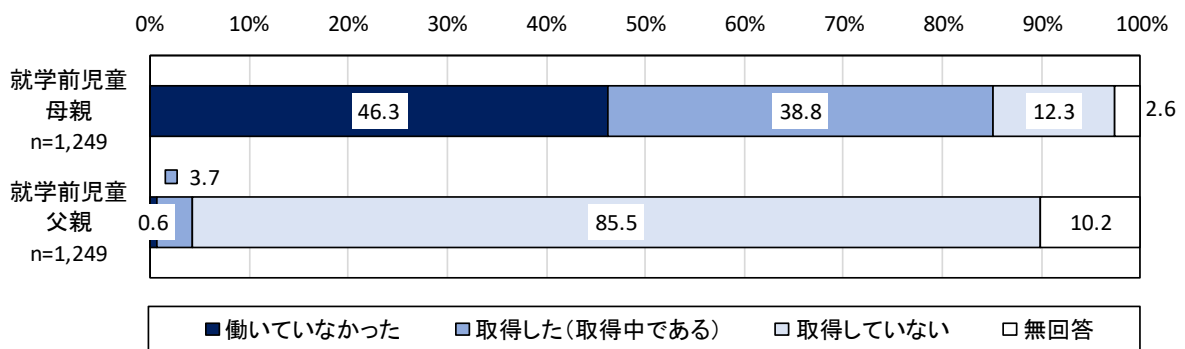
## 1 1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。また、取得していない方はその理由をお答えください。  
 (それぞれ〇は1つ、取得していない理由はあてはまるものすべてに〇)

### (1) 育児休業の取得状況

就労している父母の育児休業の取得状況について、「取得した(取得中である)」をみると、母親が38.8%、父親が3.7%となっています。

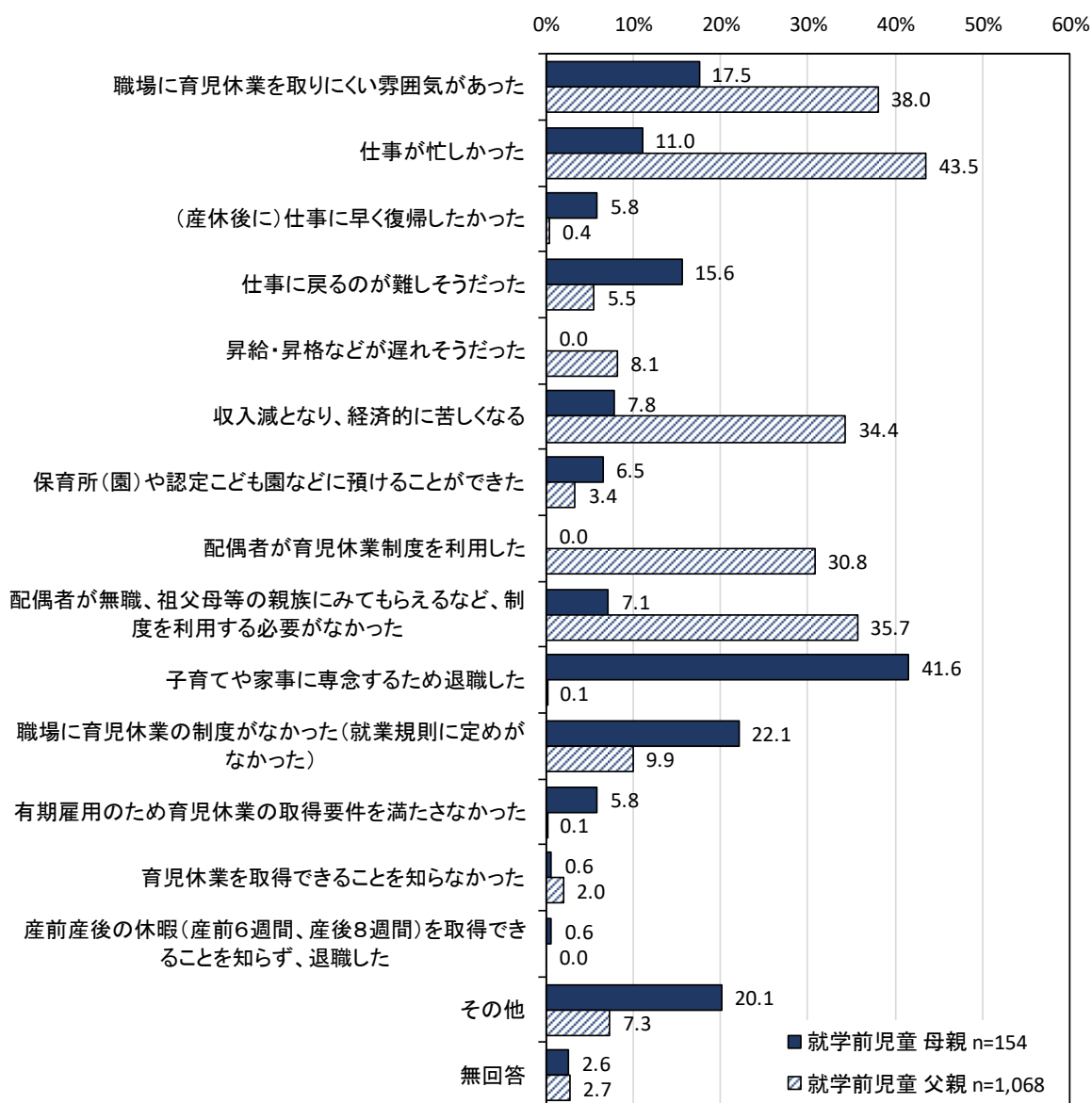
また、「取得していない」をみると、母親が12.3%、父親が85.5%となっています。



(2) 育児休業を取得していない理由

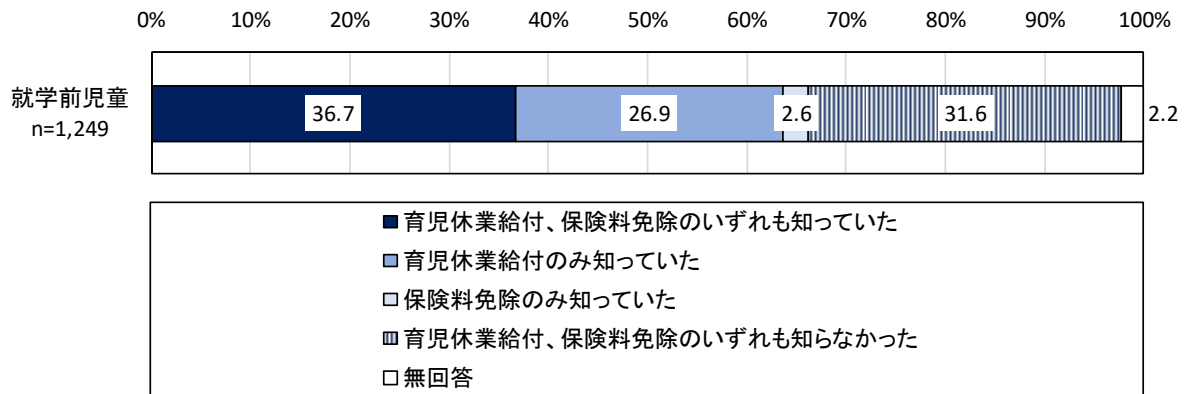
母親が育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」が41.6%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.1%、「その他」が20.1%となっています。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」が43.5%で最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.0%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が35.7%となっています。



問 29-1 「育児休業給付」、「保険料免除」の仕組みをご存知でしたか。(〇は1つ)

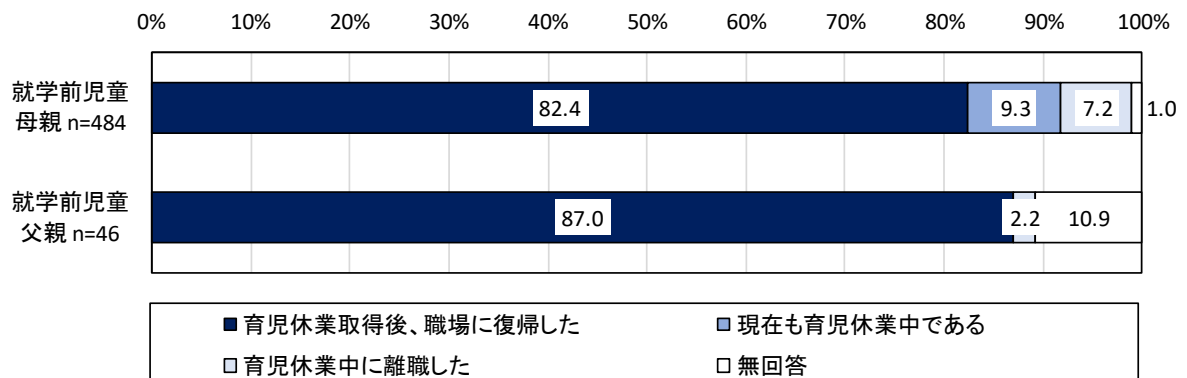
育児休業給付や保険料免除の仕組みに対する認知度については、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が36.7%で最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が31.6%、「育児休業給付のみ知っていた」が26.9%となっています。



問 29-2 問 29で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。  
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ〇は1つ)

母親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が82.4%で最も高く、次いで「現在も育児休業中である」が9.3%、「育児休業中に離職した」が7.2%となっています。

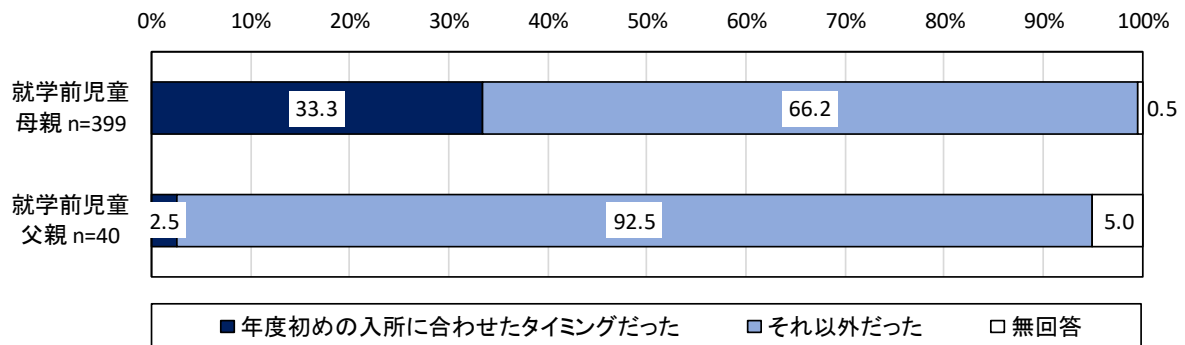
父親の育児休業取得後の職場復帰については、「育児休業取得後、職場に復帰した」が87.0%で最も高く、次いで「育児休業中に離職した」が2.2%となっています。



問 29-3 問 29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所（園）入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（それぞれ〇は1つ）

母親の育児休業からの復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が33.3%、「それ以外だった」が66.2%となっています。

父親の育児休業からの復帰時期については、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が2.5%、「それ以外だった」が92.5%となっています。



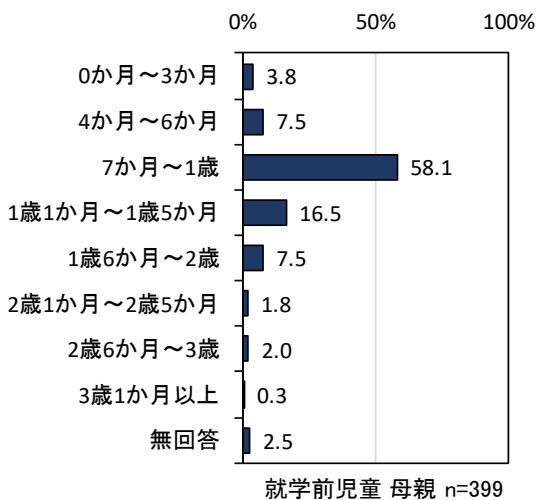
問 29-4 問 29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。  
 (それぞれ口内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。)

(1) 母親の実際の復帰時期・希望の復帰時期

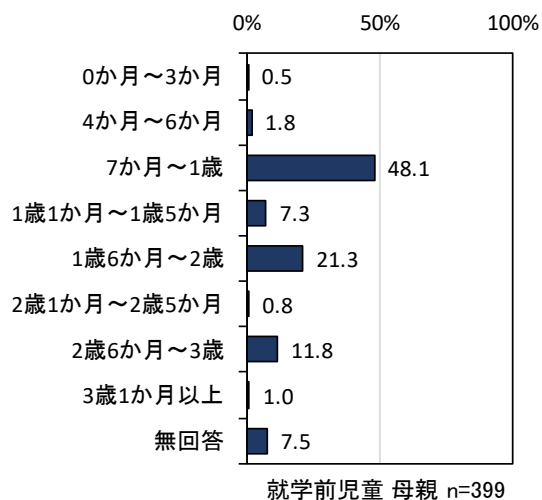
母親の実際の復帰時期については、「7か月～1歳」が58.1%で最も高く、次いで「1歳1か月～1歳5か月」が16.5%、「4か月～6か月」、「1歳6か月～2歳」がともに7.5%となっています。

母親の希望の復帰時期については、「7か月～1歳」が48.1%で最も高く、次いで「1歳6か月～2歳」が21.3%、「2歳6か月～3歳」が11.8%となっています。

【母親の実際の復帰時期】



【母親の希望の復帰時期】

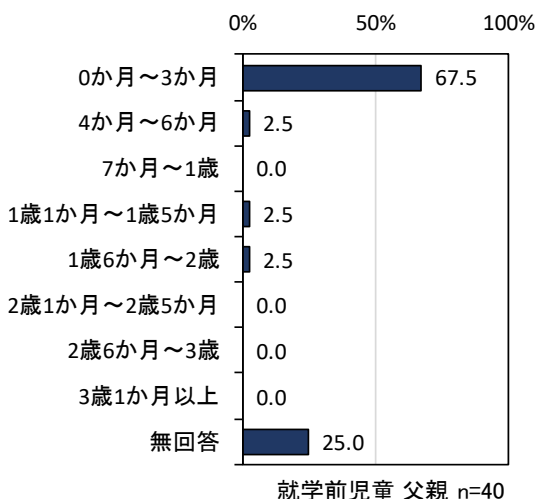


(2) 父親の実際の復帰時期・希望の復帰時期

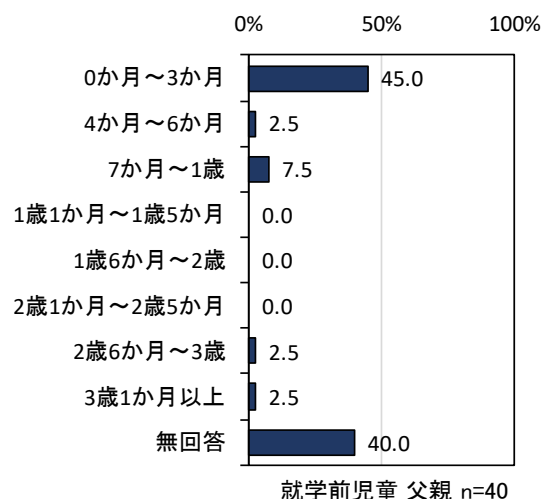
父親の実際の復帰時期については、「0か月～3か月」が67.5%で最も高くなっています。

父親の希望の復帰時期については、「0か月～3か月」が45.0%で最も高く、次いで「7か月～1歳」が7.5%となっています。

【父親の実際の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

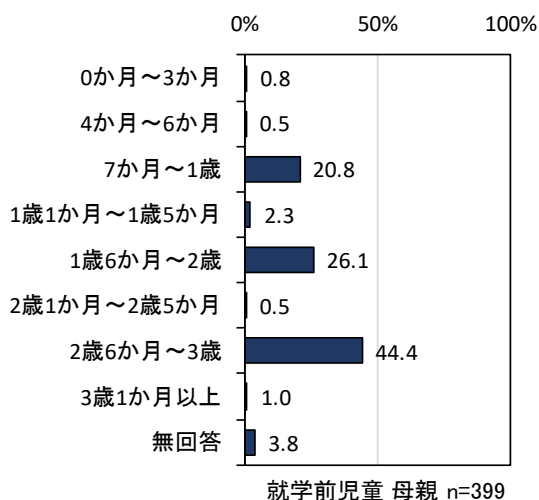


問 29-5 問 29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。(それぞれ口内に希望の時期をご記入ください。)

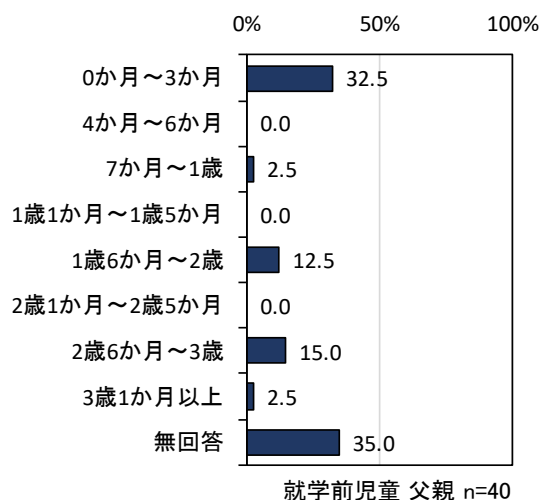
3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、母親が希望する復帰時期については、「2歳6か月～3歳」が44.4%で最も高く、次いで「1歳6か月～2歳」が26.1%、「7か月～1歳」が20.8%となっています。

3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、父親が希望する復帰時期については、「0か月～3か月」が32.5%で最も高く、次いで「2歳6か月～3歳」が15.0%、「1歳6か月～2歳」が12.5%となっています。

【母親の希望の復帰時期】



【父親の希望の復帰時期】

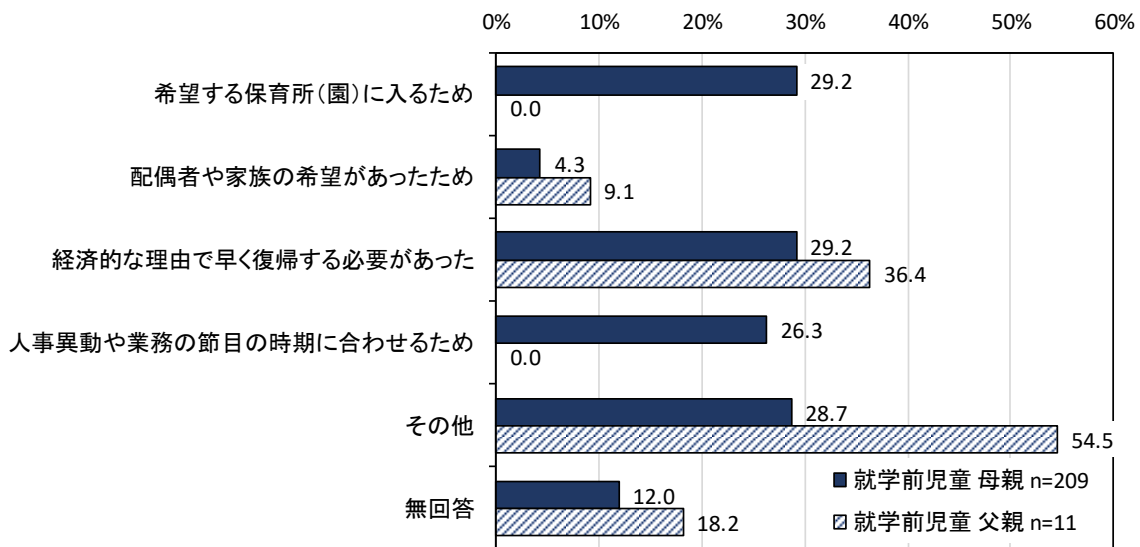


問 29-6 問 29-4で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。  
希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。（それぞれあてはまるものすべてに○）

(1) 希望より早く復帰した方

母親については、「希望する保育所（園）に入るため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」がともに29.2%で最も高く、次いで「その他」が28.7%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が26.3%となっています。

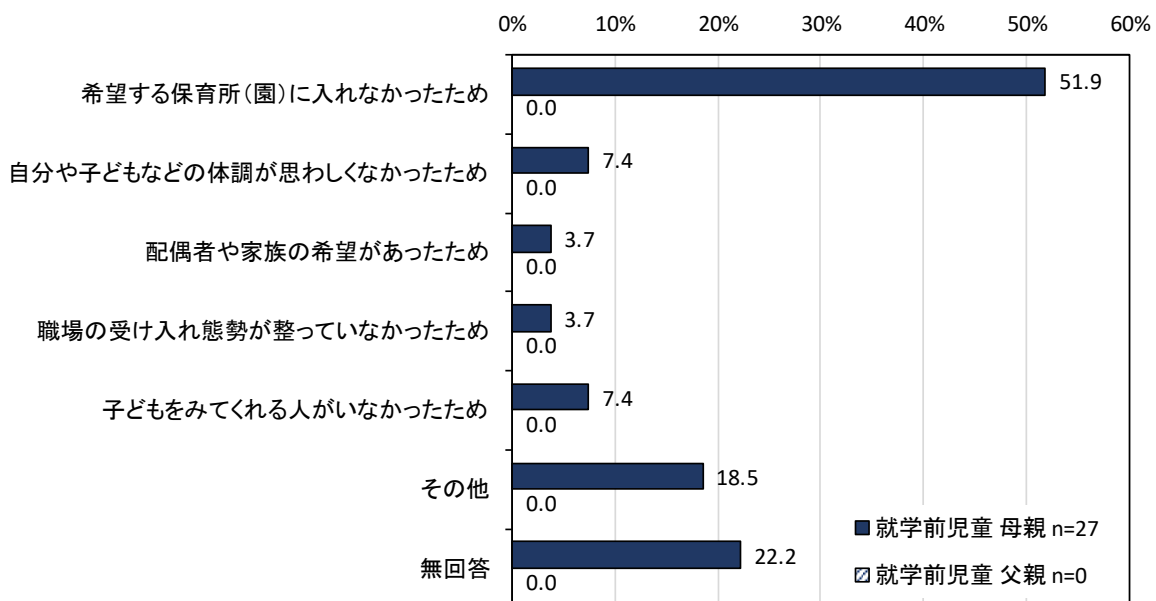
父親については、該当する回答者は11人で、「配偶者や家族の希望があったため」が1件、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が4件、「その他」が6件、「無回答」が2件となっています。



(2) 希望より遅く復帰した方

母親については、「希望する保育所（園）に入れなかったため」が51.9%で最も高く、次いで「その他」が18.5%となっています。

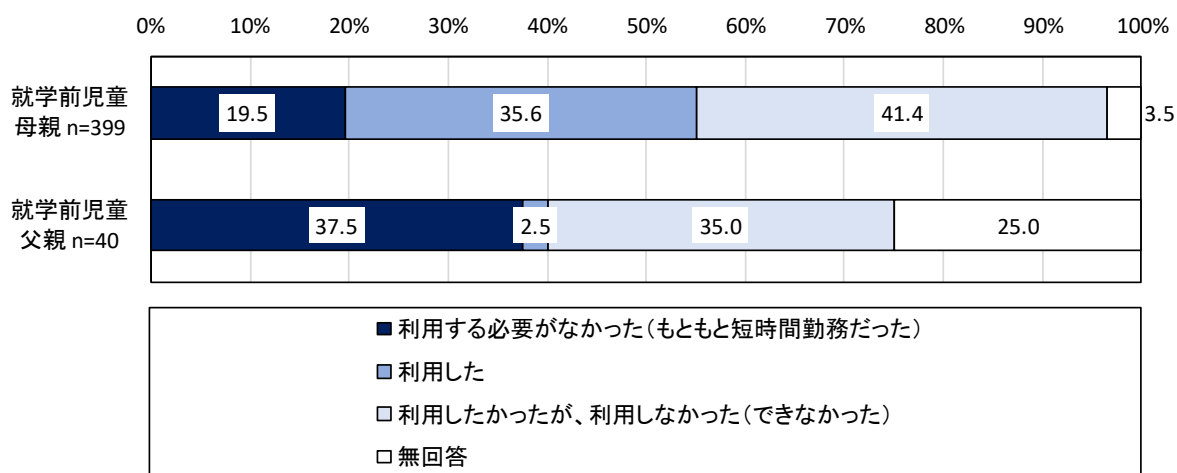
父親については、該当する回答者はいませんでした。



問 29-7 問 29-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。  
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ〇は1つ)

母親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」が41.4%で最も高く、次いで「利用した」が35.6%、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった）」が19.5%となっています。

父親の短時間勤務制度の利用状況については、「利用する必要がなかった（もともと短時間勤務だった）」が37.5%で最も高く、次いで「利用しなかったが、利用しなかった（できなかった）」が35.0%、「利用した」が2.5%となっています。

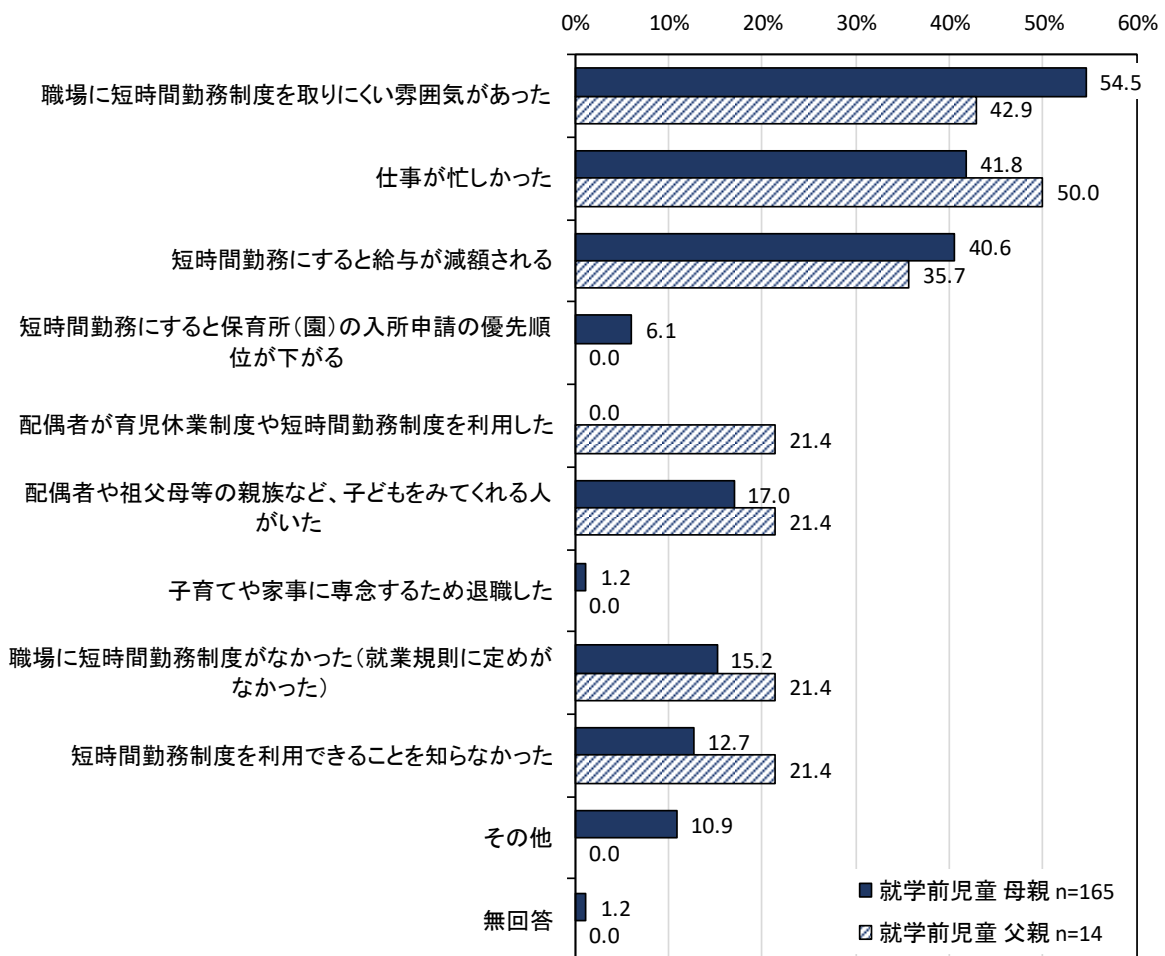




問 29-8 問 29-7で「3」（利用しなかった、できなかった）と回答した方にうかがいます。  
 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。  
 （それぞれあてはまるものすべてに○）

母親が短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が54.5%で最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が41.8%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が40.6%となっています。

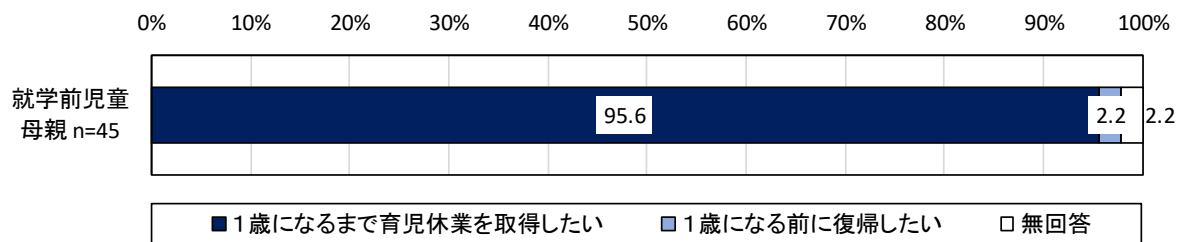
父親の短時間勤務制度を利用しなかった理由については、「仕事が忙しかった」が50.0%で最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が42.9%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が35.7%となっています。



問 29-9 問 29-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。  
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ〇は1つ)

母親が職場に復帰する際、必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が95.6%、「1歳になる前に復帰したい」が2.2%となっています。

父親については、該当する回答者はいませんでした。

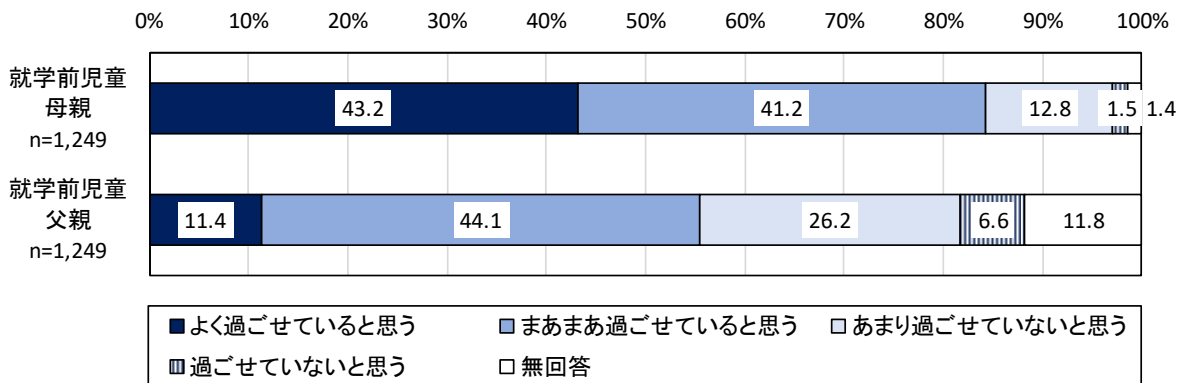


## 12. 暮らしやお子さんのことについて

問 30 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。(それぞれ〇は1つ)

母親がお子さんと過ごす時間については、「よく過ごせていると思う」が 43.2%で最も高く、次いで「まあまあ過ごせていると思う」が 41.2%、「あまり過ごせていないと思う」が 12.8%となっています。

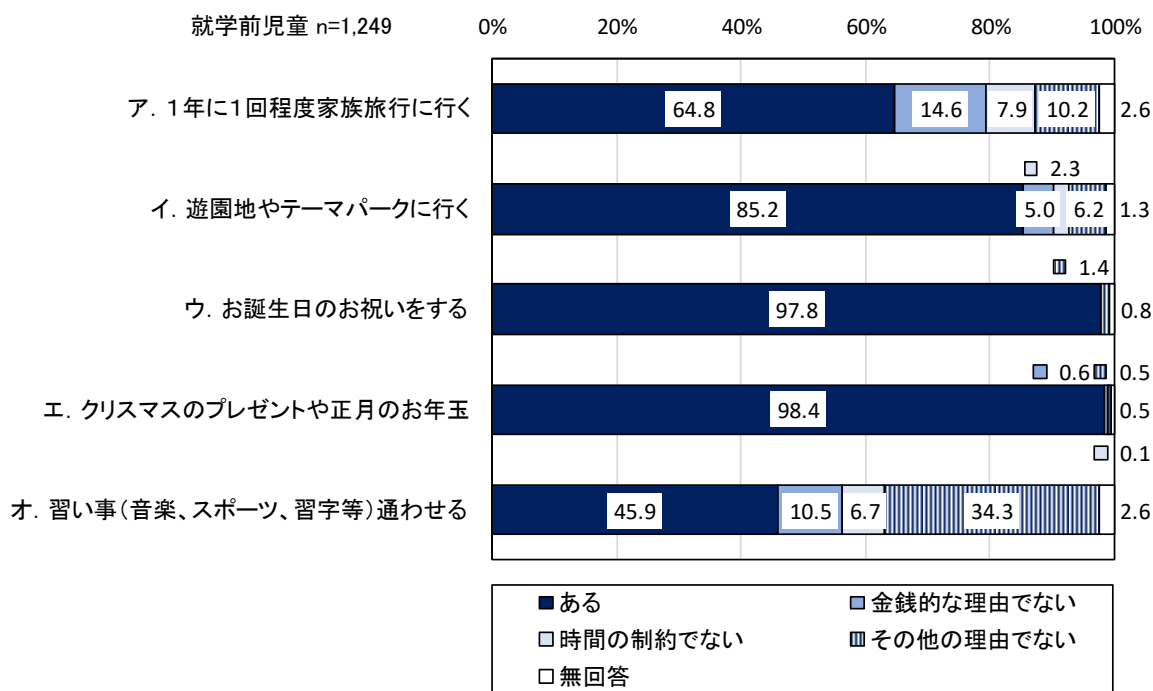
父親がお子さんと過ごす時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が 44.1%で最も高く、次いで「あまり過ごせていないと思う」が 26.2%、「よく過ごせていると思う」が 11.4%となっています。



問 31 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お子さんと次のような体験をしましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

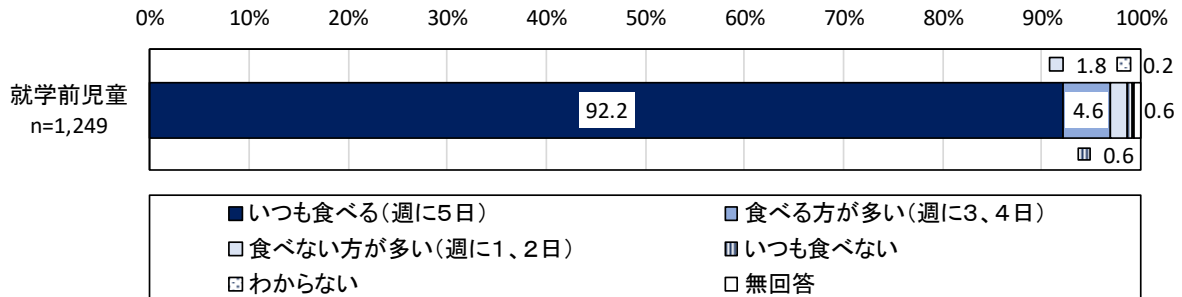
過去1年間の体験について、「ある」をみると、『エ. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉』が98.4%で最も高く、次いで『ウ. お誕生日のお祝いをする』が97.8%となっています。

一方で、「金銭的な理由でない」をみると、『ア. 1年に1回程度家族旅行に行く』が14.6%で最も高くなっています。



問32 お子さんは、平日に毎日朝食を食べていますか。(〇は1つ)

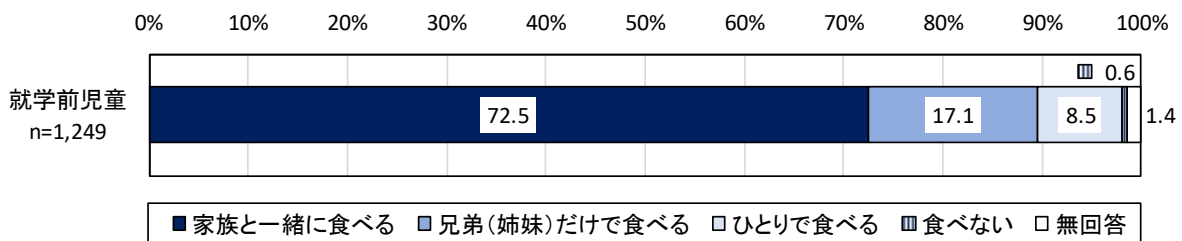
平日の朝食については、「いつも食べる(週に5日)」が92.2%で最も高く、次いで「食べる方が多い(週に3、4日)」が4.6%、「食べない方が多い(週に1、2日)」が1.8%となっています。



問33 お子さんは、ふだん家族と一緒に食事をしていきますか。平日と休日の「朝食」と「夕食」について、下の表(選択肢)から番号を選んでそれぞれの欄にご記入ください。(それぞれに選択肢を1つご記入ください。)

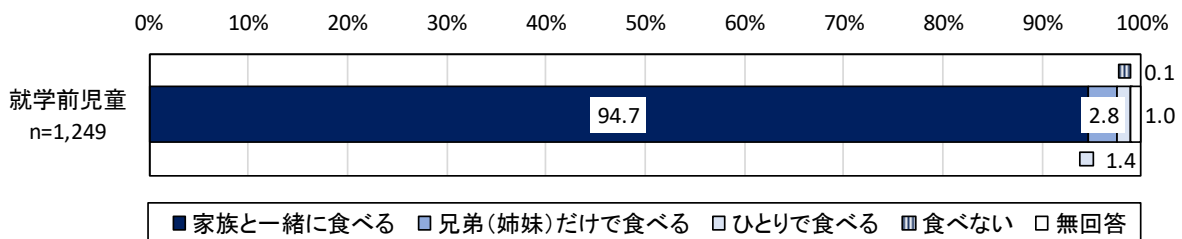
●平日の朝食

平日の朝食の状況については、「家族と一緒に食べる」が72.5%で最も高く、次いで「兄弟(姉妹)だけで食べる」が17.1%、「ひとりで食べる」が8.5%となっています。



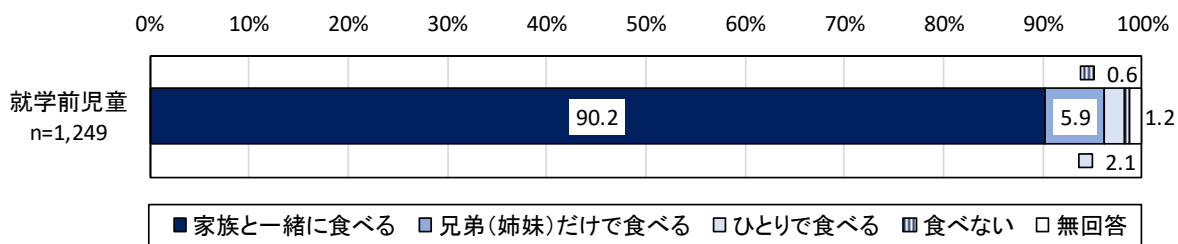
●平日の夕食

平日の夕食の状況については、「家族と一緒に食べる」が94.7%で最も高く、次いで「兄弟(姉妹)だけで食べる」が2.8%、「ひとりで食べる」が1.4%となっています。



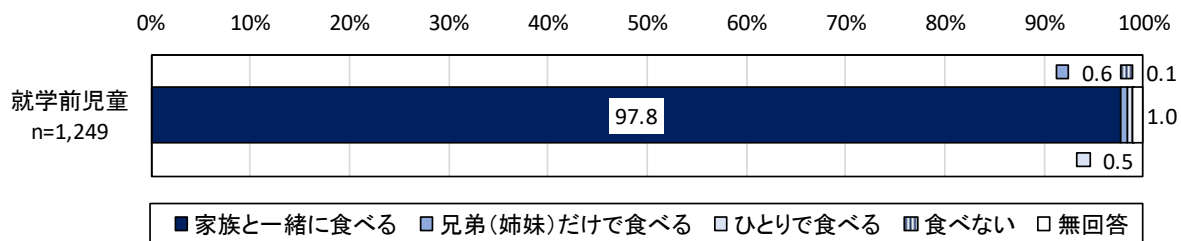
● 休日の朝食

休日の朝食の状況については、「家族と一緒に食べる」が 90.2%で最も高く、次いで「兄弟（姉妹）だけで食べる」が 5.9%、「ひとりで食べる」が 2.1%となっています。



● 休日の夕食

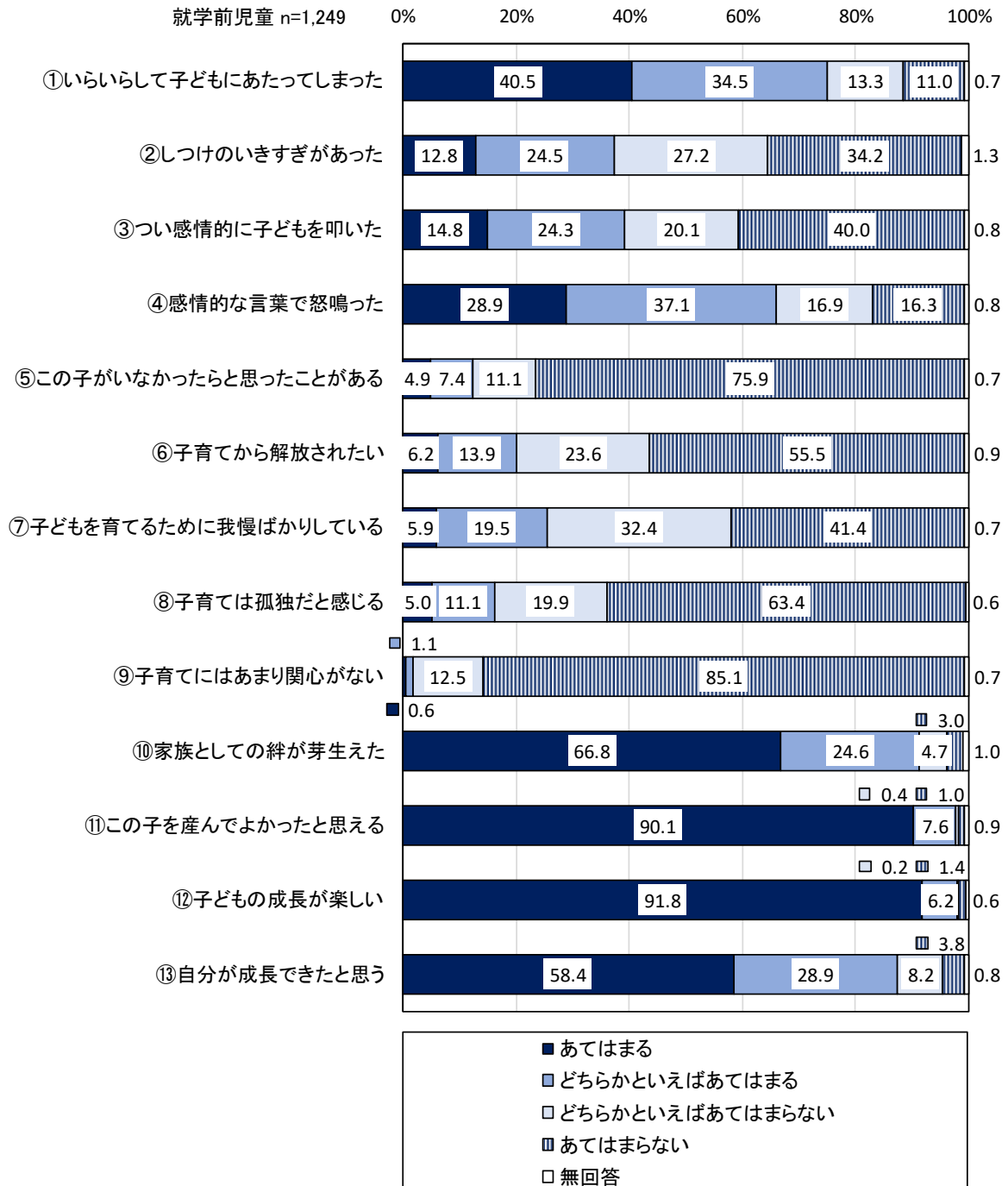
休日の夕食の状況については、「家族と一緒に食べる」が 97.8%で最も高く、次いで「兄弟（姉妹）だけで食べる」が 0.6%、「ひとりで食べる」が 0.5%となっています。



問 34 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。  
(それぞれ0は1つ)

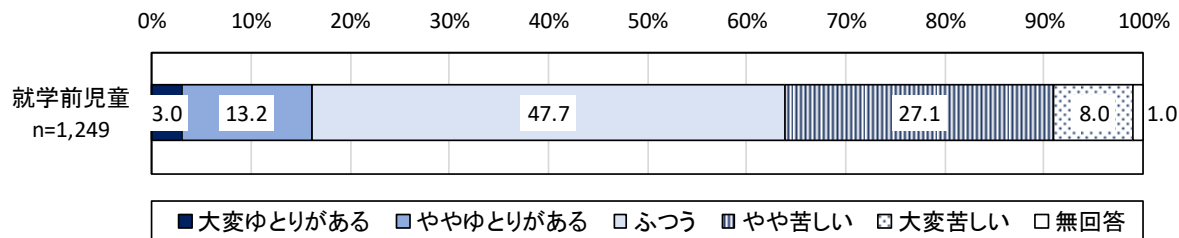
子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『⑫子どもの成長が楽しい』が91.8%で最も高く、次いで『⑪この子を産んでよかったと思える』が90.1%となっています。

一方で、「あてはまらない」をみると、『⑨子育てにはあまり関心がない』が85.1%で最も高く、次いで『⑤この子がいなかったらと思ったことがある』が75.9%となっています。



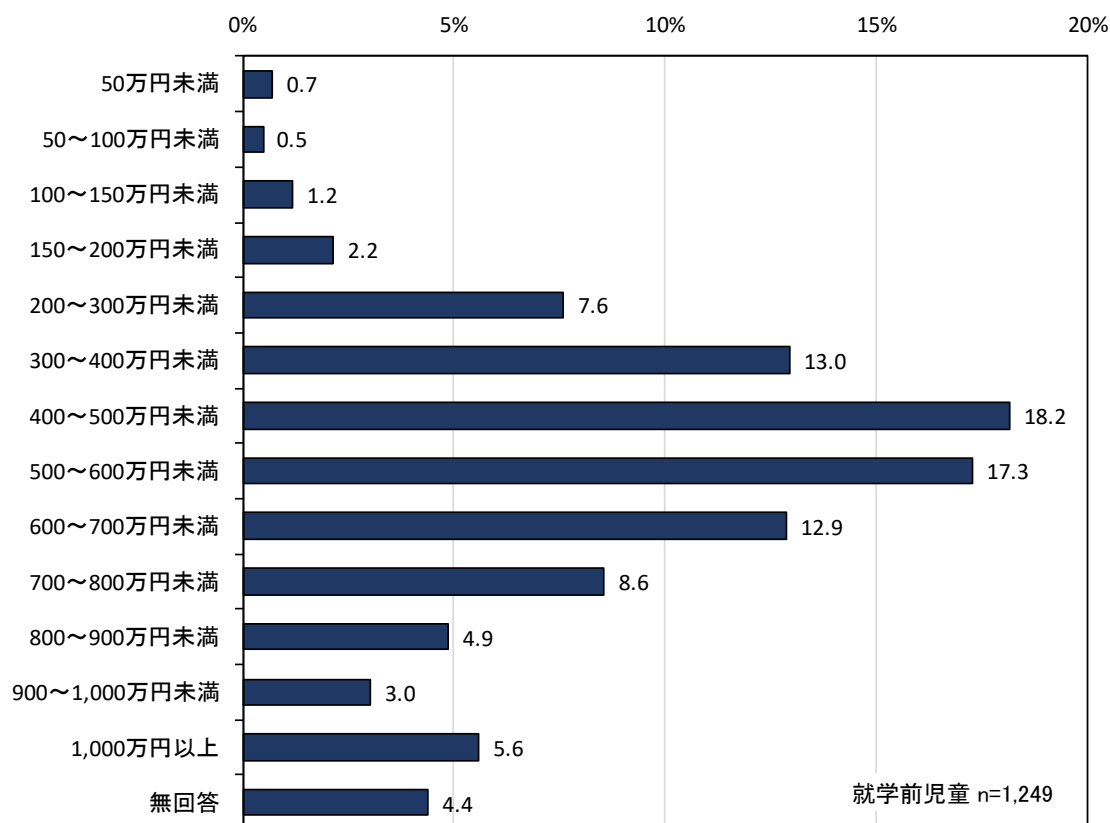
問 35 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済状況については、「ふつう」が47.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が27.1%、「ややゆとりがある」が13.2%となっています。



問 36 全世帯員の前年度の収入合計額（税込）はおよそいくらでしたか。(〇は1つ)

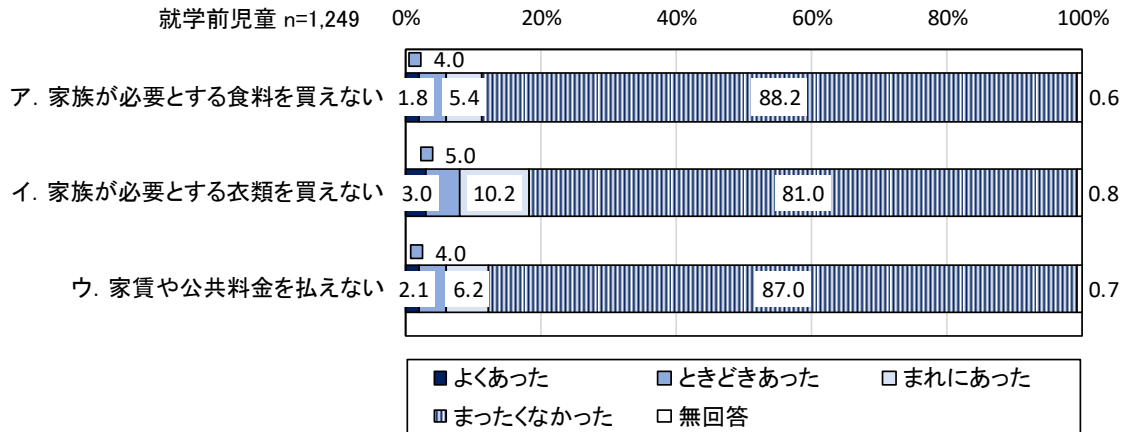
全世帯員の前年度の収入合計額については、「400～500万円未満」が18.2%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が17.3%、「300～400万円未満」が13.0%となっています。





問37 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

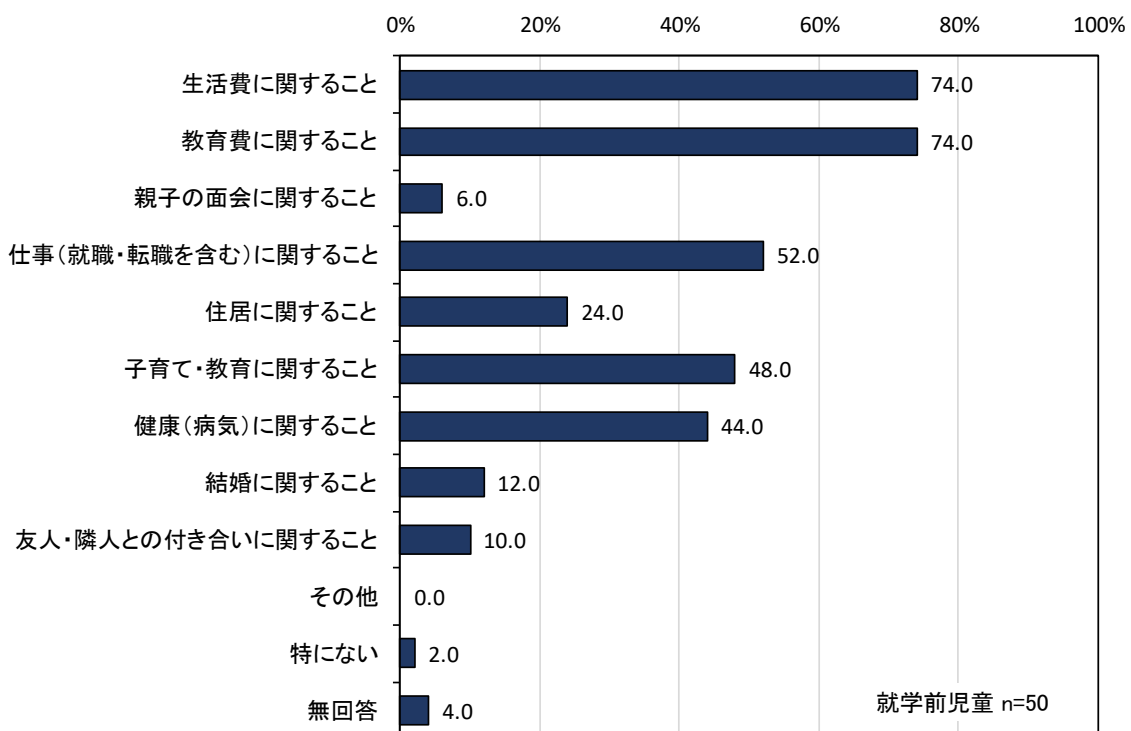
過去1年間でお金が足りなくて困ったことについて、「よくあった」と「ときどきあった」の合計値をみると、『イ. 家族が必要とする衣類を買えない』が8.0%で最も高く、次いで『ウ. 家賃や公共料金を払えない』が6.1%、『ア. 家族が必要とする食料を買えない』が5.8%となっています。



問38 ひとり親家庭の保護者の方にうかがいます。

生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

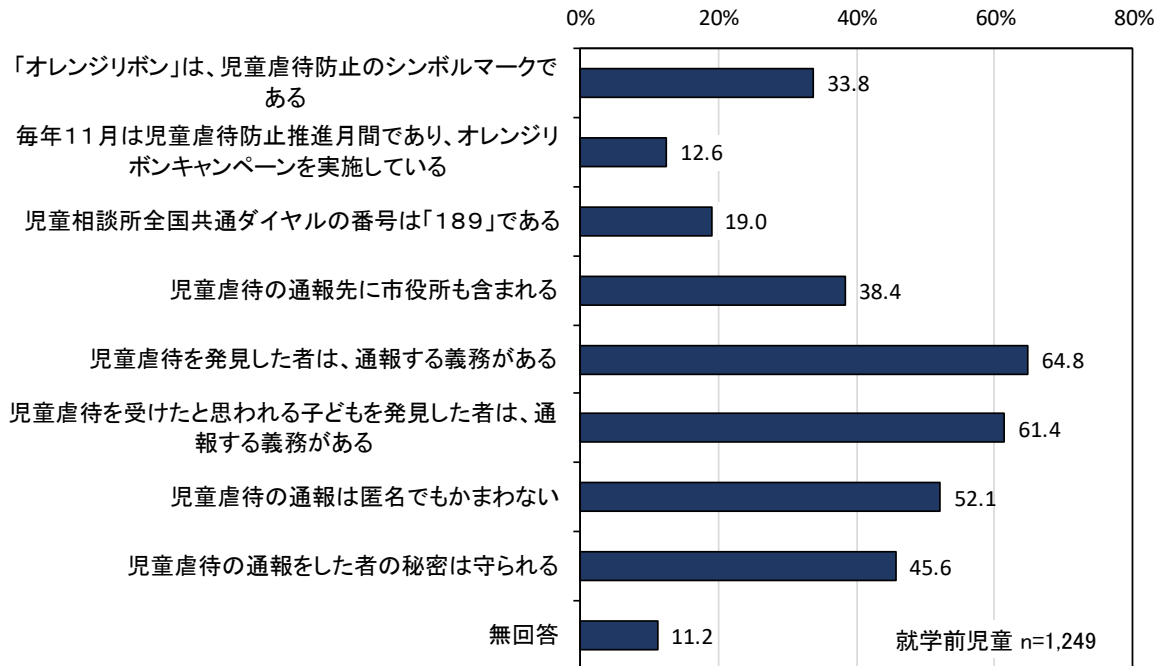
生活する上での不安や悩みについては、「生活費に関すること」、「教育費に関すること」がともに74.0%で最も高く、次いで「仕事(就職・転職を含む)に関すること」が52.0%、「子育て・教育に関すること」が48.0%となっています。



## 13. 子どもの虐待防止について

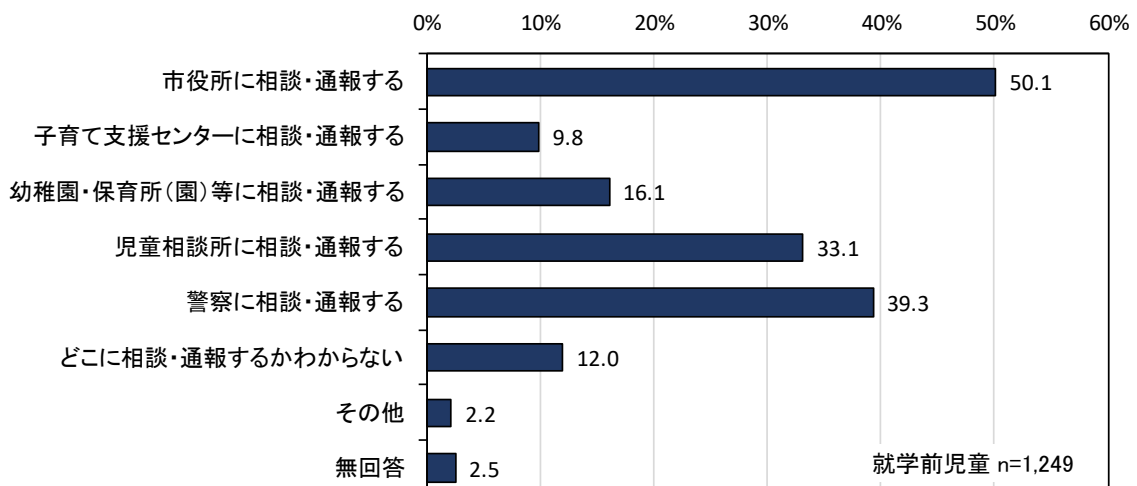
問 39 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が64.8%で最も高く、次いで「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が61.4%、「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が52.1%となっています。



問 40 あなたのまわりに児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこかに相談・通報しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談・通報先については、「市役所に相談・通報する」が50.1%で最も高く、次いで「警察に相談・通報する」が39.3%、「児童相談所に相談・通報する」が33.1%となっています。

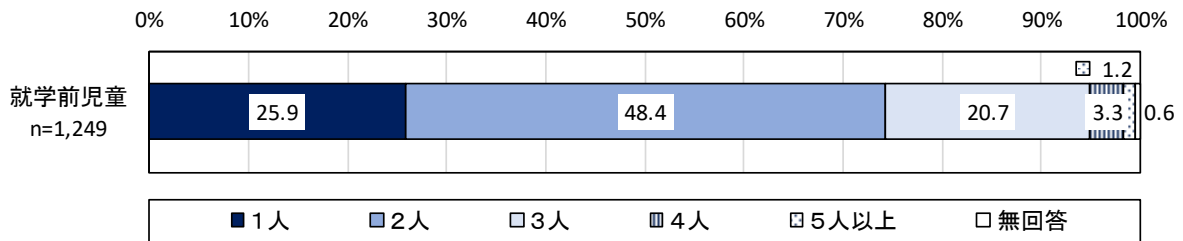


## 14. 少子化について

問 41 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。  
 (□内に数字をご記入ください。)

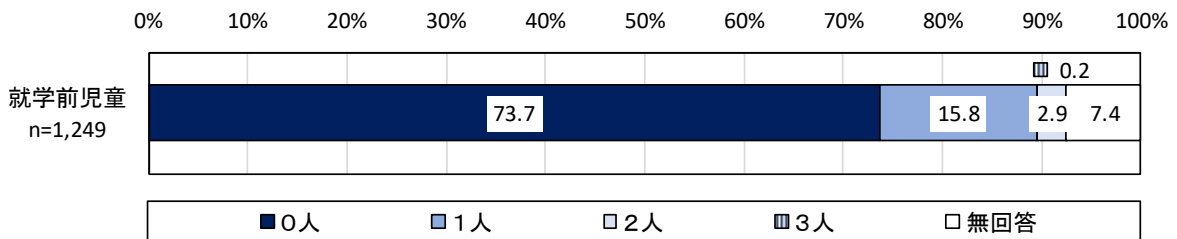
### ●現在の子どもの数

現在の子どもの数については、「2人」が48.4%で最も高く、次いで「1人」が25.9%、「3人」が20.7%となっています。



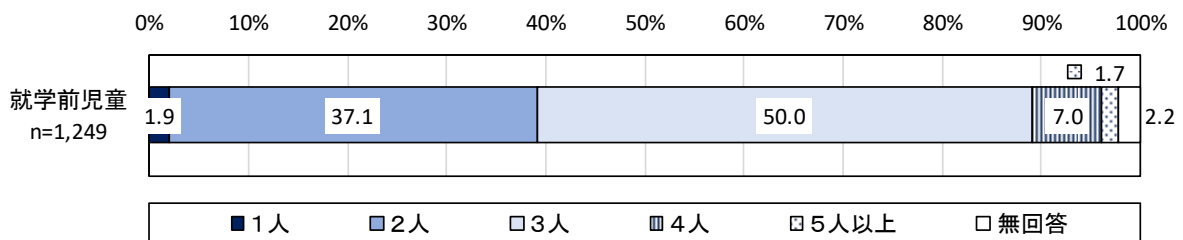
### ●出産予定の子どもの数

出産予定の子どもの数については、「0人」が73.7%で最も高く、次いで「1人」が15.8%、「2人」が2.9%となっています。



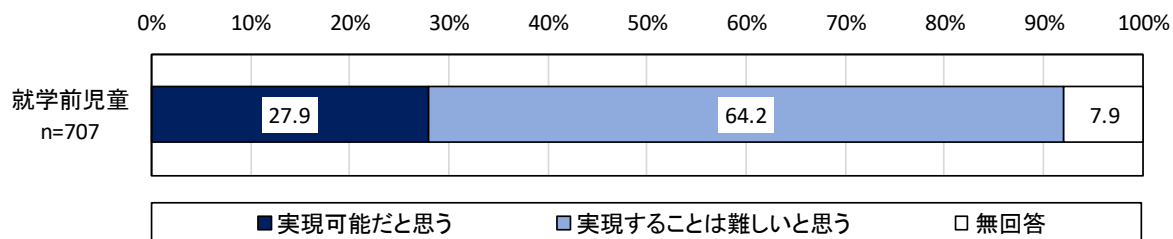
### ●理想とする子どもの数

理想とする子どもの数については、「3人」が50.0%で最も高く、次いで「2人」が37.1%、「4人」が7.0%となっています。



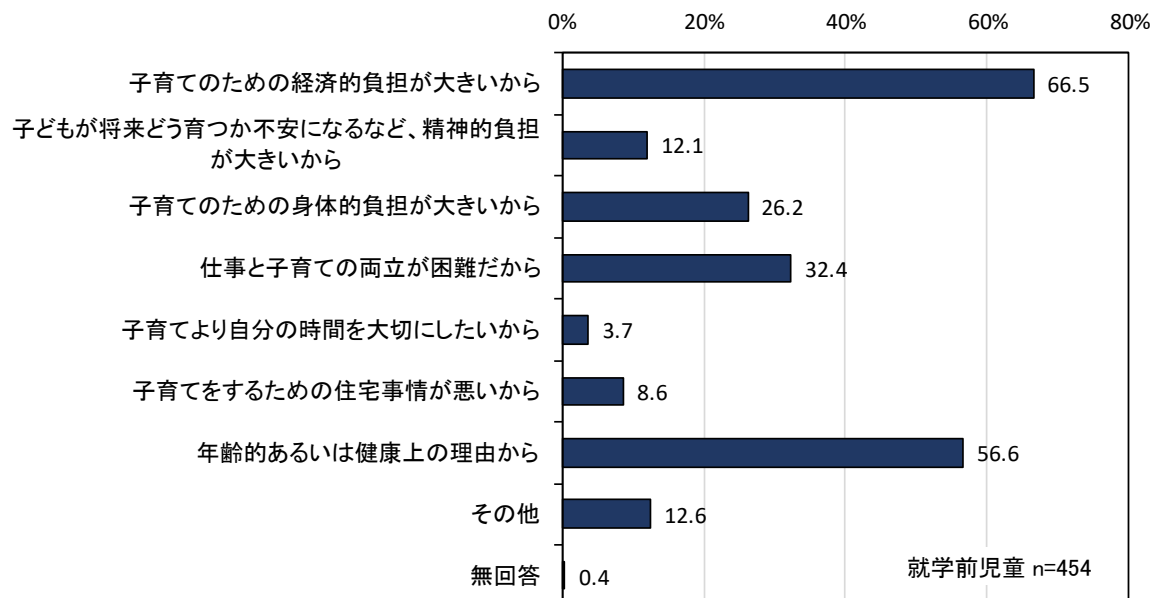
問 42 問 41 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方にうかがいます。あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。（○は1つ）

理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が27.9%、「実現することは難しいと思う」が64.2%となっています。



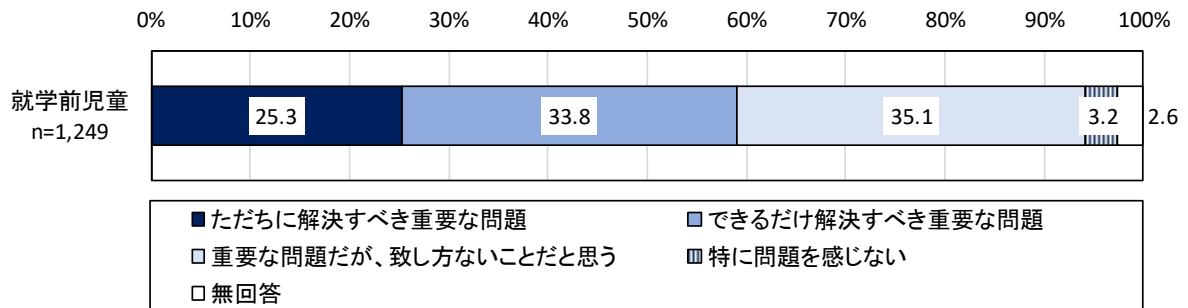
問 42-1 問 42 で「2. 実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。実現することが難しいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が66.5%で最も高く、次いで「年齢的あるいは健康上の理由から」が56.6%、「仕事と子育ての両立が困難だから」が32.4%となっています。



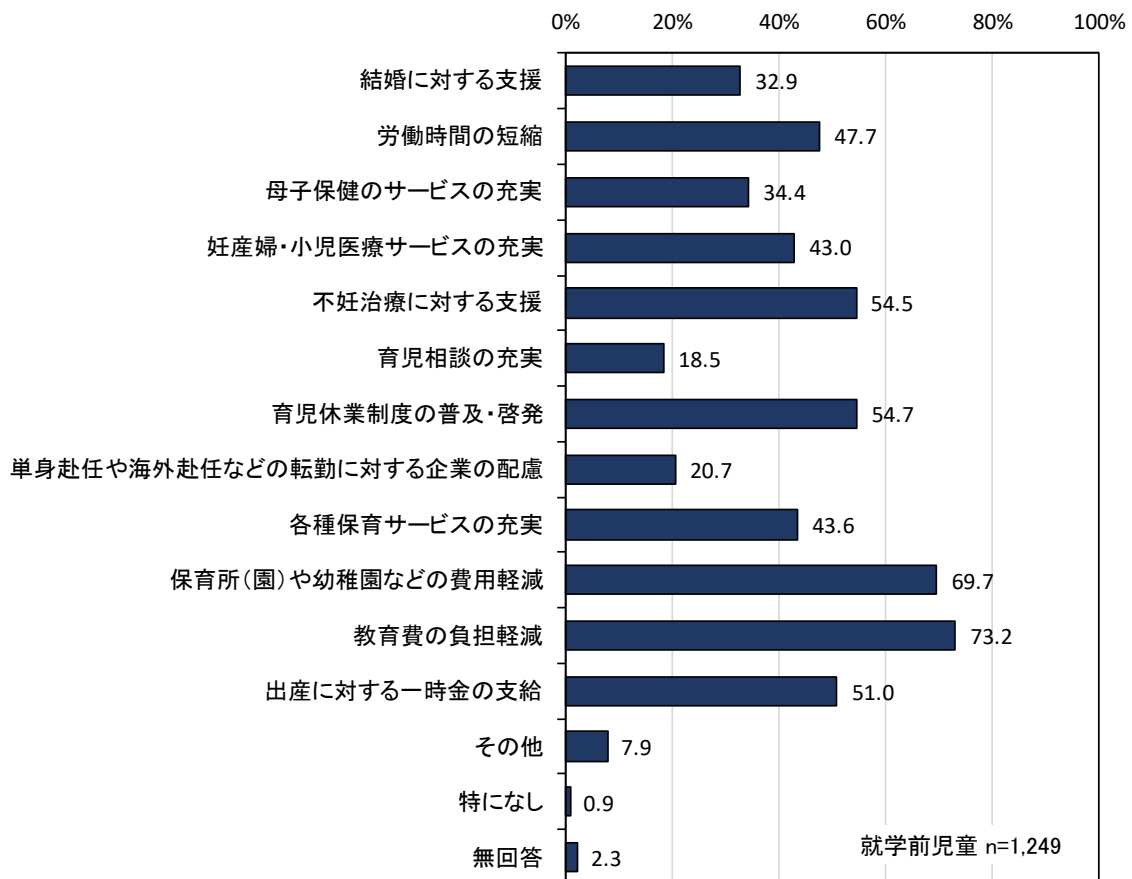
問 43 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(〇は1つ)

少子化問題に対する考えについては、「重要な問題だが、致し方ないことだと思う」が 35.1%で最も高く、次いで「できるだけ解決すべき重要な問題」が 33.8%、「ただちに解決すべき重要な問題」が 25.3%となっています。



問 44 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

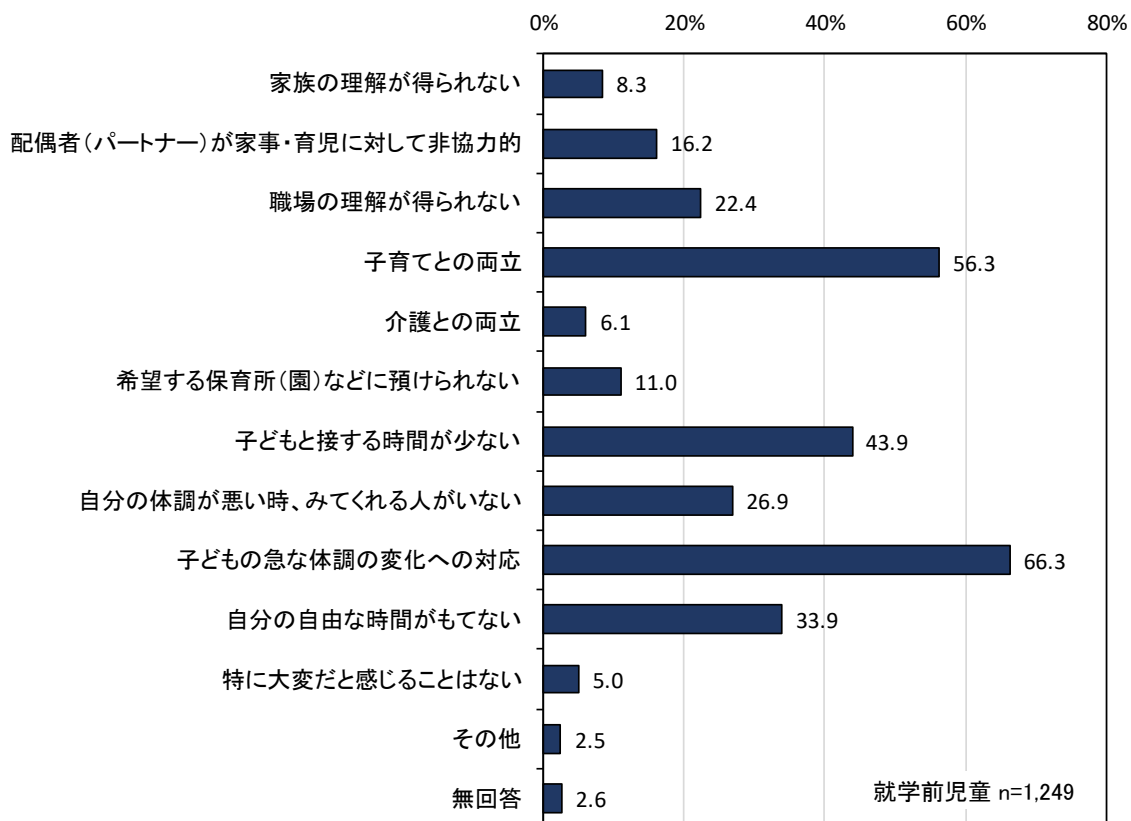
少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が 73.2%で最も高く、次いで「保育所(園)や幼稚園などの費用軽減」が 69.7%、「育児休業制度の普及・啓発」が 54.7%となっています。



## 15. 子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について

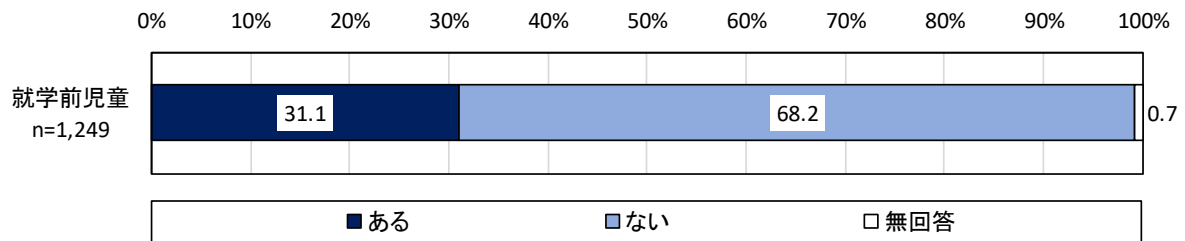
問 45 あなたは、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることは何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が 66.3%で最も高く、次いで「子育てとの両立」が 56.3%、「子どもと接する時間が少ない」が 43.9%となっています。



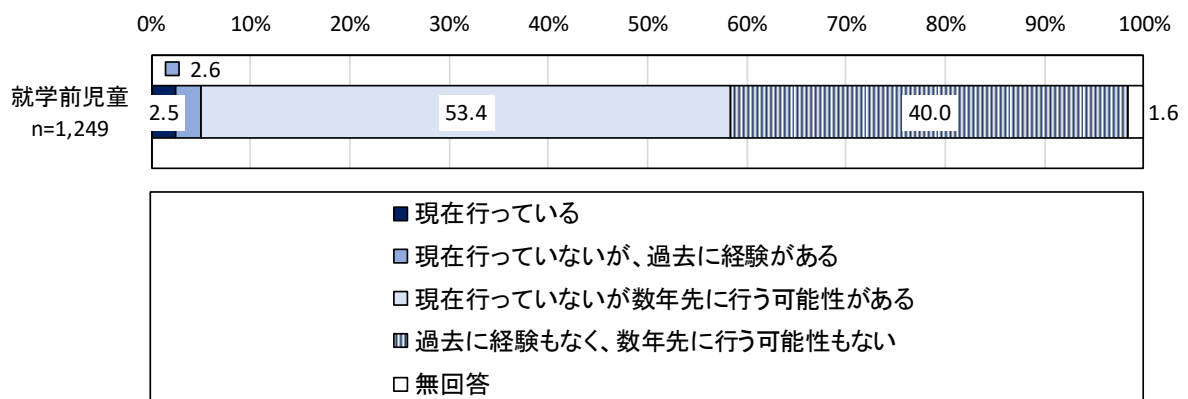
問 46 あなたは、「ダブルケア」という言葉を聞いたことはありますか。(〇は1つ)

ダブルケアの認知度については、「ある」が31.1%、「ない」が68.2%となっています。



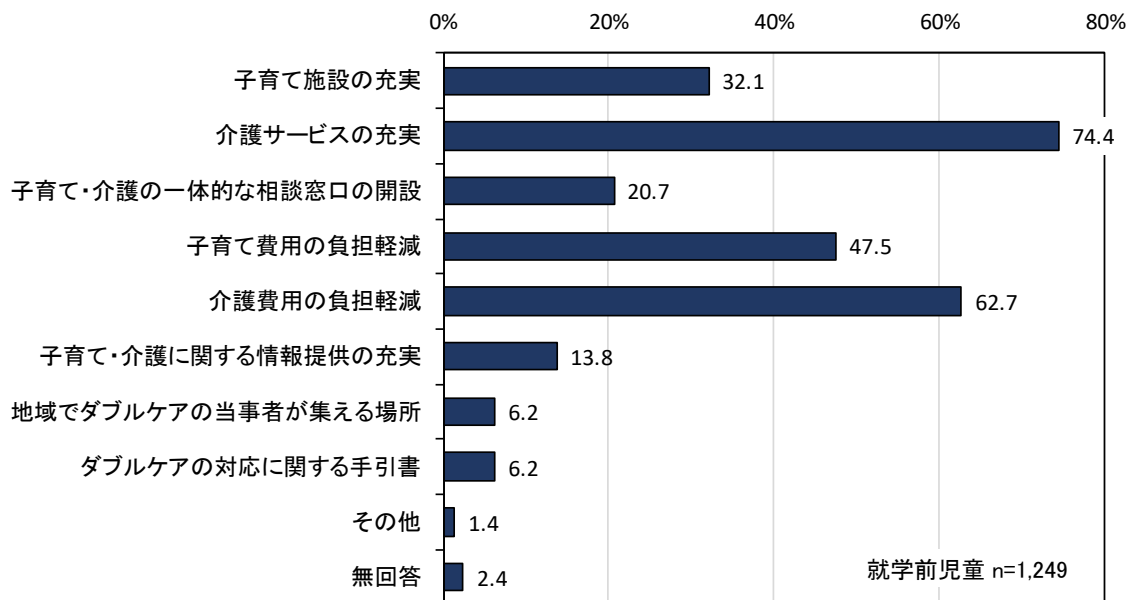
問 47 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(〇は1つ)

現在、子育てと介護を同時に行っているかについては、「現在行っていないが数年先に行く可能性がある」が53.4%で最も高く、次いで「過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない」が40.0%、「現在行っていないが、過去に経験がある」が2.6%となっています。



問 48 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

ダブルケアに対する支援策として必要だと思うことについては、「介護サービスの充実」が74.4%で最も高く、次いで「介護費用の負担軽減」が62.7%、「子育て費用の負担軽減」が47.5%となっています。

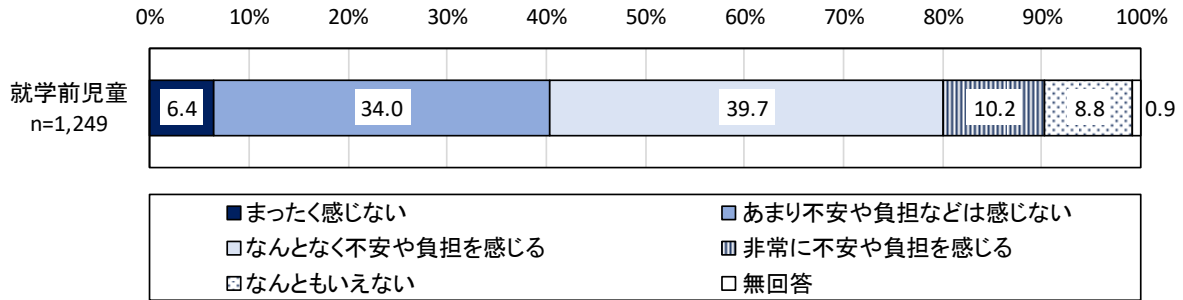




## 16. 子育て全般について

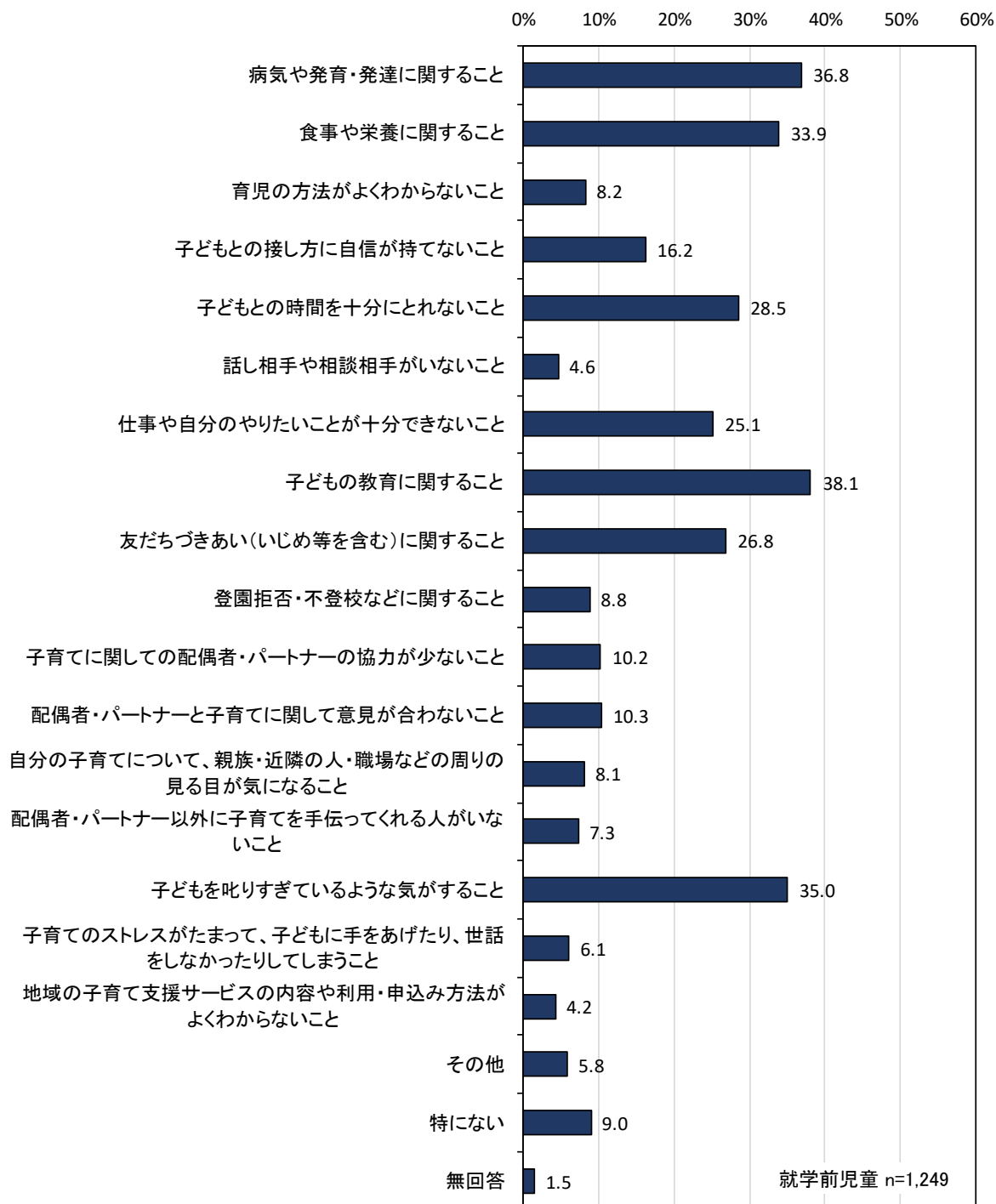
問 49 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。(〇は1つ)

子育てに対する不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 39.7%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 34.0%、「非常に不安や負担を感じる」が 10.2%となっています。



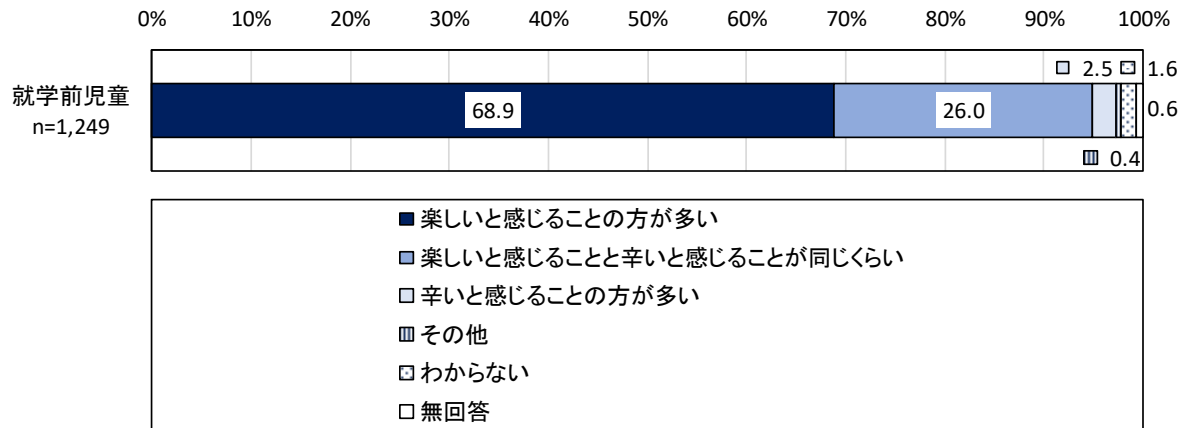
問 50 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

子育てに関しての悩みごとなどについては、「子どもの教育に関すること」が38.1%で最も高く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が36.8%、「子どもを叱りすぎているような気がする」とが35.0%となっています。



問51 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。(〇は1つ)

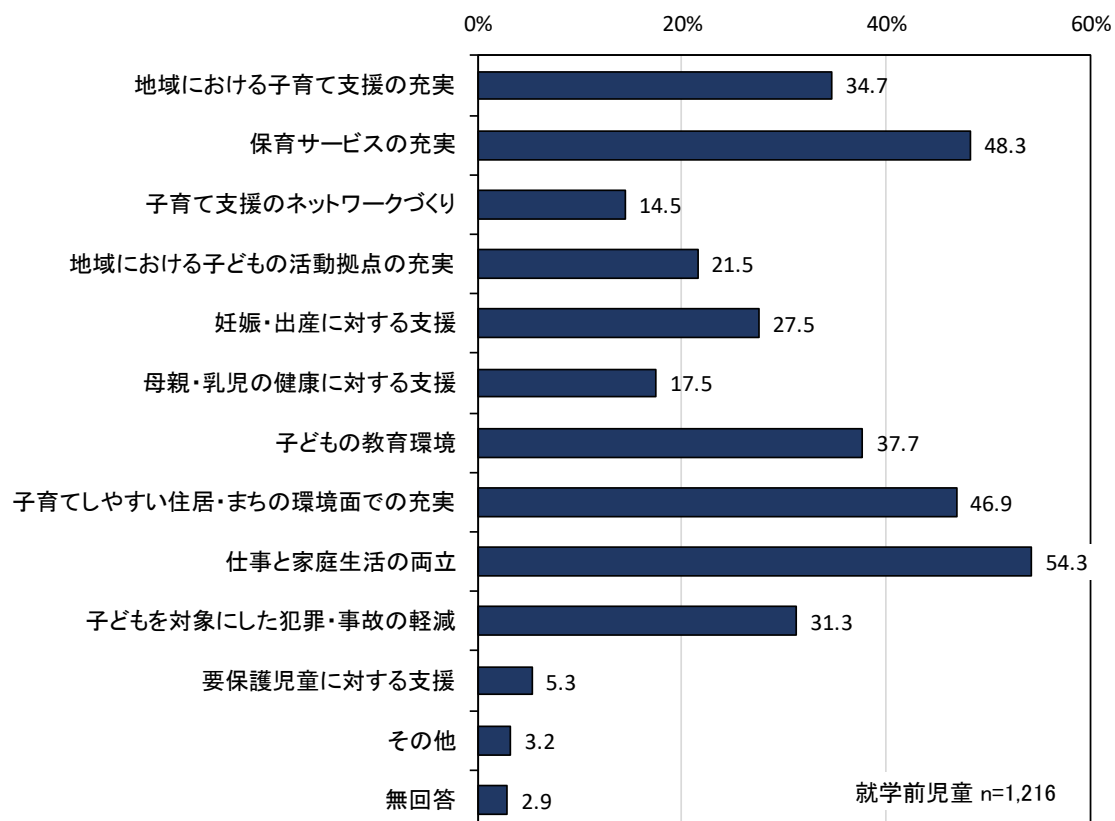
子育てに対して感じていることについては、「楽しいと感じることの方が多い」が68.9%で最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が26.0%、「辛いと感じることの方が多い」が2.5%となっています。



問51-1 問51で「1」～「3」と回答した方にうかがいます。

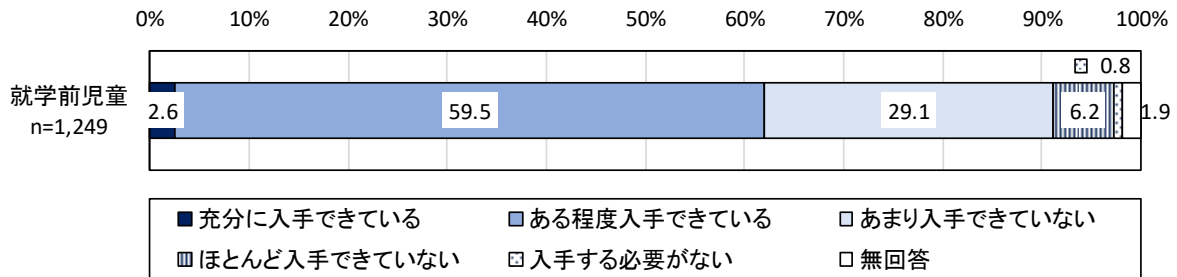
問51で「1」を選んだ方は、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。また、「2」、「3」を選んだ方は、自分にとって必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに対する支援・対策で有効だと感じること、必要なことについては、「仕事と家庭生活の両立」が54.3%で最も高く、次いで「保育サービスの充実」が48.3%、「子育てしやすい住居・まちな環境面での充実」が46.9%となっています。



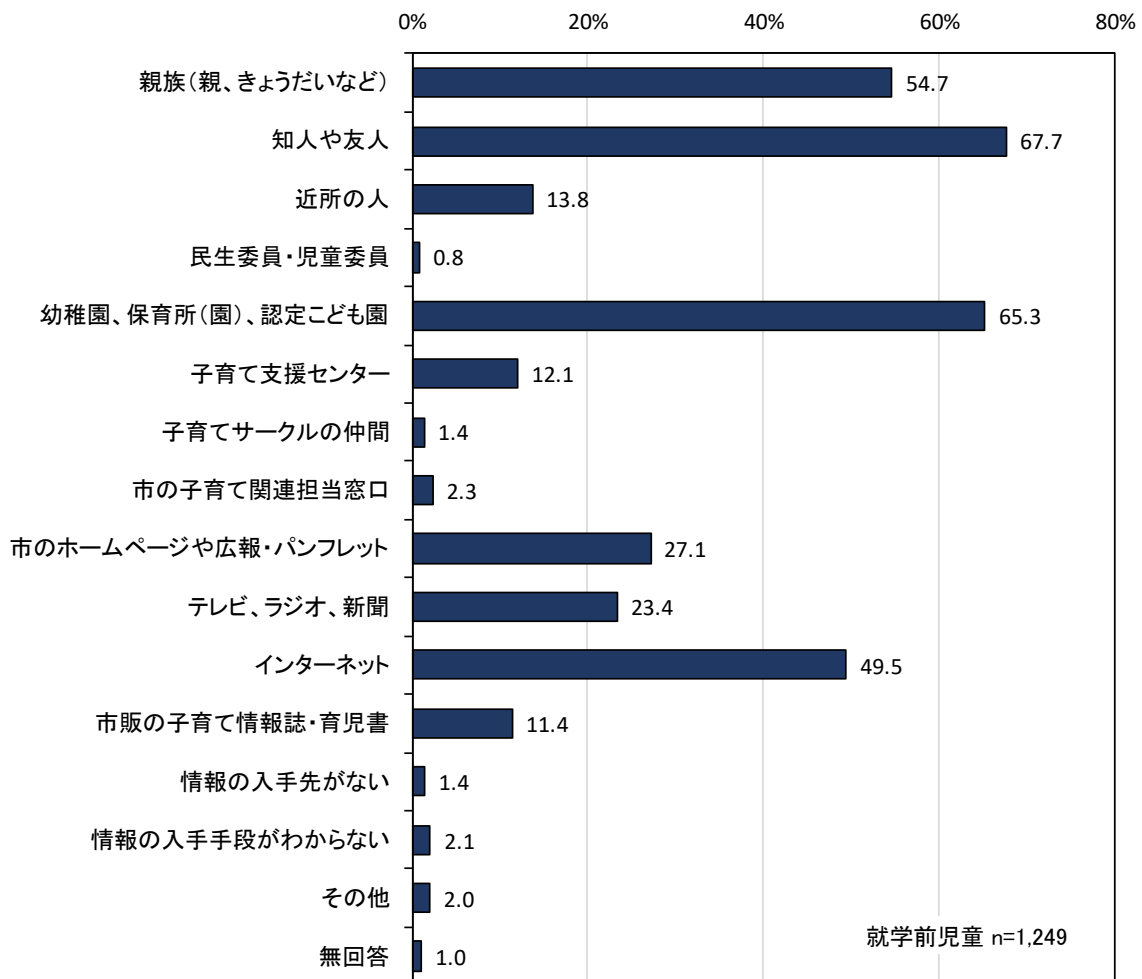
問 52 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(〇は1つ)

子育てに関する情報の入手状況については、「ある程度入手できている」が 59.5%で最も高く、次いで「あまり入手できていない」が 29.1%、「ほとんど入手できていない」が 6.2%となっています。



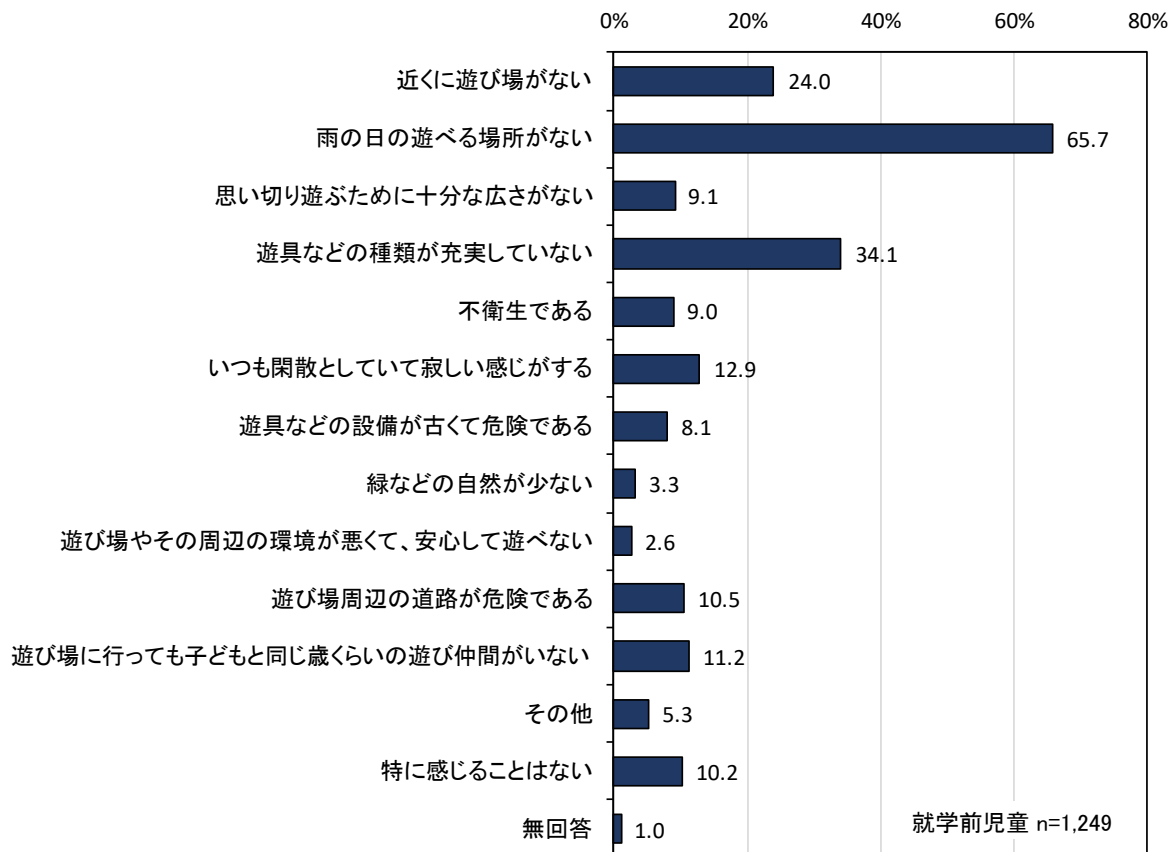
問 53 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに〇)

子育てに関する情報の入手先については、「知人や友人」が 67.7%で最も高く、次いで「幼稚園、保育所(園)、認定こども園」が 65.3%、「親族(親、きょうだいなど)」が 54.7%となっています。



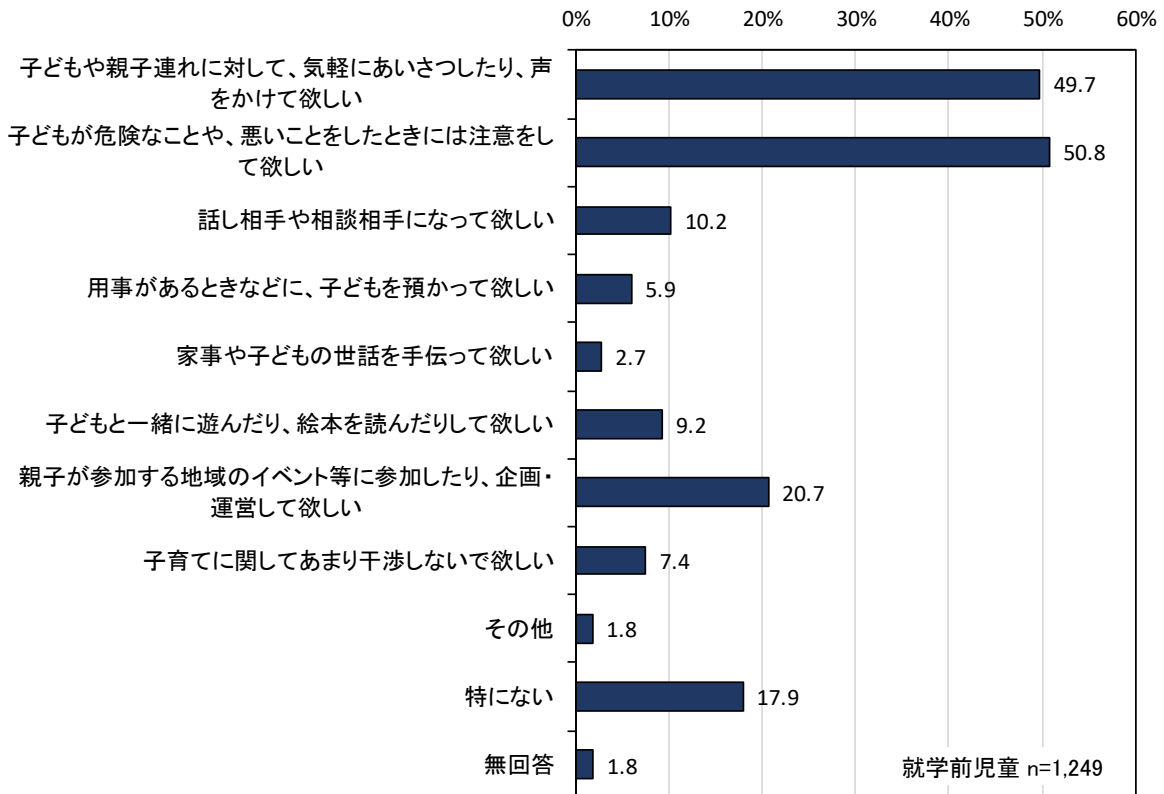
問 54 あなたは、家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの遊び場について、日頃感じていることについては、「雨の日の遊べる場所がない」が65.7%で最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が34.1%、「近くに遊び場がない」が24.0%となっています。



問 55 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

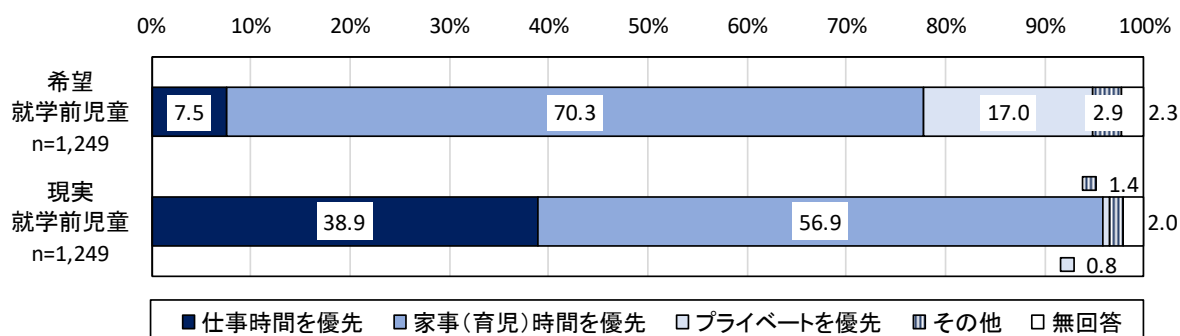
子育てに関して、地域の人に望むことについては、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をして欲しい」が50.8%で最も高く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけて欲しい」が49.7%、「親子が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営して欲しい」が20.7%となっています。



問 56 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」するものと、「現実」での優先度はどのようになっていますか。  
（それぞれ〇は1つ）

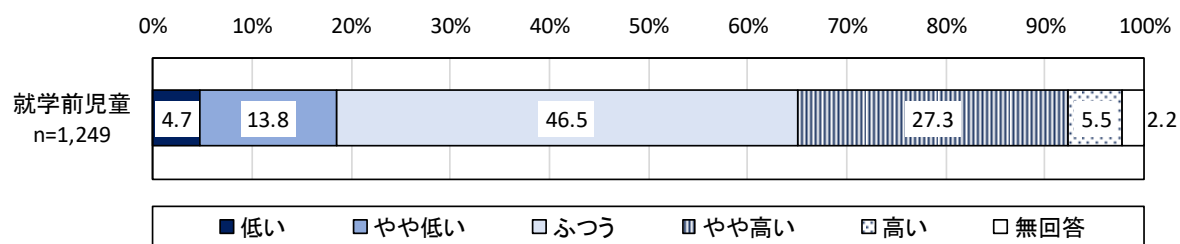
日常生活における希望については、「家事（育児）時間を優先」が70.3%で最も高く、次いで「プライベートを優先」が17.0%、「仕事時間を優先」が7.5%となっています。

日常生活における現実については、「家事（育児）時間を優先」が56.9%で最も高く、次いで「仕事時間を優先」が38.9%、「その他」が1.4%となっています。



問 57 真岡市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（〇は1つ）

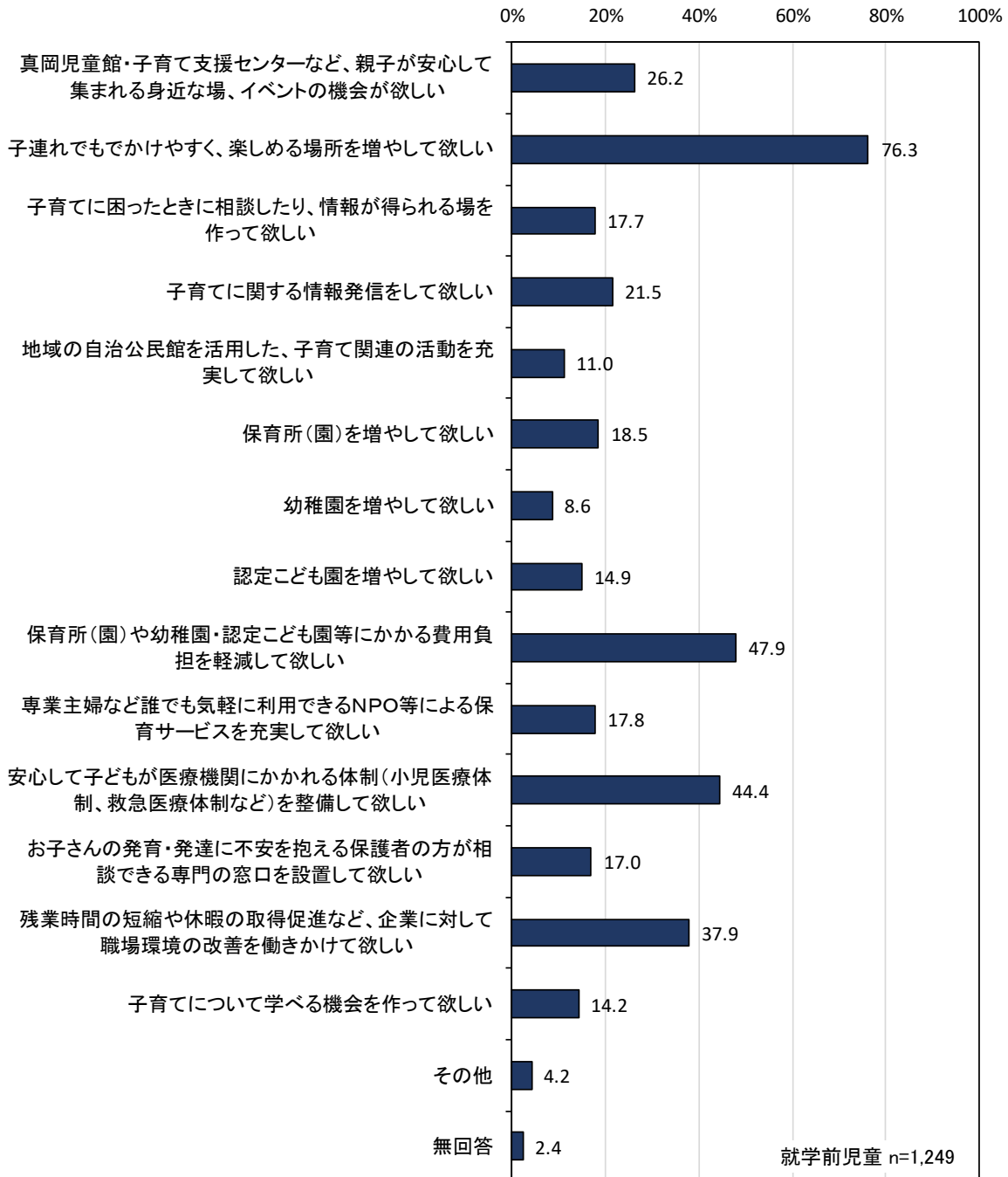
真岡市の子育て環境や支援への満足度については、「ふつう」が46.5%で最も高く、次いで「やや高い」が27.3%、「やや低い」が13.8%となっています。





問 58 市に対して、今後どのような子育て支援の充実を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

市に対して充実を期待する子育て支援については、「子連れでもでかけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が76.3%で最も高く、次いで「保育所（園）や幼稚園・認定こども園等にかかる費用負担を軽減して欲しい」が47.9%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制（小児医療体制、救急医療体制など）を整備して欲しい」が44.4%となっています。



問 59 教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で 450 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●保育所（園）について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・希望の保育園に入れない。</li> <li>・保育所からのおむつの持ち帰りは衛生的に良くないと思う。</li> <li>・保育園を増やすのではなく、先生を増やし、保育の質を高めてほしい。</li> </ul>	51
<b>●子どもの遊び場について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日でも遊べる屋内施設をつくってほしい（小山市、大田原市などにある施設）。</li> <li>・自然と触れ合える施設、学べる施設をつくってほしい。</li> </ul>	45
<b>●保健・医療について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診の時間を午前中に変更してほしい。</li> <li>・離乳食を始める際、どうしたら良いのかわからなかったので、試食などができる教室があれば良かった。</li> <li>・医療費助成を高校生までにしてほしい。</li> <li>・休日・夜間救急、救急医療体制を整備してほしい。</li> </ul>	42
<b>●公園について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園に小さい子どもが遊べる遊具が少ない。</li> <li>・古い遊具は新しくしてほしい。</li> <li>・水遊びができる公園があると良い。</li> </ul>	32
<b>●放課後児童クラブ（学童保育）について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の全小学校に放課後児童クラブを整備してほしい。</li> <li>・小学校に併設されている放課後児童クラブは、利用したくても入れない。母親が仕事を始めるにも、子どもの預け先が確保できていないと仕事を探しづらい。</li> <li>・待機児童問題も重要だが、放課後児童クラブの整備にも力を入れてもらいたい。</li> </ul>	29
<b>●子育て支援全般について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援は幼少期のみではなく、長期的な支援を考えてほしい。</li> <li>・子どもの成長過程に応じた色々なサービスを充実させてほしい。</li> </ul>	28
<b>●経済的支援について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低所得世帯への金銭的な補助があると助かる。</li> <li>・3歳から有料になる所が多くなるので、3歳以上の子ども手当について改善してほしい。</li> <li>・おむつ券を増やしてほしい。</li> </ul>	28
<b>●子育て支援センターについて</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と保育園児の兄弟のため、子育て支援センターが利用できない。低学年まで利用できると嬉しい。</li> <li>・月1回程度、ふれあい講座があるが、時代にあったものを希望する（ダンススクールは良かった）。</li> </ul>	19

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●市に対して</b>	18
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てや教育の現場では、マンパワーが不足している。</li> <li>・関係各課との協力体制の構築。</li> </ul>	
<b>●一時預かりについて</b>	17
<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時預かりの利用料が高く、気軽に利用できない。</li> <li>・ファミリー・サポート・センターに登録はしているが、事前申請や利用料が気になり、結局利用できずにいる。</li> </ul>	
<b>●子どもに関する講座・イベントについて</b>	17
<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親向けの講座があると良い。</li> <li>・親子で参加できるイベントがもっと増えると良い。</li> </ul>	
<b>●就労について</b>	17
<ul style="list-style-type: none"> <li>・父親も気軽に育児休業を取得できるよう啓発してほしい。</li> <li>・働きやすい環境＝子育てに優しい社会になってほしい。</li> </ul>	
<b>●アンケートについて</b>	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・返信用封筒が小さい。</li> <li>・質問が多すぎる。</li> </ul>	
<b>●認定こども園について</b>	13
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日・祝日も預かってほしい。</li> <li>・土曜日に行事があると、月曜日の振替休日が多く、仕事を休まなければいけないことがあり大変。</li> </ul>	
<b>●情報提供について</b>	13
<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSなどを通じて、市の子育て事業やイベント情報などを発信してくれると嬉しい。</li> <li>・ホームページが最新のものであるか、しっかり確認してほしい。</li> </ul>	
<b>●幼児教育・保育無償化について</b>	10
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無償化より、保育所を増やしてほしい。</li> <li>・保育料が無償化となっても、保育料の他に雑費がかかるので不安は多い。</li> </ul>	
<b>●障がい児支援・発達支援について</b>	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが小さいうちから、療育は始められるよう支援してほしい。</li> <li>・保育園の先生から、子どもの発達についてアドバイスをもらえると良い。</li> </ul>	
<b>●病児・病後児保育について</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児・病後児保育を充実させてほしい。</li> </ul>	
<b>●安心・安全について</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関を増やしてほしい。</li> <li>・トラックが多くて危ない、交通マナーが悪い。</li> </ul>	
<b>●小学校・中学校について</b>	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園では治癒証明がホームページからダウンロードできるが、小学校や中学校では直接取りに行くのが現状であるため、ホームページからダウンロードできるシステムがあると良い。</li> <li>・近くの小学校が閉校し、学区の関係で遠い小学校に通わないといけない。もっと近くに小学校があるのに。</li> </ul>	

分類／主な意見（抜粋）	件数
<p>●幼稚園について</p>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みなどの追加料金をなくしてほしい。</li> </ul>	
<p>●出産・産後について</p>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊治療の助成金について広く発信してほしい。</li> <li>・まちなか保健室を子育て中や妊娠中の人も利用しやすいようにしてほしい。</li> </ul>	
<p>●真岡児童館について</p>	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と幼児の兄弟が一緒にいられる児童館があると良い。今ある児童館では気軽に行くと良いという雰囲気がない。</li> <li>・小さい子向けではないため、楽しめなかった。</li> </ul>	
<p>●相談について</p>	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか保健室のように気軽に立ち寄り、子育て相談ができる場所を増やし、母親が引きこもらずに外に出る機会を増やしてほしい。</li> <li>・フルタイムで勤務しているため、仕事が終わってからでも相談できる窓口があると助かる。</li> </ul>	
<p>●その他</p>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本では、まだ子育ては女性の仕事という印象が強いと感じる。女性が働きやすい環境を整備しても、父親の育児参加が不十分では育児の負担は軽くない。男性の育児参加を期待している。</li> <li>・真岡市内に高校を増やしてほしい。</li> </ul>	

## IV 小学生の調査結果

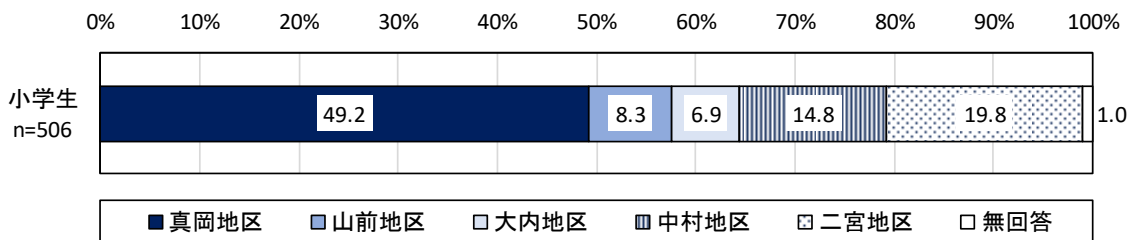
---



## 1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(□内に数字をご記入ください。)

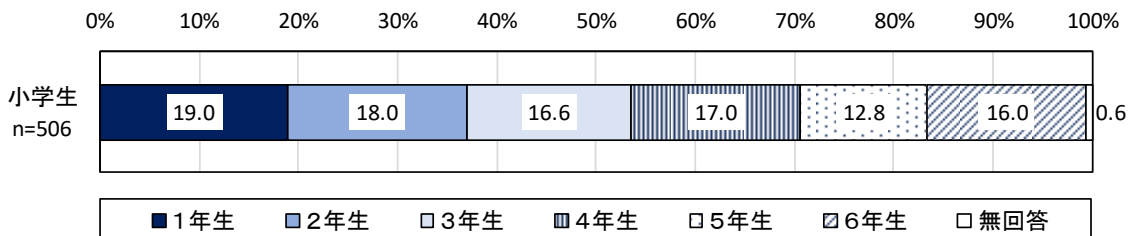
居住地区については、「真岡地区」が49.2%で最も高く、次いで「二宮地区」が19.8%、「中村地区」が14.8%となっています。



## 2. お子さんご家族の状況について

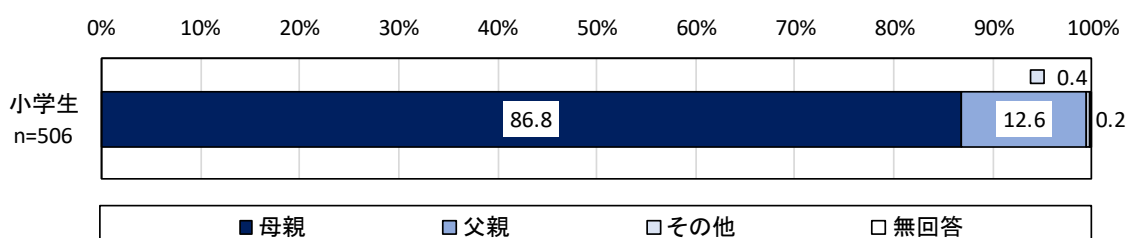
問2 宛名のお子さんの現在の学年をお答えください。(○は1つ)

お子さんの学年については、「1年生」が19.0%で最も高く、次いで「2年生」が18.0%、「4年生」が17.0%となっています。



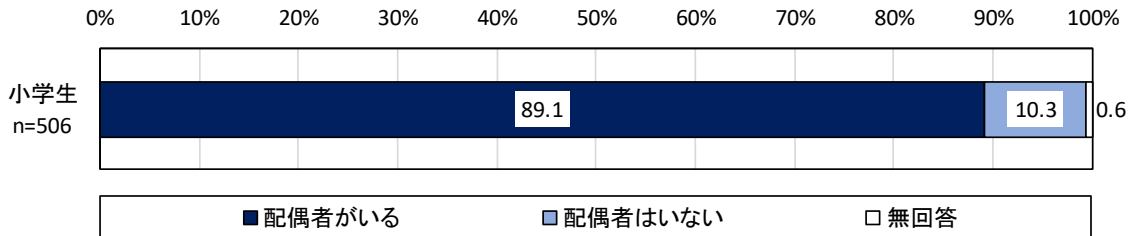
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

回答者については、「母親」が86.8%で最も高く、次いで「父親」が12.6%、「その他」が0.4%となっています。



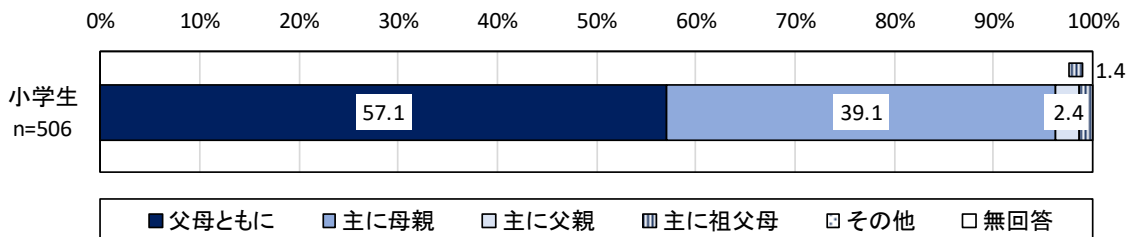
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が89.1%、「配偶者がいない」が10.3%となっています。



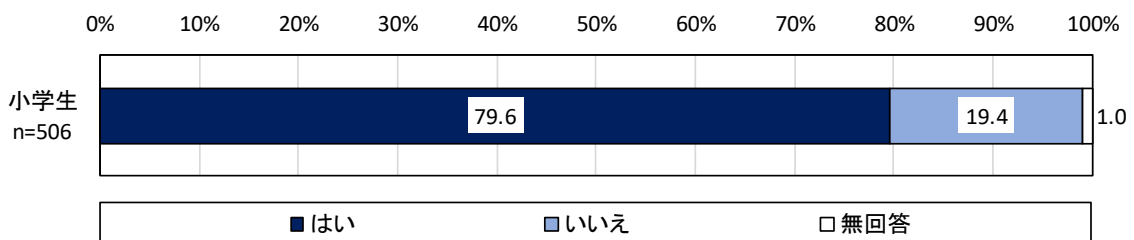
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている方については、「父母ともに」が57.1%で最も高く、次いで「主に母親」が39.1%、「主に父親」が2.4%となっています。



問6 宛名のお子さんが妊娠の際、または生まれた時に真岡市にお住まいでしたか。(〇は1つ)

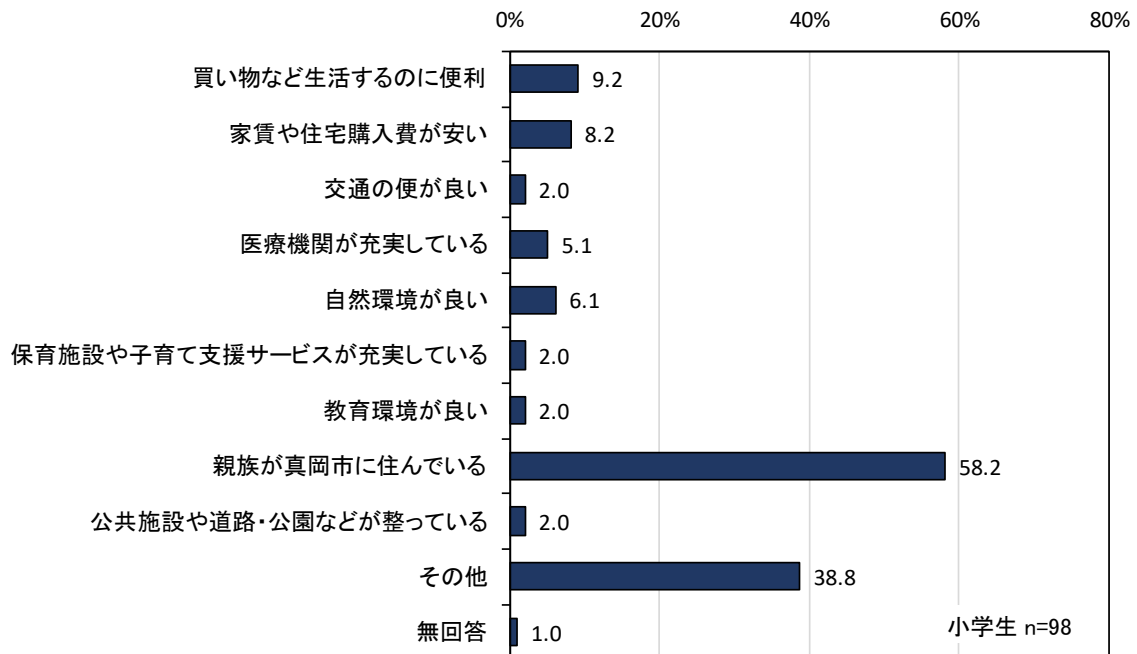
妊娠の際、または生まれた時に真岡市に住んでいたかについては、「はい」が79.6%、「いいえ」が19.4%となっています。





問6-1 問6で「2. いいえ」と回答した方にうかがいます。  
真岡市に転入した理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

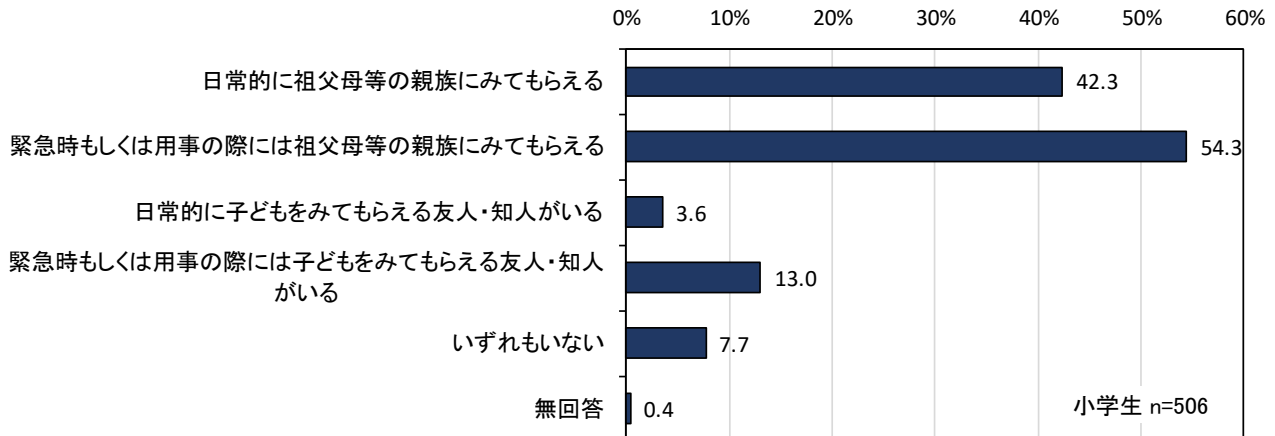
真岡市に転入した理由については、「親族が真岡市に住んでいる」が58.2%で最も高く、次いで「その他」が38.8%、「買い物など生活するのに便利」が9.2%となっています。



### 3. 子育て環境について

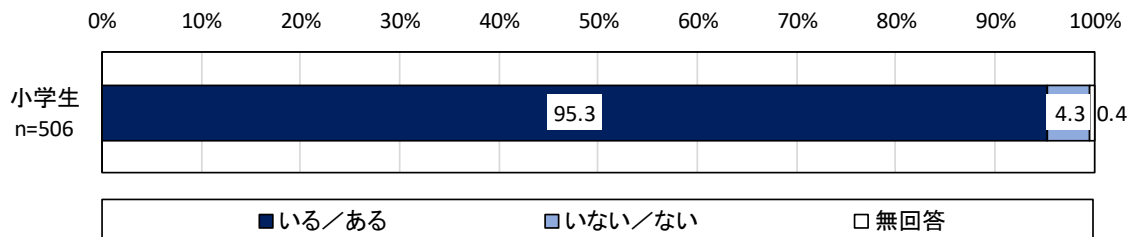
問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が54.3%で最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が13.0%となっています。



問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(○は1つ)

子育てについて気軽に相談できる人(場所)の有無については、「いる/ある」が95.3%、「いない/ない」が4.3%となっています。

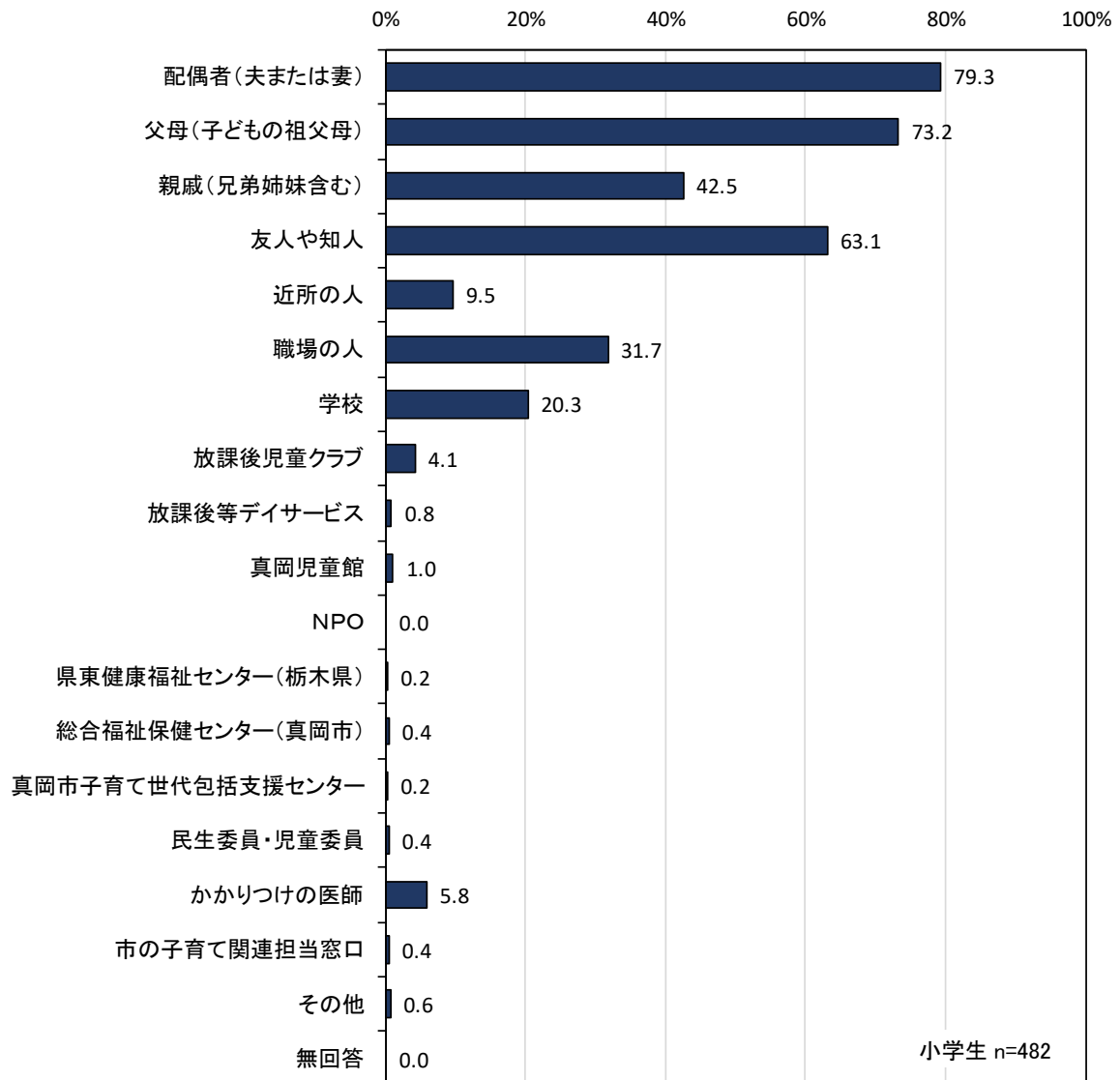


問8-1 問8で「1. いる/ある」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。

（あてはまるものすべてに○）

相談先については、「配偶者（夫または妻）」が79.3%で最も高く、次いで「父母（子どもの祖父母）」が73.2%、「友人や知人」が63.1%となっています。

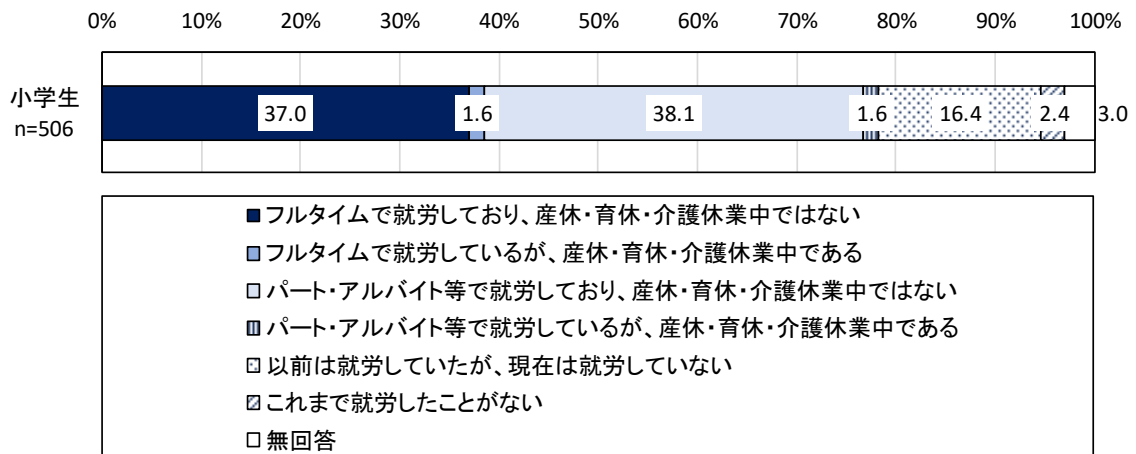


## 4. 保護者の就労状況について

問9 現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（〇は1つ）

### （1）母親の就労状況について

母親の就労状況については、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.1%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が37.0%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が16.4%となっています。



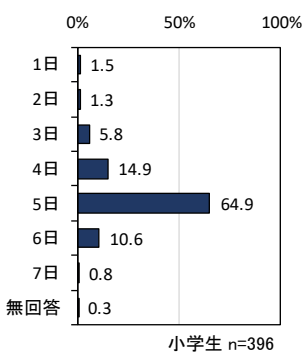
（1）-①・② （1）で「1」～「4」（就労している）と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。（□内に数字をご記入ください。）

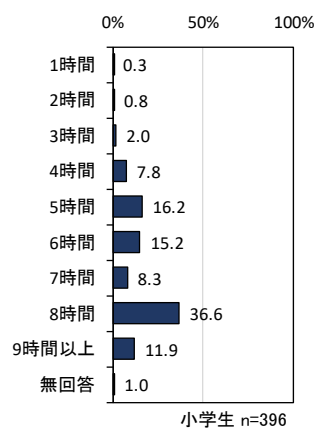
母親の1週当たりの就労日数は「5日」が64.9%で最も高く、次いで「4日」が14.9%、1日当たりの就労時間は「8時間」が36.6%で最も高く、次いで「5時間」が16.2%となっています。

また、家を出る時間は「8時」が53.8%で最も高く、次いで「7時」が22.7%、帰宅時間は「18時」が29.3%で最も高く、次いで「17時」が16.4%となっています。

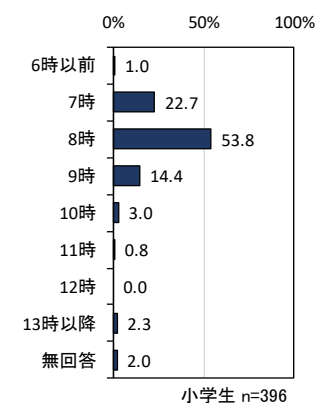
【1週当たりの就労日数】



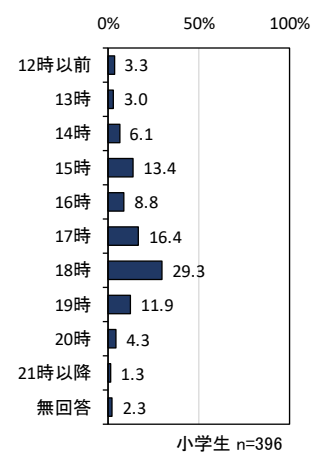
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時間】

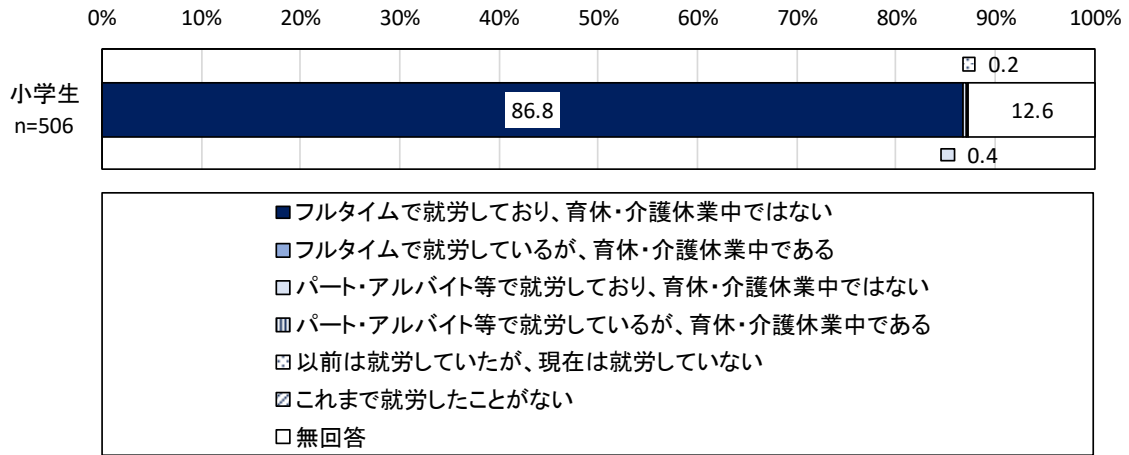


【帰宅時間】



(2) 父親の就労状況について

父親の就労状況については、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が86.8%で最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が0.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.2%となっています。



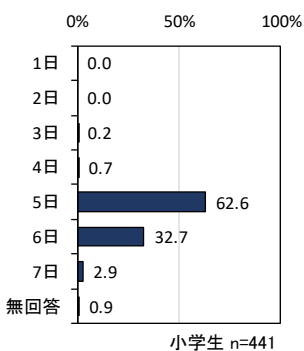
(2) -①・② (2) で「1」～「4」(就労している) と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

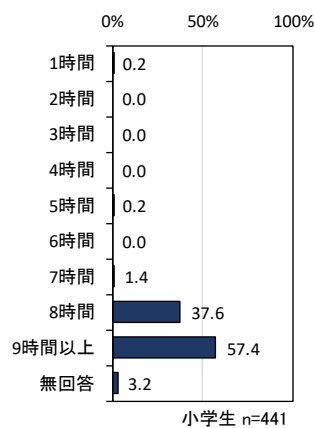
父親の1週当たりの就労日数は「5日」が62.6%で最も高く、次いで「6日」が32.7%、1日当たりの就労時間は「9時間以上」が57.4%で最も高く、次いで「8時間」が37.6%となっています。

また、家を出る時間は「7時」が43.8%で最も高く、次いで「8時」が24.0%、帰宅時間は「18時」が26.3%で最も高く、次いで「21時以降」が22.9%となっています。

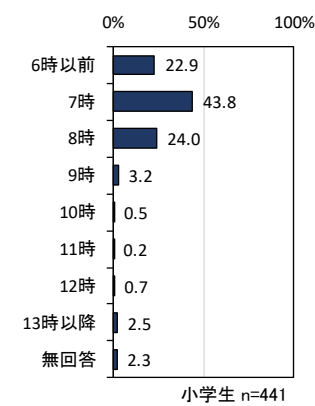
【1週当たりの就労日数】



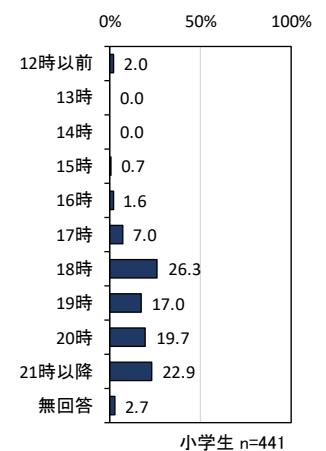
【1日当たりの就労時間】



【家を出る時間】



【帰宅時間】

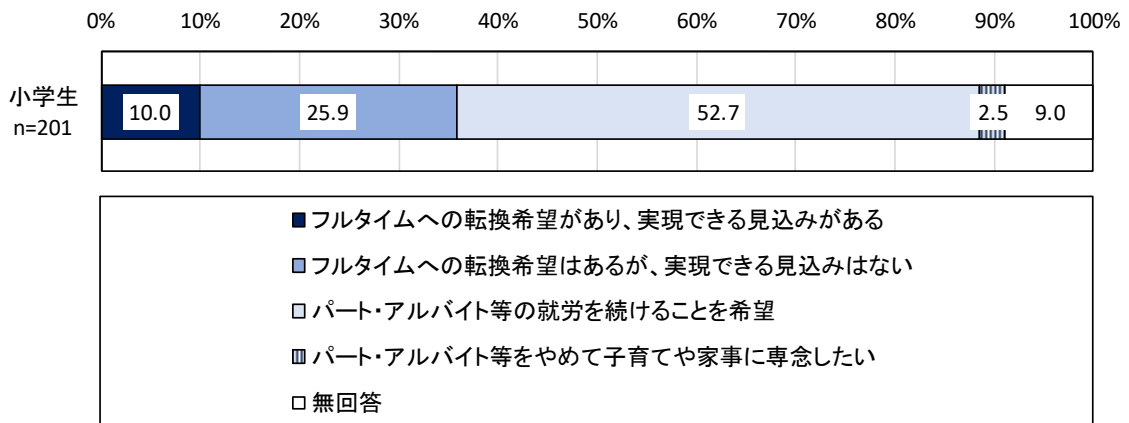


問10 問9の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

(1) 母親のフルタイムへの転換希望

母親のフルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が52.7%で最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が25.9%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が10.0%となっています。



(2) 父親のフルタイムへの転換希望

父親のフルタイムへの転換希望については、該当する回答者は2人で、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1人、「無回答」が1人となっています。

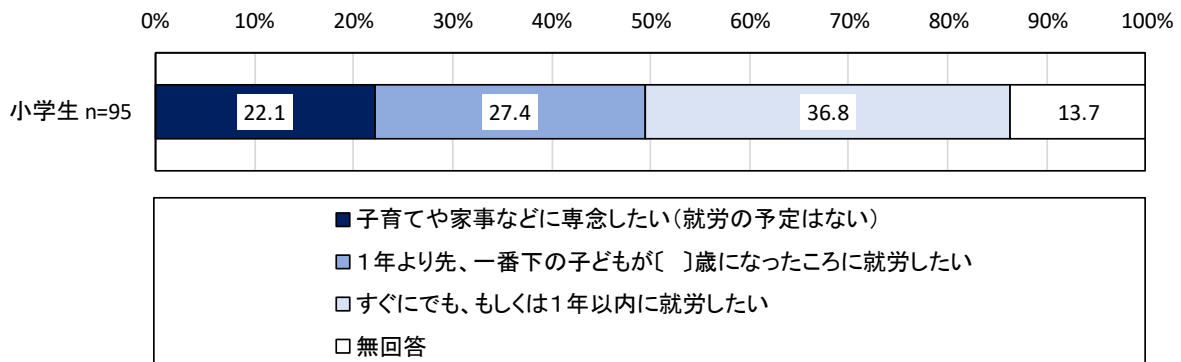
問11 問9の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)と回答した方にうかがいます。  
就労したいという希望はありますか。

(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

### (1) 母親

#### ●就労希望

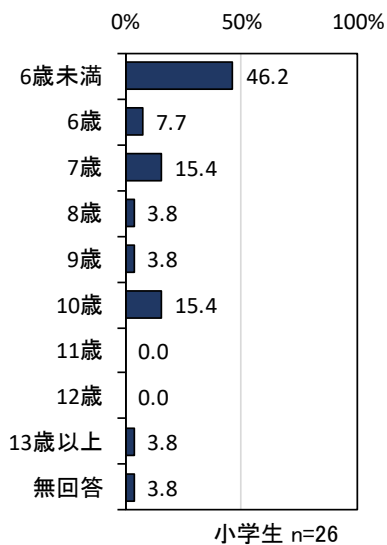
母親の就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.8%で最も高く、次いで「1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい」が27.4%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が22.1%となっています。



#### ●『1年より先、一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい』と回答した方の希望年齢

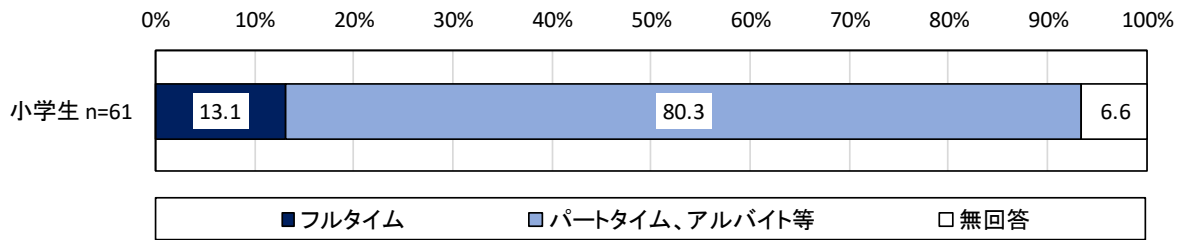
一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したいかについては、「6歳未満」が46.2%で最も高く、次いで「7歳」、「10歳」がともに15.4%、「6歳」が7.7%となっています。

#### 【一番下の子どもが〔 〕歳になったところに就労したい】



●希望する就労形態

希望する就労形態については、「フルタイム」が13.1%、「パートタイム、アルバイト等」が80.3%となっています。

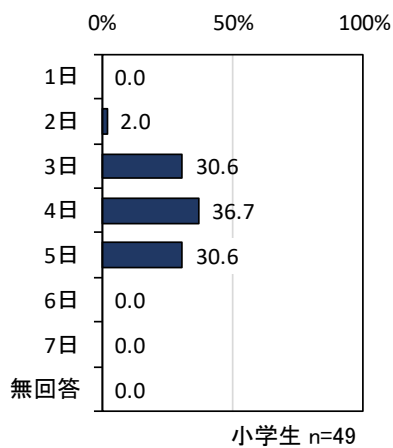


●希望する就労日数・就労時間（『パートタイム、アルバイト等』と回答した方）

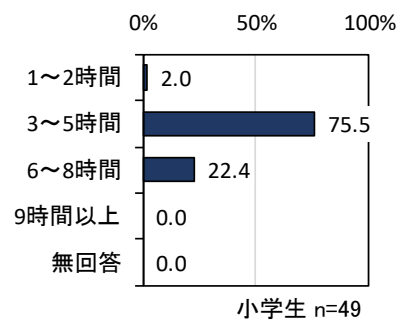
希望する1週当たりの就労日数は、「4日」が36.7%で最も高く、次いで「3日」、「5日」がともに30.6%となっています。

また、1日当たりの就労時間は、「3～5時間」が75.5%で最も高く、次いで「6～8時間」が22.4%となっています。

【1週当たりの就労日数】



【1日当たりの就労時間】



(2) 父親

●就労希望

父親の就労希望については、該当する回答者は1人で、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」となっています。

●希望する就労形態

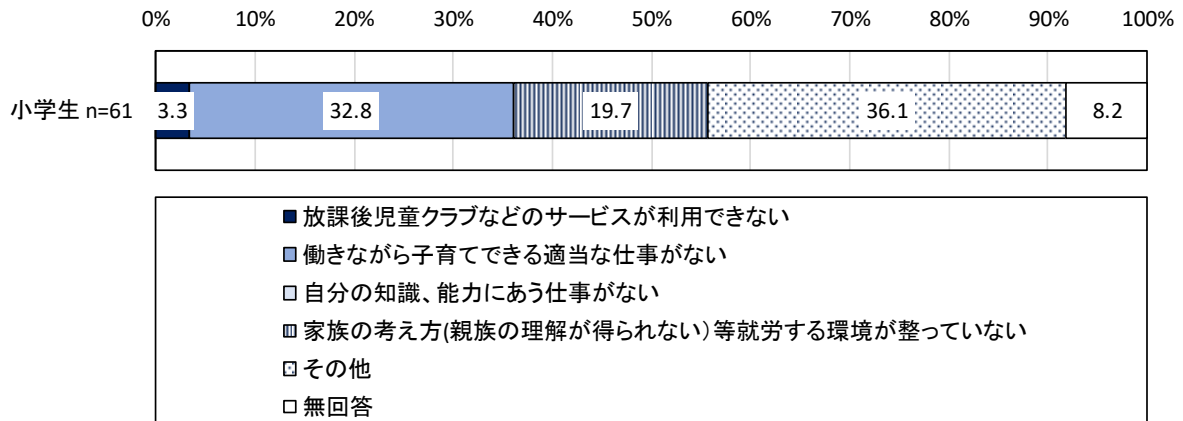
希望する就労形態については、該当する回答者は1人で、「無回答」となっています。



問12 問11の(1)または(2)で「2」、「3」(就労したい)と回答した方にうかがいます。  
就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

### (1) 母親が働いていない理由

母親が働いていない理由については、「その他」が36.1%で最も高く、次いで「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が32.8%、「家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていない」が19.7%となっています。



### (2) 父親が働いていない理由

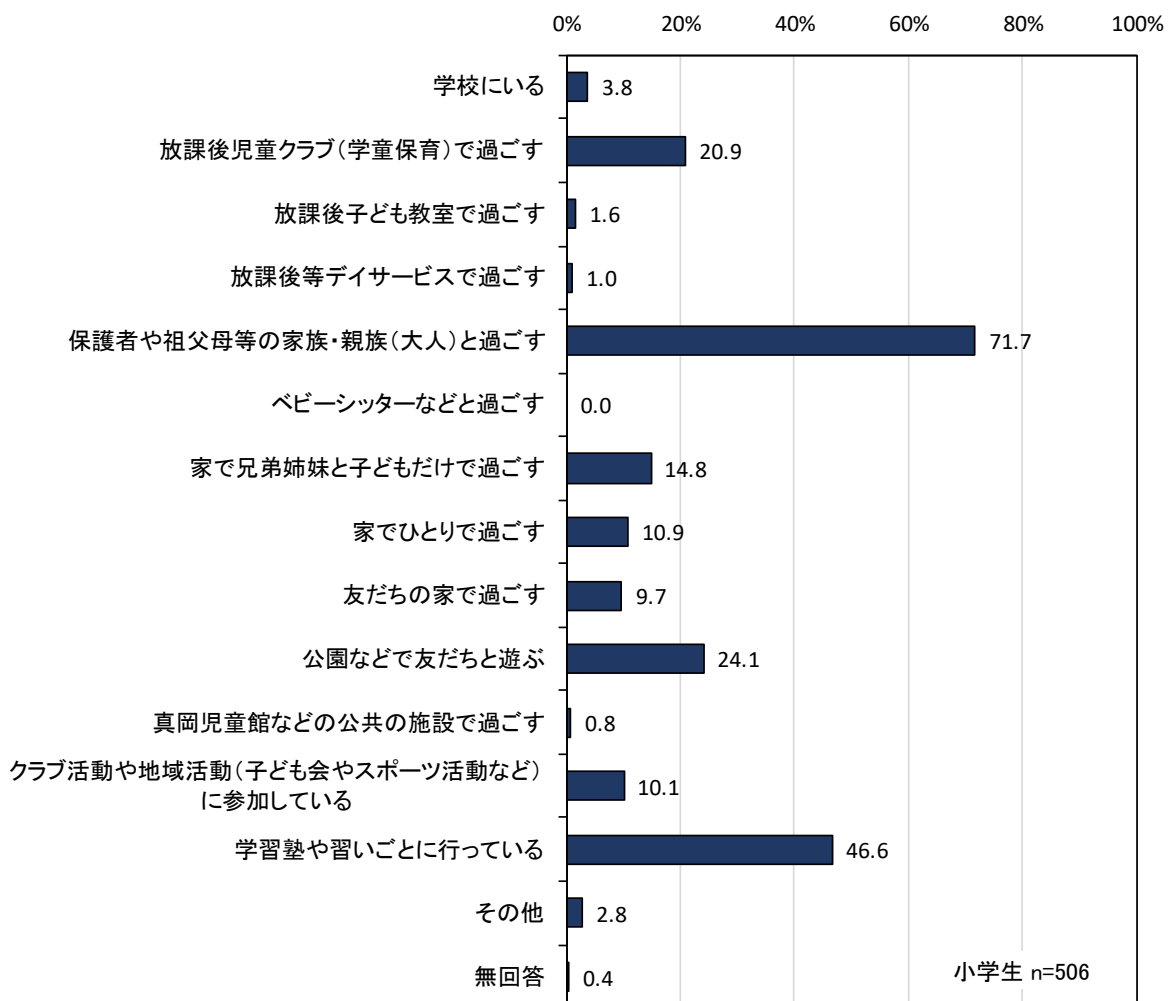
父親が働いていない理由については、該当する回答者は1人で、「無回答」となっています。

## 5. 放課後や休日の過ごし方について

問 13 宛名のお子さんは、平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか。下の表（選択肢）から主な番号を3つ選んでそれぞれの欄にご記入ください。

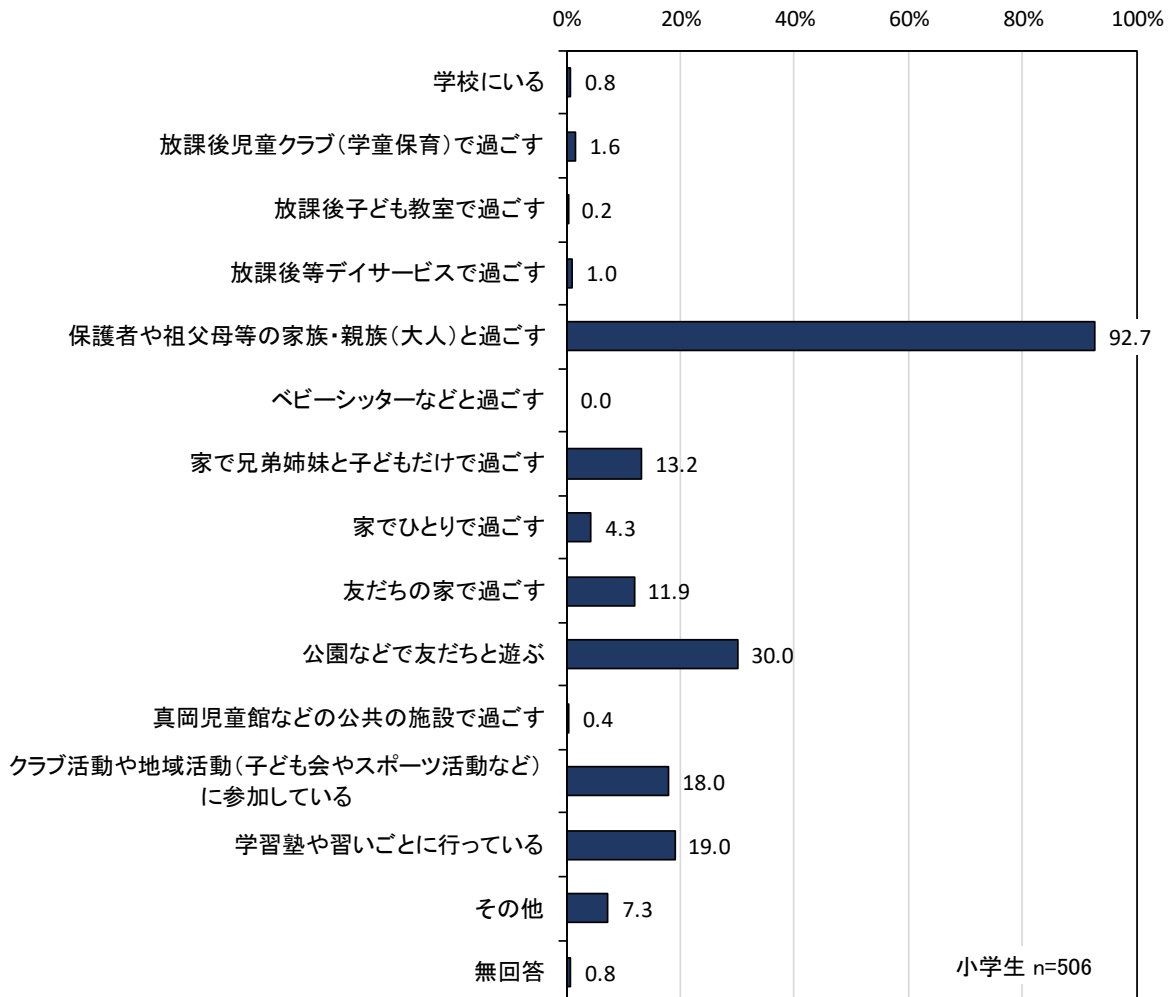
### （1）平日の放課後の過ごし方

平日の放課後の過ごし方については、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が71.7%で最も高く、次いで「学習塾や習いごとに行っている」が46.6%、「公園などで友だちと遊ぶ」が24.1%となっています。



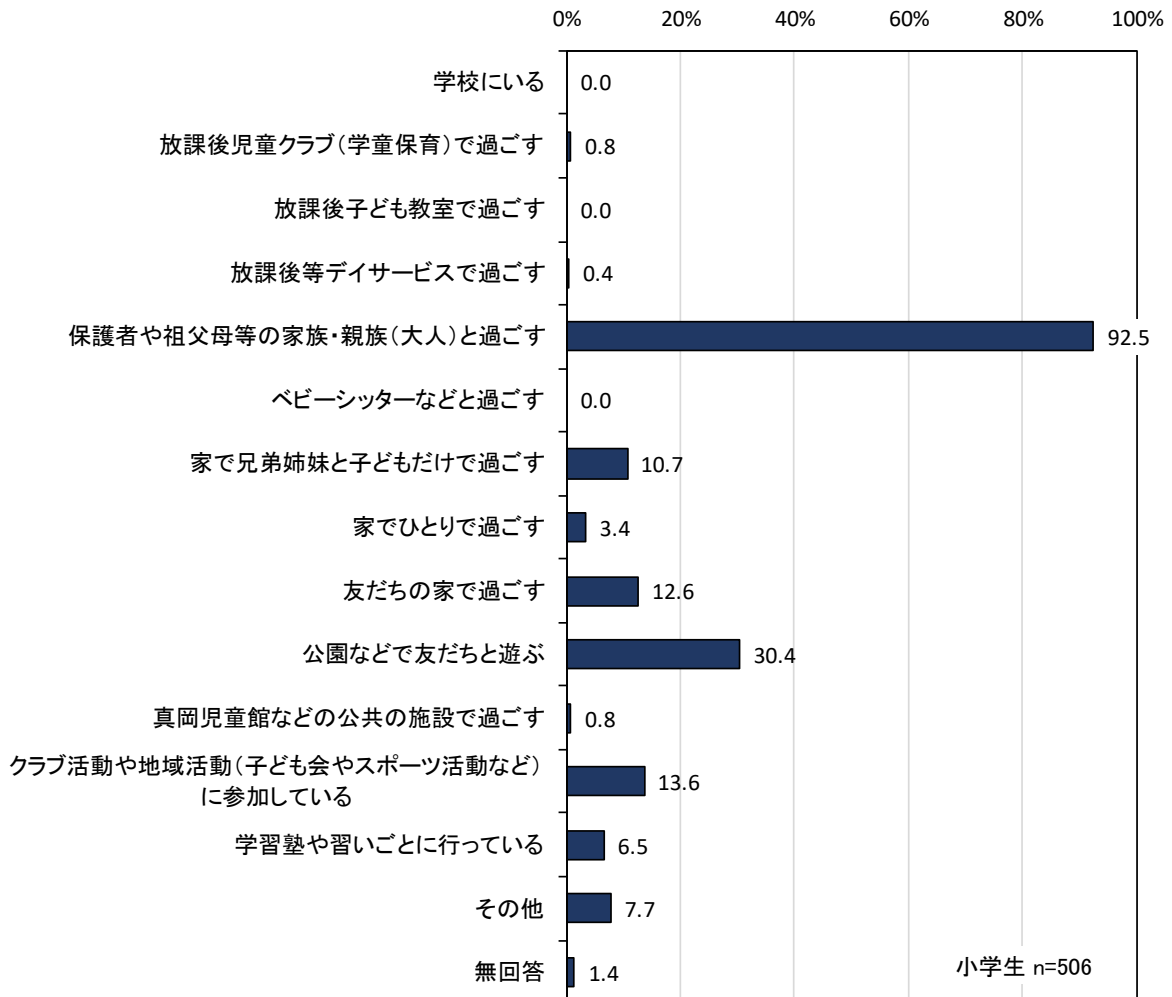
## (2) 土曜日の過ごし方

土曜日の過ごし方については、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が 92.7%で最も高く、次いで「公園などで友だちと遊ぶ」が 30.0%、「学習塾や習いごとに行っている」が 19.0%となっています。



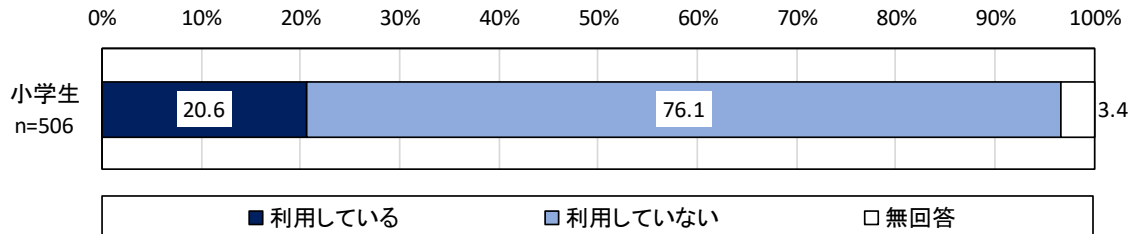
(3) 日曜日の過ごし方

日曜日の過ごし方については、「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」が 92.5%で最も高く、次いで「公園などで友だちと遊ぶ」が 30.4%、「クラブ活動や地域活動（子ども会やスポーツ活動など）に参加している」が 13.6%となっています。



**問 14 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育）を利用していますか。（〇は1つ）**

放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況については、「利用している」が20.6%、「利用していない」が76.1%となっています。

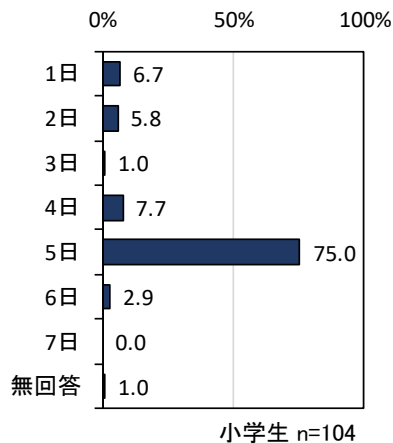


**問 14-1 問 14で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。**

宛名のおさんは、現在、放課後児童クラブ（学童保育）の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてお答えください。（口内に数字をご記入ください。〇は1つ）

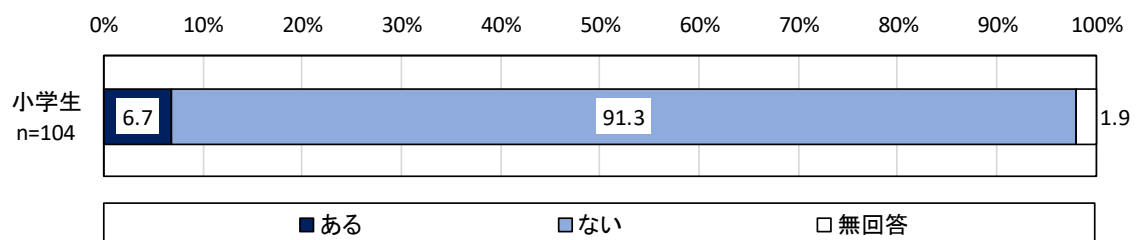
放課後児童クラブ（学童保育）を利用している方の1週当たりの利用日数については、「5日」が75.0%で最も高く、次いで「4日」が7.7%、「1日」が6.7%となっています。

**【1週当たりの利用日数】**



**●土曜日の利用の有無**

土曜日の利用の有無については、「ある」が6.7%、「ない」が91.3%となっています。



問 14-2 問 14で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

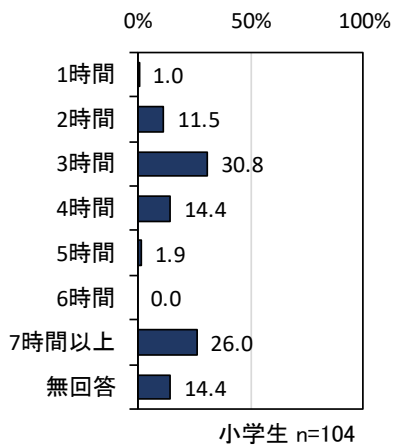
できれば利用したい1日当たりの希望の時間は、何時間（何時から何時まで）ですか。

（口内に数字をご記入ください。）

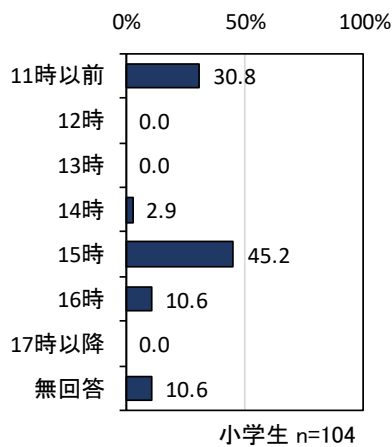
利用したい1日当たりの利用希望時間は、「3時間」が30.8%で最も高く、次いで「7時間以上」が26.0%、「4時間」が14.4%となっています。

また、希望開始時間は「15時」が45.2%で最も高く、次いで「11時以前」が30.8%、希望終了時間は「18時」が46.2%で最も高く、次いで「19時」が27.9%となっています。

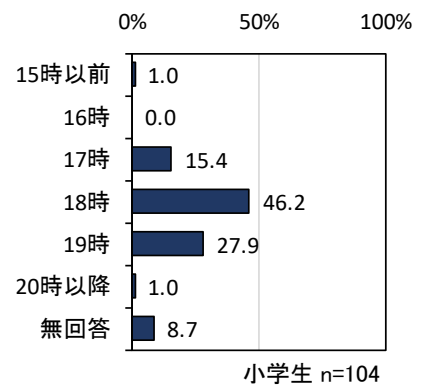
【1日当たりの利用希望時間】



【希望開始時間】



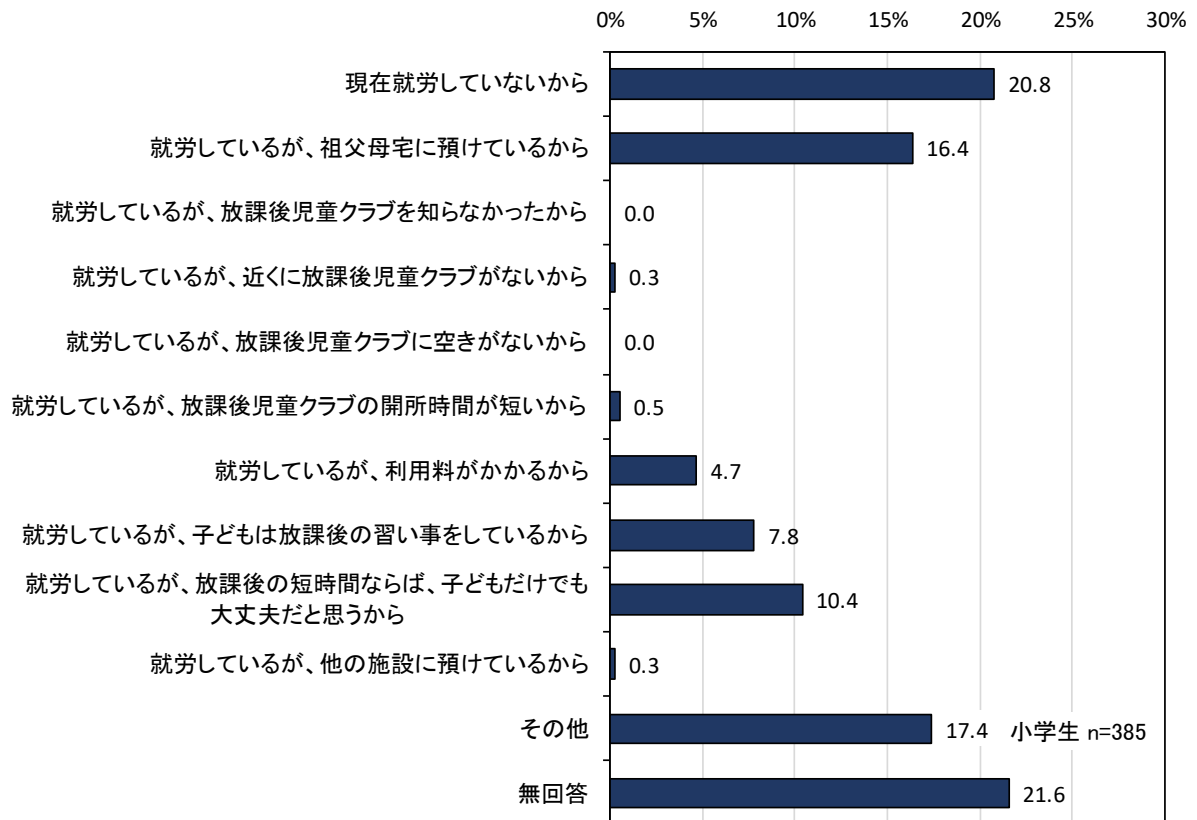
【希望終了時間】



問 14-3 問 14 で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

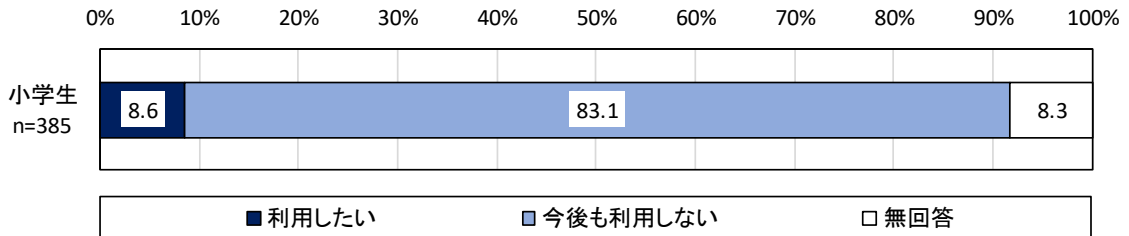
利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

放課後児童クラブ（学童保育）を利用していない理由については、「現在就労していないから」が 20.8%で最も高く、次いで「その他」が 17.4%、「就労しているが、祖父母宅に預けているから」が 16.4%となっています。



問 14-4 問 14で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。  
 お子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいとお考えですか。また、利用したい場合に土曜日の利用希望はありますか。（それぞれ〇は1つ、該当する□内に数字をご記入ください。）

放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向については、「利用したい」が8.6%、「今後も利用しない」が83.1%となっています。

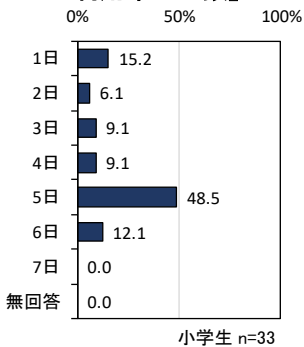


● 『利用したい』と回答した方の利用希望

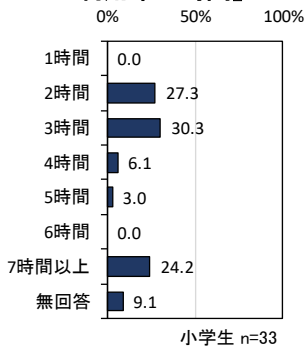
1週当たりの利用希望日数については、「5日」が48.5%で最も高く、次いで「1日」が15.2%、「6日」が12.1%、1日当たりの利用希望時間は、「3時間」が30.3%で最も高く、次いで「2時間」が27.3%、「7時間以上」が24.2%となっています。

また、希望開始時間は「15時」が39.4%で最も高く、次いで「11時以前」が30.3%、希望終了時間は「18時」が39.4%で最も高く、次いで「17時」が24.2%となっています。

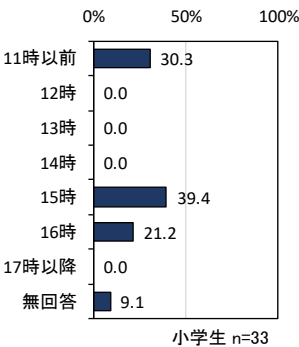
【1週当たりの利用希望日数】



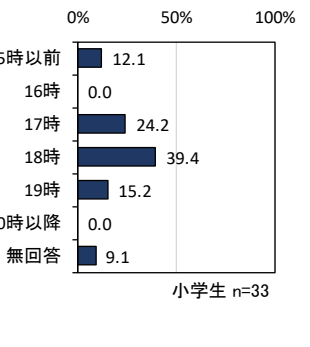
【1日当たりの利用希望時間】



【希望開始時間】

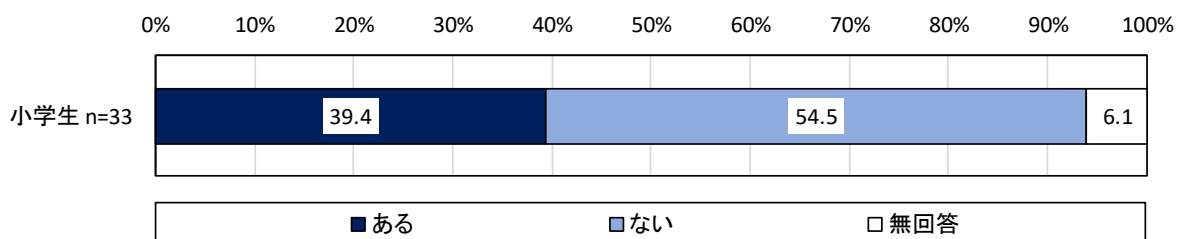


【希望終了時間】



● 『利用したい』と回答した方の土曜日の利用希望

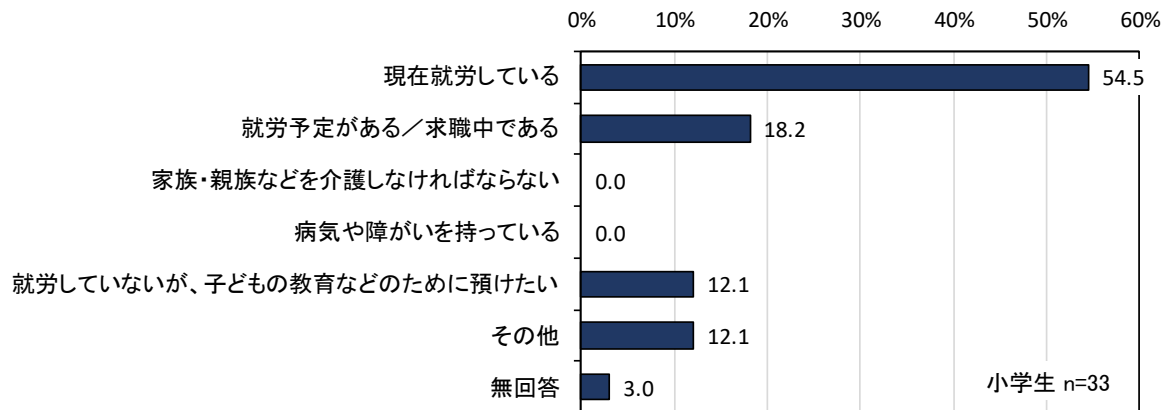
土曜日の利用希望については、「ある」が39.4%、「ない」が54.5%となっています。





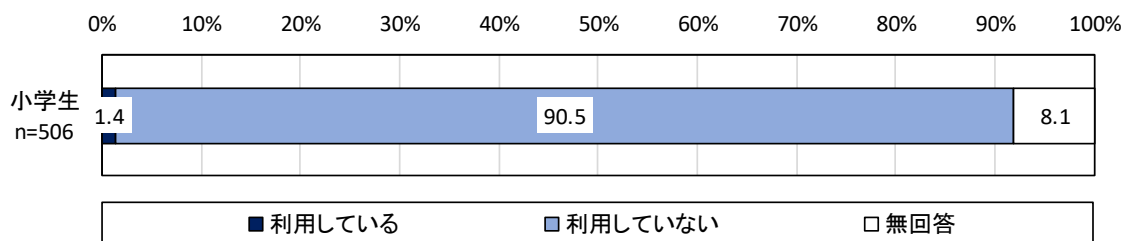
問 14-5 問 14-4で「1. 利用したい」と回答した方にうかがいます。  
利用したい主な理由は何ですか。(〇は1つ)

利用したい理由については、「現在就労している」が 54.5%で最も高く、次いで「就労予定がある／求職中である」が 18.2%、「就労していないが、子どもの教育などのために預けたい」、「その他」がともに 12.1%となっています。



問 15 宛名のお子さんについて、現在、放課後子ども教室を利用していますか。(〇は1つ)

放課後子ども教室の利用状況については、「利用している」が 1.4%、「利用していない」が 90.5%となっています。



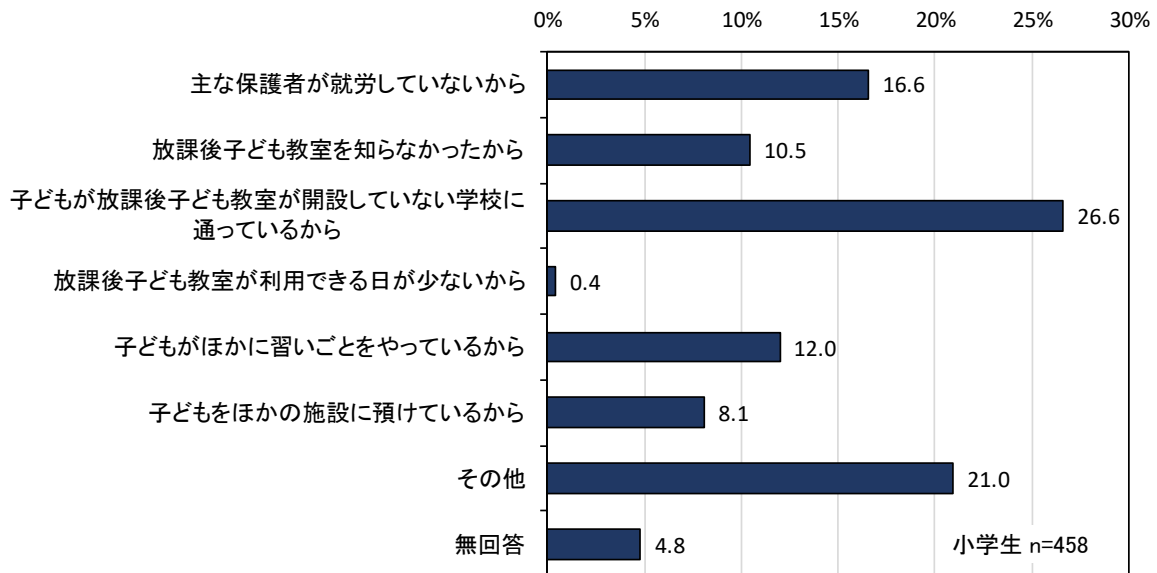
問 15-1 問 15で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。  
利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

利用している理由については、該当する回答者は7人で、「主な保護者が就労している」が3件、「地域の方と交流できる機会だから」が2件、「スポーツ・文化芸術活動などの体験ができるから」が4件、「その他」が1件となっています。

問 15-2 問 15で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

利用していない主な理由は何ですか。(〇は1つ)

利用していない理由については、「子どもが放課後子ども教室が開設していない学校に通っているから」が26.6%で最も高く、次いで「その他」が21.0%、「主な保護者が就労していないから」が16.6%となっています。

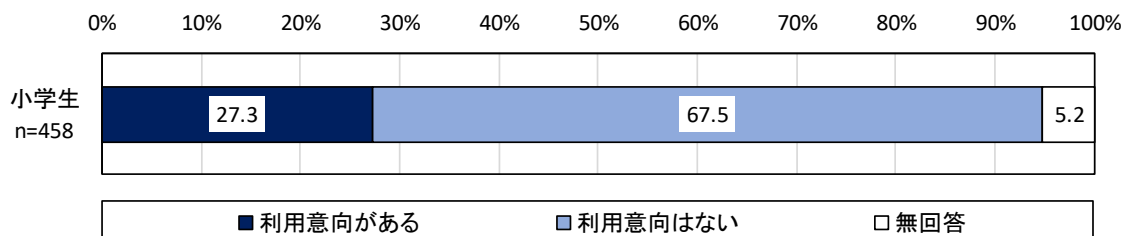


問 15-3 問 15で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

お子さんについて、今後放課後子ども教室の利用意向はありますか。(〇は1つ)

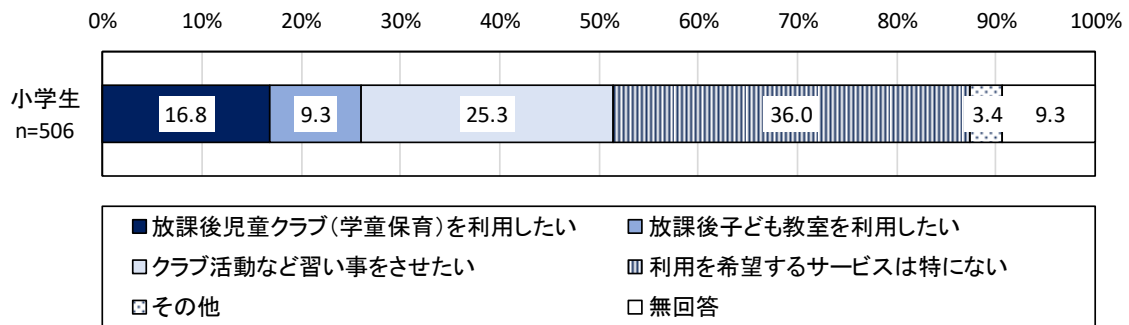
※開設されていない小学校へ通学されているお子さんは、開設した場合の利用意向をお答えください。

放課後子ども教室の利用意向については、「利用意向がある」が27.3%、「利用意向はない」が67.5%となっています。



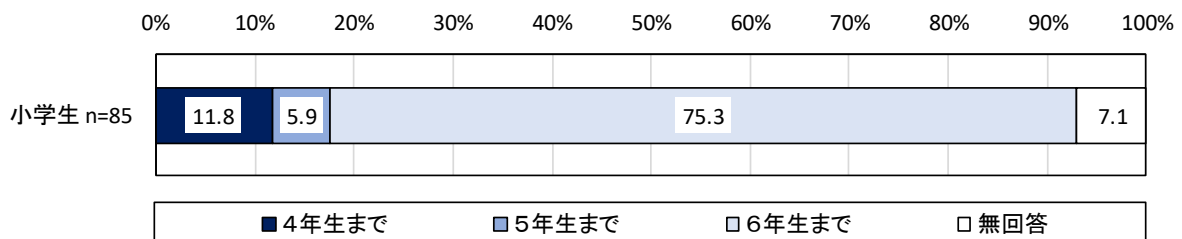
問 16 お子さんについてうかがいます。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(〇は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。)

小学4年生以降の放課後の過ごし方については、「利用を希望するサービスは特にない」が36.0%で最も高く、次いで「クラブ活動など習い事をさせたい」が25.3%、「放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい」が16.8%となっています。



#### ●『放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい』と回答した方の利用希望

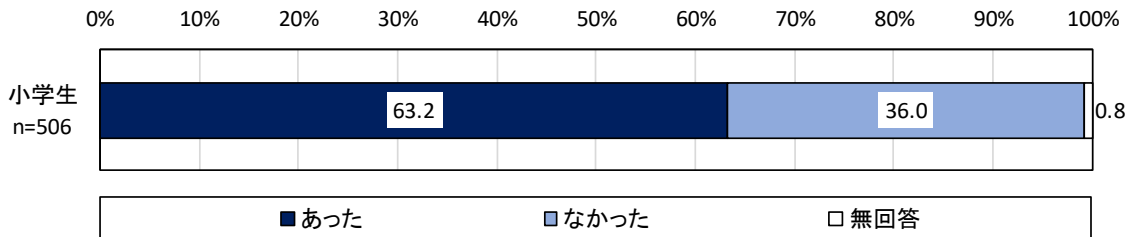
何年生まで利用を希望するかについては、「6年生まで」が75.3%で最も高く、次いで「4年生まで」が11.8%、「5年生まで」が5.9%となっています。



## 6. 病気の際の対応について

問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(〇は1つ)

病気やケガで学校を休んだ有無については、「あった」が63.2%、「なかった」が36.0%となっています。

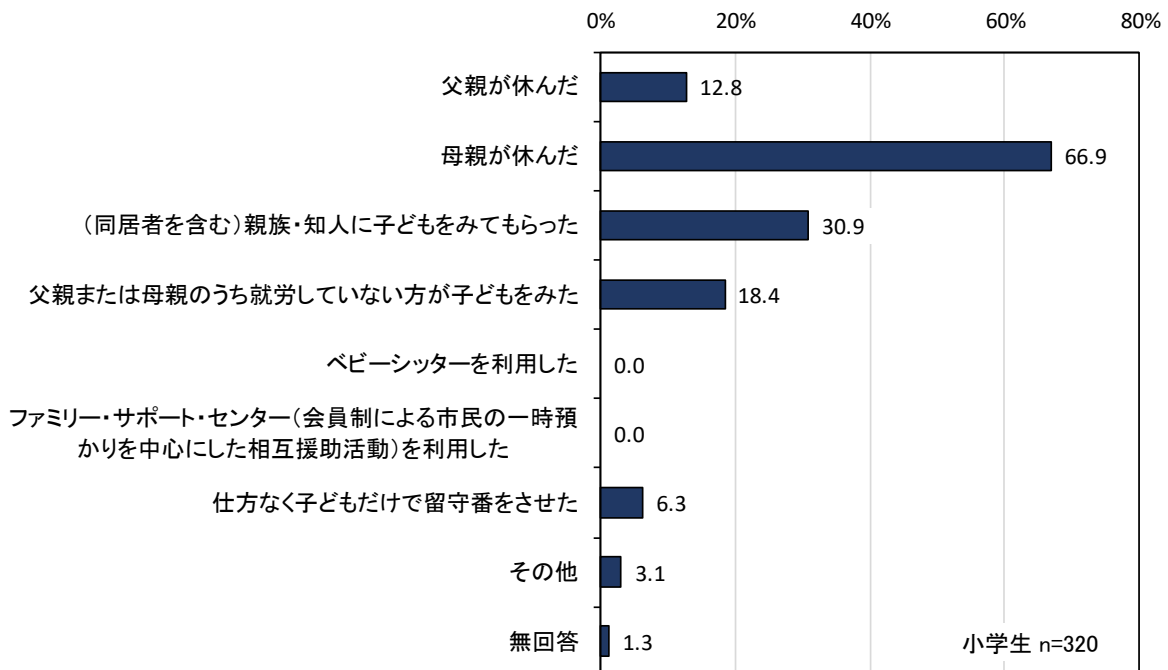


問 17-1 問 17で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに〇、口内に数字をご記入ください。)

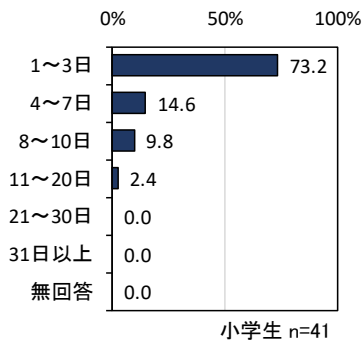
学校を休んだ際の対処方法については、「母親が休んだ」が66.9%で最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が30.9%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が18.4%となっています。



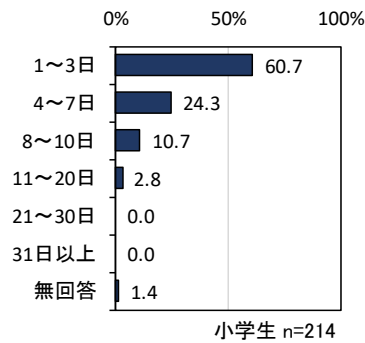
●対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

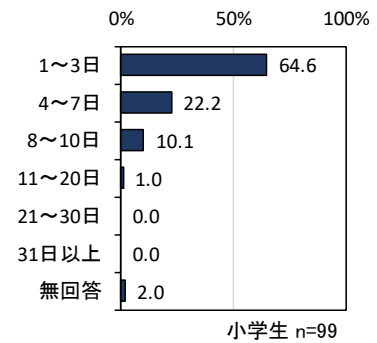
【父親が休んだ】



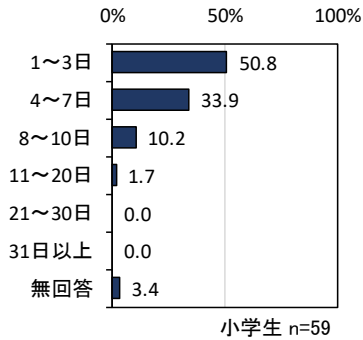
【母親が休んだ】



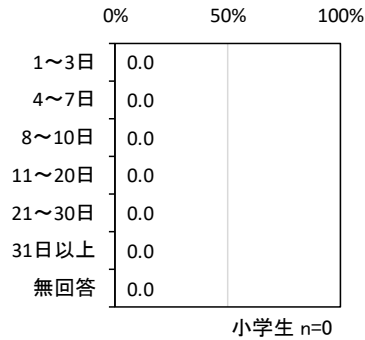
【親族・知人に子どもをみてもらった】



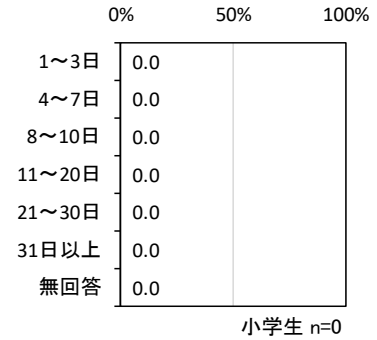
【父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた】



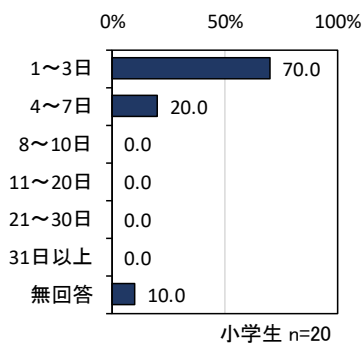
【ベビーシッターを利用した】



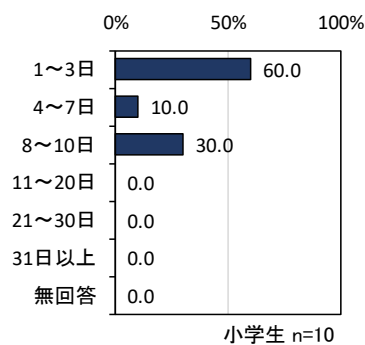
【ファミリー・サポート・センターを利用した】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【その他】

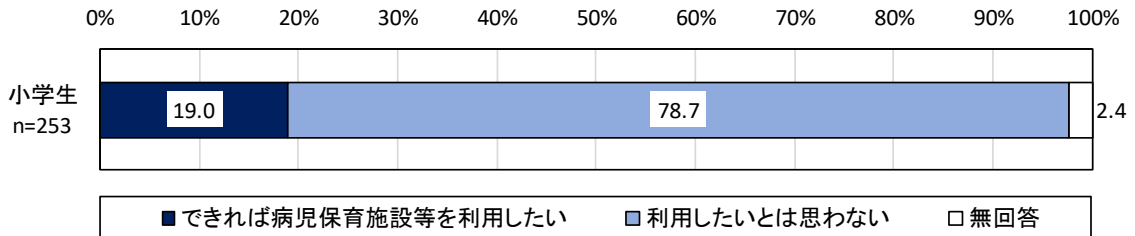


問 17-2 問 17-1で「1」から「3」と回答した方にうかがいます。

その際、「できれば施設を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。

(〇は1つ、□内に数字をご記入ください。)

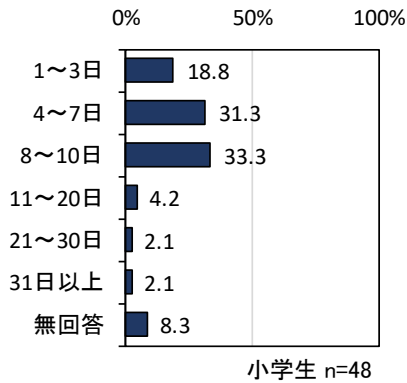
病児保育施設等の利用希望については、「できれば病児保育施設等を利用したい」が19.0%、「利用したいとは思わない」が78.7%となっています。



● 『できれば病児保育施設等を利用したい』と回答した方の利用希望日数（年間）

利用希望日数は、「8～10日」が33.3%で最も高く、次いで「4～7日」が31.3%となっています。

【利用希望日数（年間）】

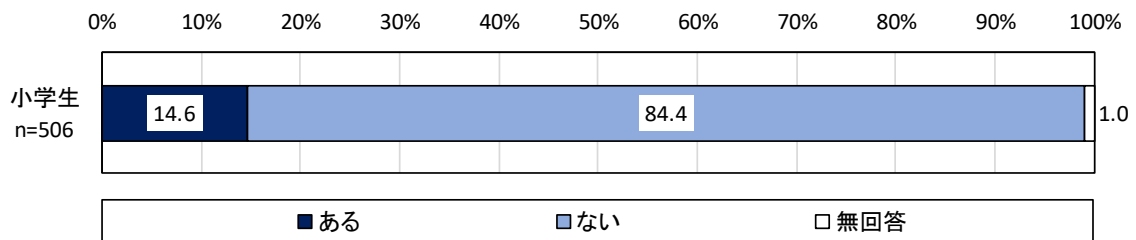


## 7. 一時預かりや宿泊を伴う一時預かりの利用について

問 18 この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。1年間の利用日数（おおよそ）もご記入ください。  
（○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。）

### (1) 私用等の目的で家族以外に預けた有無

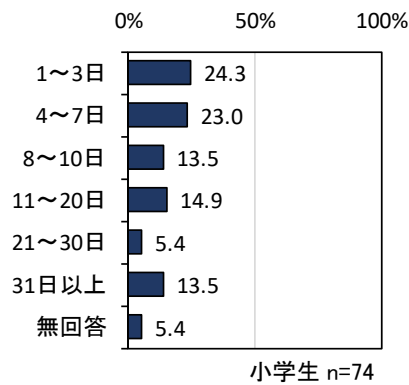
私用等の目的で家族以外に預けた有無については、「ある」が14.6%、「ない」が84.4%となっています。



### ●家族以外に預けた日数（年間）

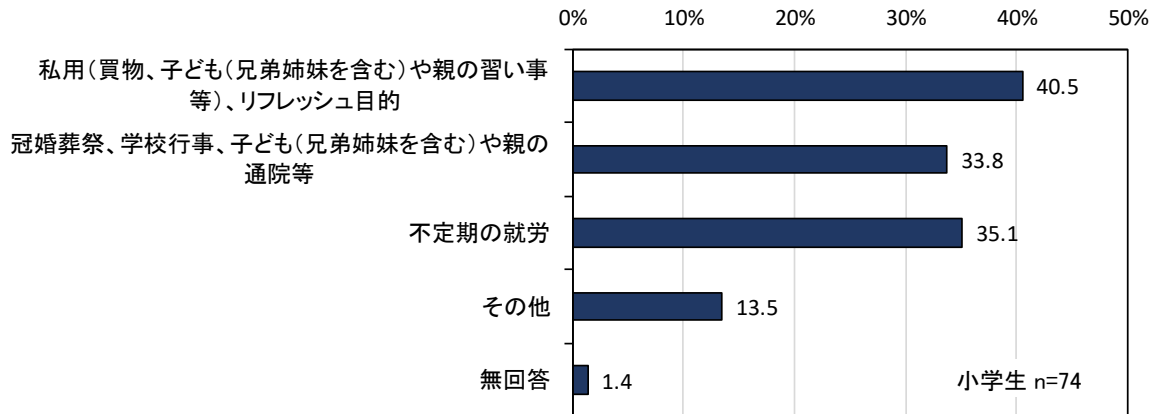
家族以外に預けた日数については、「1～3日」が24.3%で最も高く、次いで「4～7日」が23.0%、「11～20日」が14.9%となっています。

### 【家族以外に預けた日数（年間）】



(2) 家族以外に預けた目的

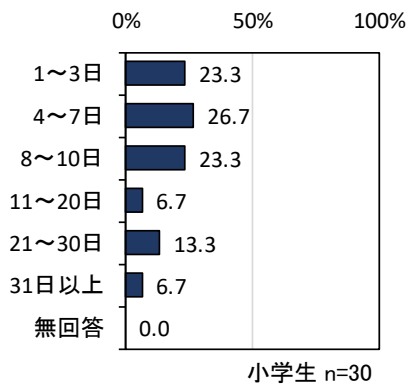
家族以外に預けた理由については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が40.5%で最も高く、次いで「不定期の就労」が35.1%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が33.8%となっています。



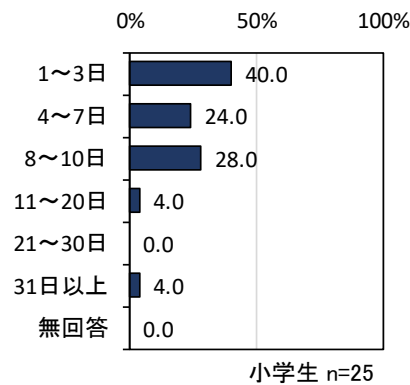
●目的別の日数（年間）

目的別の日数については、以下のとおりとなっています。

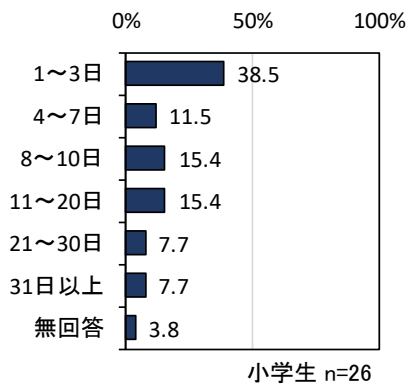
【私用、リフレッシュ目的】



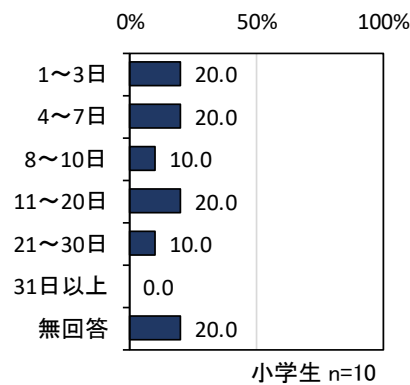
【冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等】



【不定期の就労】



【その他】

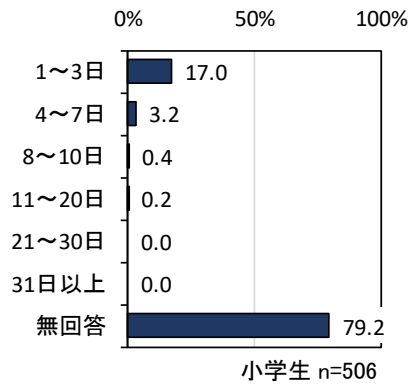




問 19 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。月当たりでお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

現在、利用していない方の利用希望日数、または現在利用している方が増やしたい日数については、「1～3日」が17.0%で最も高く、次いで「4～7日」が3.2%となっています。

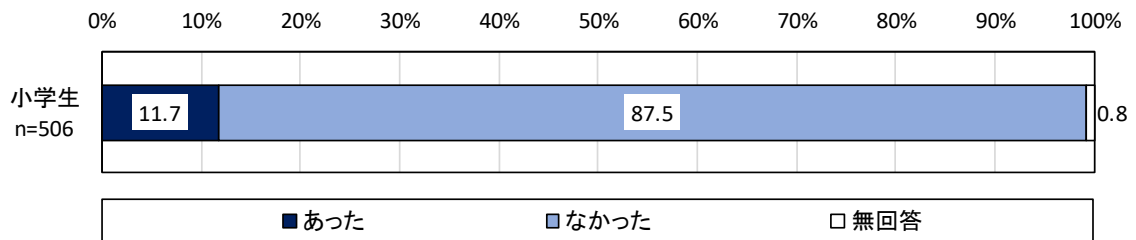
**【利用していない方の1か月当たりの利用希望日数、利用している方の1か月当たりで増やしたい日数】**



問 20 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）はありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。（○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。）

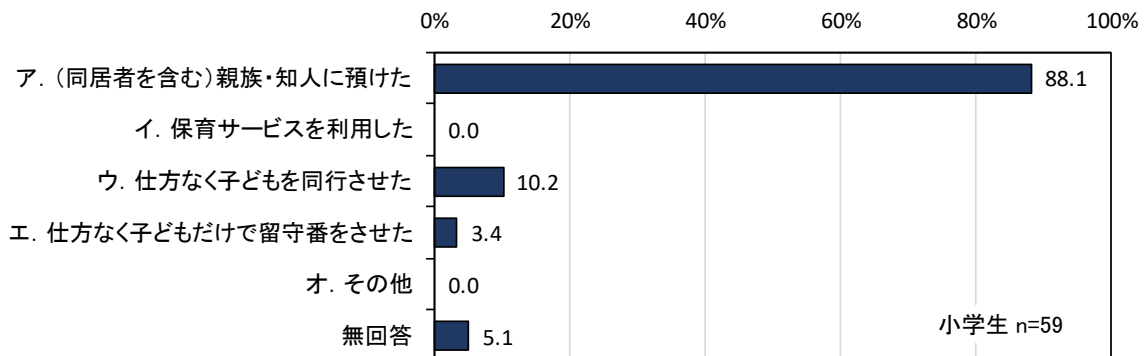
(1) 家族以外にみてもらった有無

家族以外にみてもらった有無については、「あった」が11.7%、「なかった」が87.5%となっています。



(2) 対処方法

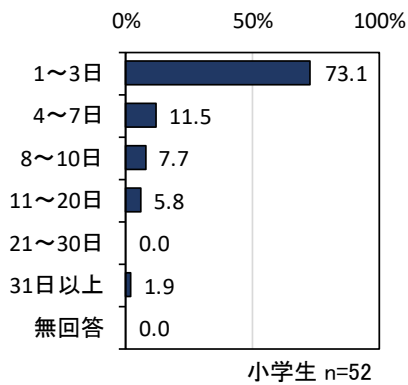
対処方法については、「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が88.1%で最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」が10.2%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が3.4%となっています。



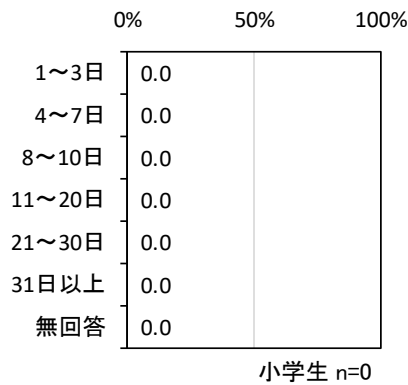
●対処方法別の年間日数

対処方法別の年間日数については、以下のとおりとなっています。

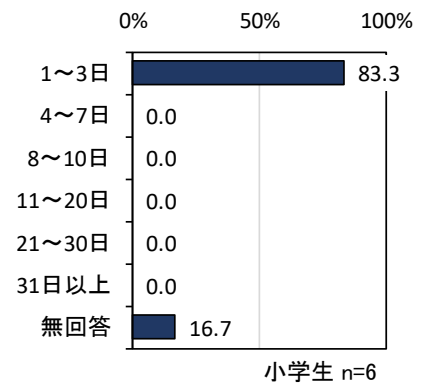
【親族・知人に預けた】



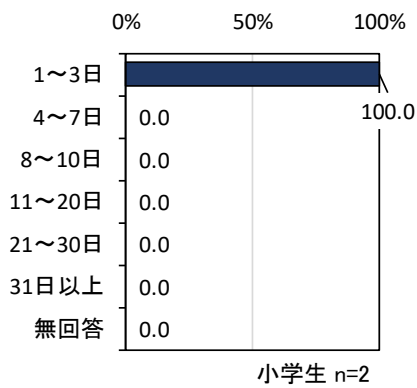
【保育サービスを利用した】



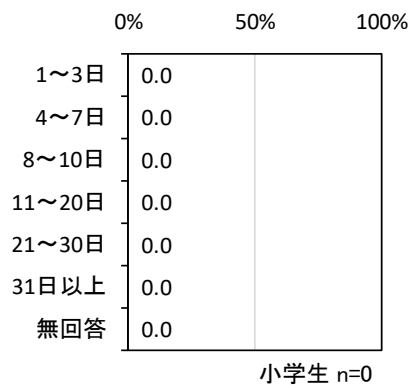
【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

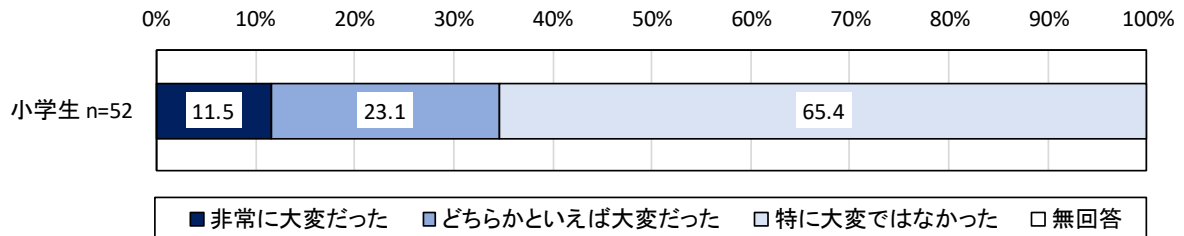


【その他】



問 20-1 問 20 で「ア。(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と回答した方にかがいます。その場合の状況はどうでしたか。(〇は1つ)

親族・知人にみてもらった場合の状況については、「特に大変ではなかった」が 65.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば大変だった」が 23.1%、「非常に大変だった」が 11.5%となっています。

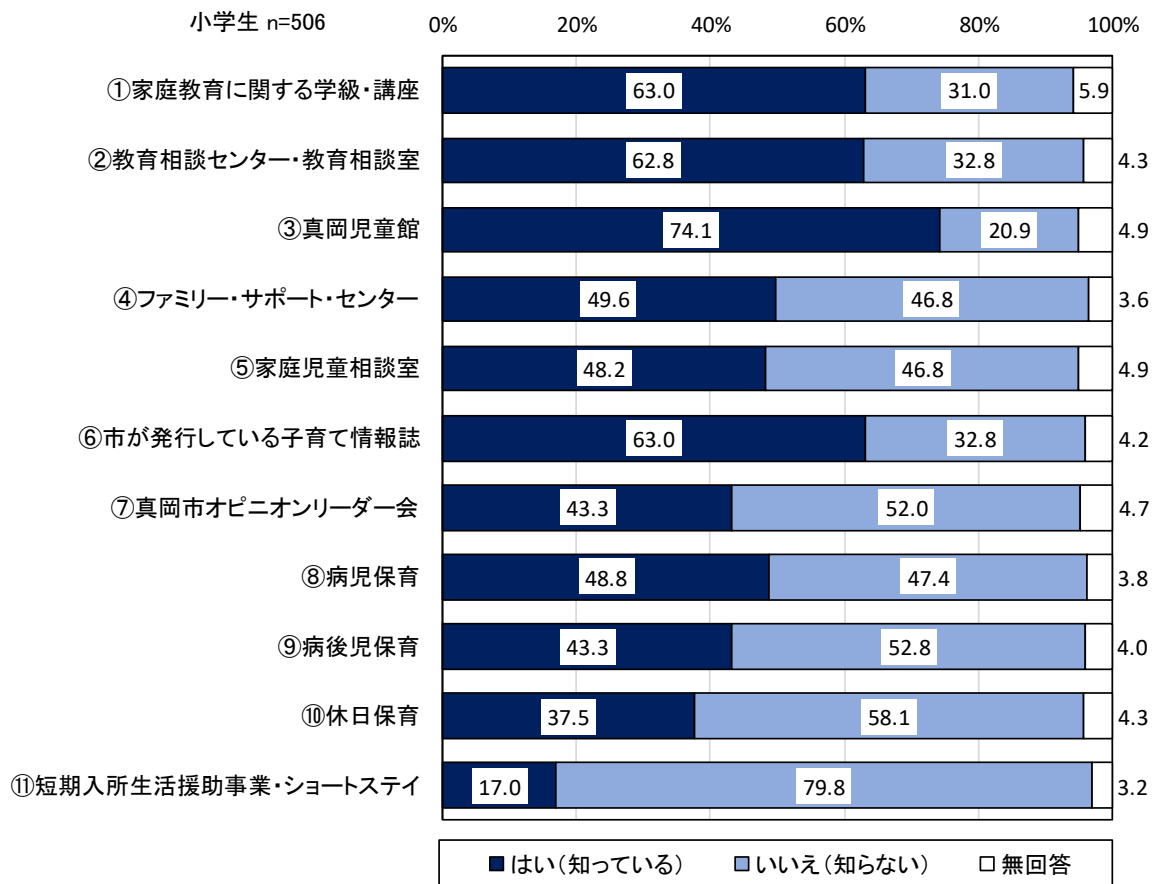


## 8. 子育て支援事業について

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

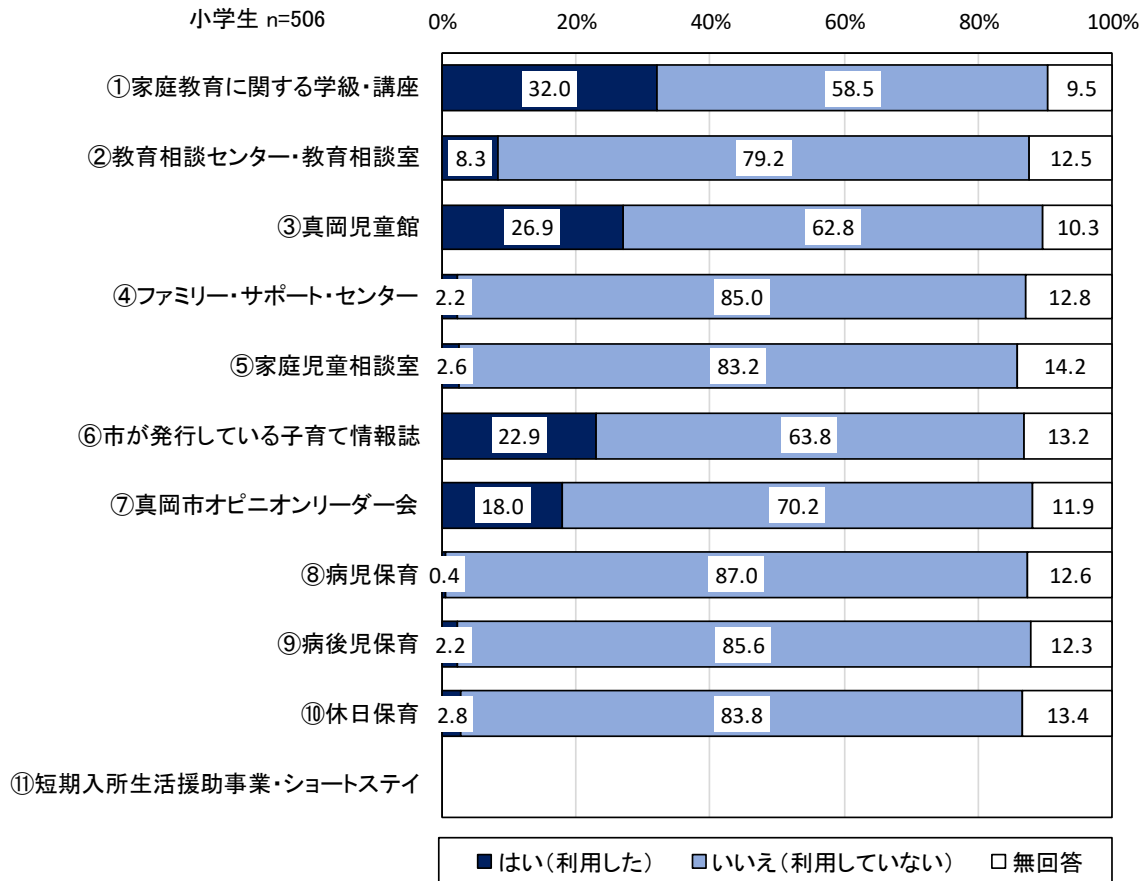
### (1) 事業の認知度

事業の認知度について、「はい(知っている)」をみると、『③真岡児童館』が74.1%で最も高く、次いで『①家庭教育に関する学級・講座』、『⑥市が発行している子育て情報誌』がともに63.0%、『②教育相談センター・教育相談室』が62.8%となっています。「はい(知っている)」の割合が最も低い事業は、『⑪短期入所生活援助事業・ショートステイ』で17.0%となっています。



(2) 事業の利用状況

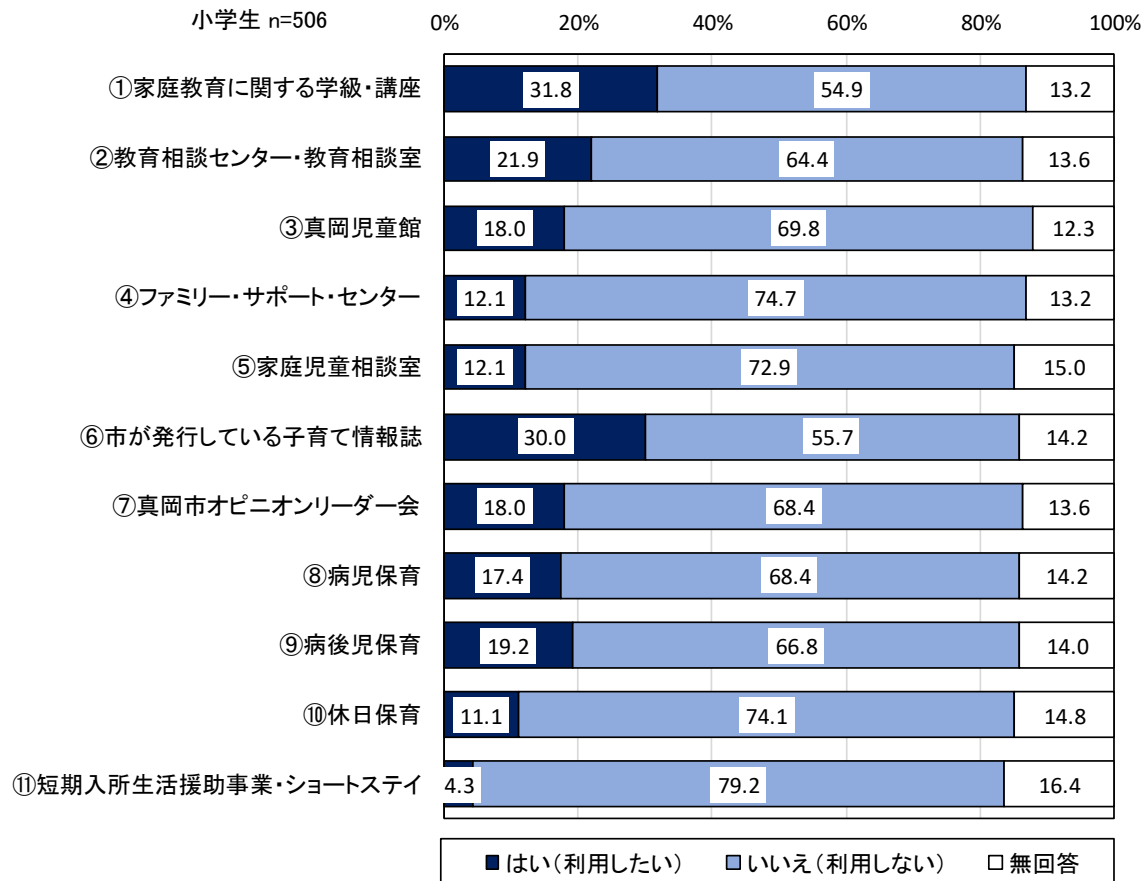
事業の利用状況について、「はい(利用した)」をみると、『①家庭教育に関する学級・講座』が32.0%で最も高く、次いで『③真岡児童館』が26.9%、『⑥市が発行している子育て情報誌』が22.9%となっています。「はい(利用した)」の割合が最も低い事業は、『⑧病児保育』で0.4%となっています。



※『⑪短期入所生活援助事業・ショートステイ』は、回答不要の項目のため空白となっています。

## (3) 事業の利用意向

事業の利用意向について、「はい(利用したい)」をみると、『①家庭教育に関する学級・講座』が31.8%で最も高く、次いで『⑥市が発行している子育て情報誌』が30.0%、『②教育相談センター・教育相談室』が21.9%となっています。「はい(利用したい)」の割合が最も低い事業は、『⑪短期入所生活援助事業・ショートステイ』で4.3%となっています。

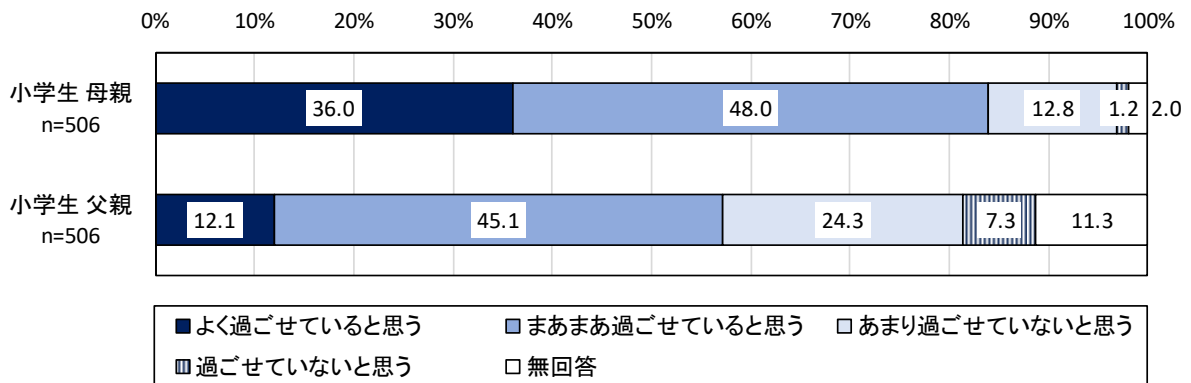


## 9. 暮らしやお子さんのことについて

問 22 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。(それぞれ〇は1つ)

母親がお子さんと過ごす時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が48.0%で最も高く、次いで「よく過ごせていると思う」が36.0%、「あまり過ごせていないと思う」が12.8%となっています。

父親がお子さんと過ごす時間については、「まあまあ過ごせていると思う」が45.1%で最も高く、次いで「あまり過ごせていないと思う」が24.3%、「よく過ごせていると思う」が12.1%となっています。

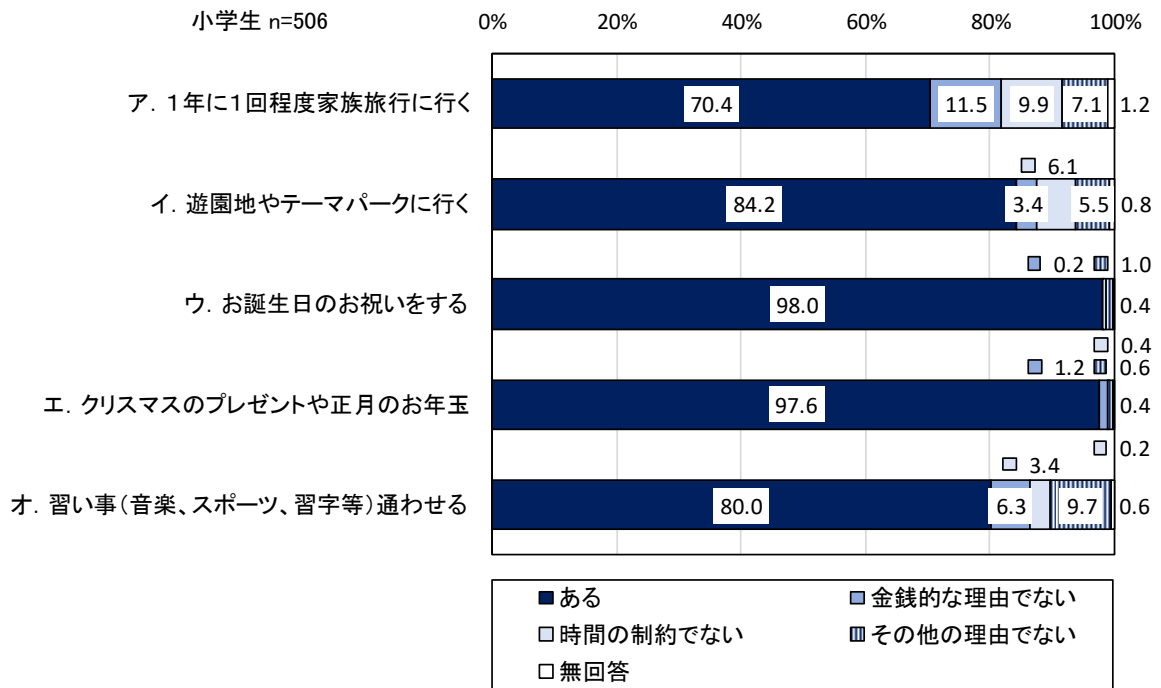




問 23 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お子さんと次のような体験をしましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

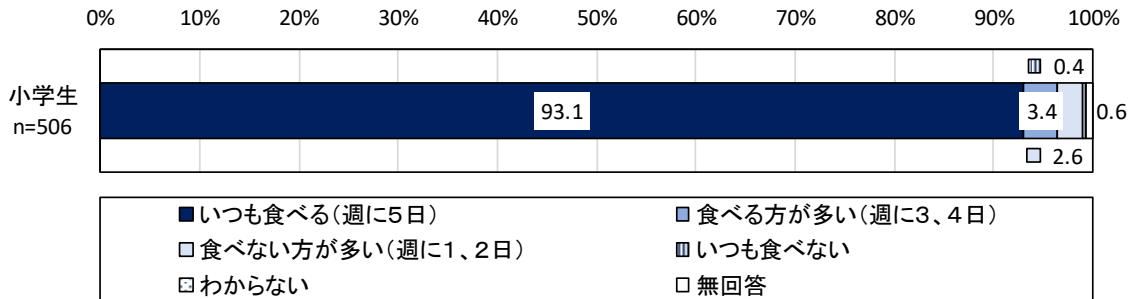
過去1年間の体験について、「ある」をみると、『ウ. お誕生日のお祝いをする』が98.0%で最も高く、次いで『エ. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉』が97.6%となっています。

一方で、「金銭的な理由でない」をみると、『ア. 1年に1回程度家族旅行に行く』が11.5%で最も高くなっています。



問 24 お子さんは、平日に毎日朝食を食べていますか。(〇は1つ)

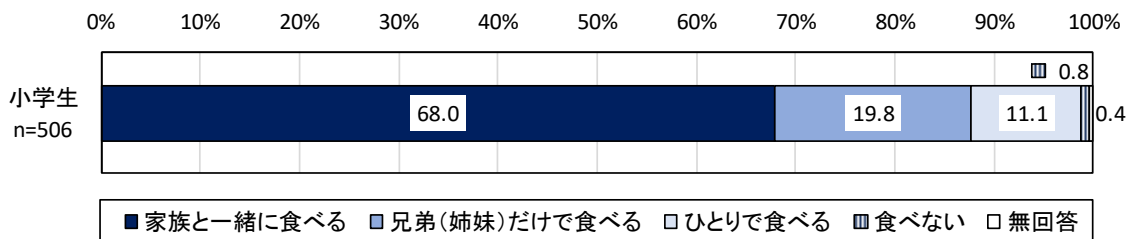
平日の朝食については、「いつも食べる(週に5日)」が93.1%で最も高く、次いで「食べる方が多い(週に3、4日)」が3.4%、「食べない方が多い(週に1、2日)」が2.6%となっています。



問 25 お子さんは、ふだん家族と一緒に食事をしていきますか。平日と休日の「朝食」と「夕食」について、下の表(選択肢)から番号を選んでそれぞれの欄にご記入ください。(それぞれに選択肢を1つご記入ください。)

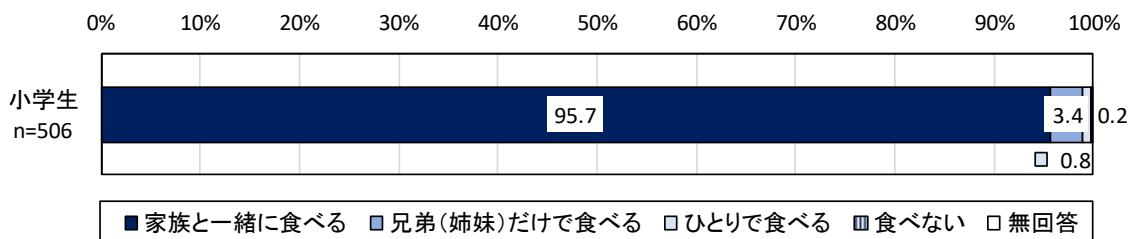
●平日の朝食

平日の朝食の状況については、「家族と一緒に食べる」が68.0%で最も高く、次いで「兄弟(姉妹)だけで食べる」が19.8%、「ひとりで食べる」が11.1%となっています。



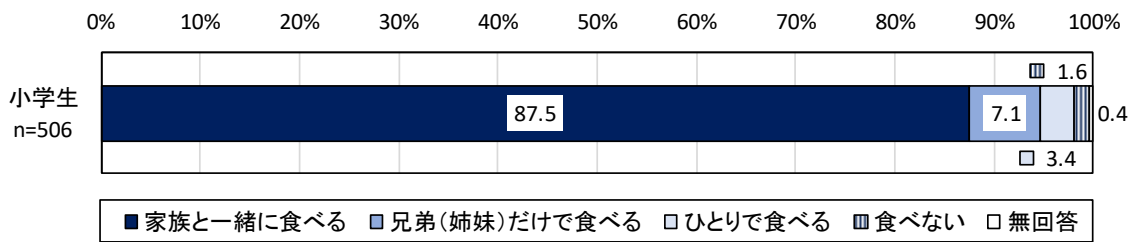
●平日の夕食

平日の夕食の状況については、「家族と一緒に食べる」が95.7%で最も高く、次いで「兄弟(姉妹)だけで食べる」が3.4%、「ひとりで食べる」が0.8%となっています。



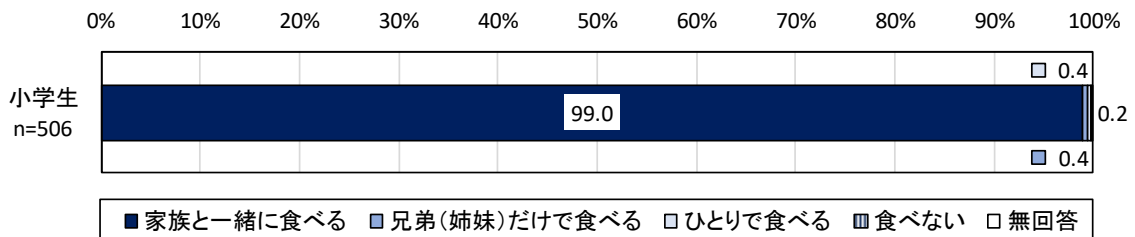
## ● 休日の朝食

休日の朝食の状況については、「家族と一緒に食べる」が 87.5%で最も高く、次いで「兄弟（姉妹）だけで食べる」が 7.1%、「ひとりで食べる」が 3.4%となっています。



## ● 休日の夕食

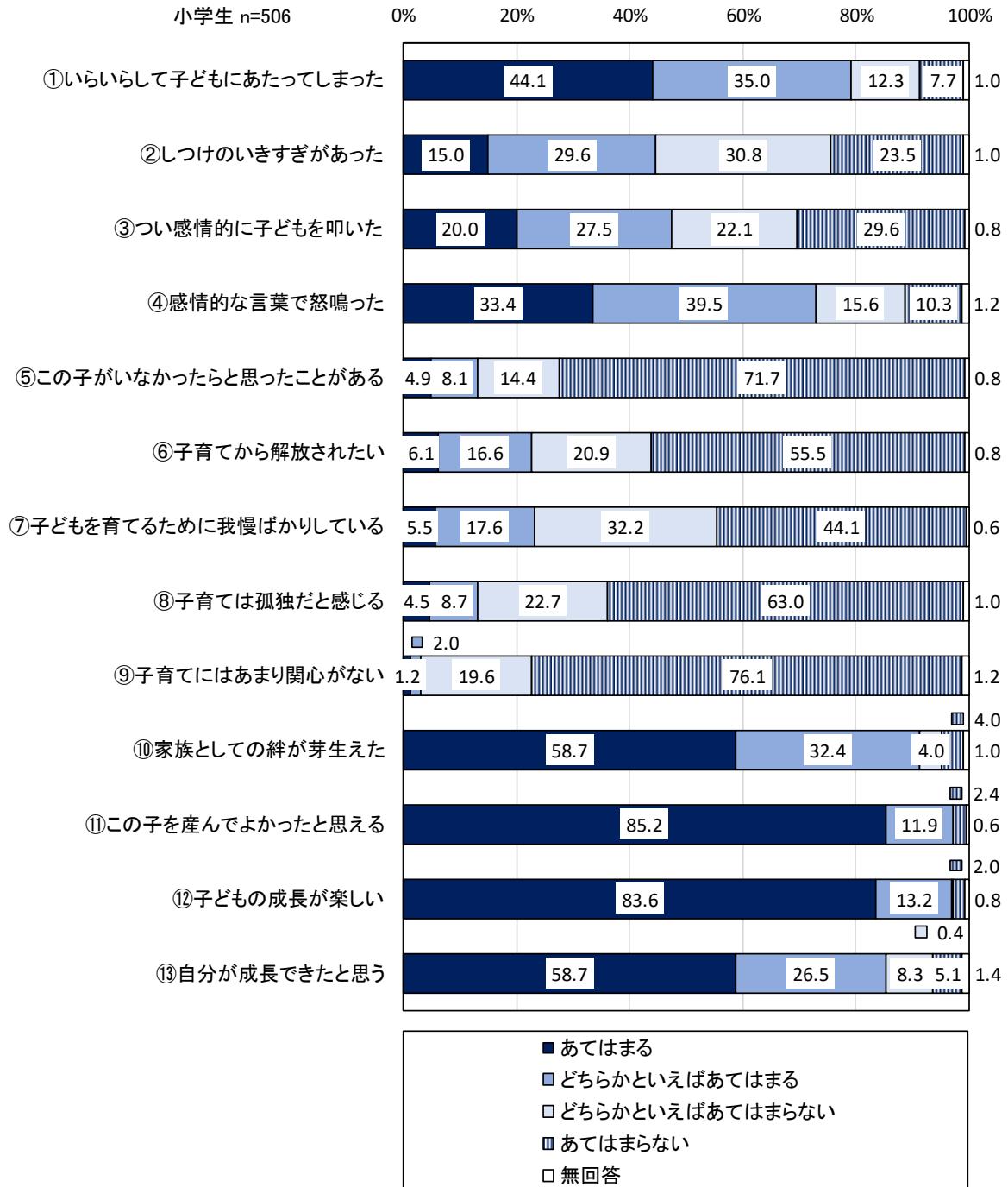
休日の夕食の状況については、「家族と一緒に食べる」が 99.0%で最も高く、次いで「兄弟（姉妹）だけで食べる」、「ひとりで食べる」がともに 0.4%となっています。



問 26 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。  
(それぞれ0は1つ)

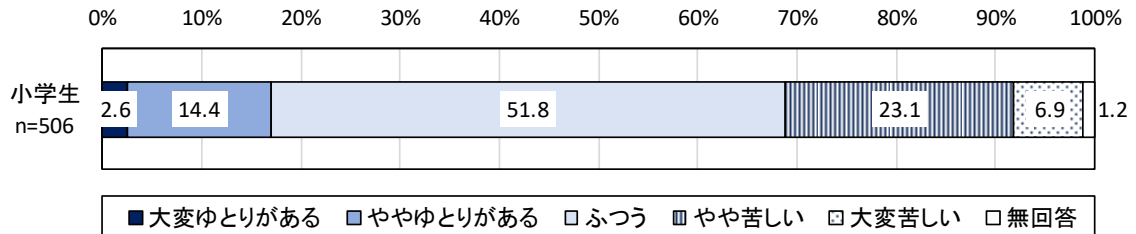
子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『⑪この子を産んでよかったと思える』が85.2%で最も高く、次いで『⑫子どもの成長が楽しい』が83.6%となっています。

一方で、「あてはまらない」をみると、『⑨子育てにはあまり関心がない』が76.1%で最も高く、次いで『⑤この子がいなかったらと思ったことがある』が71.7%となっています。



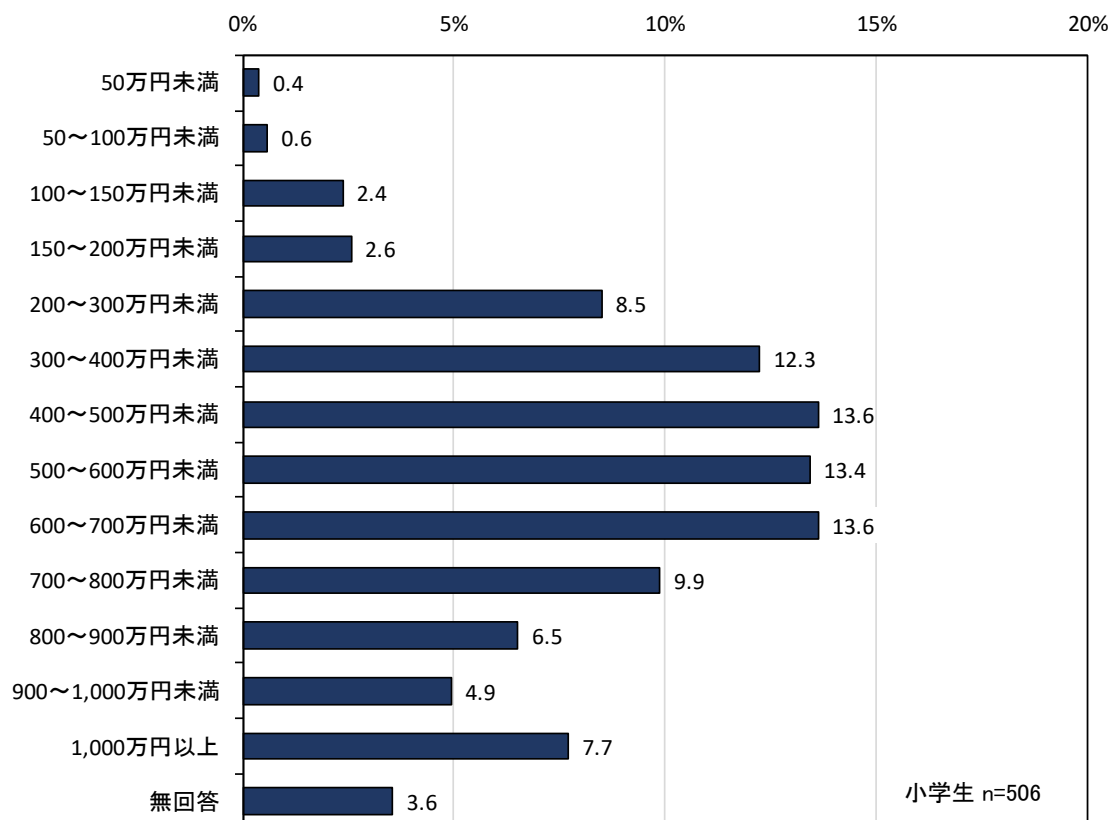
問 27 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済状況については、「ふつう」が51.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が23.1%、「ややゆとりがある」が14.4%となっています。



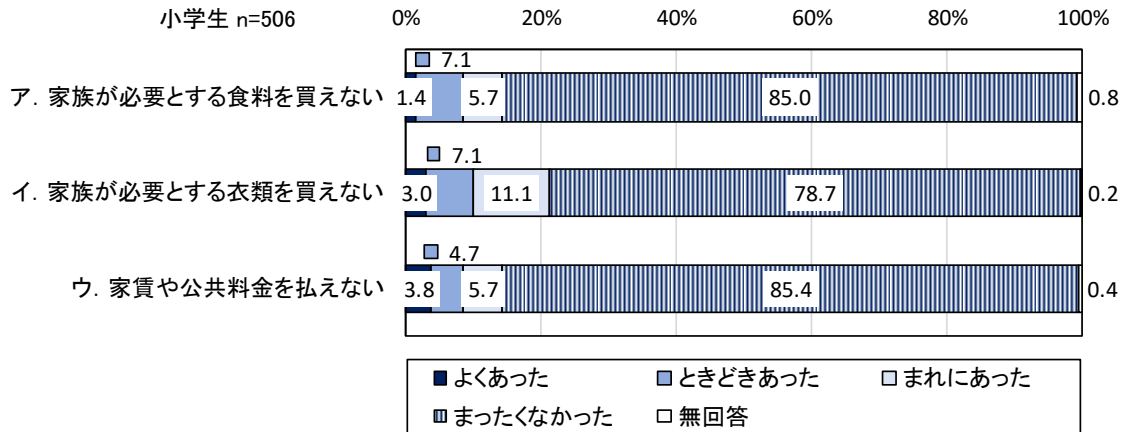
問 28 全世帯員の前年度の収入合計額（税込）はおよそいくらでしたか。(〇は1つ)

全世帯員の前年度の収入合計額については、「400～500万円未満」、「600～700万円未満」がともに13.6%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が13.4%、「300～400万円未満」が12.3%となっています。



問 29 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

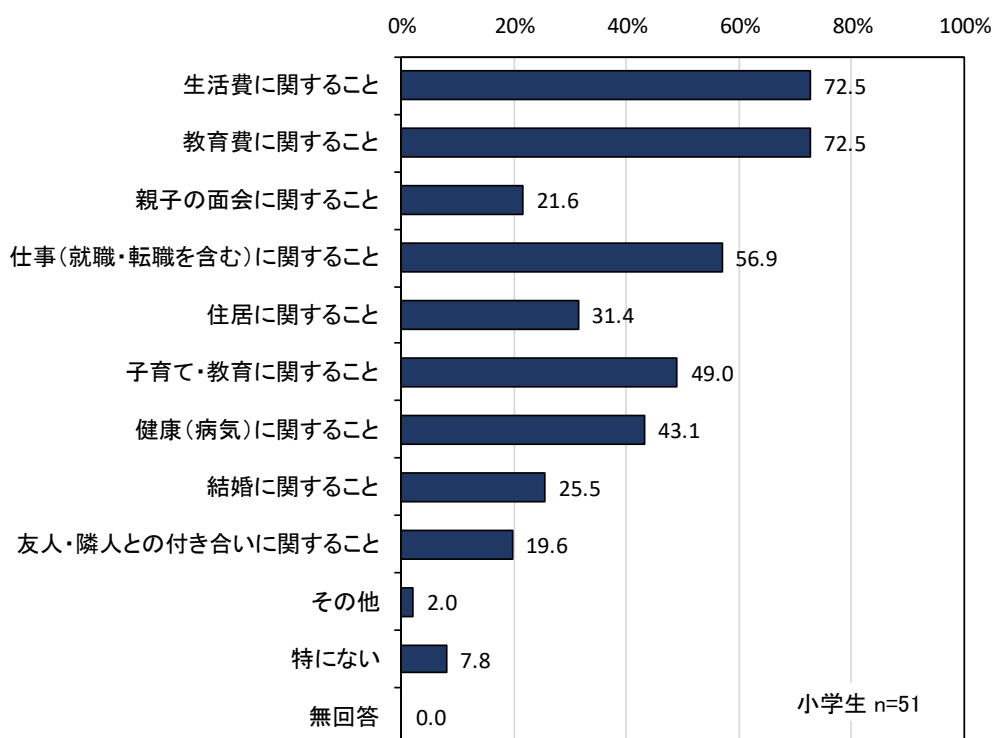
過去1年間でお金が足りなくて困ったことについて、「よくあった」と「ときどきあった」の合計値をみると、『イ. 家族が必要とする衣類を買えない』が10.1%で最も高く、次いで『ア. 家族が必要とする食料を買えない』、『ウ. 家賃や公共料金を払えない』がともに8.5%となっています。



問 30 ひとり親家庭の保護者の方にうかがいます。

生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

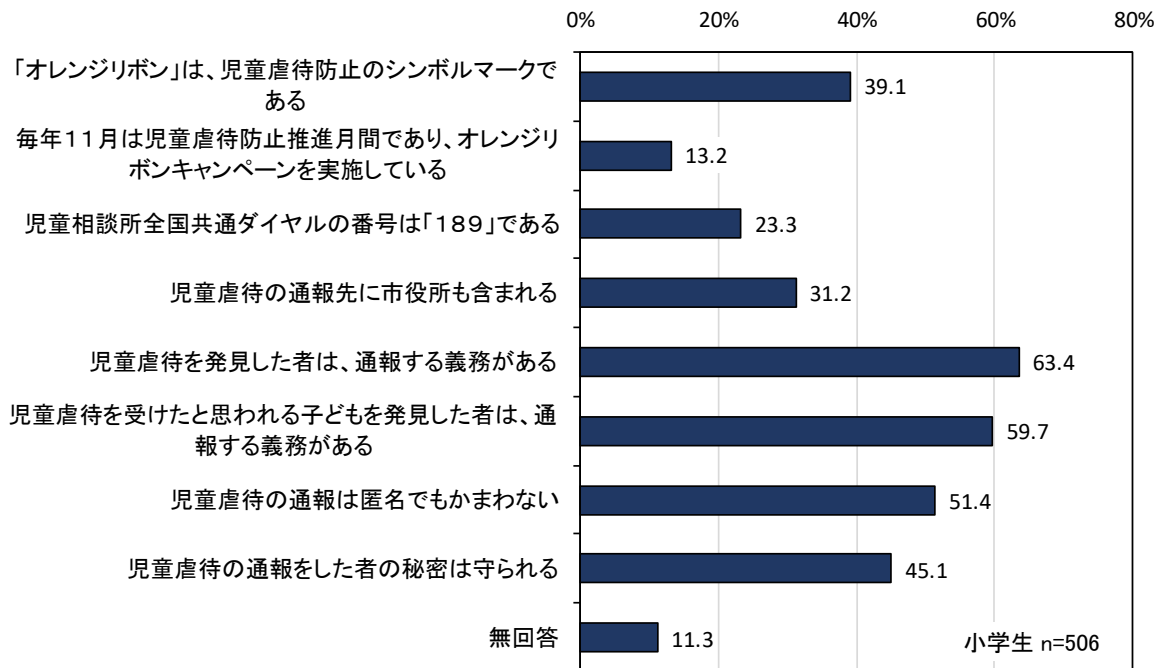
生活する上での不安や悩みについては、「生活費に関すること」、「教育費に関すること」がともに72.5%で最も高く、次いで「仕事（就職・転職を含む）に関すること」が56.9%、「子育て・教育に関すること」が49.0%となっています。



## 10. 子どもの虐待防止について

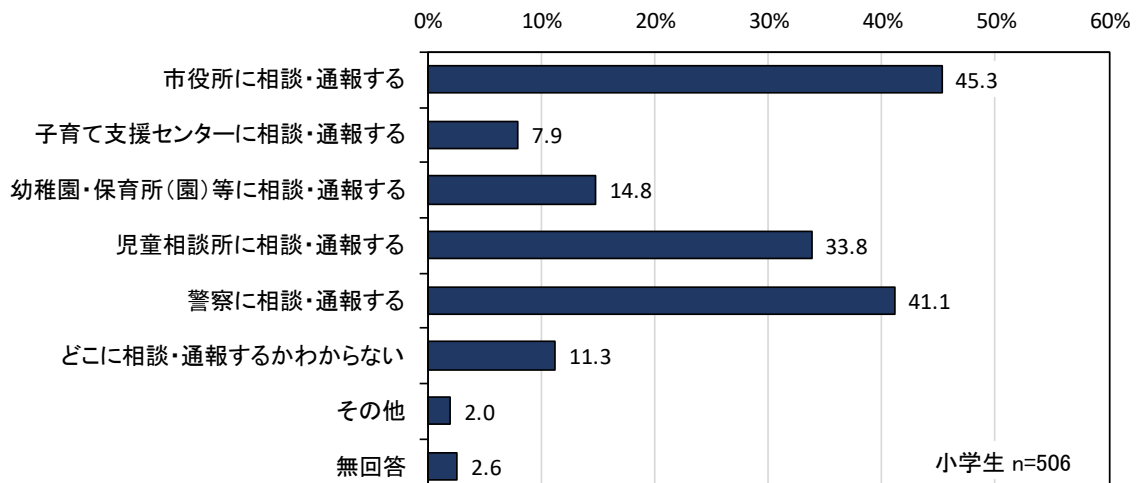
問 31 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

児童虐待について知っていることについては、「児童虐待を発見した者は、通報する義務がある」が63.4%で最も高く、次いで「児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある」が59.7%、「児童虐待の通報は匿名でもかまわない」が51.4%となっています。



問 32 あなたのまわりに児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこかに相談・通報しますか。(あてはまるものすべてに○)

相談・通報先については、「市役所に相談・通報する」が45.3%で最も高く、次いで「警察に相談・通報する」が41.1%、「児童相談所に相談・通報する」が33.8%となっています。

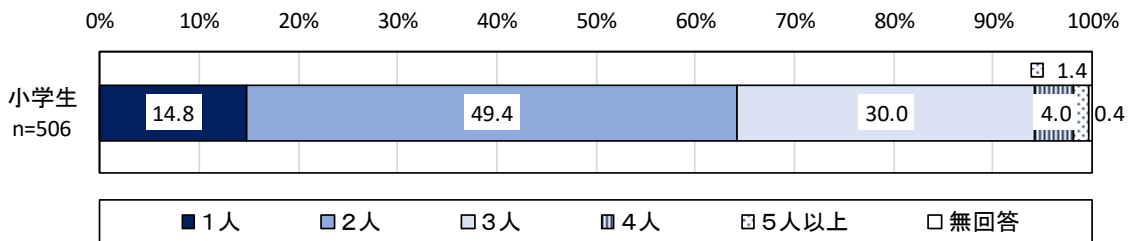


## 11. 少子化について

問 33 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。  
 (□内に数字をご記入ください。)

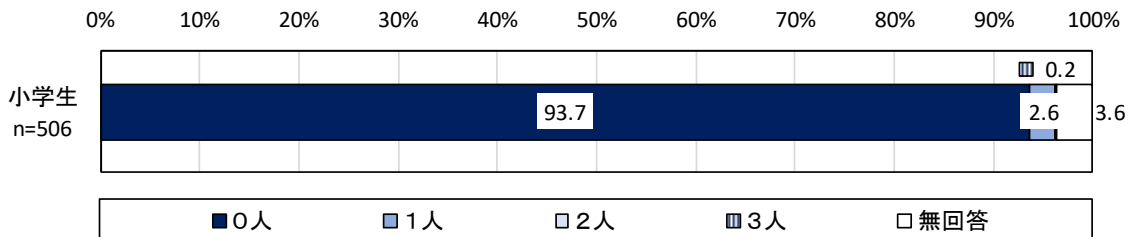
### ●現在の子どもの数

現在の子どもの数については、「2人」が49.4%で最も高く、次いで「3人」が30.0%、「1人」が14.8%となっています。



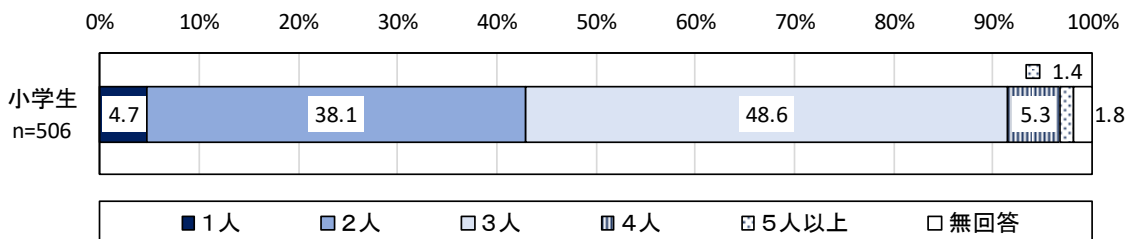
### ●出産予定の子どもの数

出産予定の子どもの数については、「0人」が93.7%で最も高く、次いで「1人」が2.6%、「3人」が0.2%となっています。



### ●理想とする子どもの数

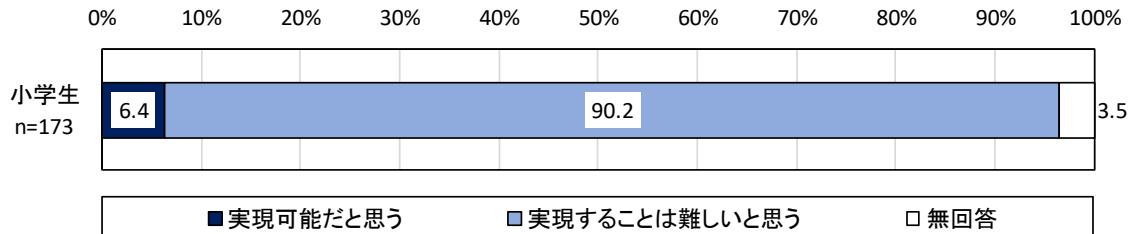
理想とする子どもの数については、「3人」が48.6%で最も高く、次いで「2人」が38.1%、「4人」が5.3%となっています。





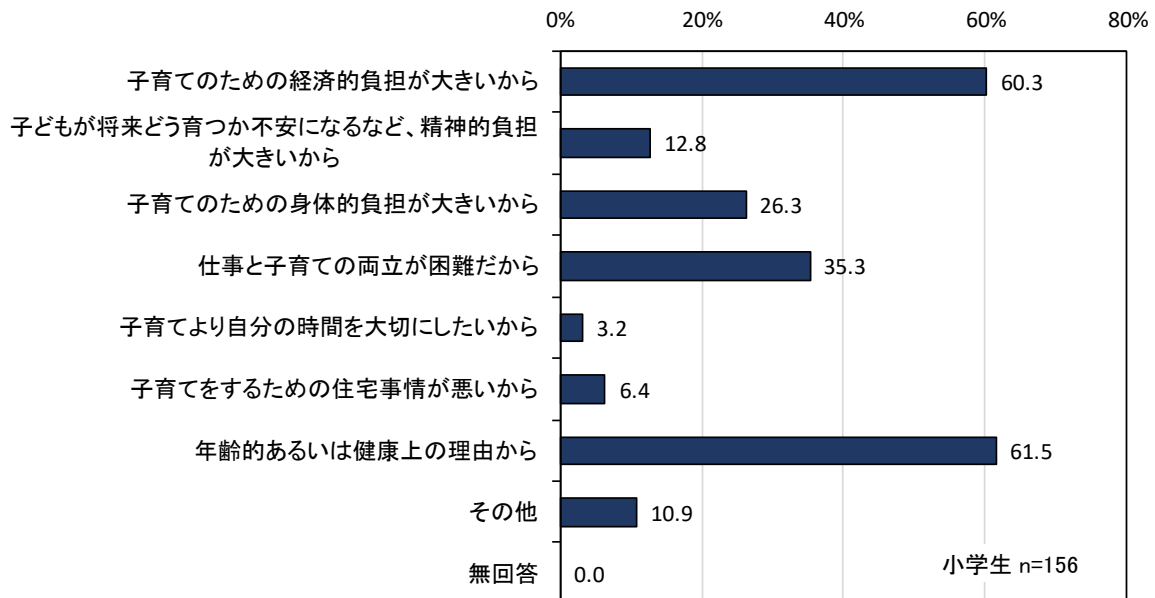
問 34 問 33 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方にうかがいます。あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。（〇は1つ）

理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が6.4%、「実現することは難しいと思う」が90.2%となっています。



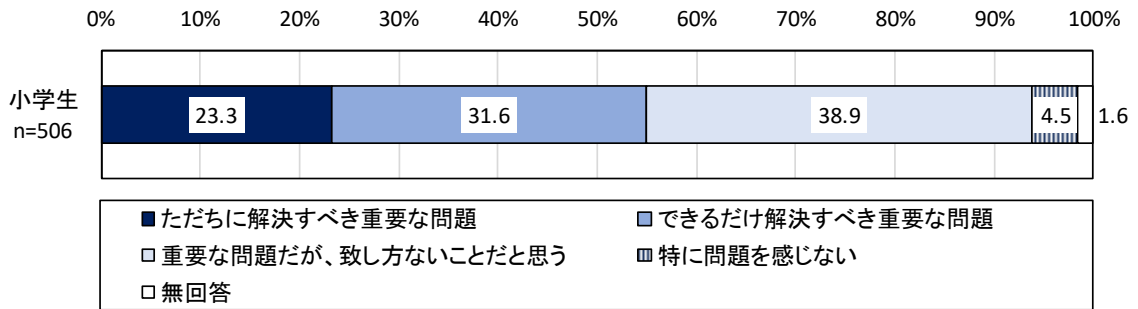
問 34-1 問 34 で「2. 実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。実現することが難しいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに〇）

実現することが難しいと思う理由については、「年齢的あるいは健康上の理由から」が61.5%で最も高く、次いで「子育てのための経済的負担が大きいから」が60.3%、「仕事と子育ての両立が困難だから」が35.3%となっています。



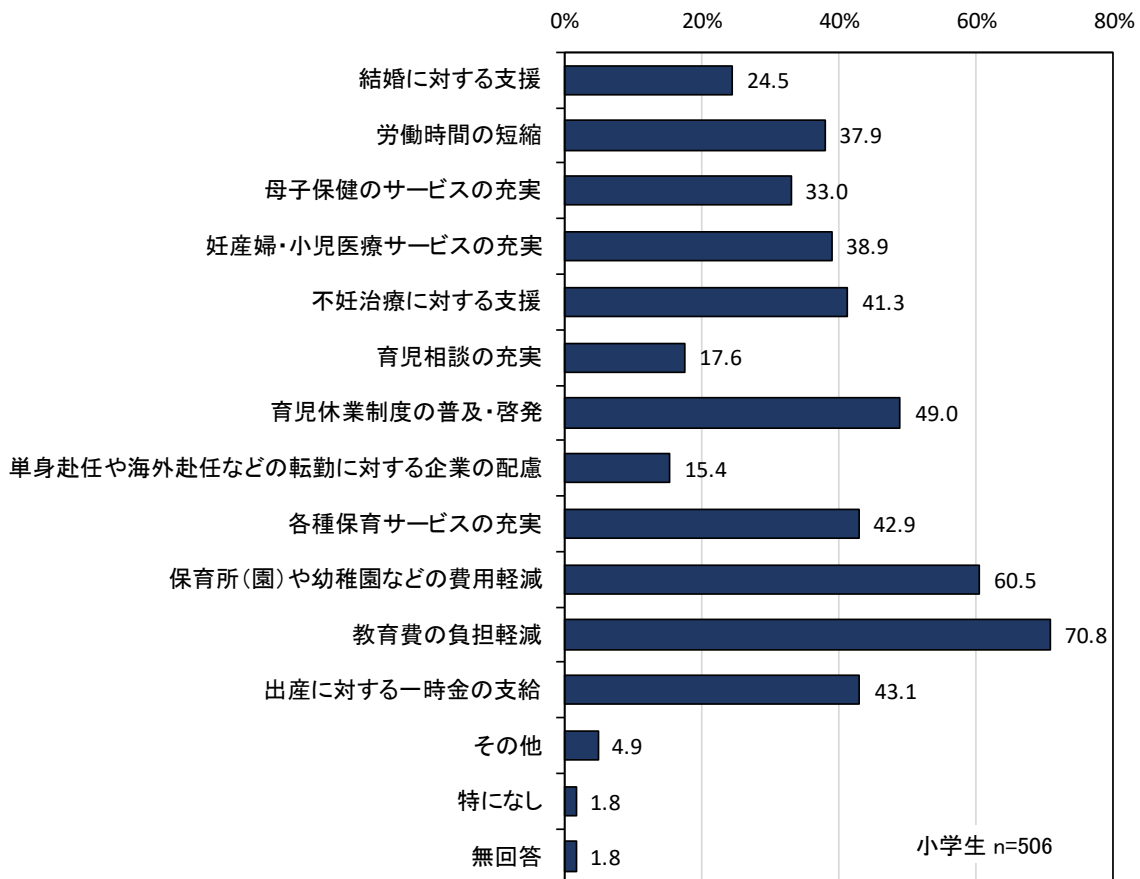
問35 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(〇は1つ)

少子化問題に対する考えについては、「重要な問題だが、致し方ないことだと思う」が38.9%で最も高く、次いで「できるだけ解決すべき重要な問題」が31.6%、「ただちに解決すべき重要な問題」が23.3%となっています。



問36 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

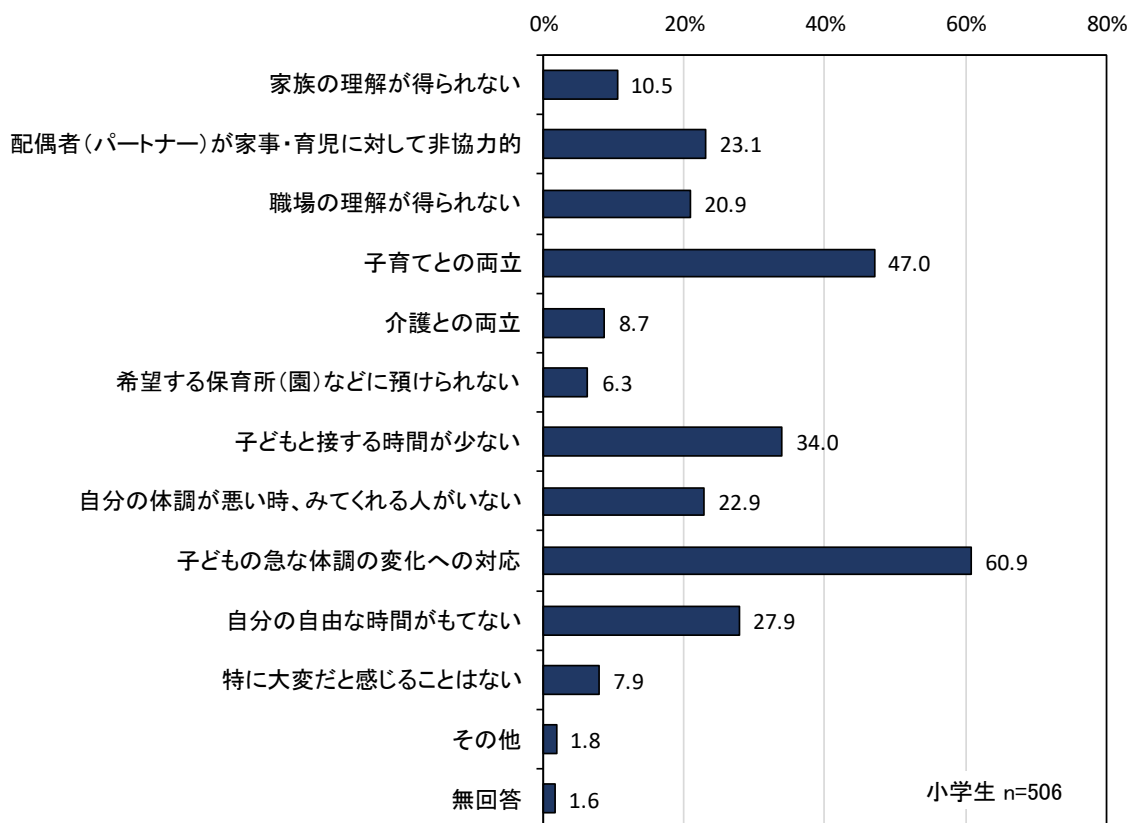
少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が70.8%で最も高く、次いで「保育所(園)や幼稚園などの費用軽減」が60.5%、「育児休業制度の普及・啓発」が49.0%となっています。



## 12. 子育てと仕事・子育てと介護（ダブルケア）について

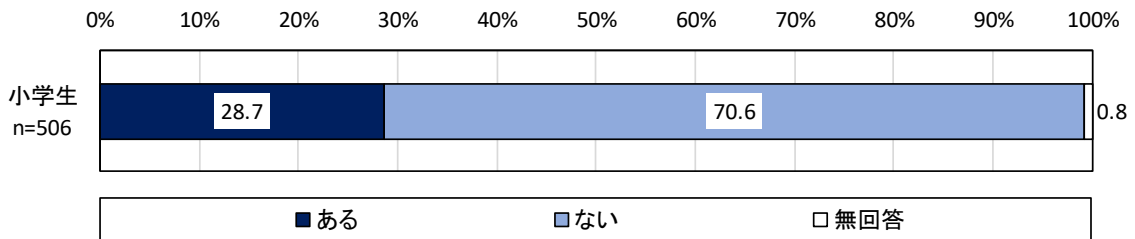
問37 あなたは、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることは何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることについては、「子どもの急な体調の変化への対応」が60.9%で最も高く、次いで「子育てとの両立」が47.0%、「子どもと接する時間が少ない」が34.0%となっています。



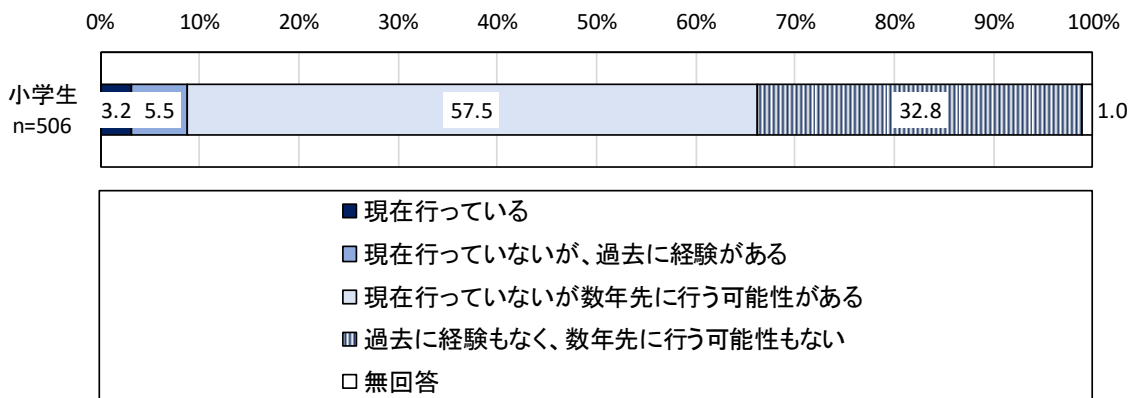
問 38 あなたは、「ダブルケア」という言葉を聞いたことはありますか。(〇は1つ)

ダブルケアの認知度については、「ある」が28.7%、「ない」が70.6%となっています。



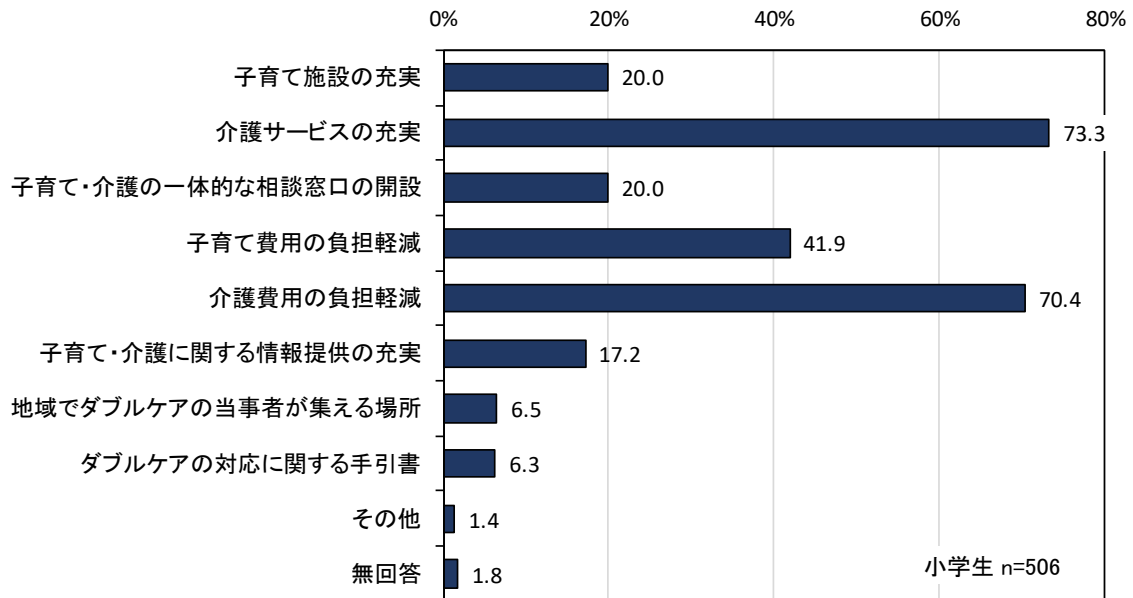
問 39 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(〇は1つ)

現在、子育てと介護を同時に行っているかについては、「現在行っていないが数年先に行く可能性がある」が57.5%で最も高く、次いで「過去に経験もなく、数年先に行く可能性もない」が32.8%、「現在行っていないが、過去に経験がある」が5.5%、「現在行っている」が3.2%となっています。



問 40 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

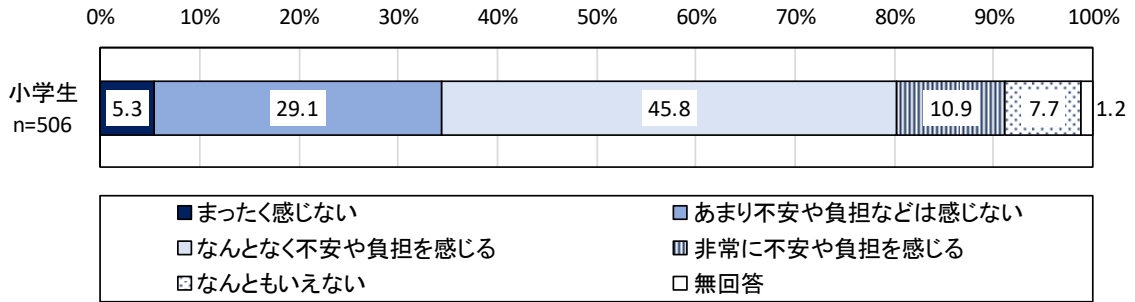
ダブルケアに対する支援策として必要だと思うことについては、「介護サービスの充実」が73.3%で最も高く、次いで「介護費用の負担軽減」が70.4%、「子育て費用の負担軽減」が41.9%となっています。



### 13. 子育て全般について

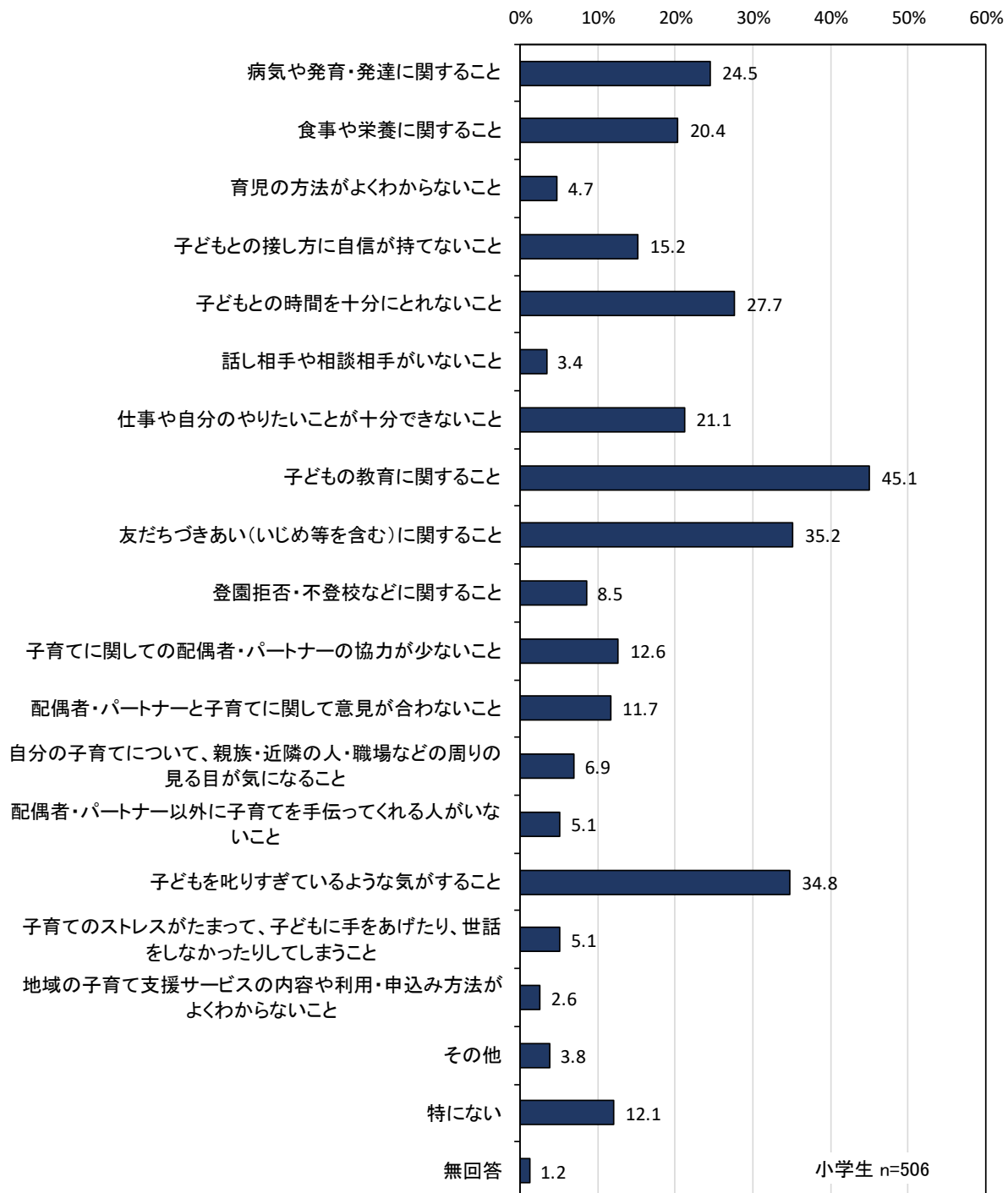
問 41 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありますか。(〇は1つ)

子育てに対する不安感や負担感については、「なんとなく不安や負担を感じる」が 45.8%で最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が 29.1%、「非常に不安や負担を感じる」が 10.9%となっています。



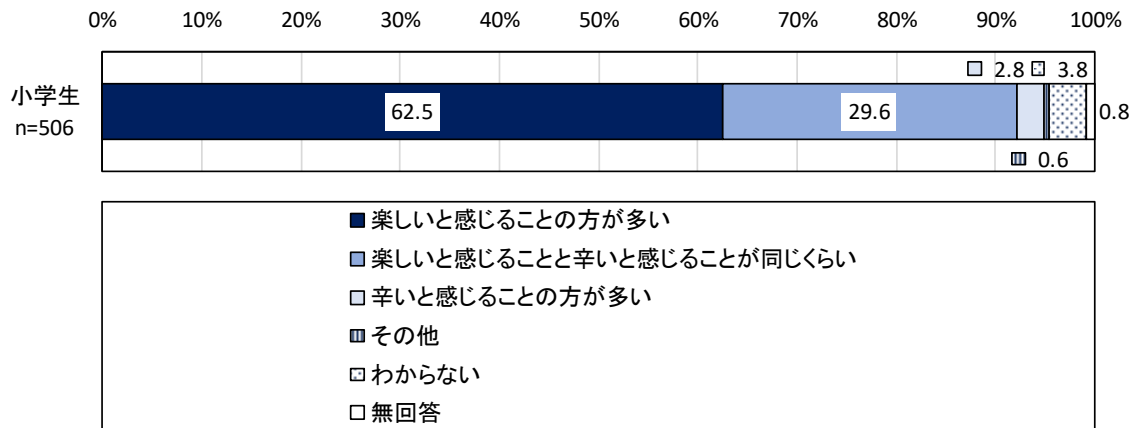
問 42 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

子育てに関しての悩みごとなどについては、「子どもの教育に関すること」が45.1%で最も高く、次いで「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が35.2%、「子どもを叱りすぎているような気がする」とが34.8%となっています。



問 43 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。(〇は1つ)

子育てに対して感じていることについては、「楽しいと感じることの方が多い」が 62.5%で最も高く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」が 29.6%、「わからない」が 3.8%となっています。

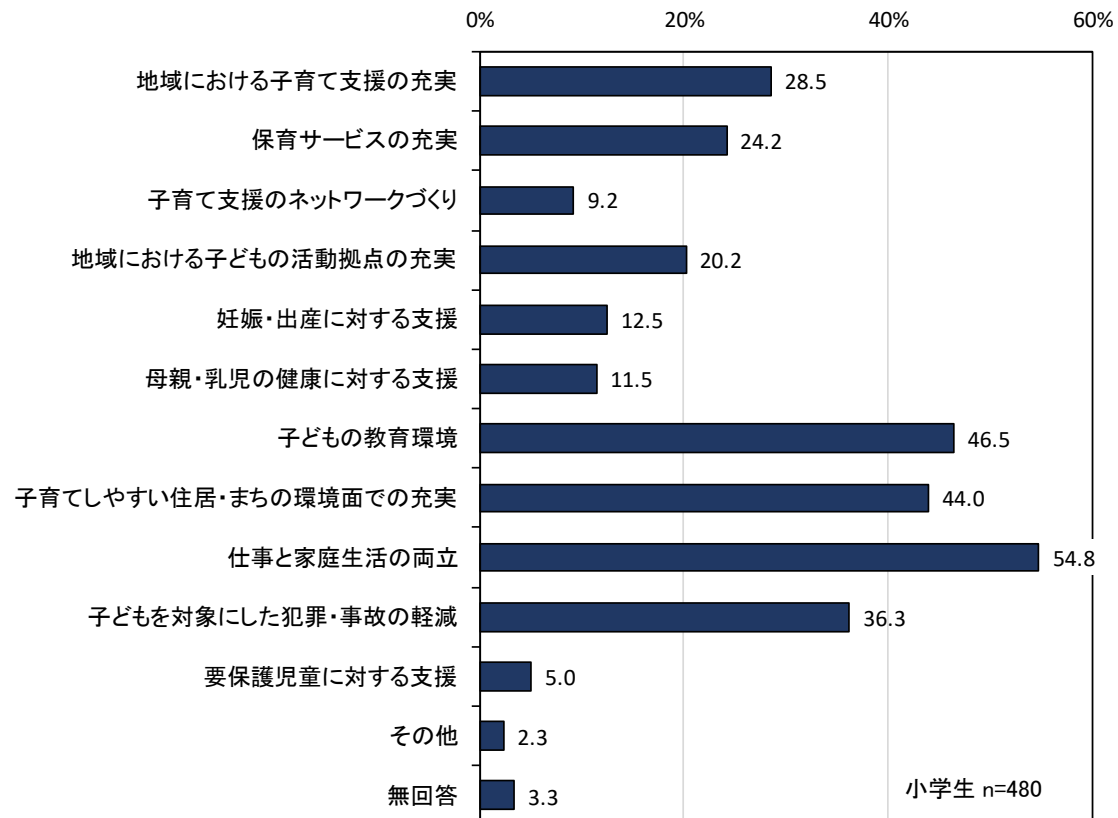




問43-1 問43で「1」～「3」と回答した方にうかがいます。

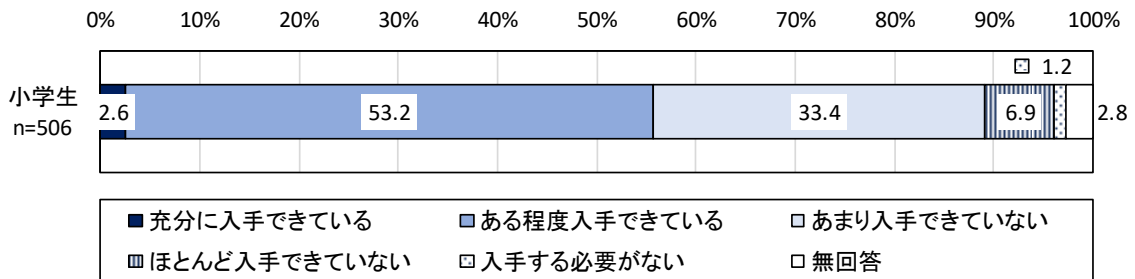
問43で「1」を選んだ方は、子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。また、「2」、「3」を選んだ方は、自分にとって必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

子育てに対する支援・対策で有効だと感じること、必要なことについては、「仕事と家庭生活の両立」が54.8%で最も高く、次いで「子どもの教育環境」が46.5%、「子育てしやすい住居・まちの環境面での充実」が44.0%となっています。



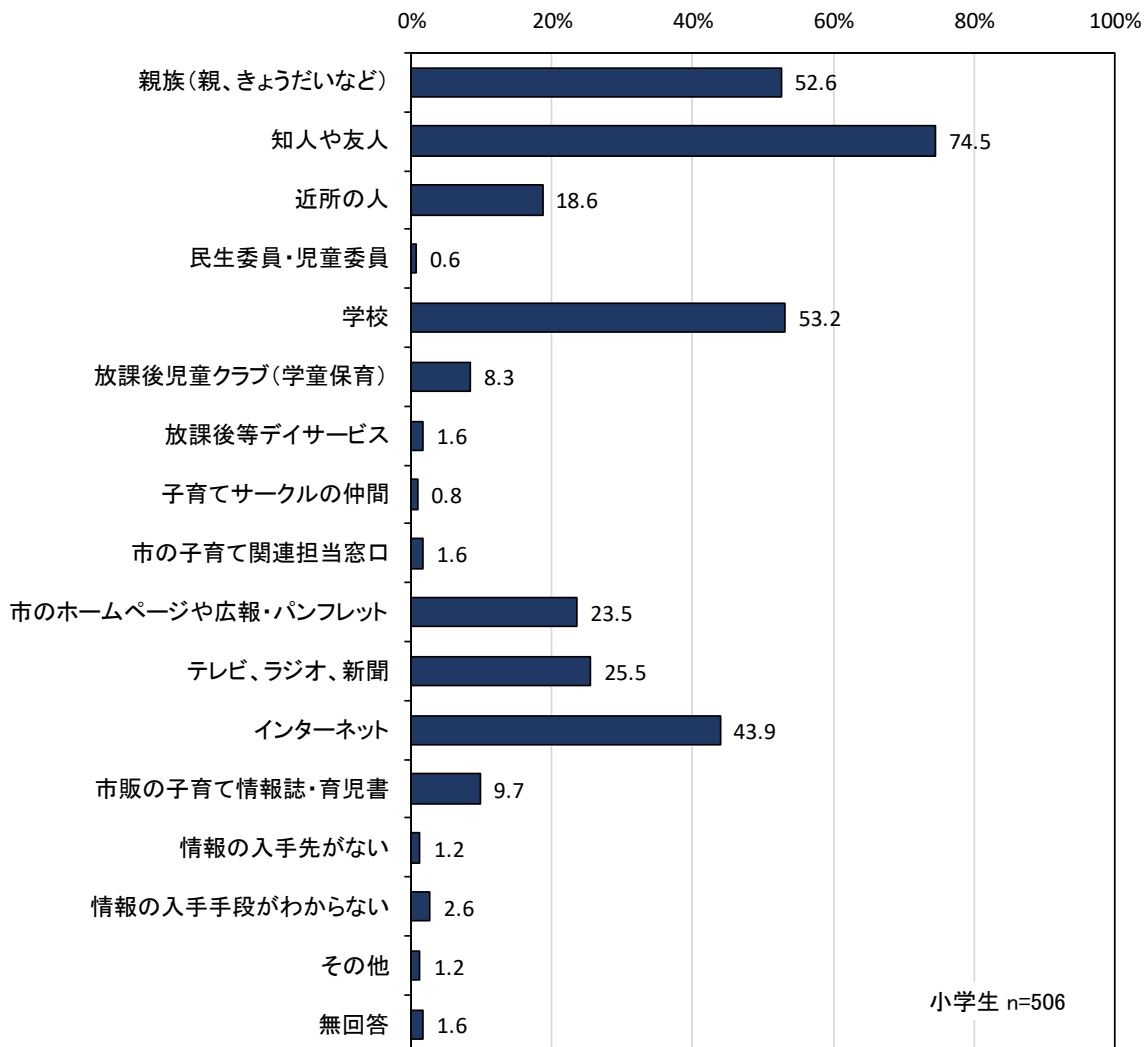
問 44 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(〇は1つ)

子育てに関する情報の入手状況については、「ある程度入手できている」が 53.2%で最も高く、次いで「あまり入手できていない」が 33.4%、「ほとんど入手できていない」が 6.9%となっています。



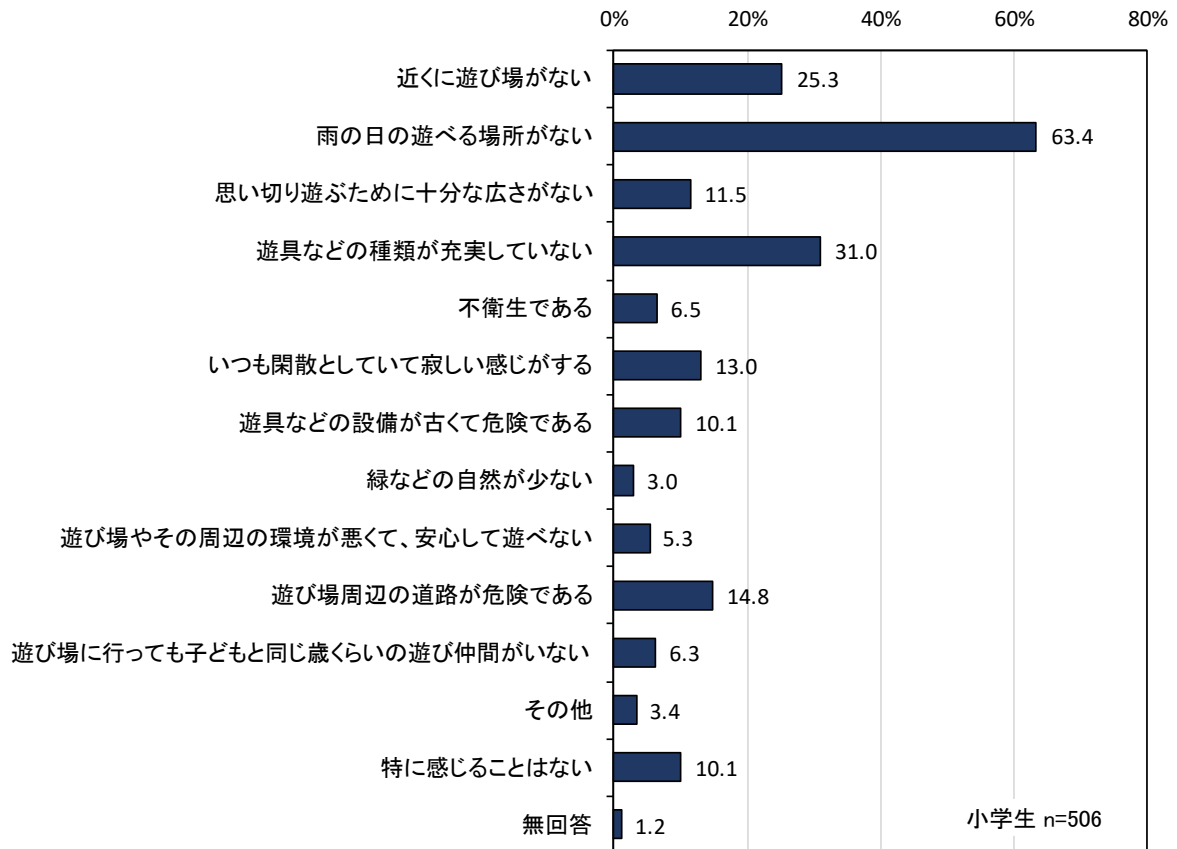
問 45 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに〇)

子育てに関する情報の入手先については、「知人や友人」が 74.5%で最も高く、次いで「学校」が 53.2%、「親族（親、きょうだいなど）」が 52.6%となっています。



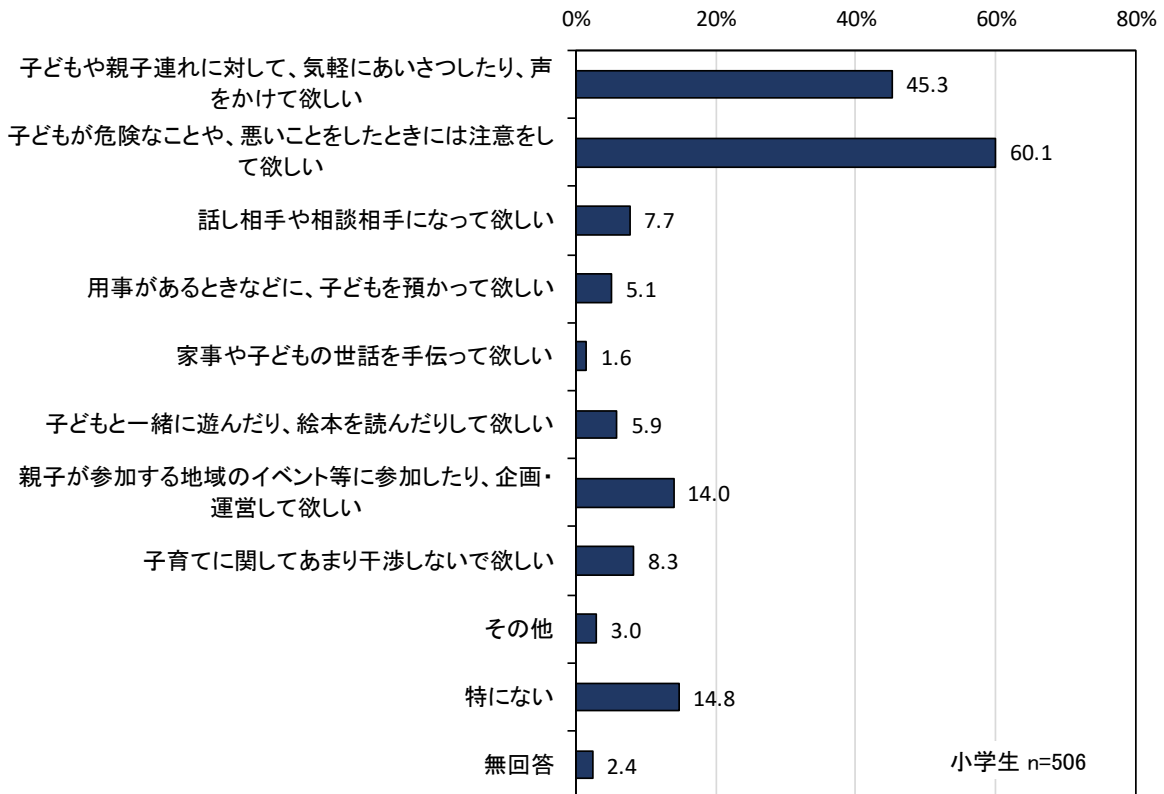
問 46 あなたは、家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

子どもの遊び場について、日頃感じていることについては、「雨の日の遊べる場所がない」が63.4%で最も高く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が31.0%、「近くに遊び場がない」が25.3%となっています。



問 47 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

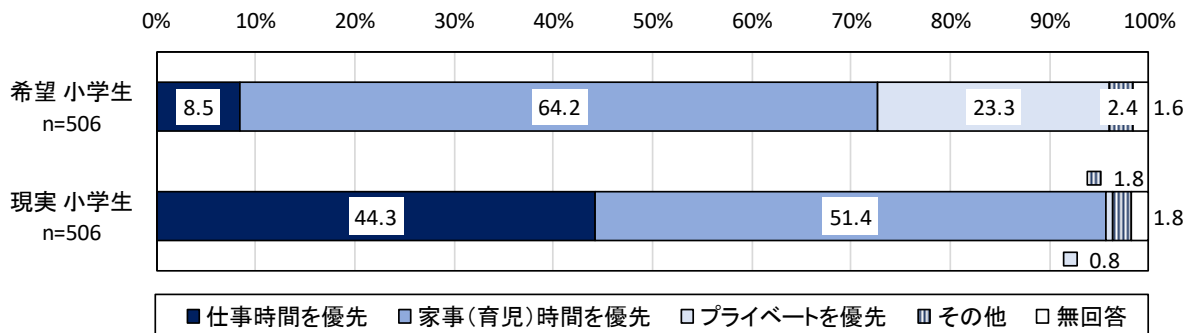
子育てに関して、地域の人に望むことについては、「子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意をして欲しい」が60.1%で最も高く、次いで「子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけて欲しい」が45.3%、「特にない」が14.8%となっています。



問 48 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」するものと、「現実」での優先度はどのようになっていますか。  
（それぞれ〇は1つ）

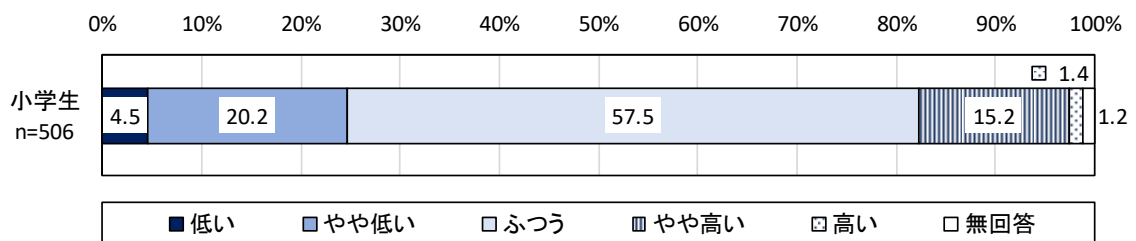
日常生活における希望については、「家事（育児）時間を優先」が64.2%で最も高く、次いで「プライベートを優先」が23.3%、「仕事時間を優先」が8.5%となっています。

日常生活における現実については、「家事（育児）時間を優先」が51.4%で最も高く、次いで「仕事時間を優先」が44.3%、「その他」が1.8%となっています。



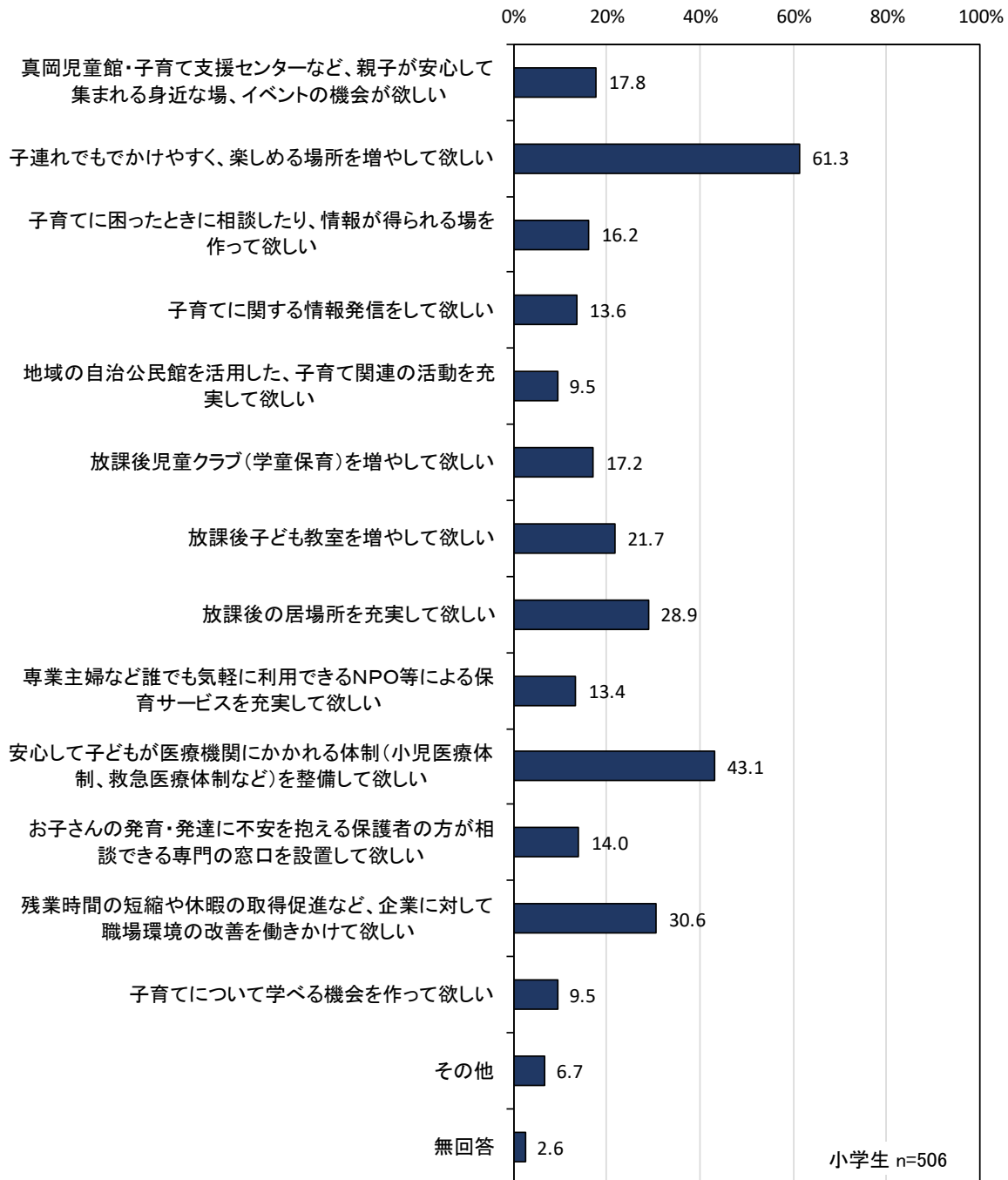
問 49 真岡市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（〇は1つ）

真岡市の子育て環境や支援への満足度については、「ふつう」が57.5%で最も高く、次いで「やや低い」が20.2%、「やや高い」が15.2%となっています。



問 50 市に対して、今後どのような子育て支援の充実を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

市に対して充実を期待する子育て支援については、「子連れでもでかけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が61.3%で最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制（小児医療体制、救急医療体制など）を整備して欲しい」が43.1%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」が30.6%となっています。



問51 教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

全部で124の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を1つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●子どもの遊び場について</b>	20
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日でも遊べる屋内施設をつくってほしい。</li> <li>・子ども達が気軽に遊べる公園がない。車ではなく子どもと歩いていけるような場所があればと思う。</li> <li>・ベンチのみの公園が多く、遊具が充実していない。</li> </ul>	
<b>●放課後児童クラブ（学童保育）について</b>	18
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブでの預かり時間を延長してほしい。</li> <li>・小学校内に放課後児童クラブがあるのは3校だけ。できればすべての小学校に設置してほしい。</li> <li>・放課後児童クラブを小学6年生まで利用できるようにしてほしい。</li> </ul>	
<b>●小学校・中学校について</b>	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーの人数を増やしてほしい。</li> <li>・教育機関でのいじめ対策を徹底してほしい。</li> <li>・学校司書が配置され、読書の重要性が認識される今だからこそ、図書室の本を充実させるべきだと思う。</li> </ul>	
<b>●保健・医療について</b>	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期健診の話は育児書通りの説明ではなく、体験談などのほうが参考になる気がする。</li> <li>・夜間診療、休日診療を充実してほしい。</li> </ul>	
<b>●子育て支援全般について</b>	9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達の習い事の送迎が心配、何か良い制度があると良い。</li> <li>・子育て支援サービスが気軽に受けられないのが現状、少しでも気軽に受けられるようにしたほうが良い。</li> </ul>	
<b>●子どもに関する講座・イベントについて</b>	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに関する講演会などは大変ありがたい。</li> <li>・兄弟がいないので、幅広い年代の方と接することができるイベントはとても貴重。</li> </ul>	
<b>●経済的支援について</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な悩みが一番、子育てにお金がかからなければ、もっと産んでも良いと思う。</li> <li>・現在、ダブルケアに近い状況にあり、子どもと親にお金がかかる。物的・精神的余裕がない。</li> </ul>	
<b>●放課後子ども教室について</b>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校に放課後子ども教室をつくってほしい。</li> <li>・放課後子ども教室があることを初めて知った。是非、実施してほしい。</li> </ul>	
<b>●安心・安全について</b>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して通学できるよう街路灯を設置してほしい。</li> </ul>	

IV 小学生の調査結果

分類／主な意見（抜粋）	件数
●障がい児支援・発達支援について	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に通園していたとき、発達に関しては「出来ません」と言われるが、「このように改善していきましょう」などの説明はなかった。現在では発達支援事業所が増えているが、当時はどのようにして良いかわからず、とても不安だった。気軽に相談できる場があると良いと思う。</li> </ul>	
●職場環境について	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業に対して、職場環境の改善を働きかけてほしい。</li> </ul>	
●真岡児童館について	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生が遊べる児童館をつかってほしい。</li> </ul>	
●預かり施設について	2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・30分から1時間程度の預かりサービスがあると助かる。</li> </ul>	
●その他	14
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルケアの情報がほしい。</li> <li>・返信用封筒にアンケートが入れづらい。</li> </ul>	



## V 中学生の調査結果

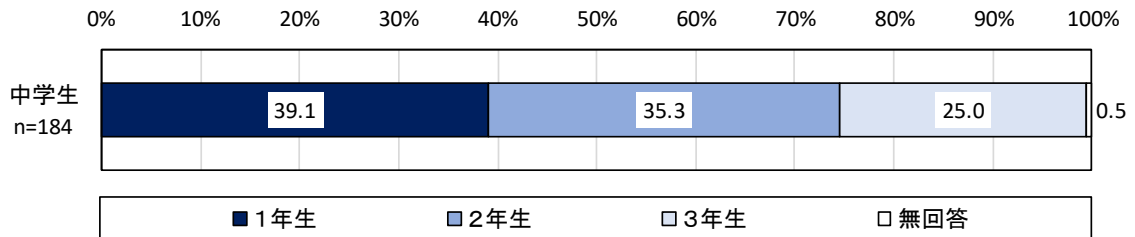
---



## 1. あなたご自身のことについて

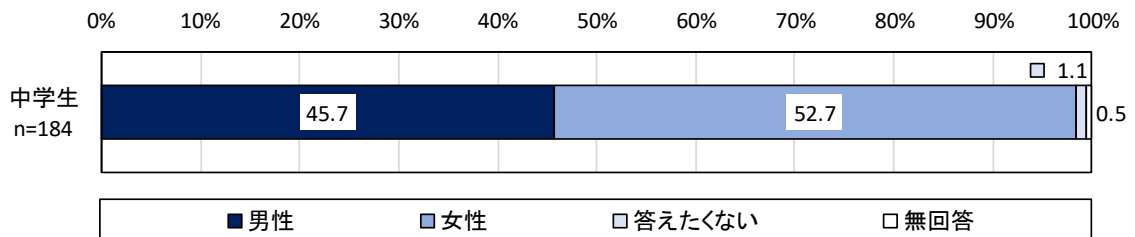
問1 あなたの現在の学年をお答えください。(〇は1つ)

現在の学年については、「1年生」が39.1%、「2年生」が35.3%、「3年生」が25.0%となっています。



問2 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

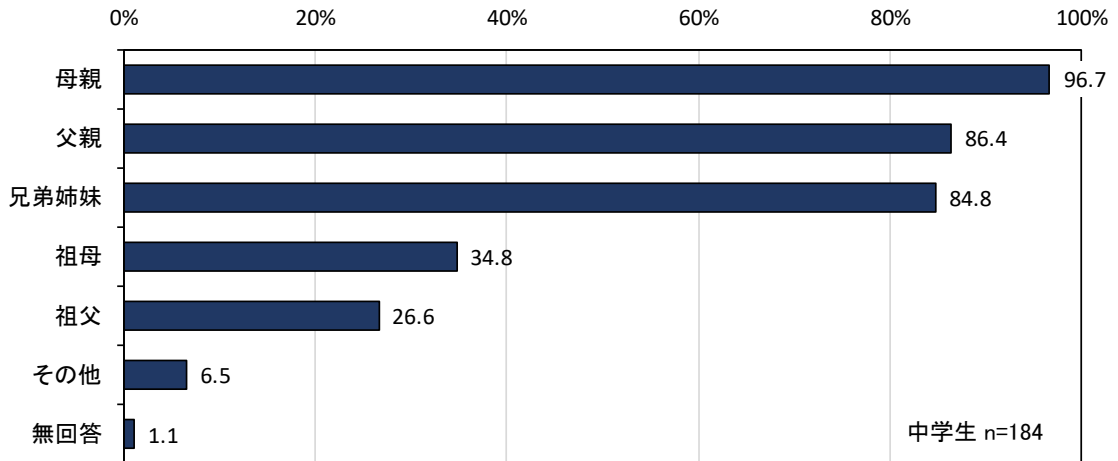
性別については、「男性」が45.7%、「女性」が52.7%、「答えたくない」が1.1%となっています。



問3 あなたと同居されている方をお答えください。また、同居している家族全員の人数をご記入ください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

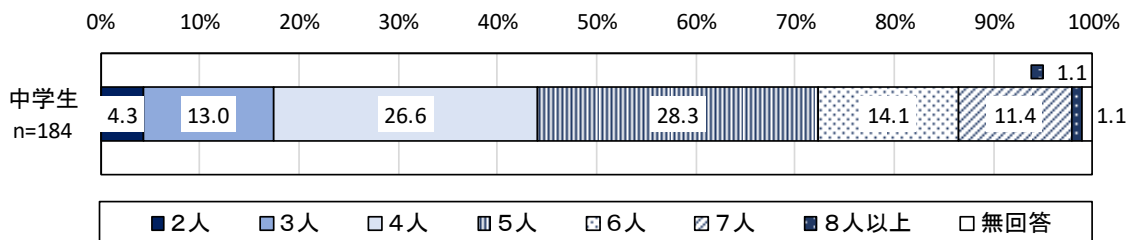
●同居している人

同居している人については、「母親」が96.7%で最も高く、次いで「父親」が86.4%、「兄弟姉妹」が84.8%となっています。



●家族の人数

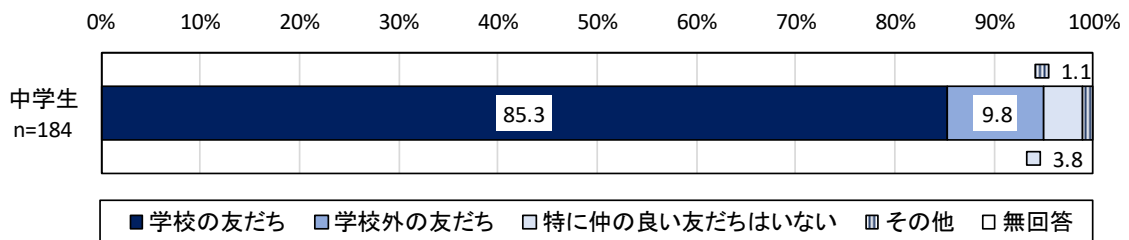
家族の人数については、「5人」が28.3%で最も高く、次いで「4人」が26.6%、「6人」が14.1%となっています。



## 2. 友だちのことについて

### 問4 あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。(〇は1つ)

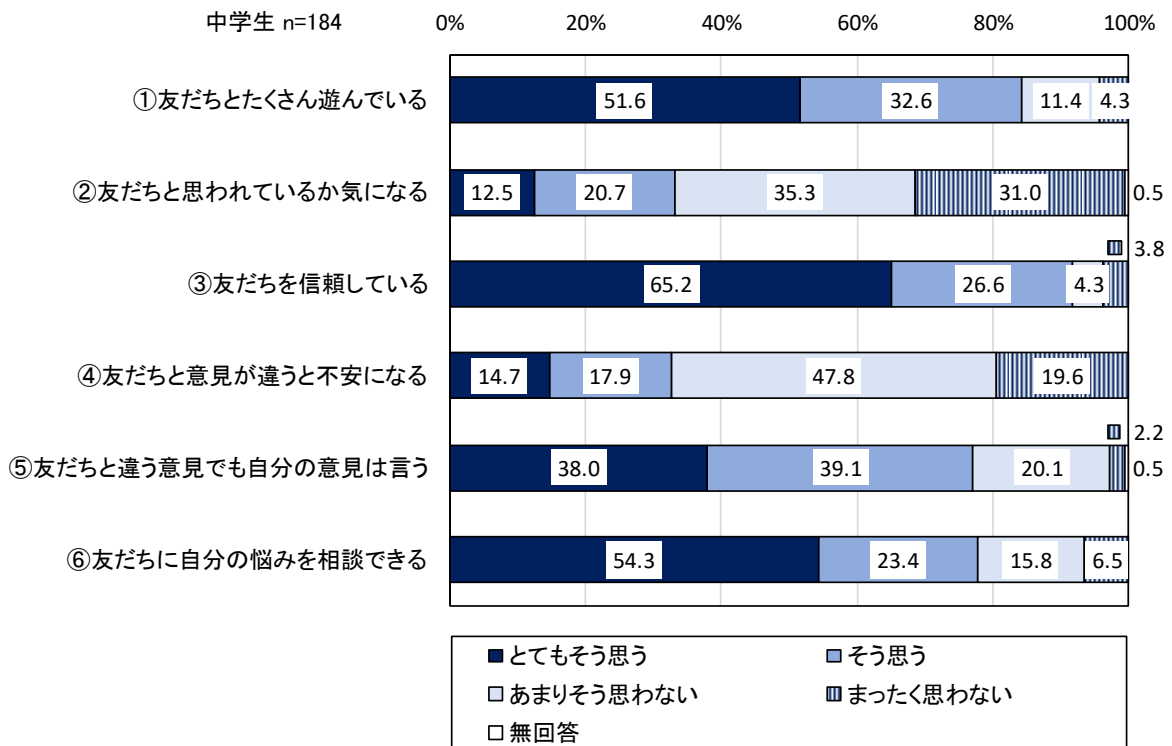
一番仲が良い友だちについては、「学校の友だち」が85.3%で最も高く、次いで「学校外の友だち」が9.8%、「特に仲の良い友だちはいない」が3.8%となっています。



### 問5 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。(それぞれ〇は1つ)

友だち関係について、「とてもそう思う」をみると、『③友だちを信頼している』が65.2%で最も高く、次いで『⑥友だちに自分の悩みを相談できる』が54.3%となっています。

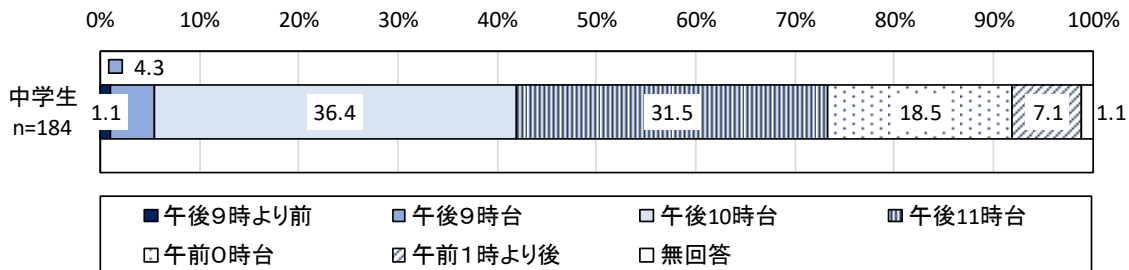
一方で、「まったく思わない」をみると、『②友だちと思われているか気になる』が31.0%で最も高く、次いで『④友だちと意見が違くと不安になる』が19.6%となっています。



### 3. あなたのふだんの生活について

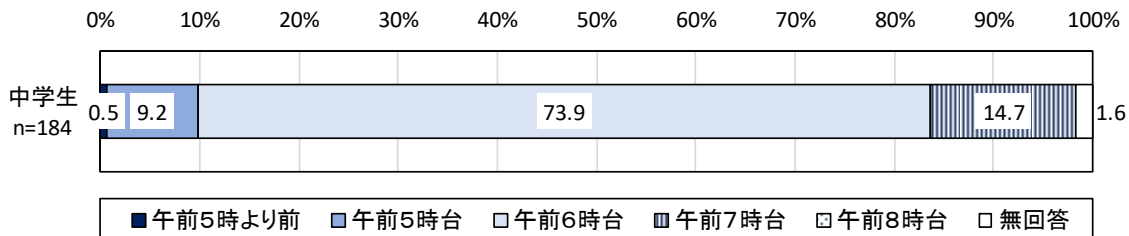
問6 あなたは翌日に学校がある日の夜は、だいたい何時くらいに寝ていますか。(〇は1つ)

翌日、学校がある日の就寝時間については、「午後10時台」が36.4%で最も高く、次いで「午後11時台」が31.5%、「午前0時台」が18.5%となっています。



問7 あなたはふだん学校がある日の朝は、だいたい何時くらいに起きていますか。(〇は1つ)

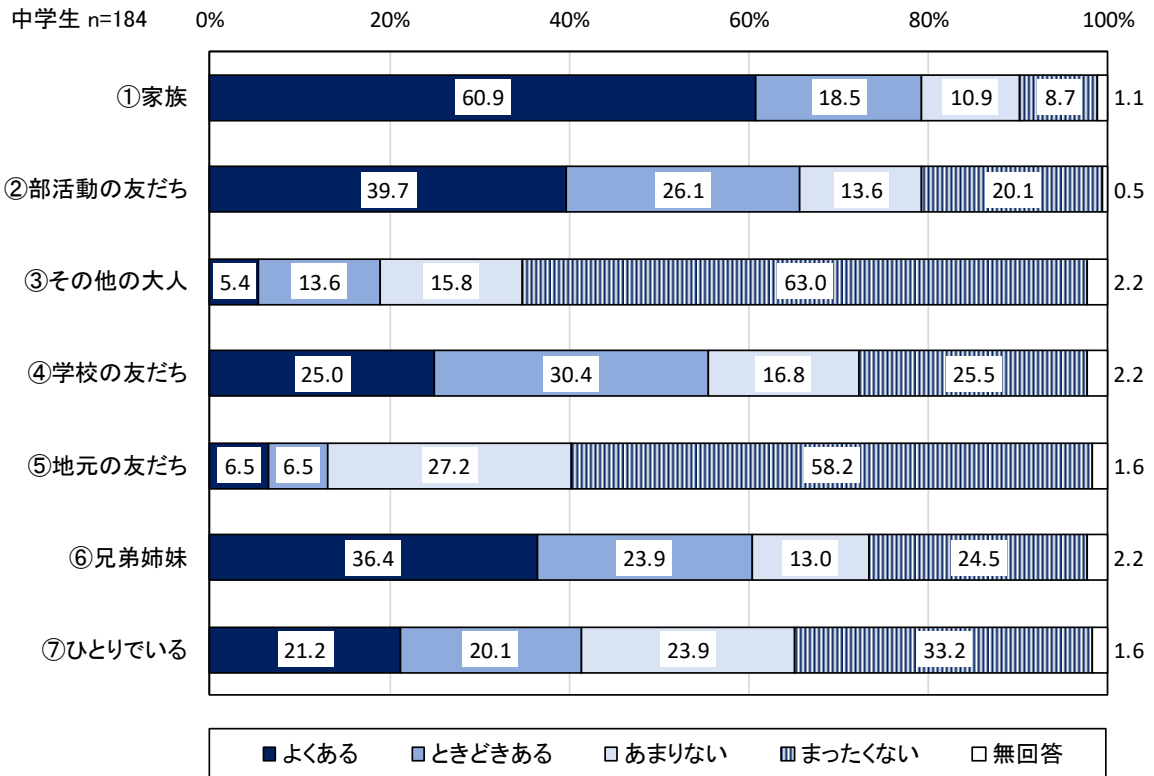
学校がある日の起床時間については、「午前6時台」が73.9%で最も高く、次いで「午前7時台」が14.7%、「午前5時台」が9.2%となっています。



問8 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）は、誰と一緒に過ごすことが多いですか。以下の人たちと過ごす程度についてお答えください。（それぞれ0は1つ）

平日の放課後に過ごす人について、「よくある」をみると、『①家族』が60.9%で最も高く、次いで『②部活動の友だち』が39.7%となっています。

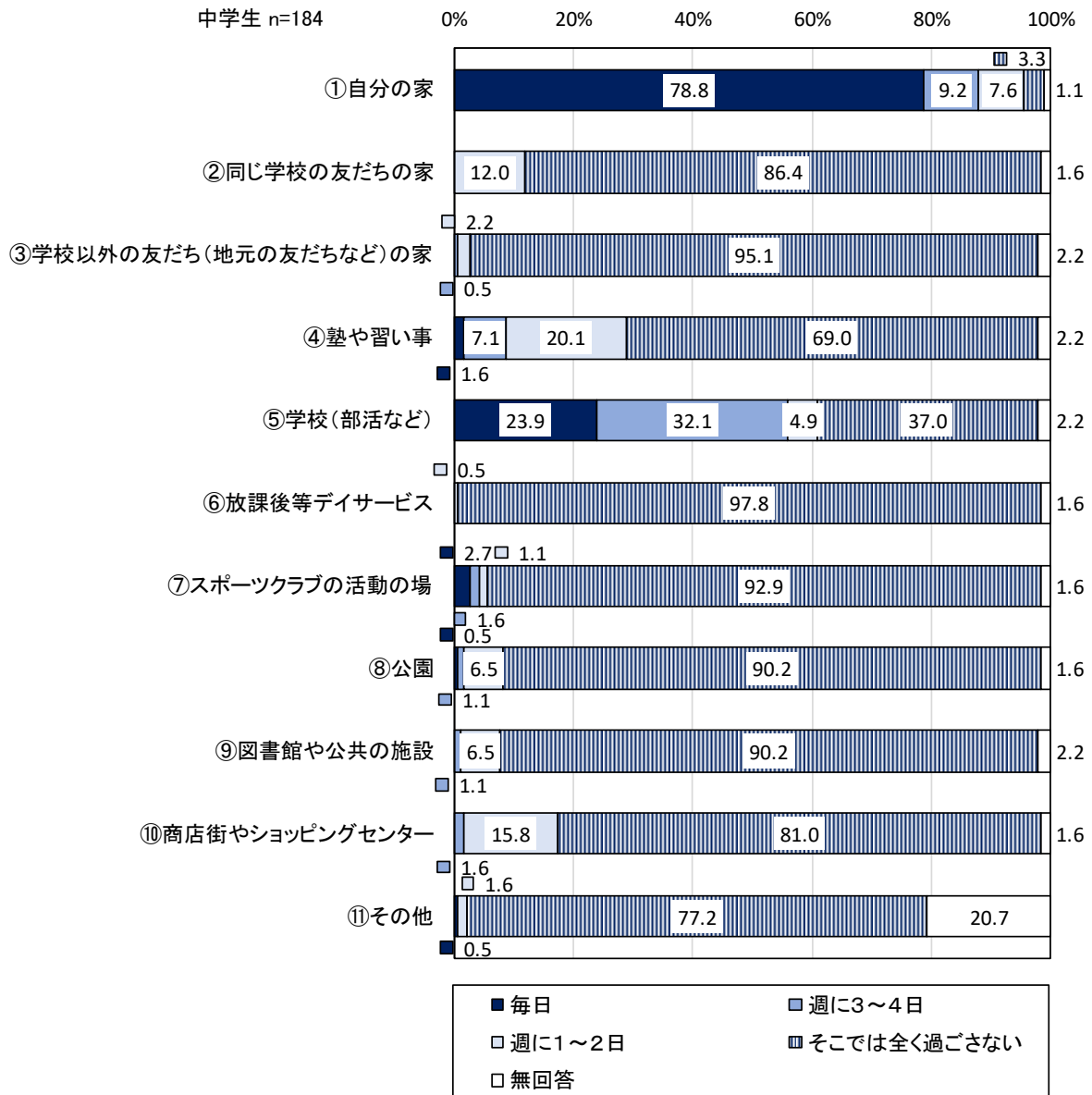
一方で、「まったくない」をみると、『③その他の大人』が63.0%で最も高く、次いで『⑤地元の友だち』が58.2%となっています。



問9 あなたは、平日（学校に行く日）の放課後（夕方6時くらいまで）は、どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数をお答えください。（それぞれ〇は1つ）

平日の放課後に過ごす場所について、「毎日」をみると、『①自分の家』が78.8%で最も高く、次いで『⑤学校（部活など）』が23.9%となっています。

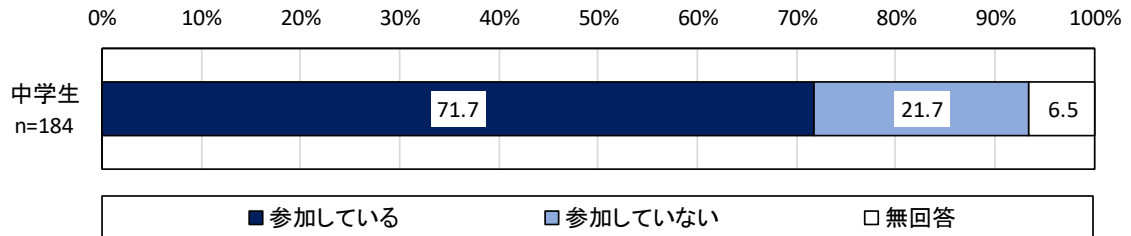
また、「週に1～2日」をみると、『④塾や習い事』が20.1%で最も高く、次いで『⑩商店街やショッピングセンター』が15.8%となっています。





問 10 あなたは、学校の部活動に参加していますか。(〇は1つ)

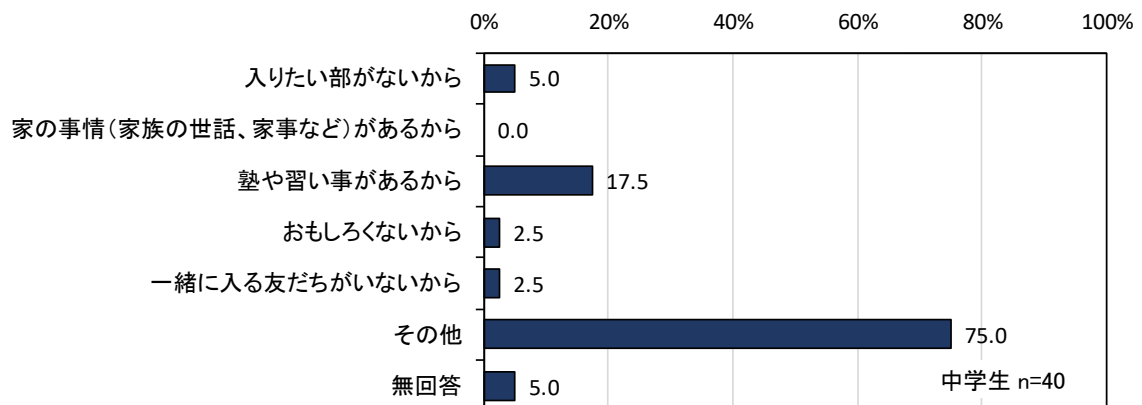
学校の部活動への参加状況については、「参加している」が71.7%、「参加していない」が21.7%となっています。



問 10-1 問 10で「2. 参加していない」と回答した方にうかがいます。

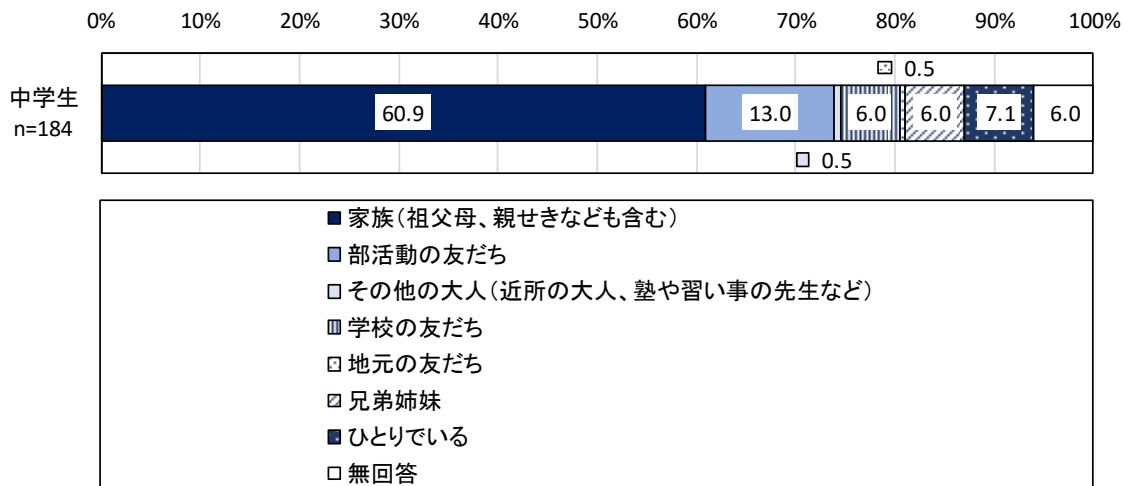
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

部活動へ参加していない理由については、「その他」が75.0%で最も高く、次いで「塾や習い事があるから」が17.5%、「入りたい部がないから」が5.0%となっています。



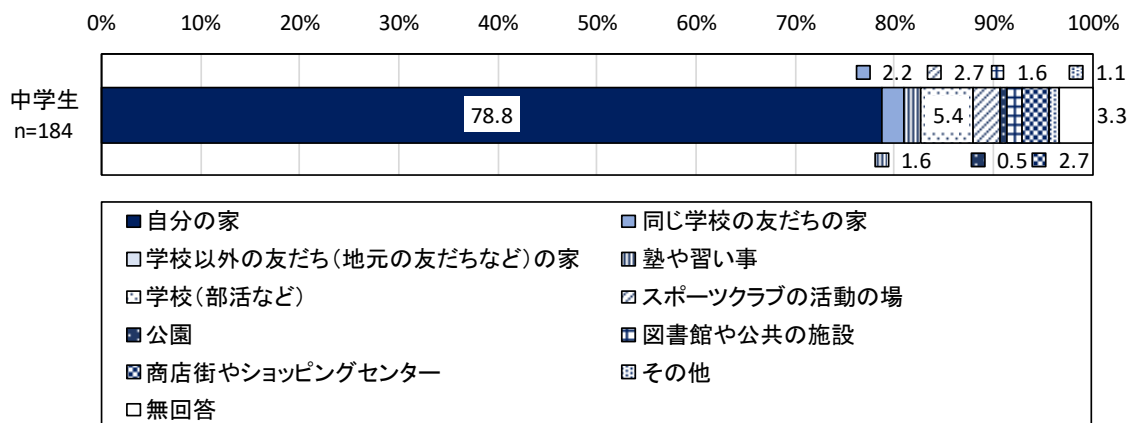
問 11 あなたは、休日（学校がお休みの日）は、誰と一緒に過ごすことが多いですか。（〇は1つ）

休日、一緒に過ごす人については、「家族（祖父母、親せきなども含む）」が 60.9%で最も高く、次いで「部活動の友だち」が 13.0%、「ひとりである」が 7.1%となっています。



問 12 あなたは、休日（学校がお休みの日）は、どこで過ごしますか。（〇は1つ）

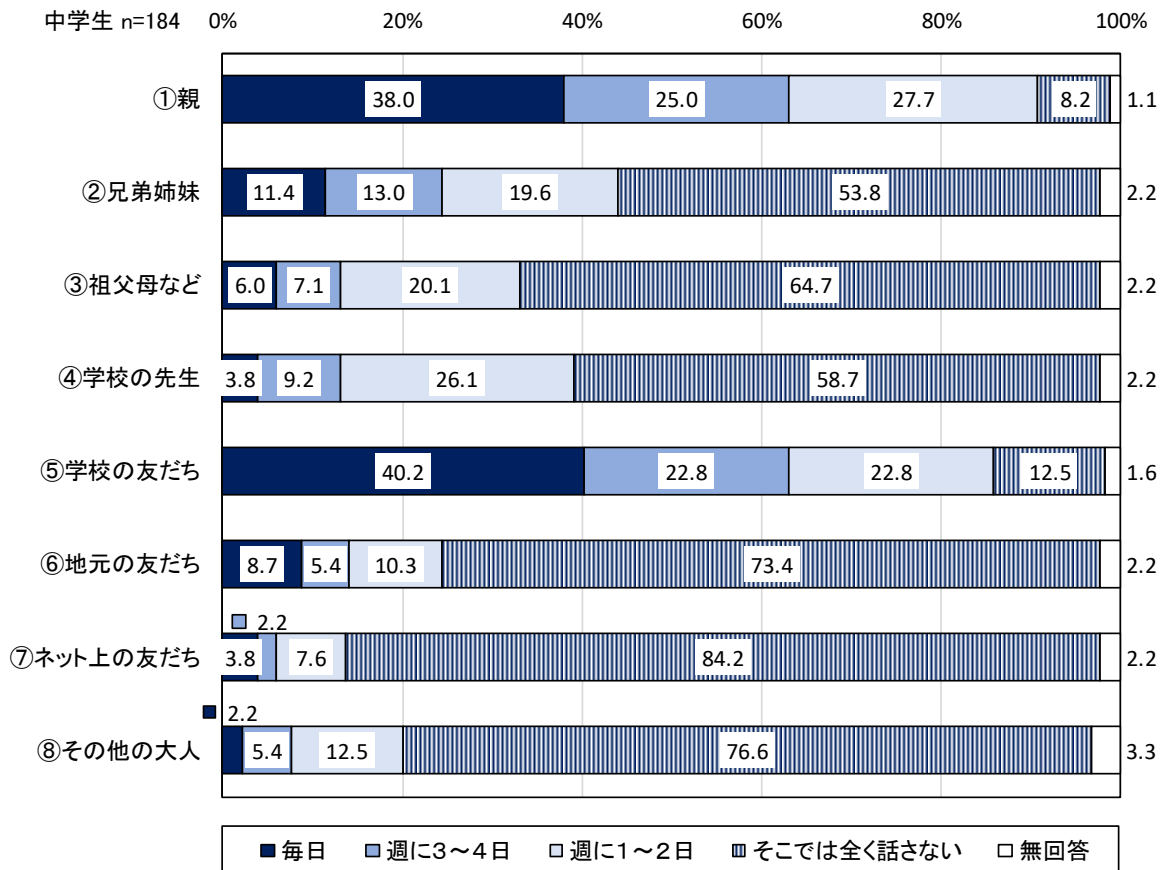
休日、過ごす場所については、「自分の家」が 78.8%で最も高く、次いで「学校（部活など）」が 5.4%、「スポーツクラブの活動の場」、「商店街やショッピングセンター」がともに 2.7%となっています。



問 13 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや悲しいことを、他の人にどれくらい話しますか。(それぞれ0は1つ)

相談相手について、「毎日」をみると、『⑤学校の友だち』が 40.2%で最も高く、次いで『①親』が 38.0%となっています。

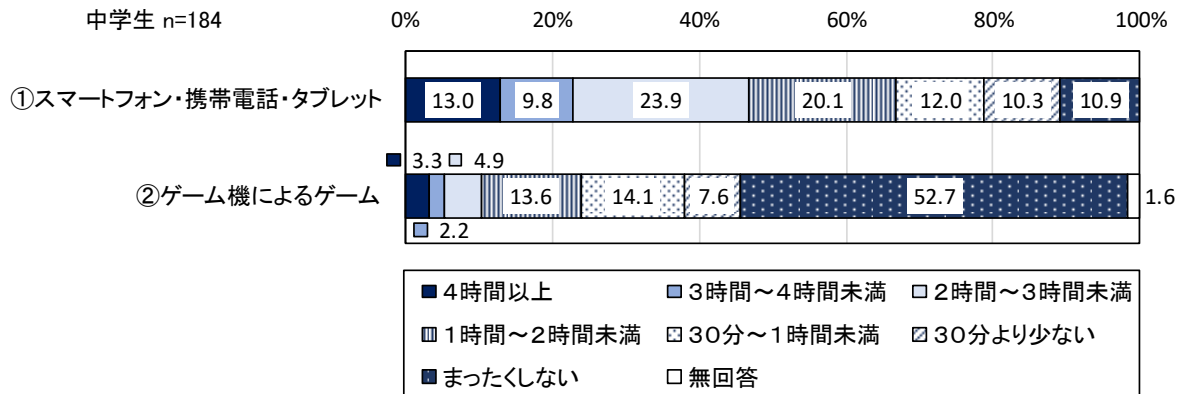
一方で、「そこでは全く話さない」をみると、『⑦ネット上の友だち』が 84.2%で最も高く、次いで『⑧その他の大人』が 76.6%となっています。



問 14 スマートフォン・携帯電話・タブレットと、ゲーム機の1日の使用時間についてお答えください。  
(それぞれ〇は1つ)

『①スマートフォン・携帯電話・タブレット』の1日の使用時間については、「2時間～3時間未満」が23.9%で最も高く、次いで「1時間～2時間未満」が20.1%、「4時間以上」が13.0%となっています。

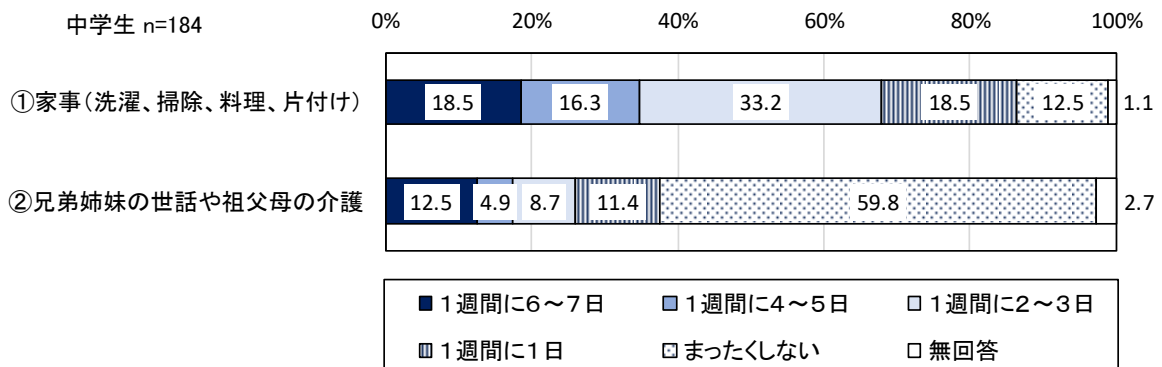
『②ゲーム機によるゲーム』の1日の使用時間については、「まったくしない」が52.7%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」が14.1%、「1時間～2時間未満」が13.6%となっています。



問 15 あなたはふだん、以下の活動をどれくらいしますか。(それぞれ〇は1つ)

『①家事（洗濯、掃除、料理、片付け）』の1週間の活動日数については、「1週間に2～3日」が33.2%で最も高く、次いで「1週間に6～7日」、「1週間に1日」がともに18.5%となっています。

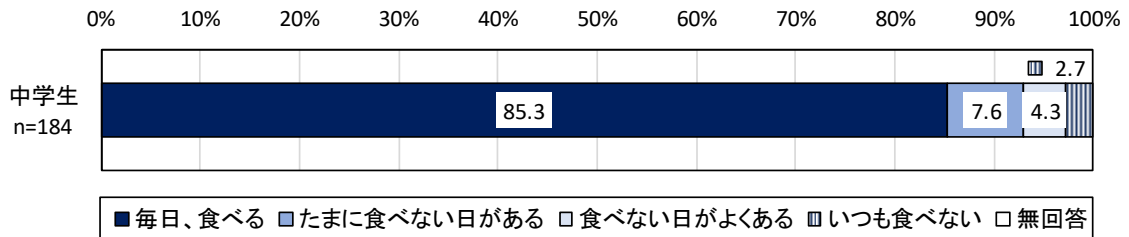
『②兄弟姉妹の世話や祖父母の介護』の1週間の活動日数については、「まったくしない」が59.8%で最も高く、次いで「1週間に6～7日」が12.5%、「1週間に1日」が11.4%となっています。



## 4. 食事、健康、暮らしのことについて

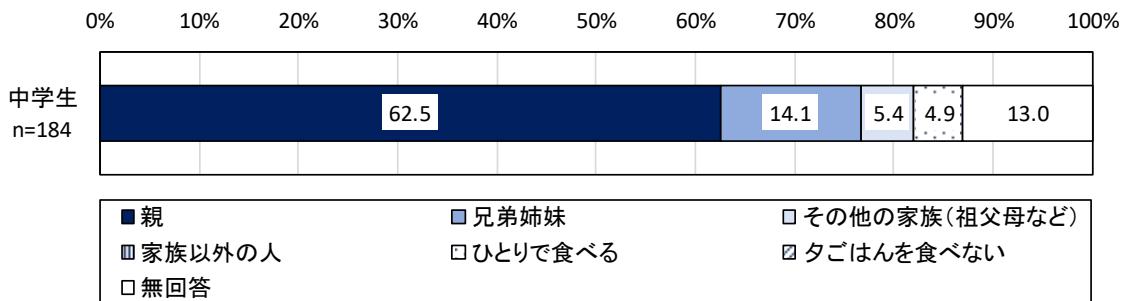
問 16 あなたは、平日（学校に行く日）は毎日、朝ごはんを食べますか。（〇は1つ）

平日の朝食については、「毎日、食べる」が 85.3%で最も高く、次いで「たまに食べない日がある」が 7.6%、「食べない日がよくある」が 4.3%となっています。



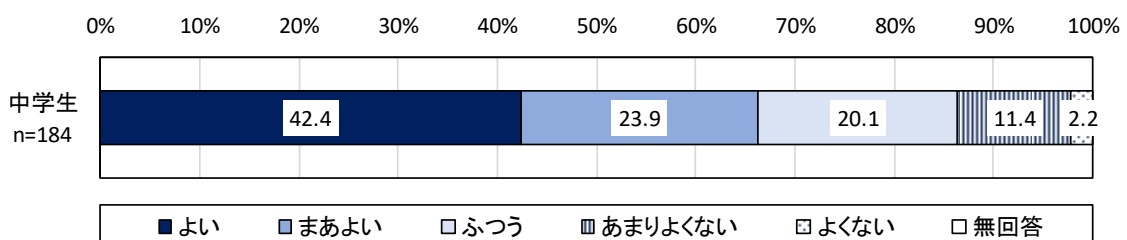
問 17 あなたは、平日（学校に行く日）に夕ごはんをだれと食べますか。（〇は1つ）

平日の夕食を誰と食べるかについては、「親」が 62.5%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が 14.1%、「その他の家族（祖父母など）」が 5.4%となっています。



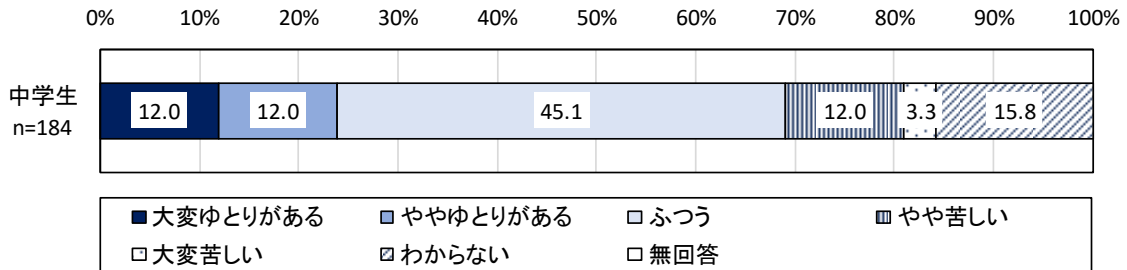
問 18 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。（〇は1つ）

現在の健康状態については、「よい」が 42.4%で最も高く、次いで「まあよい」が 23.9%、「ふつう」が 20.1%となっています。



問 19 経済的に（お金に関して）は、あなたの家の暮らしは、次のどれにあたると思いますか。  
（〇は1つ）

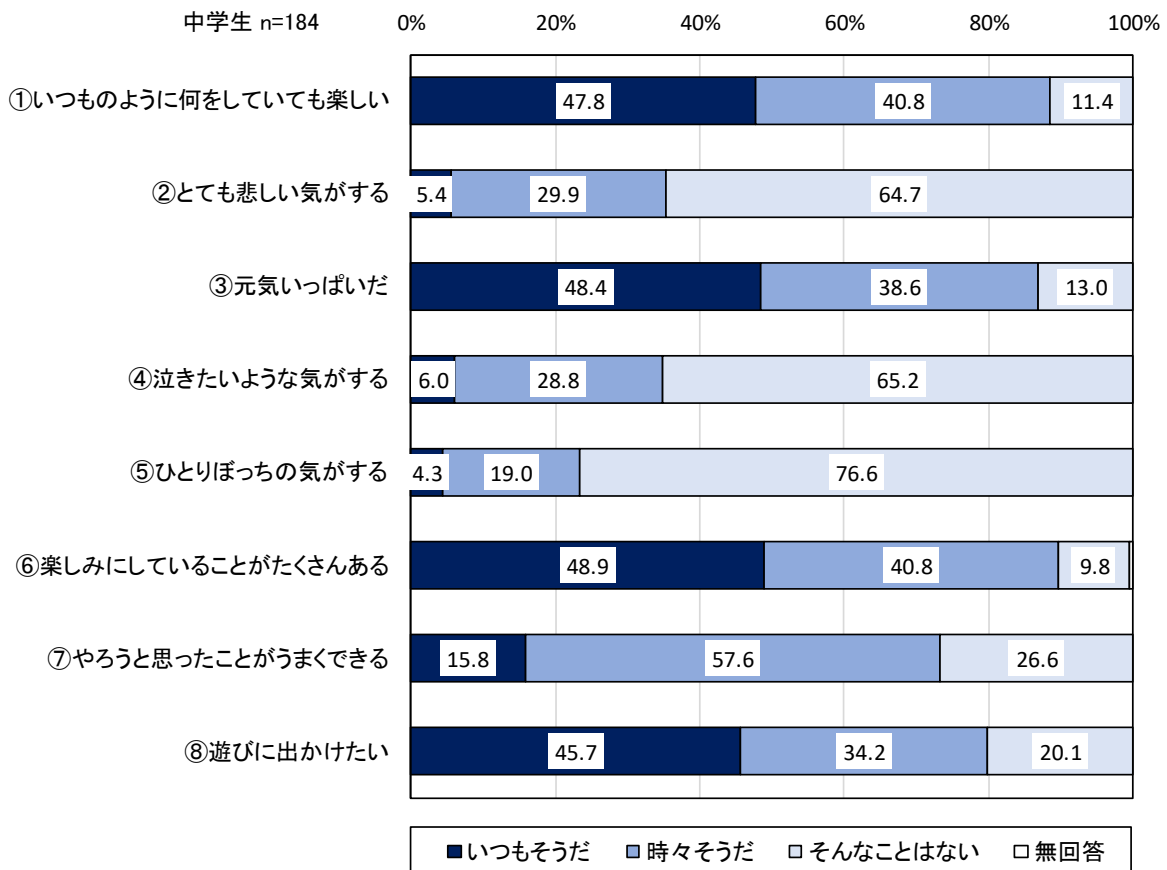
家の暮らしの経済状況については、「ふつう」が45.1%で最も高く、次いで「わからない」が15.8%、「大変ゆとりがある」、「ややゆとりがある」、「やや苦しい」がともに12.0%となっています。



問 20 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。この1週間はどんな1週間だったかお答えください。（それぞれ〇は1つ）

この1週間の感情について、「いつもそうだ」をみると、『⑥楽しみにしていることがたくさんある』が48.9%で最も高く、次いで『③元気いっぱいだ』が48.4%となっています。

一方で、「そんなことはない」をみると、『⑤ひとりぼっちの気がする』が76.6%で最も高く、次いで『④泣きたいような気がする』が65.2%となっています。

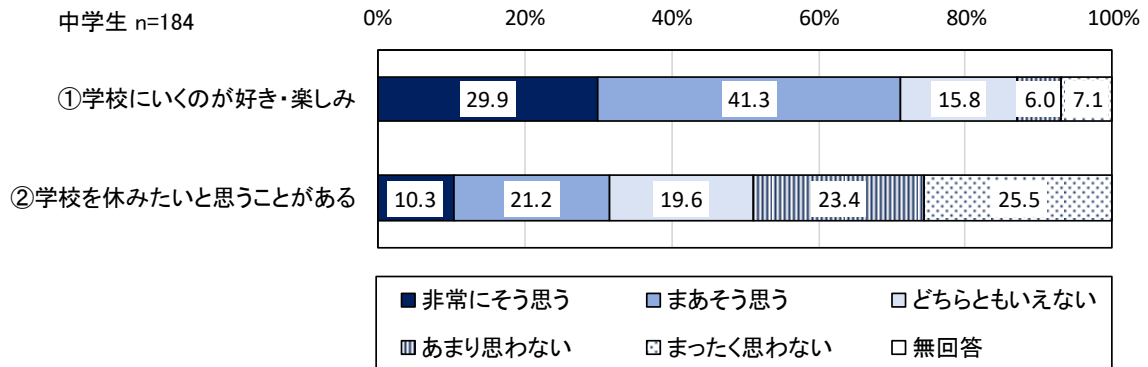


## 5. 学校や勉強のことについて

問 21 あなたの学校への気持ちについてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

『①学校に行くのが好き・楽しみ』の気持ちについては、「まあそう思う」が41.3%で最も高く、次いで「非常にそう思う」が29.9%、「どちらともいえない」が15.8%となっています。

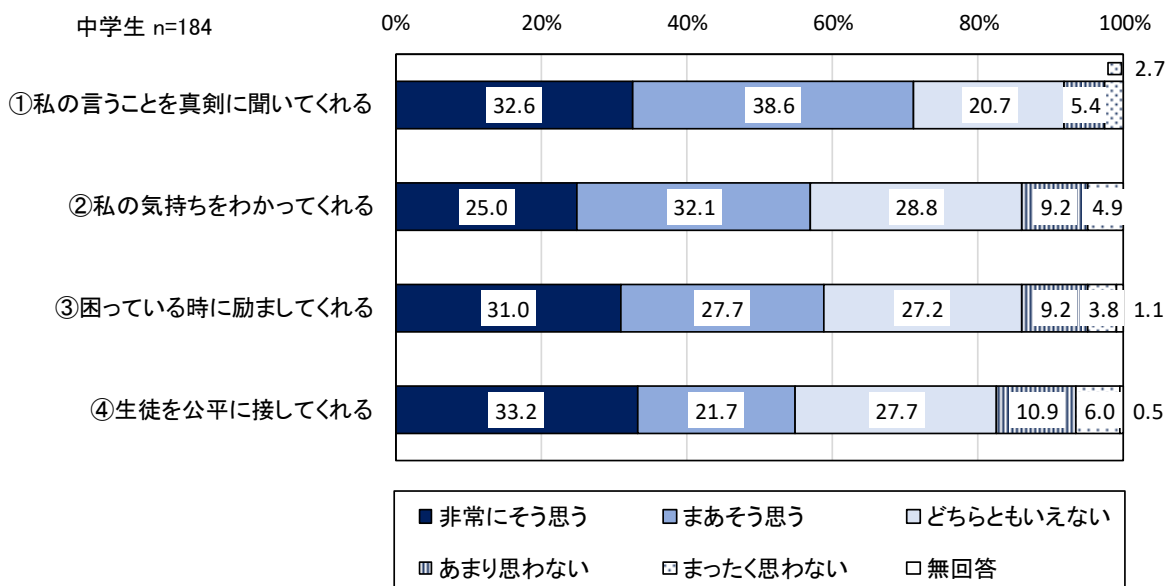
『②学校を休みたいと思うことがある』の気持ちについては、「まったく思わない」が25.5%で最も高く、次いで「あまり思わない」が23.4%、「まあそう思う」が21.2%となっています。



問 22 あなたの(学校の)先生への気持ちについてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

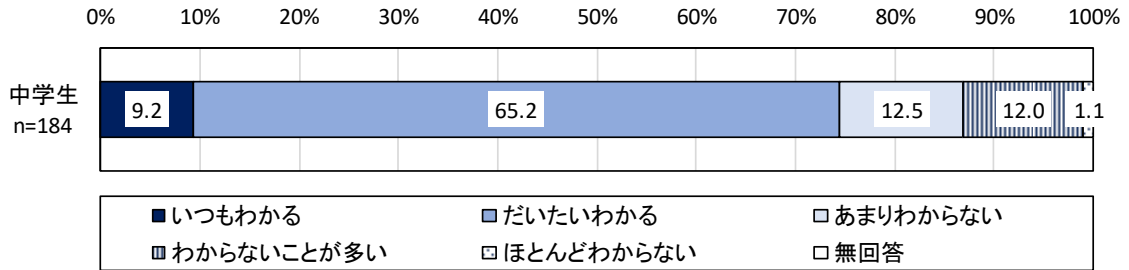
先生への気持ちについて、「非常にそう思う」と「まあそう思う」の合計値をみると、『①私の言うことを真剣に聞いてくれる』が71.2%で最も高く、次いで『③困っている時に励ましてくれる』が58.7%となっています。

一方で、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計値をみると、『④生徒を公平に接してくれる』が16.9%で最も高くなっています。



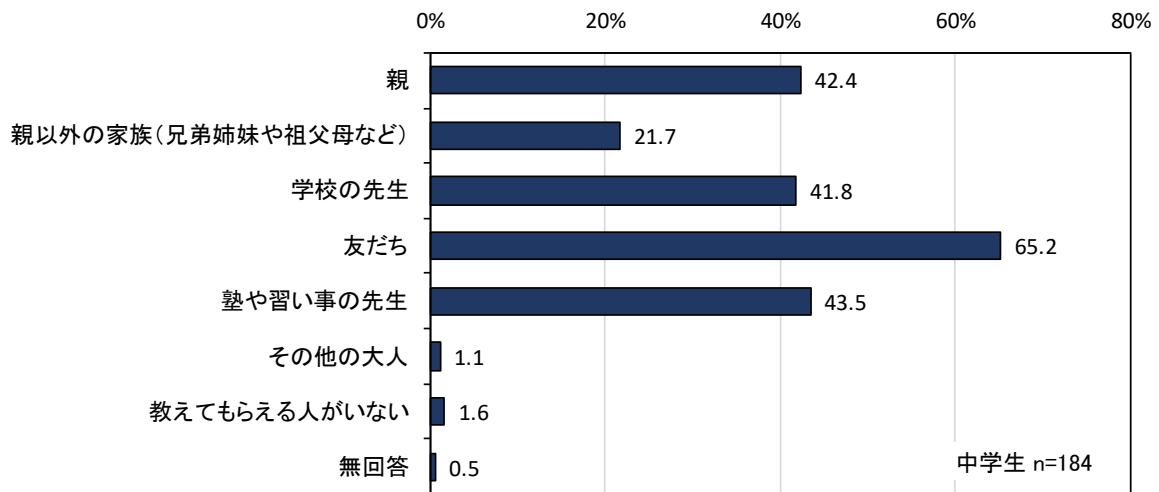
問 23 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(〇は1つ)

学校の授業については、「だいたいわかる」が 65.2%で最も高く、次いで「あまりわからない」が 12.5%、「わからないことが多い」が 12.0%となっています。



問 24 勉強がわからないとき、誰に教えてもらいますか。(あてはまるものすべてに〇)

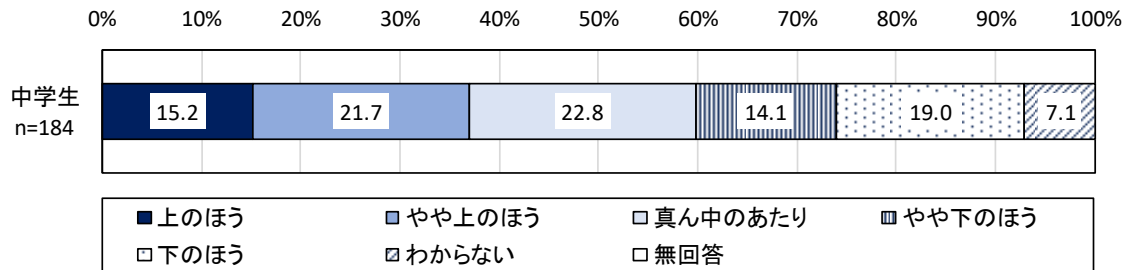
教えてもらう人については、「友だち」が 65.2%で最も高く、次いで「塾や習い事の先生」が 43.5%、「親」が 42.4%となっています。





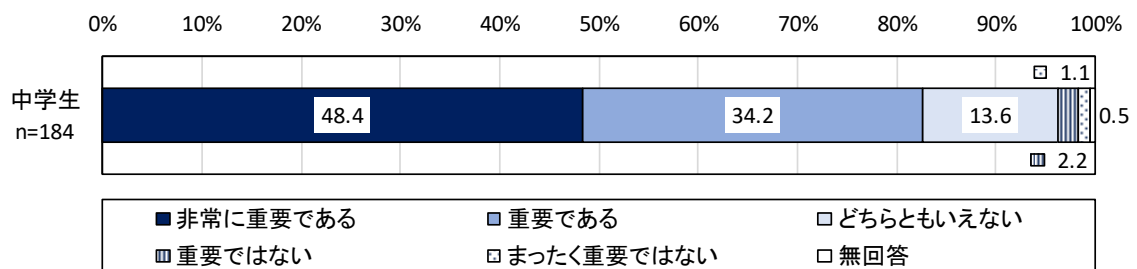
問 25 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(〇は1つ)

クラスでの成績については、「真ん中あたり」が 22.8%で最も高く、次いで「やや上のほう」が 21.7%、「下のほう」が 19.0%となっています。



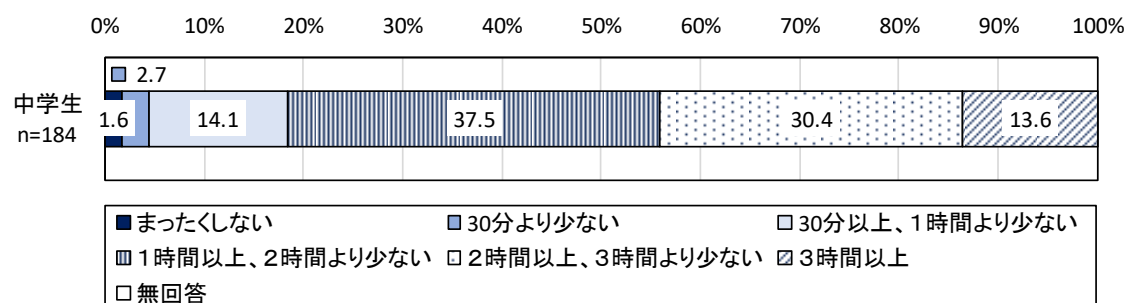
問 26 あなたにとって学校の成績はどれくらい重要ですか。(〇は1つ)

学校の成績の重要度については、「非常に重要である」が 48.4%で最も高く、次いで「重要である」が 34.2%、「どちらともいえない」が 13.6%となっています。



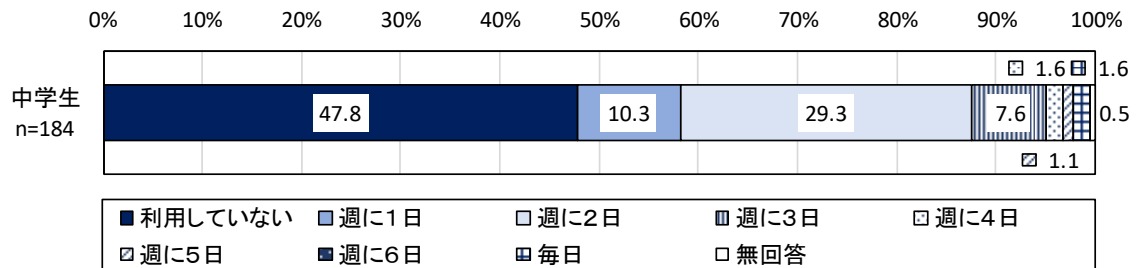
問 27 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間をお答えください。(〇は1つ)

学校の授業以外の勉強時間については、「1時間以上、2時間より少ない」が 37.5%で最も高く、次いで「2時間以上、3時間より少ない」が 30.4%、「30分以上、1時間より少ない」が 14.1%となっています。



問 28 あなたは、学習塾や家庭教師を利用していますか。利用している場合、1週間に何日利用していますか。(〇は1つ)

学習塾や家庭教師の利用状況については、「利用していない」が 47.8%で最も高く、次いで「週に2日」が 29.3%、「週に1日」が 10.3%となっています。

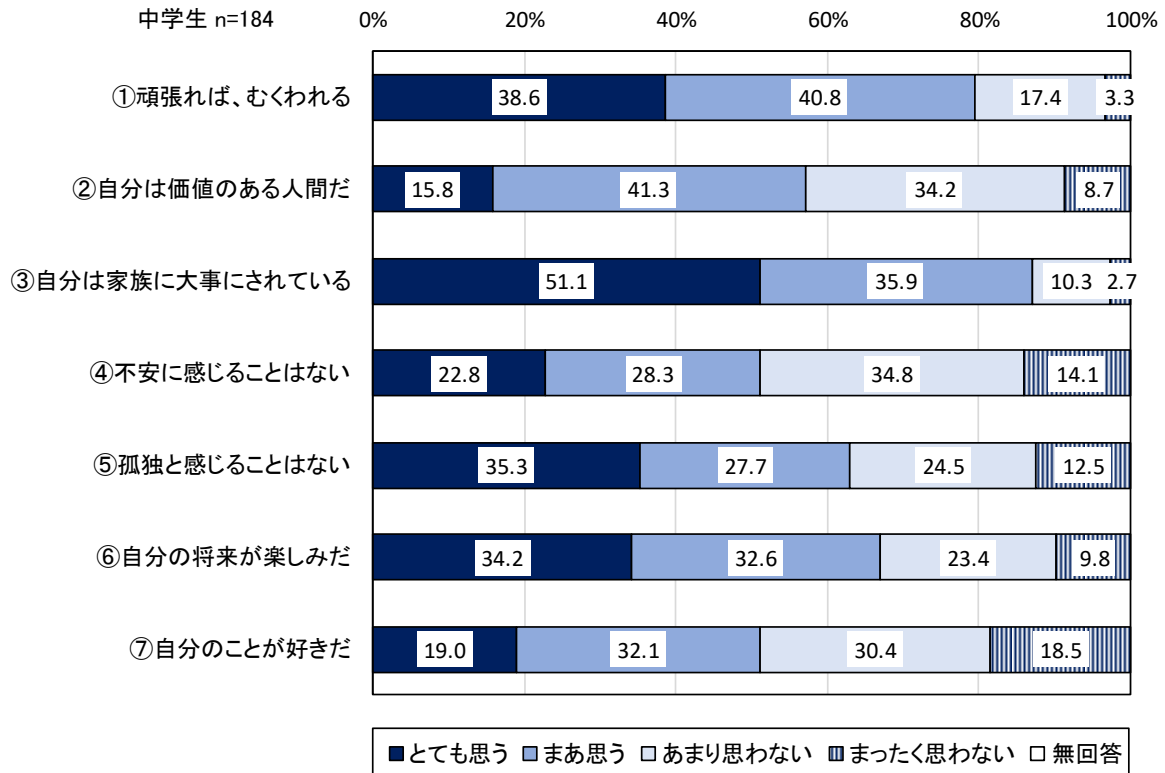


## 6. あなたがふだん考えていることについて

問 29 あなたの思いや気持ちについて、ありのままにお答えください。(それぞれ〇は1つ)

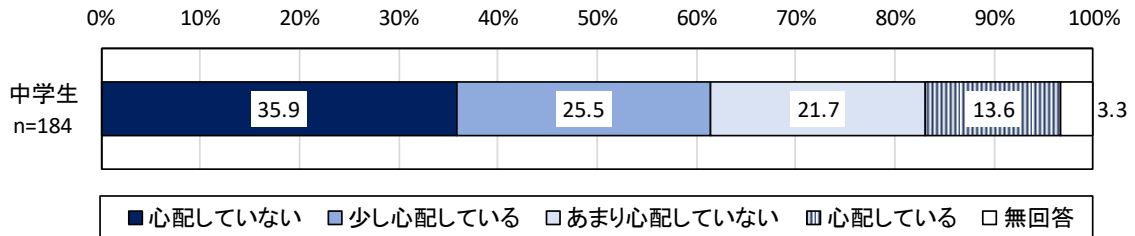
思いや気持ちについて、「とても思う」と「まあ思う」の合計値をみると、『③自分は家族に大切にされている』が87.0%で最も高く、次いで『①頑張れば、むくわれる』が79.4%となっています。

一方で、「あまり思わない」と「まったく思わない」の合計値をみると、『④不安に感じることはない』、『⑦自分のことが好きだ』がともに48.9%で最も高くなっています。



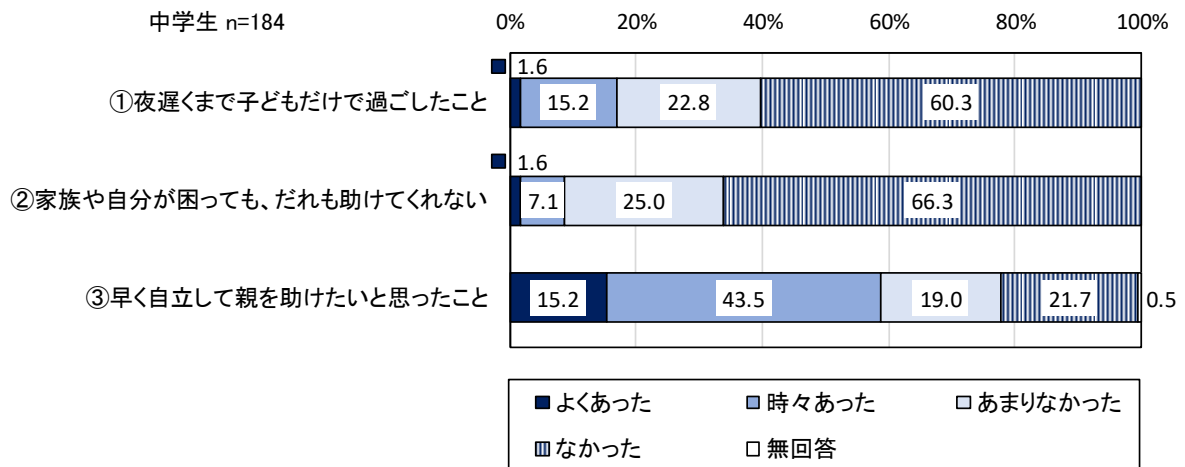
問30 あなたは、いじめを受けることについて、どれくらい心配していますか。(〇は1つ)

いじめを受ける心配については、「心配していない」が35.9%で最も高く、次いで「少し心配している」が25.5%、「あまり心配していない」が21.7%となっています。



問31 あなたはこれまでに、以下のようなことはありましたか。(それぞれ〇は1つ)

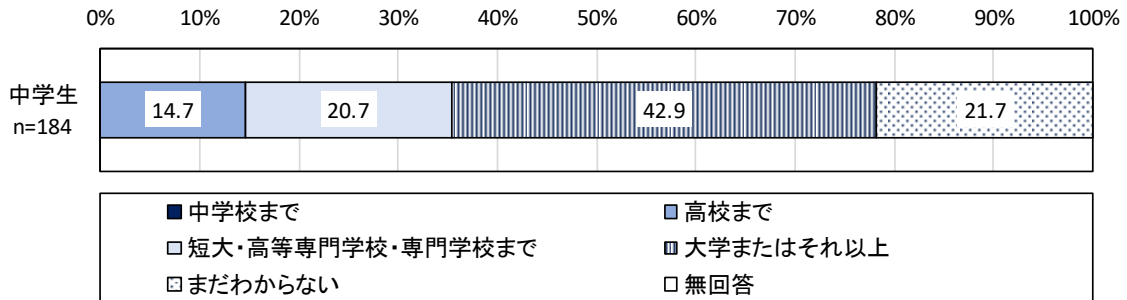
これまでの経験について、『③早く自立して親を助けたいと思ったこと』は、「よくあった」と「時々あった」の合計値が58.7%と、他の項目に比べて経験している割合が高くなっています。



## 7. あなたの将来について

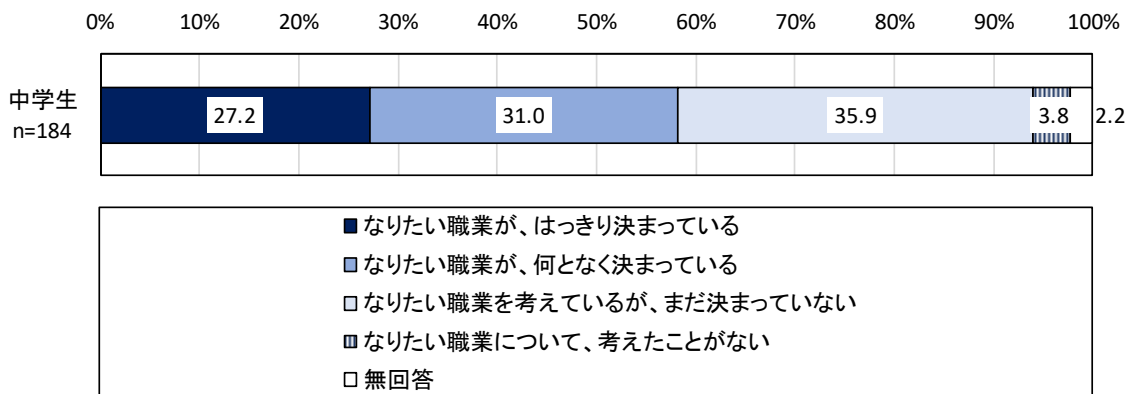
問 32 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(〇は1つ)

進学希望については、「大学またはそれ以上」が 42.9%で最も高く、次いで「まだわからない」が 21.7%、「短大・高等専門学校・専門学校」が 20.7%となっています。



問 33 あなたには、将来なりたい職業がありますか。(〇は1つ)

将来なりたい職業の有無については、「なりたい職業を考えているが、まだ決まっていない」が 35.9%で最も高く、次いで「なりたい職業が、何となく決まっている」が 31.0%、「なりたい職業が、はっきり決まっている」が 27.2%となっています。

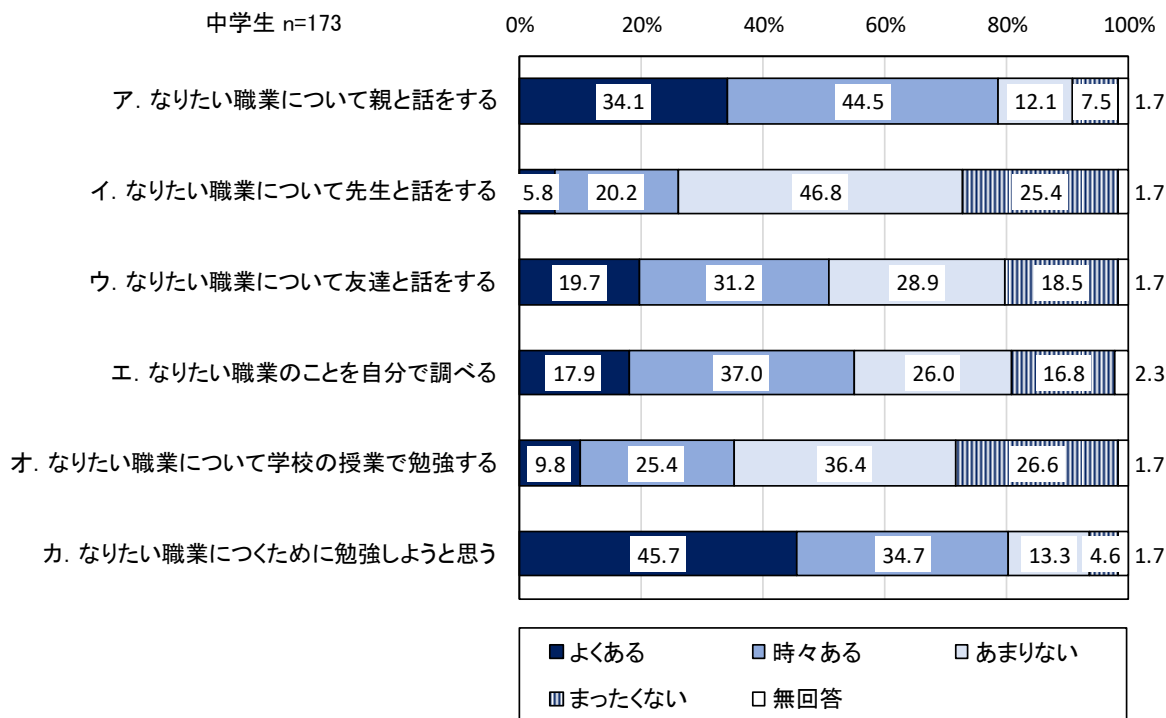


問33-1 問33で「1」「2」「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。

あなたは、次のようなことがありますか。(それぞれ0は1つ)

なりたい職業に対する経験について、「よくある」と「時々ある」の合計値をみると、『カ. なりたい職業につくために勉強しようと思う』が80.4%で最も高く、次いで『ア. なりたい職業について親と話をする』が78.6%、『エ. なりたい職業のことを自分で調べる』が54.9%となっています。

一方で、「あまりない」と「まったくない」の合計値をみると、『イ. なりたい職業について先生と話をする』が72.2%で最も高くなっています。



問34 最後に、このアンケートの感想、学校や社会、大人の人に言いたいことなどがありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 58 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を1つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●先生・大人について</b>	21
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ」がないように見えるけど、大人の見えない所で残り続けている。</li> <li>・怒る前に事情を良く聞いてから怒ってほしい、自分の意見を言わせてほしい。</li> <li>・生徒には平等に接してほしい。</li> </ul>	
<b>●アンケートについて</b>	12
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを振り返れて良かった。</li> <li>・自分の思っていることが書けて良かった。</li> </ul>	
<b>●学校について</b>	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・皆勤賞を取れるように頑張る。</li> <li>・勉強がわからない（嫌い）、わかりやすく教えてもらいたい。</li> </ul>	
<b>●部活動について</b>	6
<ul style="list-style-type: none"> <li>・休みが少ない、一刻も早くガイドラインに沿って行ってほしい（週休2日など）。</li> <li>・朝練をなくしてほしい。</li> </ul>	
<b>●学校設備について</b>	5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽室にクーラーを付けてほしい。</li> <li>・体育館を大きくしてほしい。</li> </ul>	
<b>●その他</b>	8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の生活習慣で悪いところは直していきたい。</li> <li>・勉強できる場所をつくってほしい。</li> <li>・もう少し公園などの設備を新しくしてほしい。</li> </ul>	





## VI 中学生保護者の調査結果

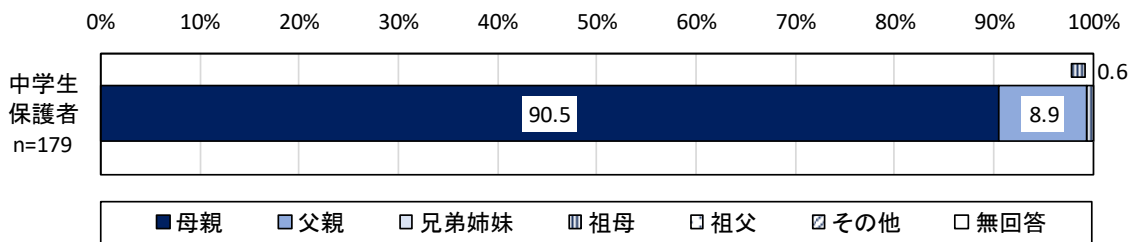
---



# 1. あなたと、あなたのご家族のことについて

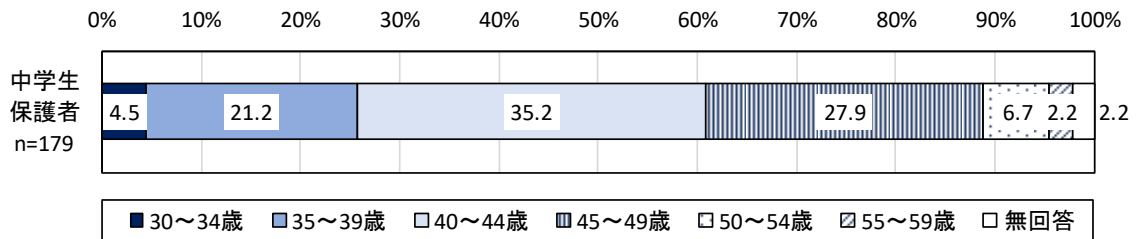
問1 お子さんとあなたとの関係をお答えください。(〇は1つ)

お子さんとあなたとの関係(調査票への回答者)については、「母親」が90.5%で最も高く、次いで「父親」が8.9%、「祖母」が0.6%となっています。



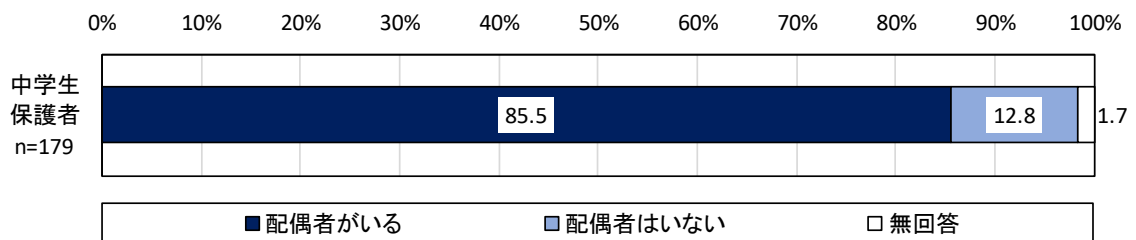
問2 あなたの年齢をお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

年齢については、「40～44歳」が35.2%で最も高く、次いで「45～49歳」が27.9%、「35～39歳」が21.2%となっています。



問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

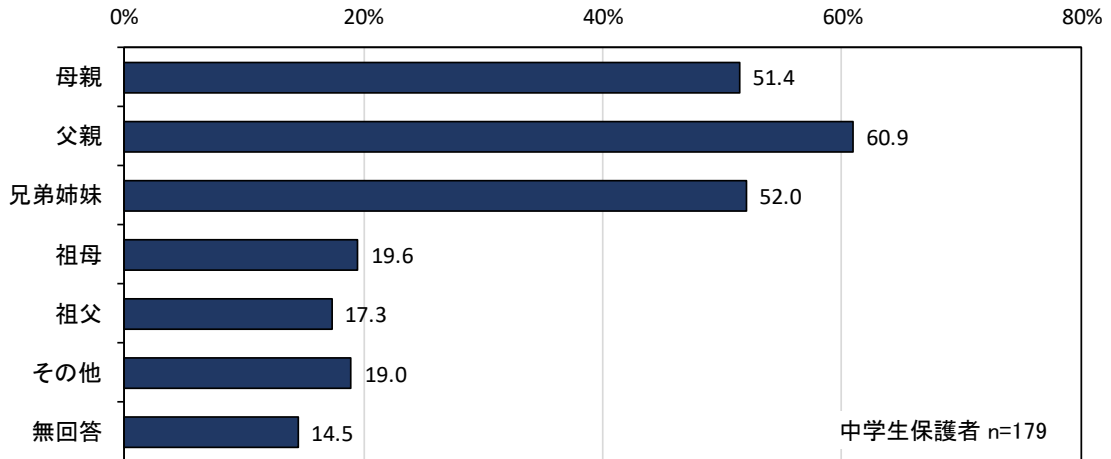
回答者の配偶関係については、「配偶者がいる」が85.5%、「配偶者がいない」が12.8%となっています。



問4 あなたと同居されている方をお答えください。また、同居している家族全員の人数をご記入ください。（あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。）

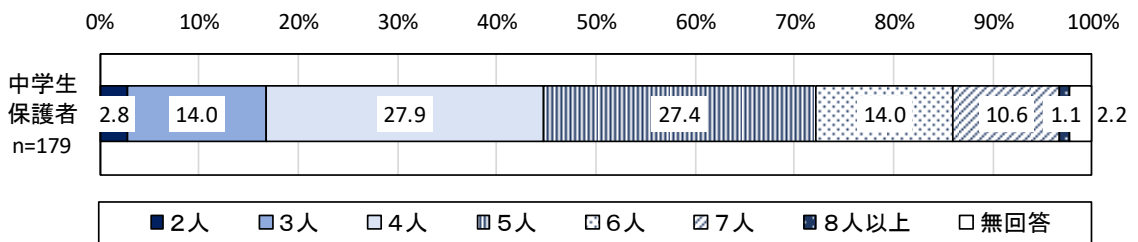
●同居している人

同居している人については、「父親」が60.9%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が52.0%、「母親」が51.4%となっています。



●家族の人数

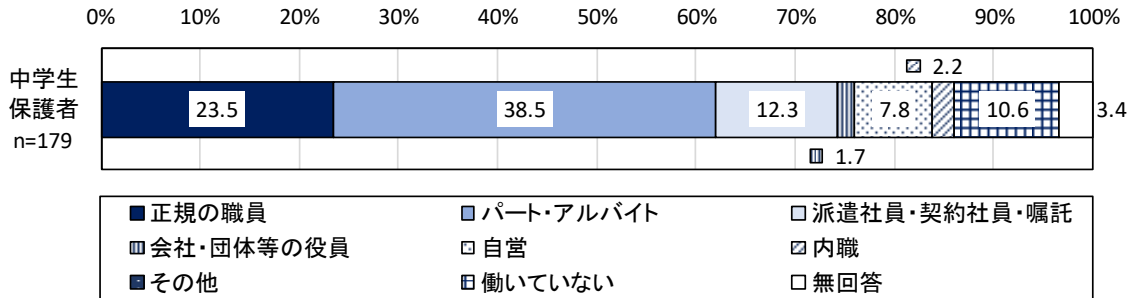
家族の人数については、「4人」が27.9%で最も高く、次いで「5人」が27.4%、「3人」、「6人」がともに14.0%となっています。



## 2. お母さん、お父さんのお仕事について

問5 お子さんのお母さんの現在の働き方をお答えください。(〇は1つ)

母親の就労形態については、「パート・アルバイト」が38.5%で最も高く、次いで「正規の職員」が23.5%、「派遣社員・契約社員・嘱託」が12.3%となっています。

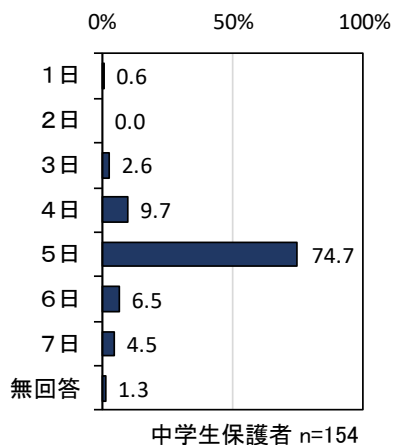


問5-1 問5で「1」から「7」を回答した方にうかがいます。

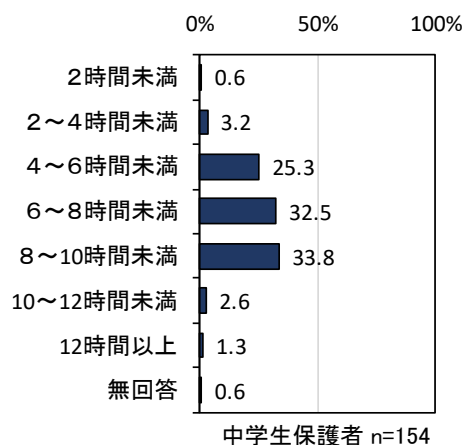
お子さんのお母さんは、1週間のうち、どのくらいお仕事をされていますか。また、働いている日は1日当たり平均で何時間くらいお仕事をされていますか。(それぞれ〇は1つ)

母親の1週当たりの就労日数は「5日」が74.7%で最も高く、次いで「4日」が9.7%、1日当たりの就労時間は「8～10時間未満」が33.8%で最も高く、次いで「6～8時間未満」が32.5%となっています。

【1週当たりの就労日数】



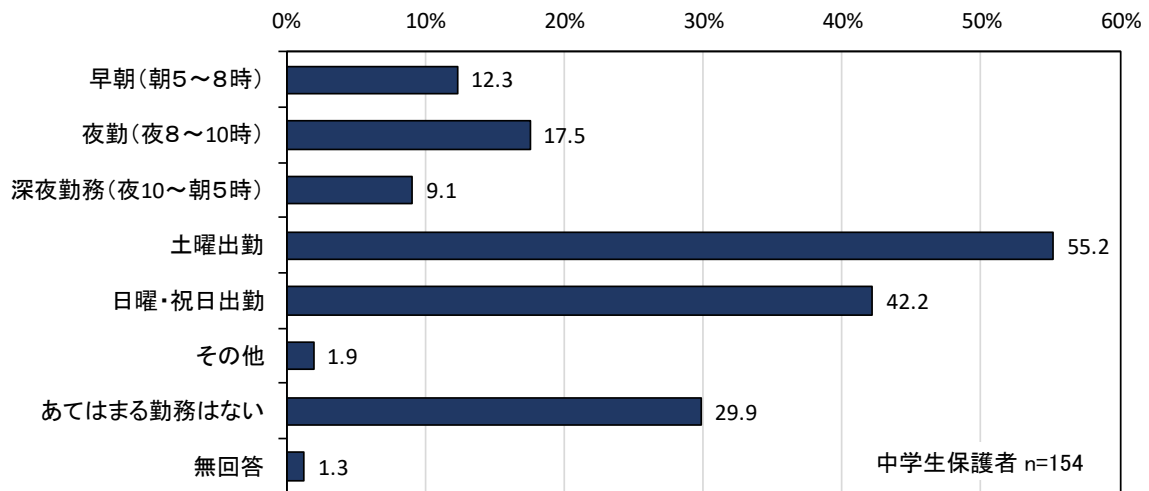
【1日当たりの就労時間】



問5-2 問5で「1」から「7」を回答した方にかがいます。

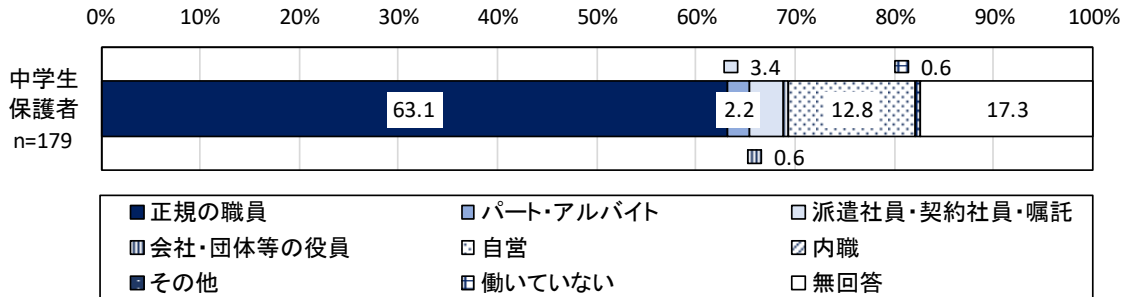
お子さんのお母さんは、平日の日中以外の勤務もありますか（あてはまるものすべてに○）

平日の日中以外の勤務については、「土曜出勤」が55.2%で最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」が42.2%、「あてはまる勤務はない」が29.9%となっています。



問6 お子さんのお父さんの現在の働き方をお答えください。(〇は1つ)

父親の就労形態については、「正規の職員」が63.1%で最も高く、次いで「自営」が12.8%、「派遣社員・契約社員・嘱託」が3.4%となっています。

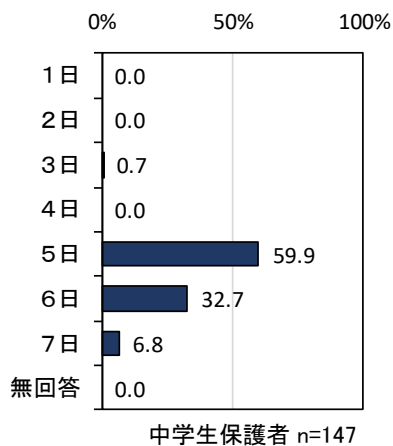


問6-1 問6で「1」から「7」を回答した方にうかがいます。

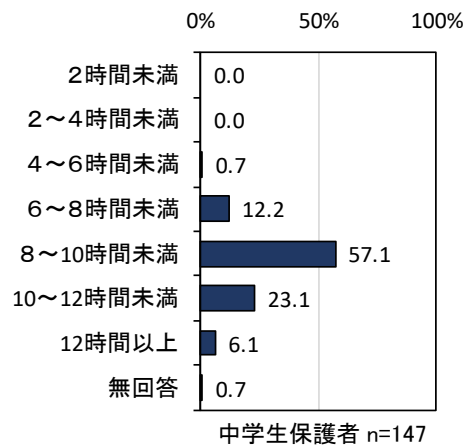
お子さんのお父さんは、1週間のうち、どのくらいお仕事をされていますか。また、働いている日は1日当たり平均で何時間くらいお仕事をされていますか。(それぞれ〇は1つ)

父親の1週当たりの就労日数は「5日」が59.9%で最も高く、次いで「6日」が32.7%、1日当たりの就労時間は「8～10 時間未満」が57.1%で最も高く、次いで「10～12 時間未満」が23.1%となっています。

【1週当たりの就労日数】



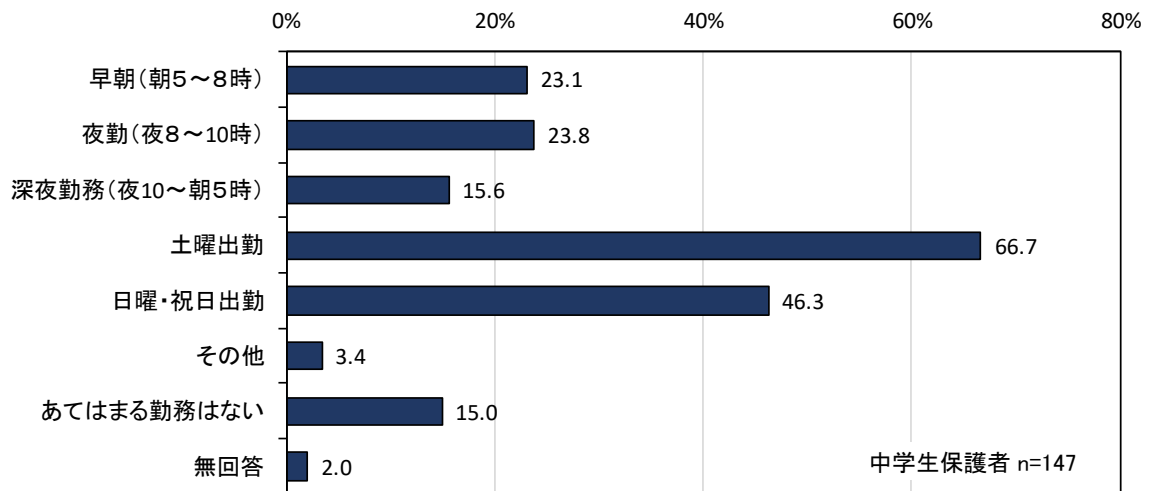
【1日当たりの就労時間】



問6-2 問6で「1」から「7」を回答した方にかがいます。

お子さんのお父さんは、平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまるものすべてに○)

平日の日中以外の勤務については、「土曜出勤」が66.7%で最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」が46.3%、「夜勤(夜8~10時)」が23.8%となっています。

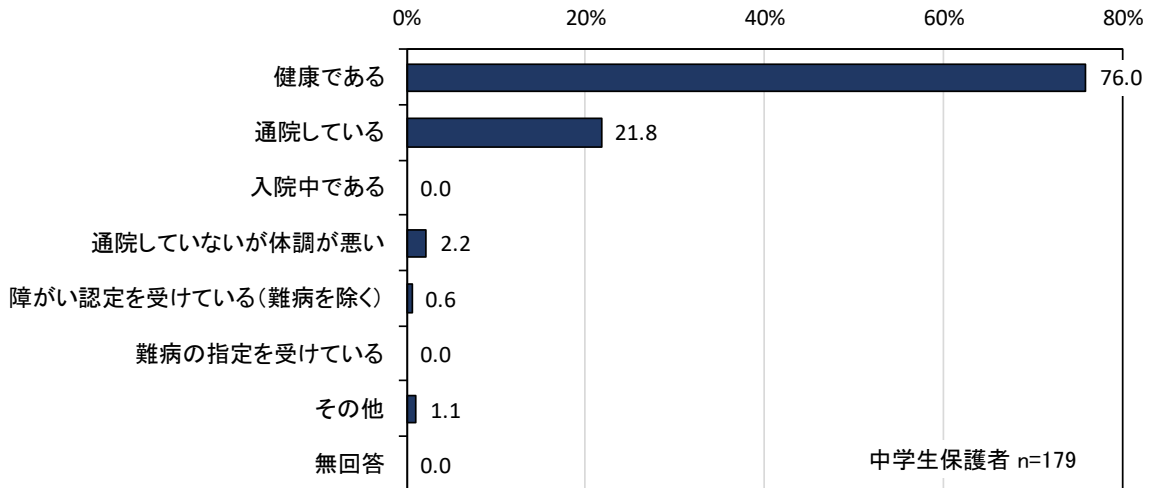




### 3. あなたの健康や心の状態について

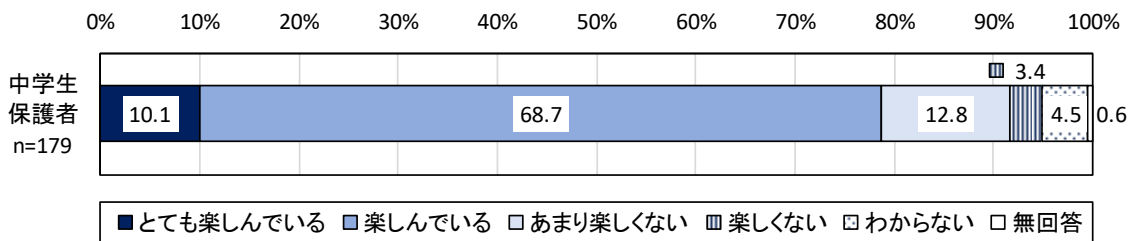
問7 あなたの健康状態等はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

健康状態については、「健康である」が76.0%で最も高く、次いで「通院している」が21.8%、「通院していないが体調が悪い」が2.2%となっています。



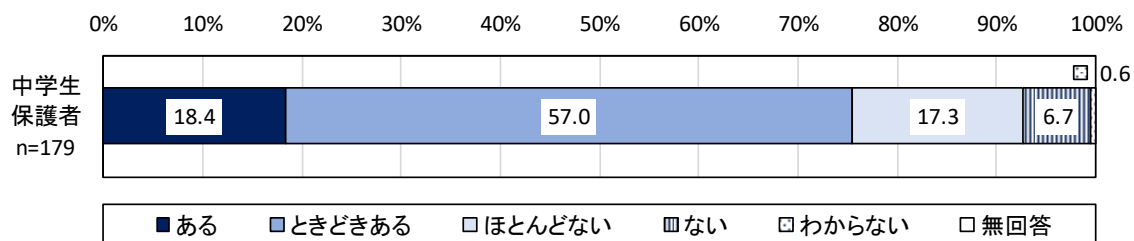
問8 あなたは、現在の生活を楽しんでいますか。(○は1つ)

現在の生活を楽しんでいるかについては、「楽しんでいる」が68.7%で最も高く、次いで「あまり楽しくない」が12.8%、「とても楽しんでいる」が10.1%となっています。



問9 あなたは、ストレスを発散できる機会はありますか。(〇は1つ)

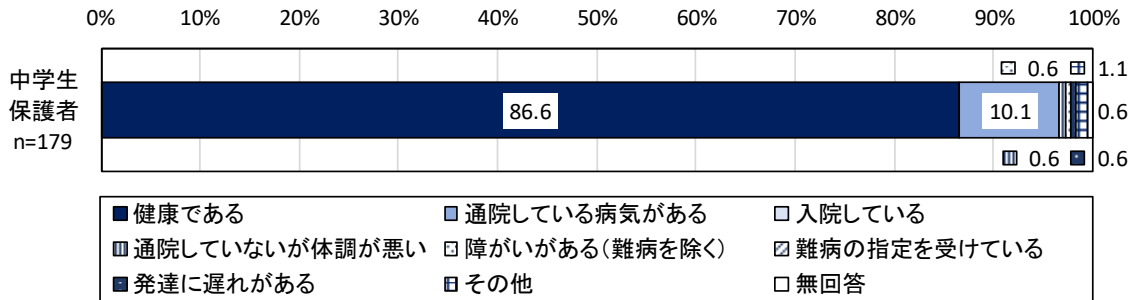
ストレス発散の機会の有無については、「ときどきある」が57.0%で最も高く、次いで「ある」が18.4%、「ほとんどない」が17.3%となっています。



## 4. お子さんの健康や受診状況について

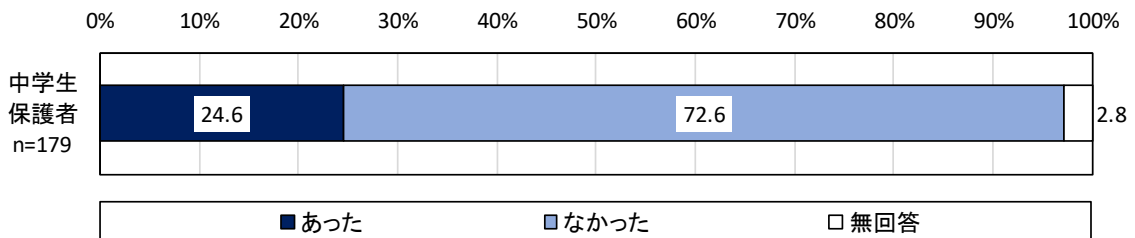
問 10 お子さんの健康・発達の状況はいかがですか。(〇は1つ)

お子さんの健康・発達の状況については、「健康である」が 86.6%で最も高く、次いで「通院している病気がある」が 10.1%、「その他」が 1.1%となっています。



問 11 過去1年間に、お子さん(兄弟姉妹を含む)を病院や歯医者で受診させたほうがよいと思ったが、実際には受診させなかったことはありましたか。(〇は1つ)

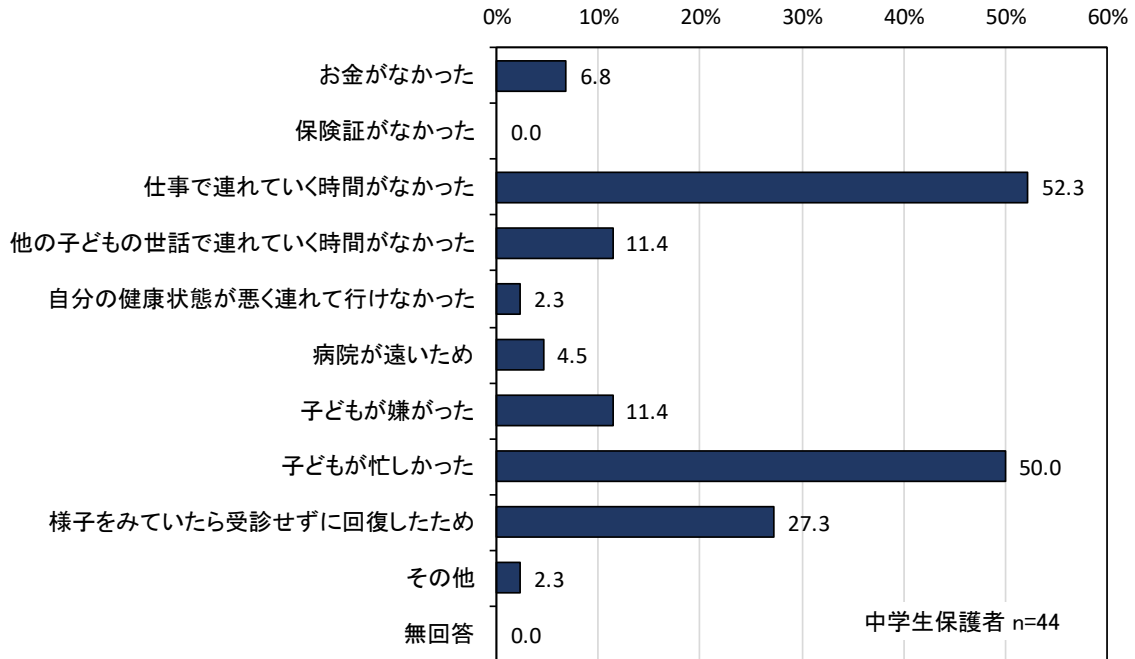
病院や歯医者を受診させたほうがよい状況であったが、実際には受診させなかったことがあったかについては、「あった」が 24.6%、「なかった」が 72.6%となっています。



問 11-1 問 11 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

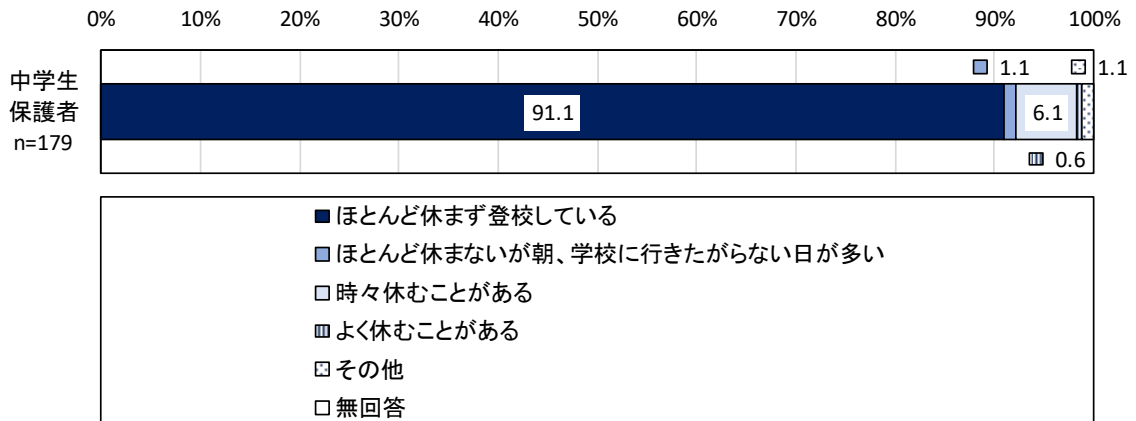
受診させなかった理由については、「仕事で連れていく時間がなかった」が 52.3%で最も高く、次いで「子どもが忙しかった」が 50.0%、「様子をみていたら受診せずに回復したため」が 27.3% となっています。



## 5. 子育てについて

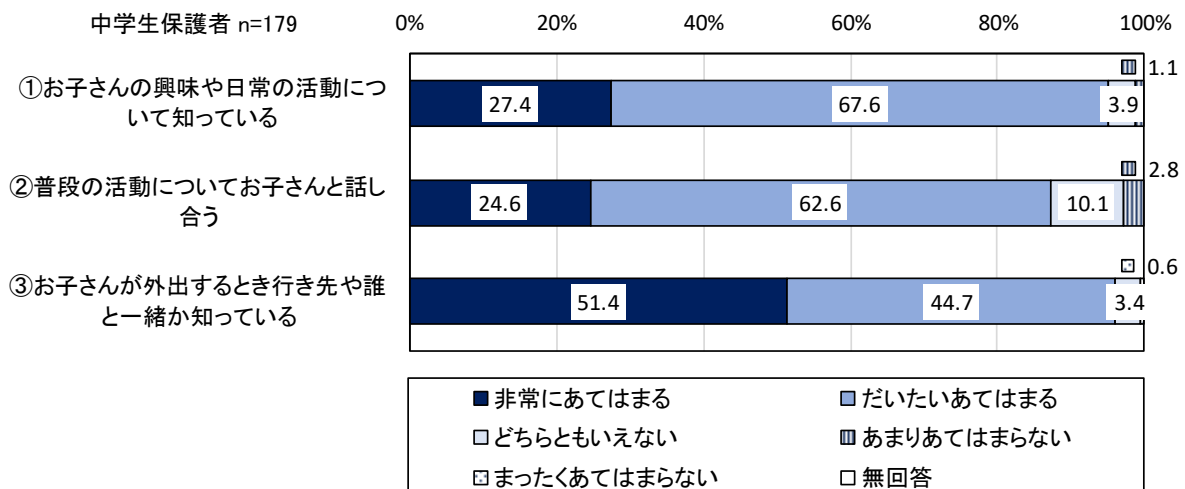
### 問 12 お子さんの登校の様子はいかがですか。(〇は1つ)

お子さんの登校の様子については、「ほとんど休まず登校している」が 91.1%で最も高く、次いで「時々休むことがある」が6.1%、「ほとんど休まないが朝、学校に行きたがらない日が多い」、「その他」がともに 1.1%となっています。



### 問 13 お子さんのことについて、以下のことはどの程度あてはまりますか。①～③について、それぞれお答えください。(それぞれ〇は1つ)

お子さんのことについて、「非常にあてはまる」をみると、『③お子さんが外出するとき行き先や誰と一緒に知っている』が51.4%で最も高くなっています。

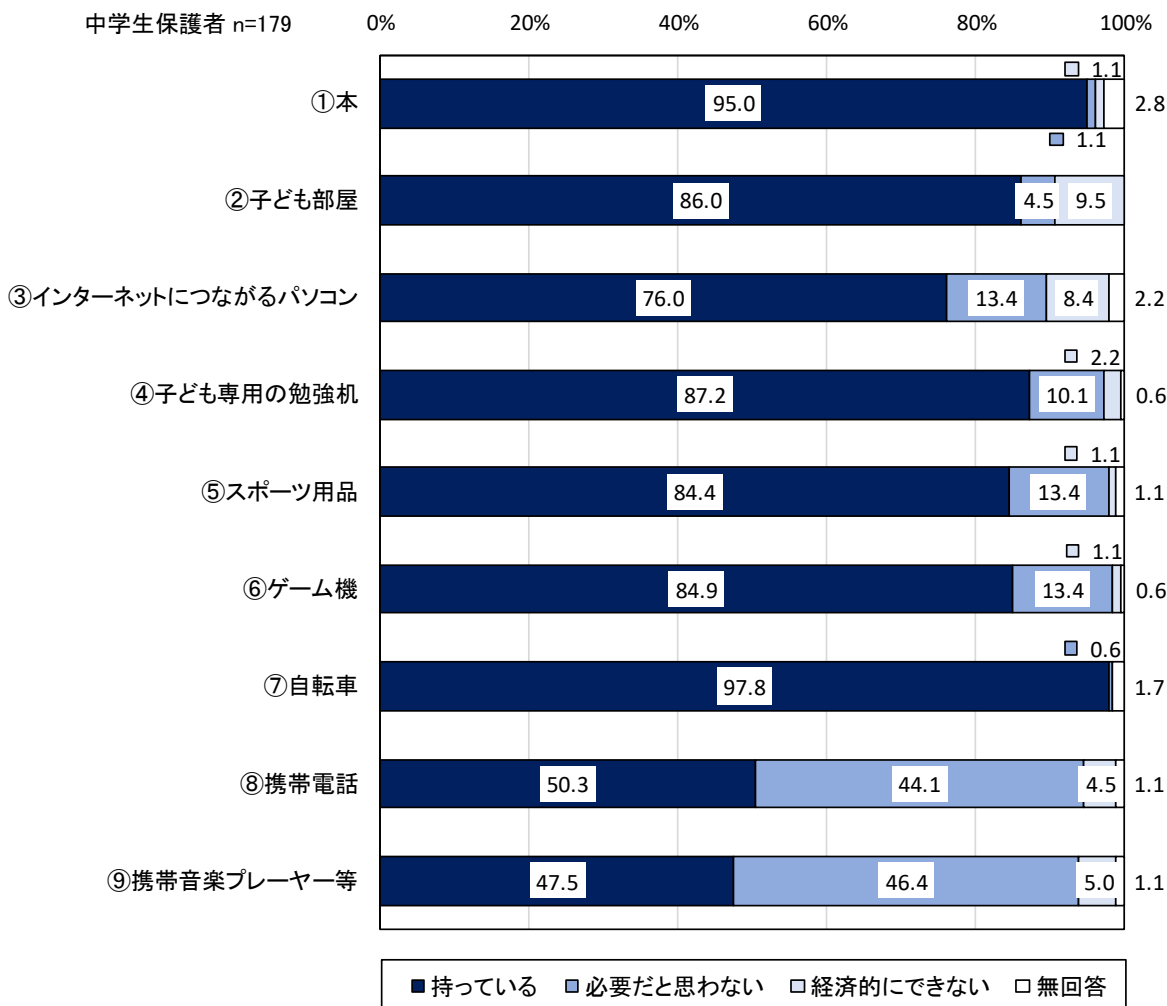


〈このアンケートを持ち帰ったお子さんについてうかがいます。〉

問 14 あなたのご家庭では、お子さん用の以下のものをお持ちですか。(それぞれ〇は1つ)

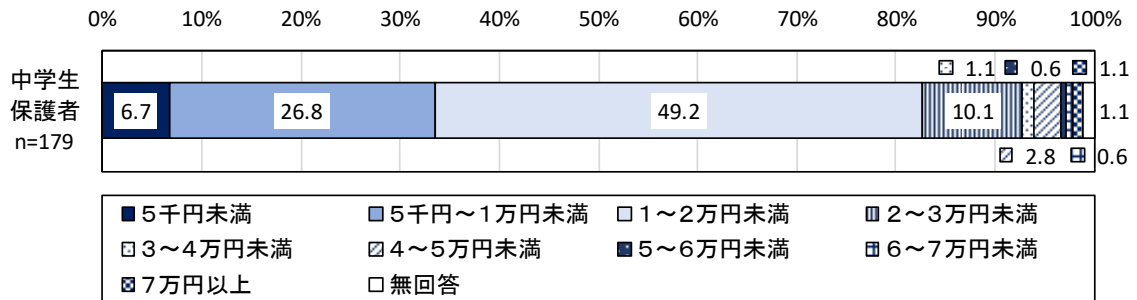
お子さんの持ち物について、「持っている」をみると、『⑦自転車』が97.8%で最も高く、次いで『①本』が95.0%、『④子ども専用の勉強机』が87.2%となっています。

一方で、「経済的にできない」をみると、『②子ども部屋』が9.5%で最も高く、次いで『③インターネットにつながるパソコン』が8.4%、『⑨携帯音楽プレーヤー等』が5.0%となっています。



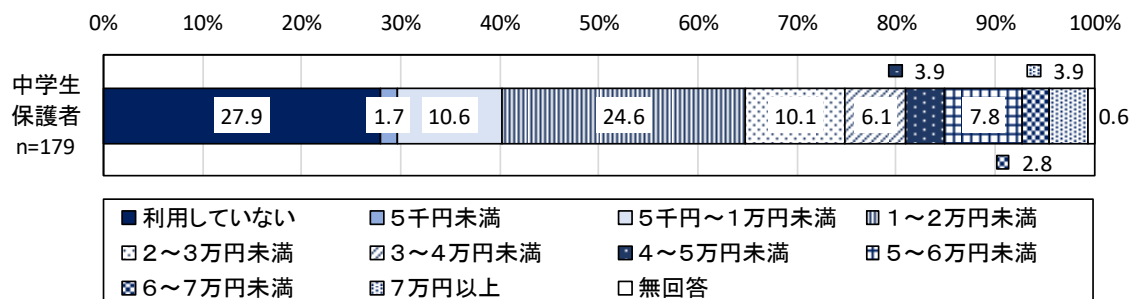
問 15 ここ1か月のうち、学校教育にかかった費用（教材費、給食費、通学費、部活費用など）についておうかがいします。（〇は1つ）

ここ1か月のうち、学校教育にかかった費用については、「1～2万円未満」が49.2%で最も高く、次いで「5千円～1万円未満」が26.8%、「2～3万円未満」が10.1%となっています。



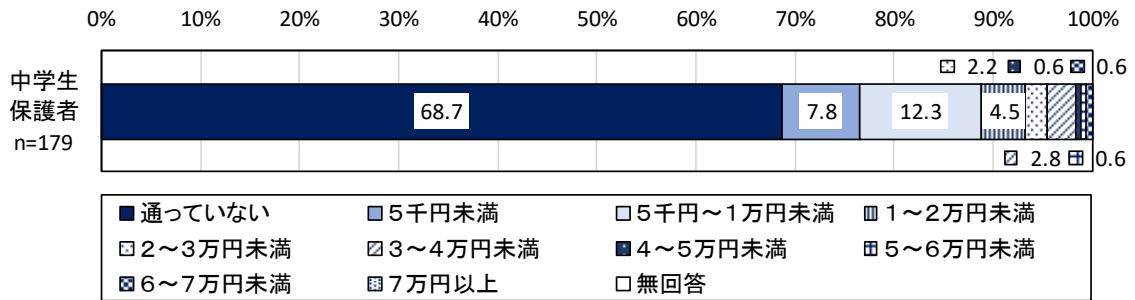
問 16 ここ1か月のうち、学習塾・家庭教師・通信教育等にかかった費用についておうかがいします。（〇は1つ）

ここ1か月のうち、学習塾等にかかった費用については、「利用していない」が27.9%で最も高く、次いで「1～2万円未満」が24.6%、「5千円～1万円未満」が10.6%となっています。



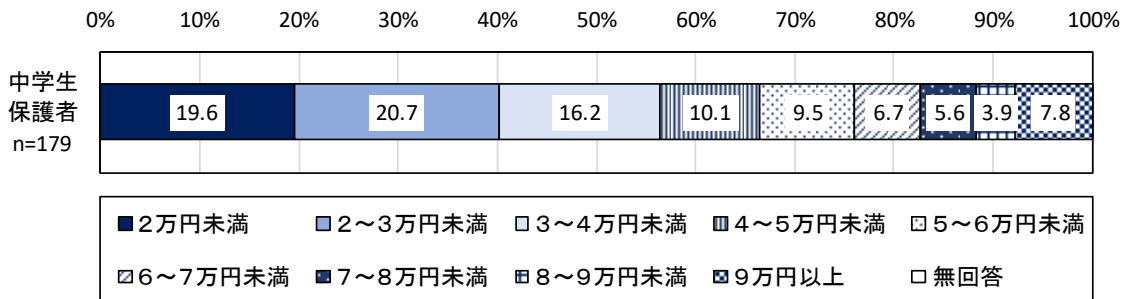
問 17 ここ1か月のうち、習い事・スポーツクラブ等にかかった費用についておうかがいします。  
(〇は1つ)

ここ1か月のうち、習い事等にかかった費用については、「通っていない」が68.7%で最も高く、次いで「5千円～1万円未満」が12.3%、「5千円未満」が7.8%となっています。



問 18 ここ1か月のうち、お子さんにかかったすべての費用についておうかがいします。  
(〇は1つ)

ここ1か月のうち、お子さんにかかったすべての費用については、「2～3万円未満」が20.7%で最も高く、次いで「2万円未満」が19.6%、「3～4万円未満」が16.2%となっています。

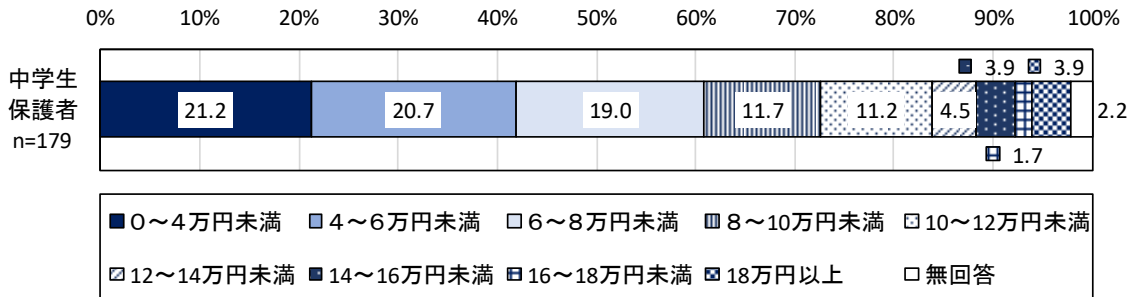




〈すべてのお子さんについてうかがいます。〉

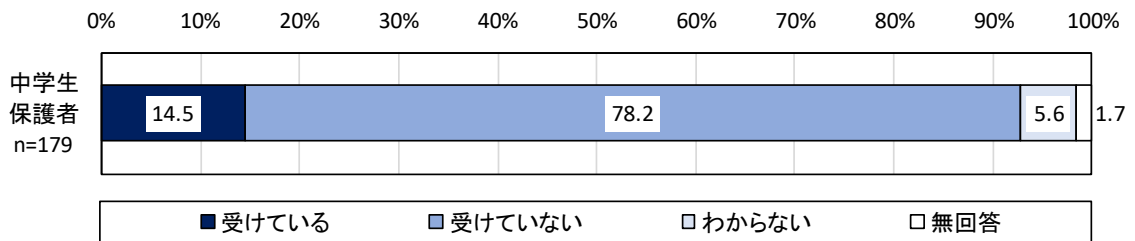
問 19 ここ1か月のうち、兄弟姉妹を含むすべてのお子さんにかかった費用についておうかがいします。  
(○は1つ)

ここ1か月のうち、兄弟姉妹を含むすべてのお子さんにかかった費用については、「0～4万円未満」が21.2%で最も高く、次いで「4～6万円未満」が20.7%、「6～8万円未満」が19.0%となっています。



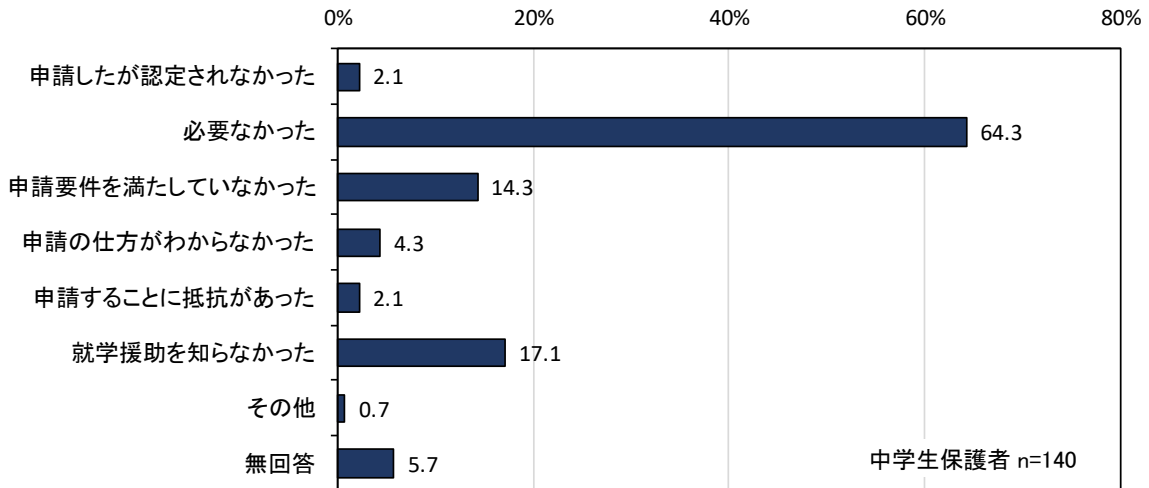
問 20 現在、就学援助を受けていますか。(○は1つ)

就学援助の受給状況については、「受けていない」が78.2%で最も高く、次いで「受けている」が14.5%、「わからない」が5.6%となっています。



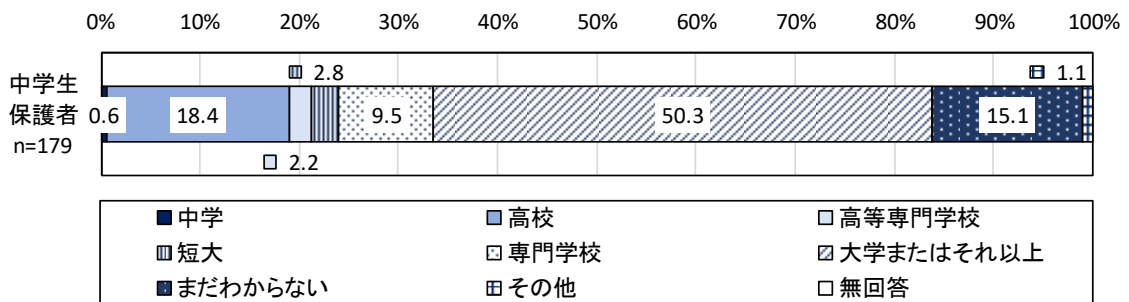
問 20-1 問 20 で「2. 受けていない」と回答した方にうかがいます。  
受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

就学援助を受けていない理由については、「必要なかった」が 64.3%で最も高く、次いで「就学援助を知らなかった」が 17.1%、「申請要件を満たしていなかった」が 14.3%となっています。



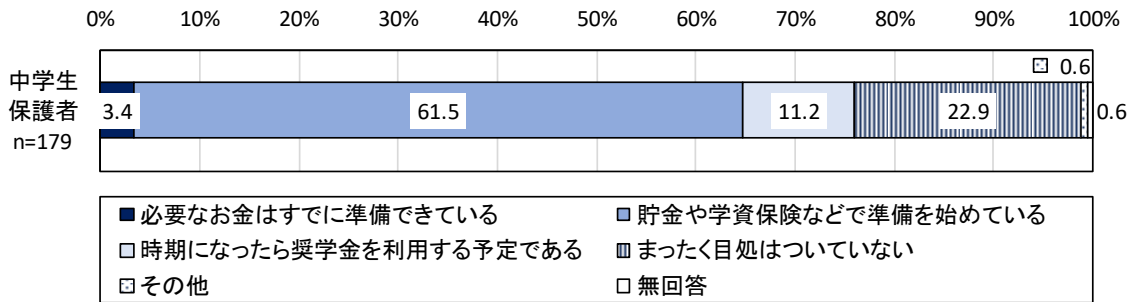
問 21 お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(○は1つ)

お子さんに対して希望する教育課程については、「大学またはそれ以上」が 50.3%で最も高く、次いで「高校」が 18.4%、「まだわからない」が 15.1%となっています。



問 22 問 21 の教育を受けさせるための、お金の準備状況はいかがですか。(〇は1つ)

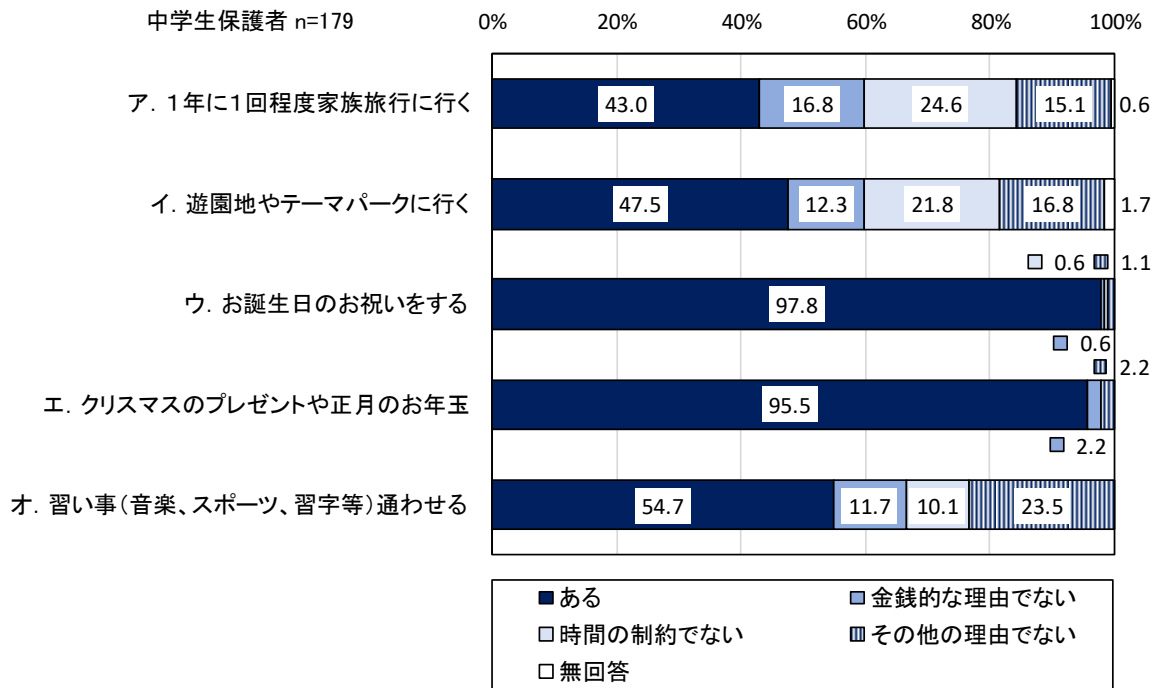
教育準備金の状況については、「貯金や学資保険などで準備を始めている」が61.5%で最も高く、次いで「まったく目処はついていない」が22.9%、「時期になったら奨学金を利用する予定である」が11.2%となっています。



問 23 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お子さんと以下のような体験をしましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

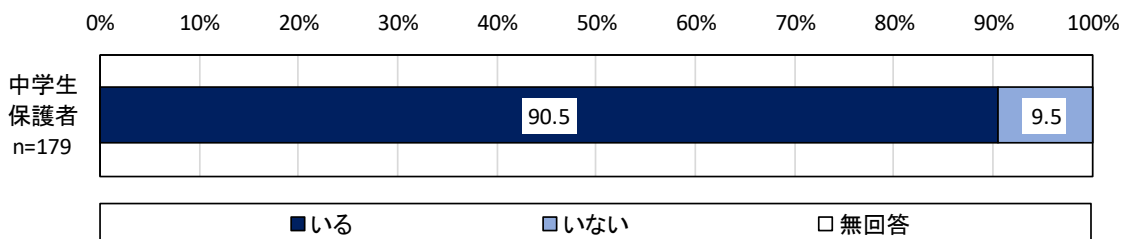
過去1年間の体験について、「ある」をみると、『ウ. お誕生日のお祝いをする』が97.8%で最も高く、次いで『エ. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉』が95.5%となっています。

一方で、「金銭的な理由でない」をみると、『ア. 1年に1回程度家族旅行に行く』が16.8%で最も高くなっています。



問 24 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族・親戚、友人・知人、同僚など)がいますか。(〇は1つ)

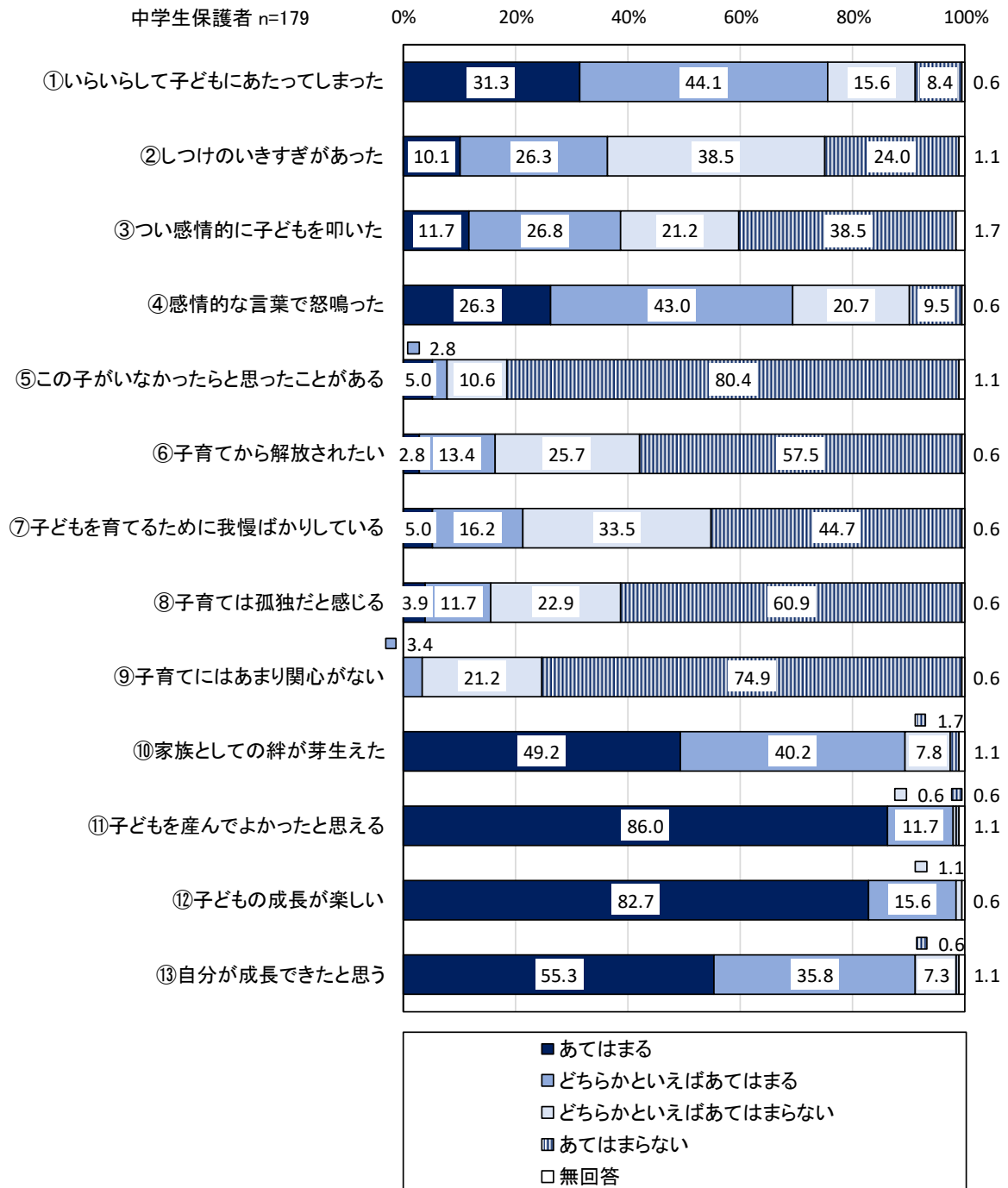
相談できる人の有無については、「いる」が90.5%、「いない」が9.5%となっています。



問 25 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。  
(それぞれ0は1つ)

子育てを通じて抱いた感情について、「あてはまる」をみると、『⑪子どもを産んでよかったと思える』が86.0%で最も高く、次いで『⑫子どもの成長が楽しい』が82.7%となっています。

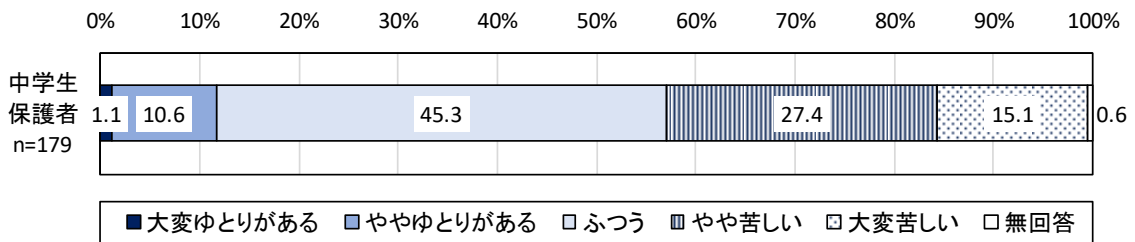
一方で、「あてはまらない」をみると、『⑤この子がいなかったらと思ったことがある』が80.4%で最も高く、次いで『⑨子育てにはあまり関心がない』が74.9%となっています。



## 6. 現在の暮らしについて

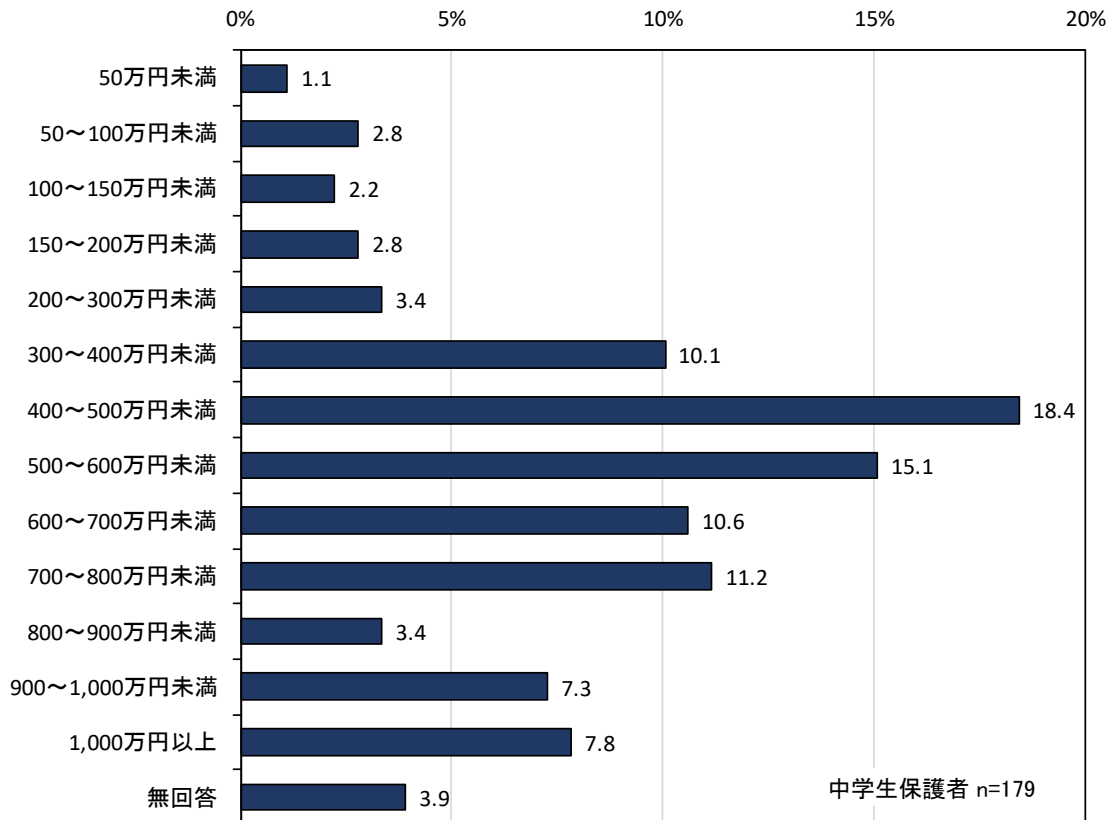
問 26 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済状況については、「ふつう」が45.3%で最も高く、次いで「やや苦しい」が27.4%、「大変苦しい」が15.1%となっています。



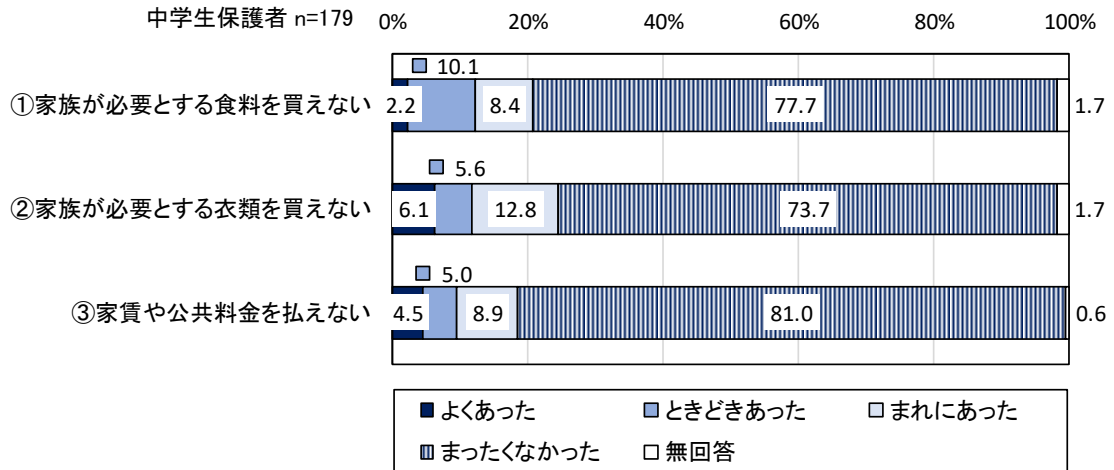
問 27 全世帯員の前年度の収入合計額（税込）はおよそいくらでしたか。(〇は1つ)

全世帯員の前年度の収入合計額については、「400～500万円未満」が18.4%で最も高く、次いで「500～600万円未満」が15.1%、「700～800万円未満」が11.2%となっています。



問 28 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

過去1年間でお金が足りなくて困ったことについて、「よくあった」と「ときどきあった」の合計値をみると、『①家族が必要とする食料を買えない』が12.3%で最も高く、次いで『②家族が必要とする衣類を買えない』が11.7%となっています。

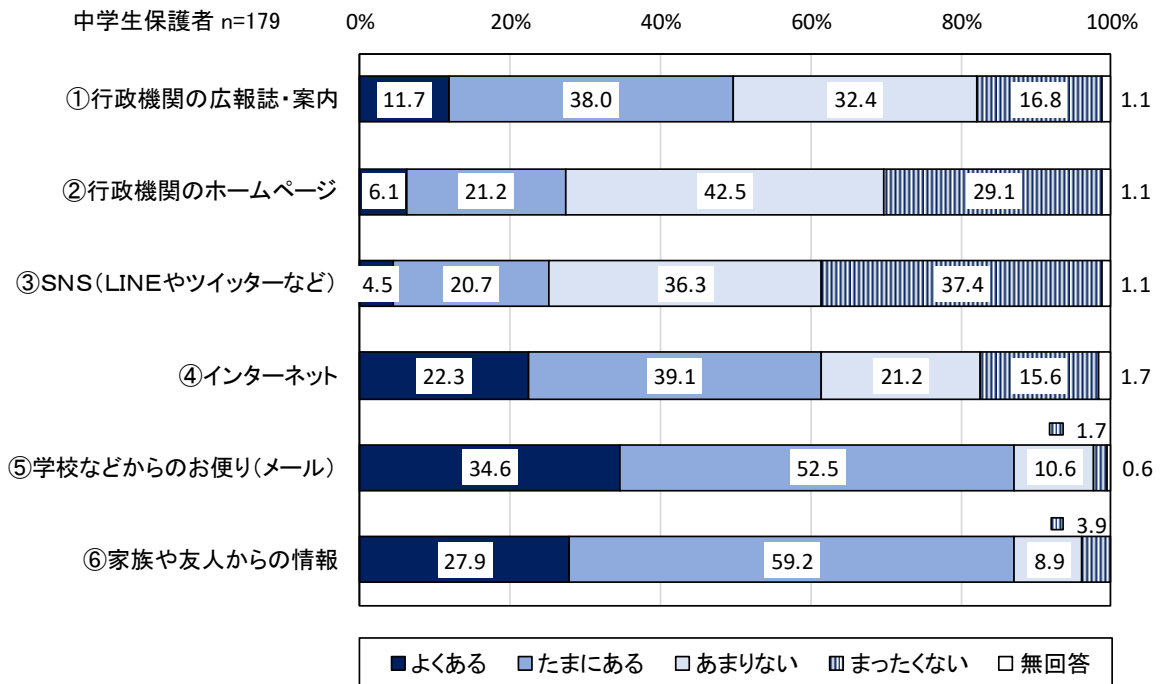


## 7. 制度の利用やご意見について

問 29 子どもに関する施策等の情報を得るために、以下のようなものをどの程度参考にしていますか。  
(それぞれ〇は1つ)

子どもに関連する情報を得るために参考にしているものについて、「よくある」をみると、『⑤学校などからのお便り（メール）』が34.6%で最も高く、次いで『⑥家族や友人からの情報』が27.9%となっています。

一方で、「まったくない」をみると、『③SNS（LINEやツイッターなど）』が37.4%で最も高く、次いで『②行政機関のホームページ』が29.1%となっています。

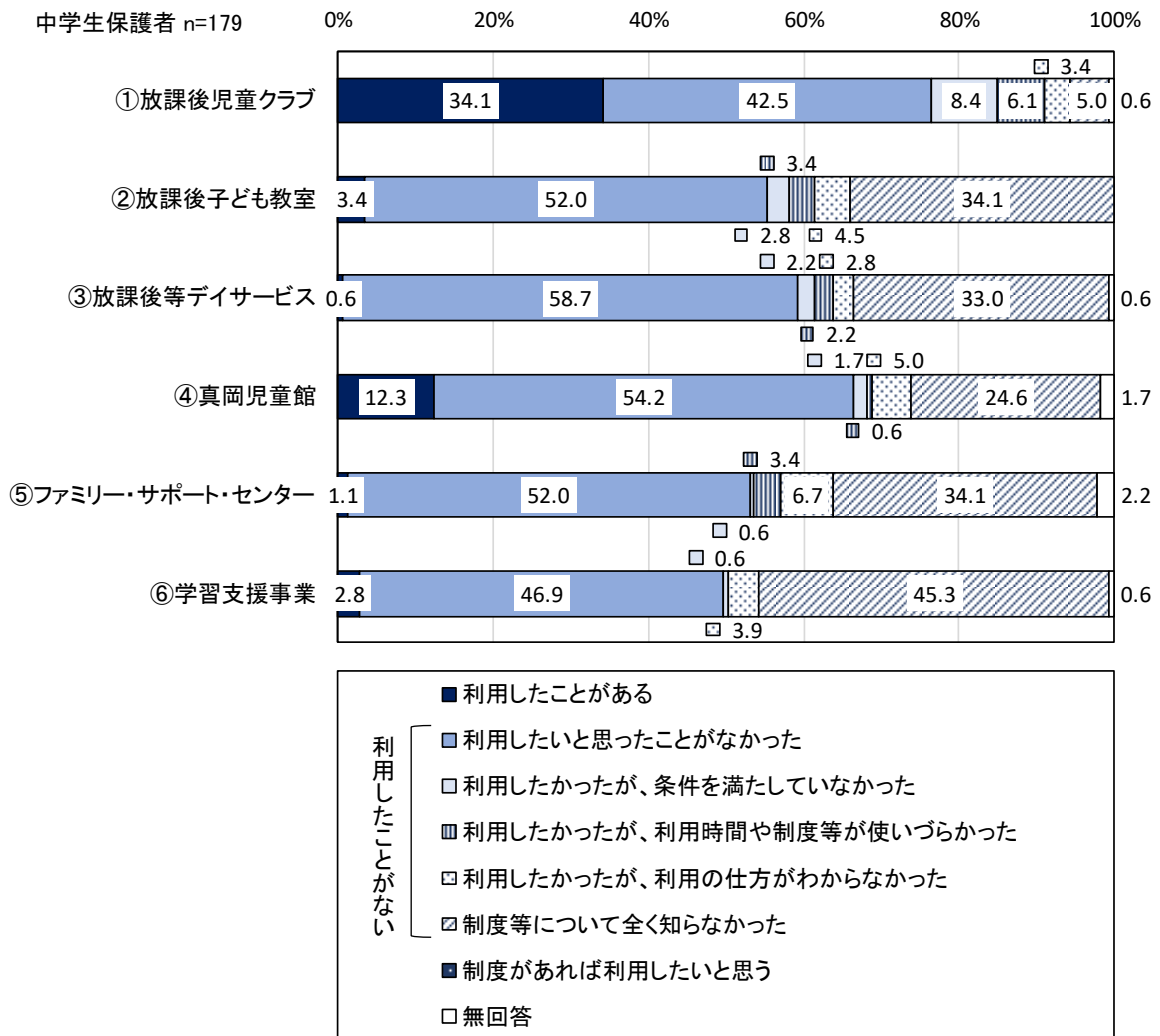




問 30 以下の子育てに関する制度やサービスをこれまでに利用したことがありますか。また、利用したことがない場合は、その理由にもっとも近いものをお答えください。（それぞれ〇は1つ）

子育てに関する制度やサービスの利用状況について、「利用したことがある」をみると、『①放課後児童クラブ』が34.1%で最も高く、次いで『④真岡児童館』が12.3%となっています。

また、「制度等について全く知らなかった」をみると、『⑥学習支援事業』が45.3%で最も高く、次いで『②放課後子ども教室』、『⑤ファミリー・サポート・センター』がともに34.1%となっています。



● 『⑦子ども食堂』の「制度があれば利用したいと思う」

『⑦子ども食堂』の利用希望率は、23.5%となっています。

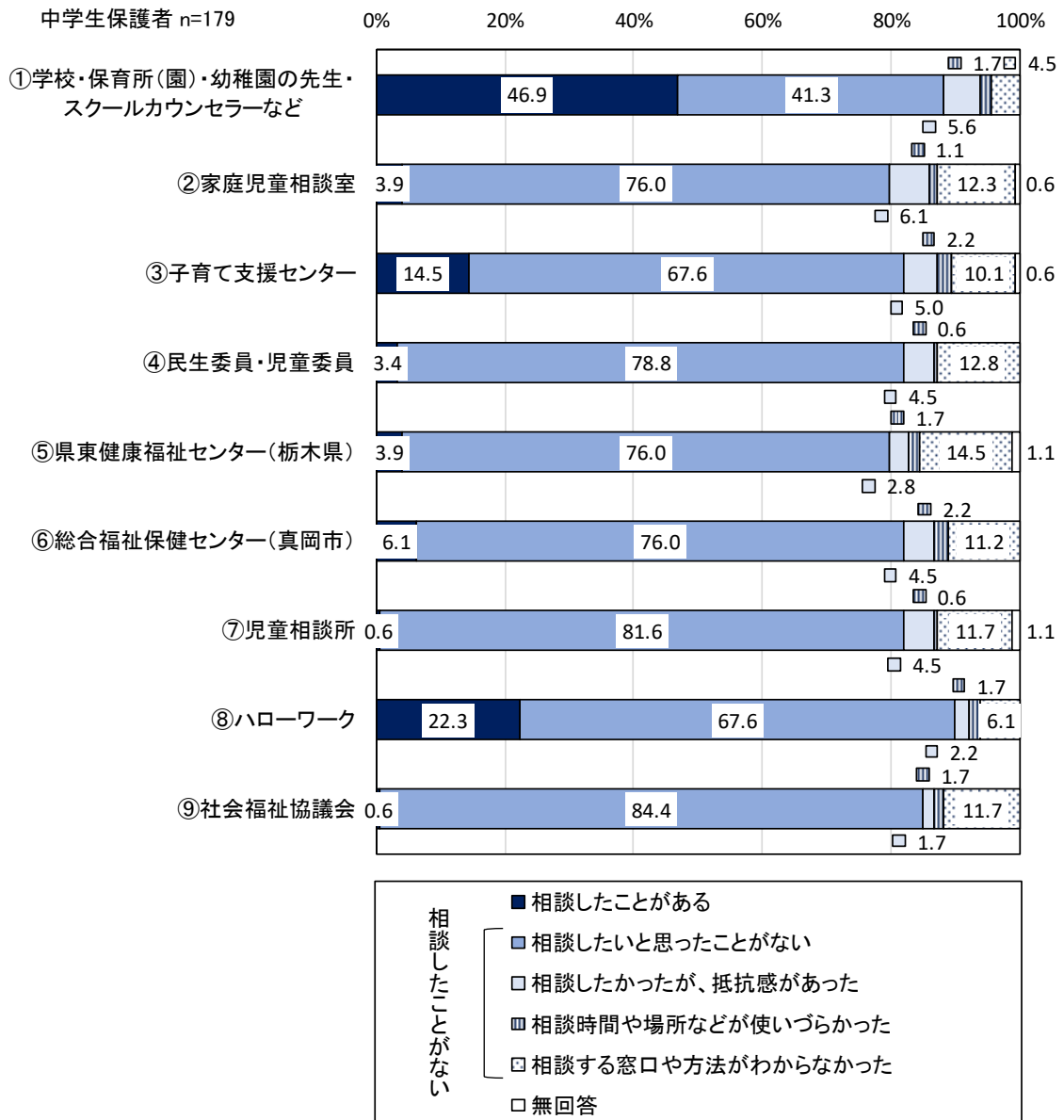
● 『⑧子育て短期支援事業』の「制度があれば利用したいと思う」

『⑧子育て短期支援事業』の利用希望率は、20.7%となっています。

問31 あなたは、これまでに困った時に以下の公的機関に相談したことがありますか。また、相談したことがない場合は、その理由をお答えください。（それぞれ〇は1つ）

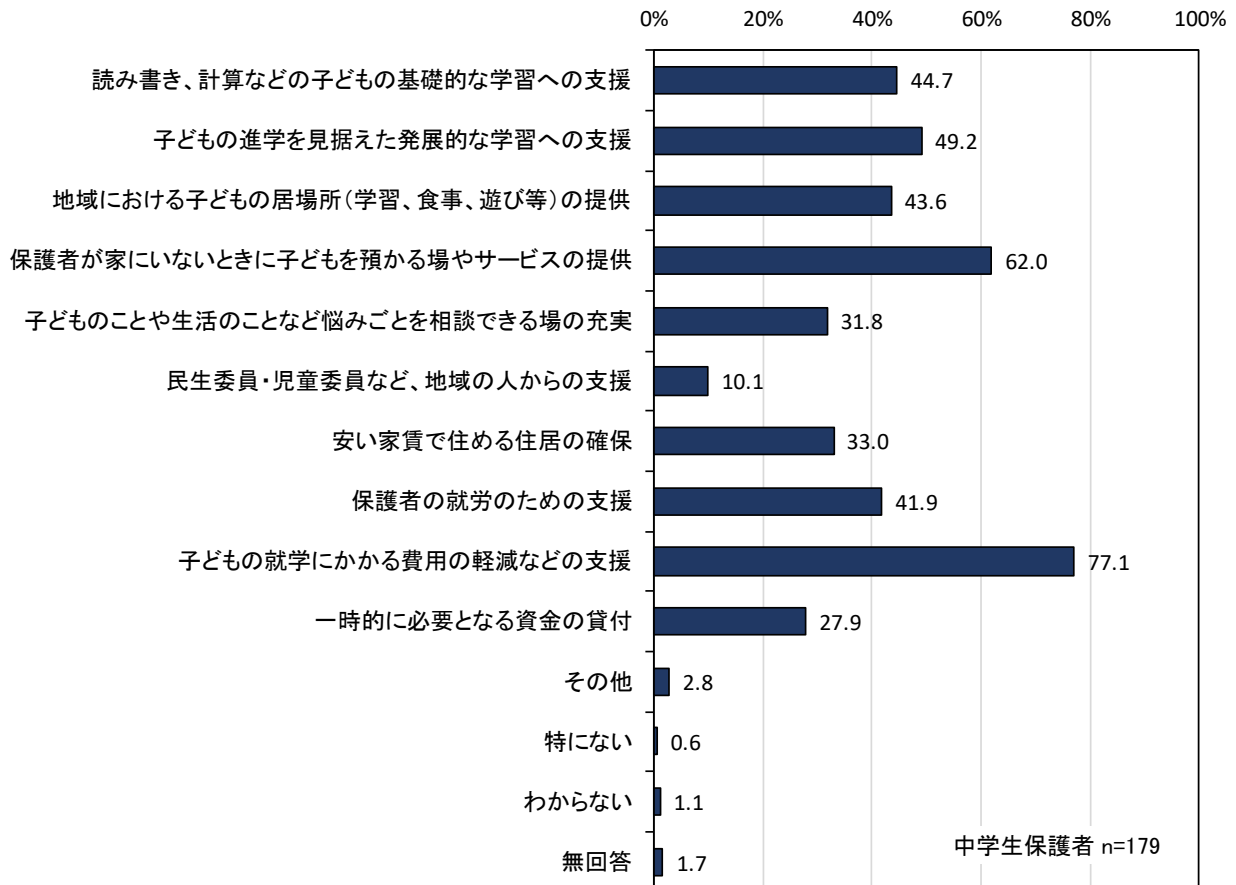
公的機関への相談について、「相談したことがある」をみると、『①学校・保育所（園）・幼稚園の先生・スクールカウンセラーなど』が46.9%で最も高く、次いで『⑧ハローワーク』が22.3%となっています。

また、「相談したいと思ったことがない」をみると、『⑨社会福祉協議会』が84.4%で最も高く、次いで『⑦児童相談所』が81.6%となっています。



問 32 すべての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

すべての子どもたちが生まれた環境に左右されることなく、夢と希望を持って成長していける社会の実現に向け、どのような支援が必要だと思うかについては、「子どもの就学にかかる費用の軽減などの支援」が77.1%で最も高く、次いで「保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供」が62.0%、「子どもの進学を見据えた発展的な学習への支援」が49.2%となっています。



問 33 最後に、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

全部で 33 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●子育て支援全般について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族、共働き世帯が増えているので、送迎サービスと預かる場の支援を要望。</li> <li>・虐待やいじめで、子どもの命が犠牲にならないよう、県や地域で守ってあげられる支援を強化してほしい。</li> </ul>	6
<b>●相談窓口について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に相談できる場所の周知を徹底。</li> <li>・対応が冷たく、相談する気がなくなったことがある。</li> </ul>	6
<b>●保健・医療について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生まで予防接種の補助がほしい。</li> <li>・高校生まで医療費助成にしてほしい。</li> </ul>	5
<b>●経済的支援について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軽度な障がいのある子ども達へ金銭的、学習的な支援をしてほしい。</li> <li>・何人目以降の出産については、出産費用は無料にしてほしい。</li> </ul>	5
<b>●部活動について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動における部費や遠征費は部にもよるが、もう少し保護者負担が少なければ良いと思うことがある。</li> <li>・部活動のために学区外の中学校に行く子がいる。中学校を自由選択にするか、すべての中学校を同じ環境（部活動）にしてほしい。</li> </ul>	2
<b>●その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの子ども達のために、教育、スポーツ育成に力を入れてほしい。</li> <li>・地域格差をなくしてほしい、市内中心部は満たされていて、田舎はなおざり。</li> </ul>	9

## VII 妊婦の調査結果

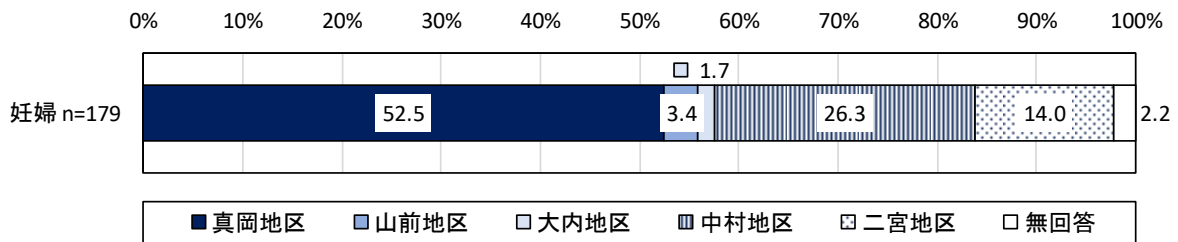
---



## 1. お住まいの地域について

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(□内に数字をご記入ください。)

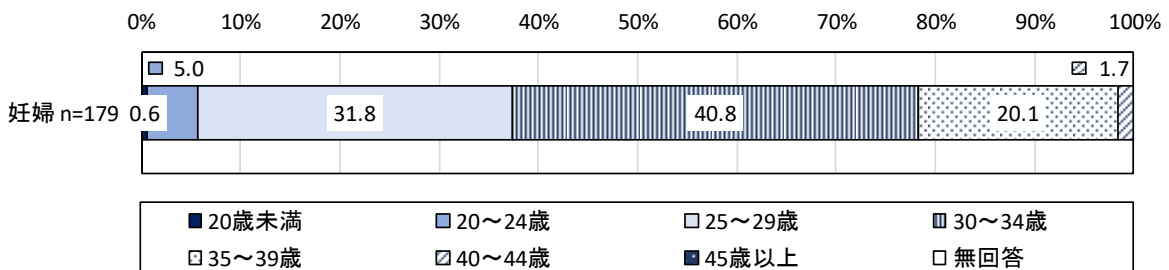
居住地区については、「真岡地区」が52.5%で最も高く、次いで「中村地区」が26.3%、「二宮地区」が14.0%となっています。



## 2. あなたご自身のことについて

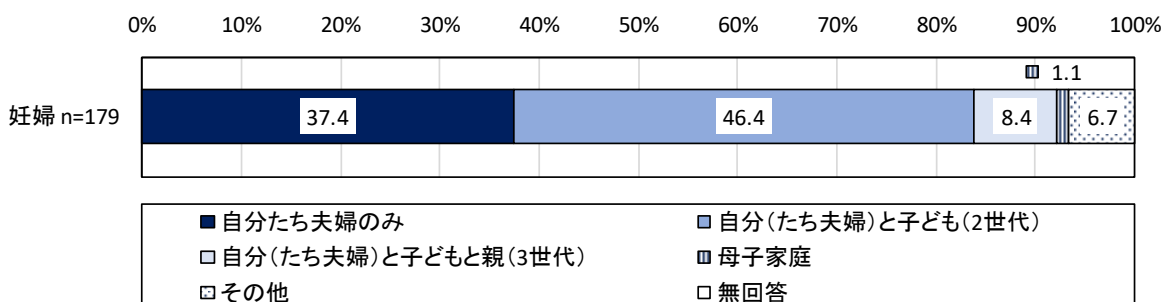
問2 あなたの年齢は、何歳ですか。(○は1つ)

年齢については、「30～34歳」が40.8%で最も高く、次いで「25～29歳」が31.8%、「35～39歳」が20.1%となっています。



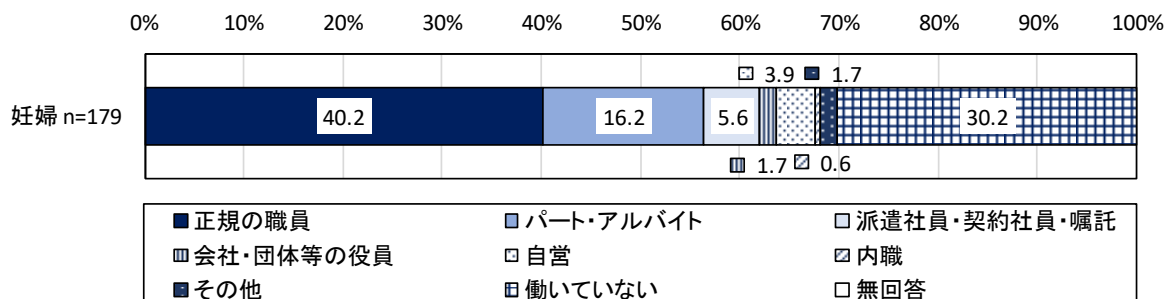
問3 あなたの家族の形態は、どれにあたりますか。(○は1つ)

家族形態については、「自分(たち夫婦)と子ども(2世代)」が46.4%で最も高く、次いで「自分(たち夫婦のみ)」が37.4%、「自分(たち夫婦)と子どもと親(3世代)」が8.4%となっています。



問4 あなたの現在の働き方をお答えください。(〇は1つ)

あなたの就労形態については、「正規の職員」が40.2%で最も高く、次いで「働いていない」が30.2%、「パート・アルバイト」が16.2%となっています。





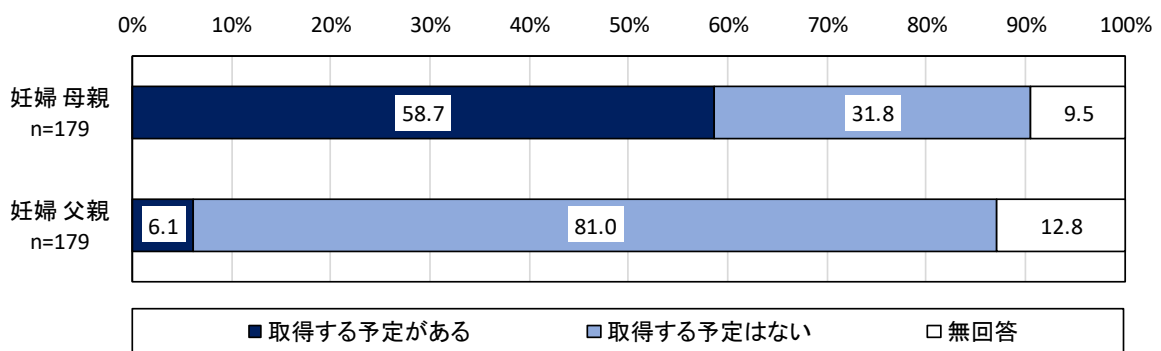
### 3. 育児休業の取得予定について

問5 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得する予定はありますか。また、取得する予定のない方はその理由をお答えください。  
 (それぞれ〇は1つ、取得する予定のない方はその理由として、あてはまるものすべてに〇)

#### (1) 育児休業の取得予定

父母の育児休業の取得予定について、「取得する予定がある」をみると、母親が58.7%、父親が6.1%となっています。

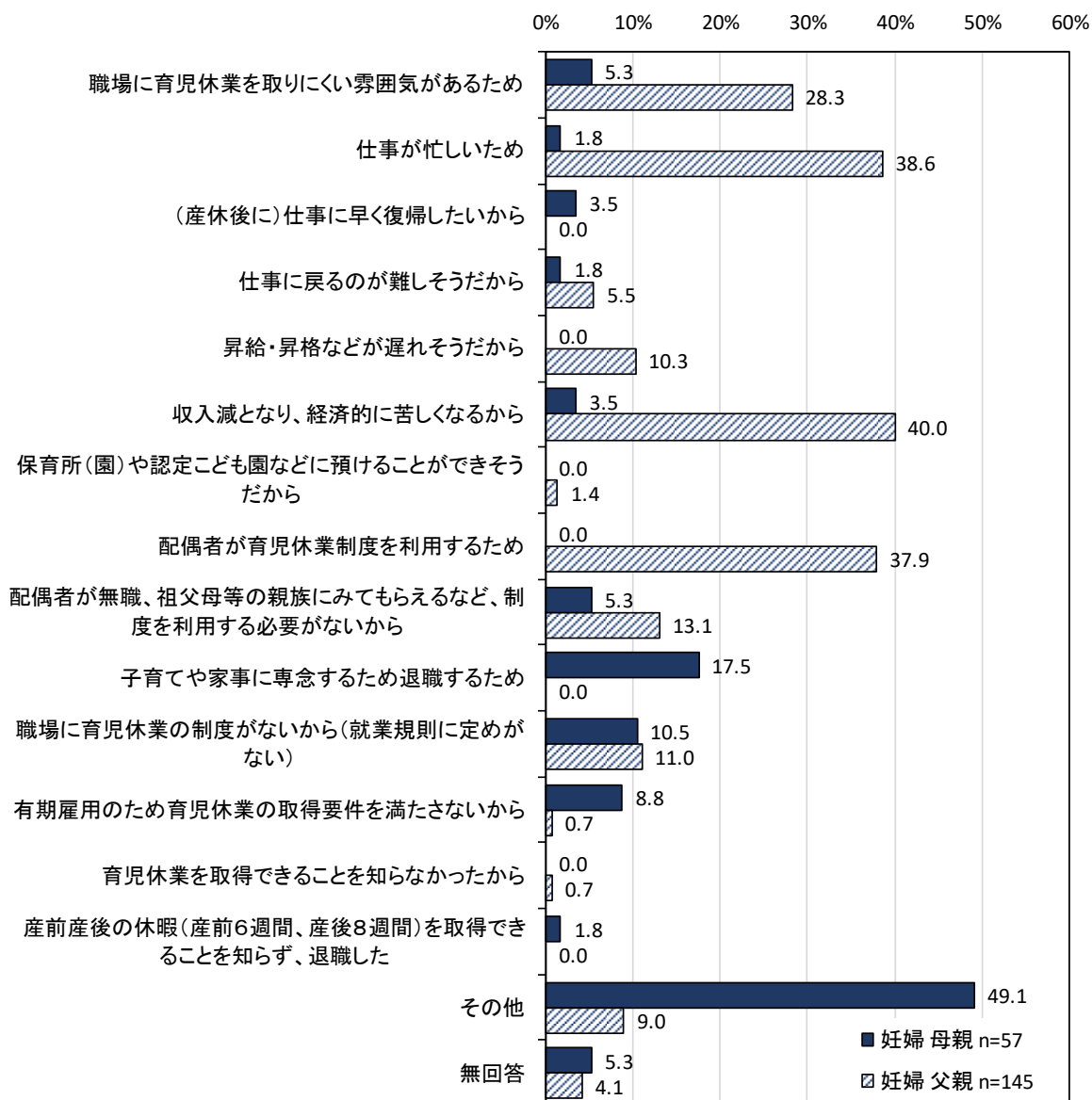
また、「取得する予定はない」をみると、母親が31.8%、父親が81.0%となっています。



(2) 育児休業を取得する予定がない理由

母親が育児休業を取得する予定がない理由については、「その他」が 49.1%で最も高く、次いで「子育てや家事に専念するため退職するため」が 17.5%、「職場に育児休業の制度がないから（就業規則に定めがない）」が 10.5%となっています。

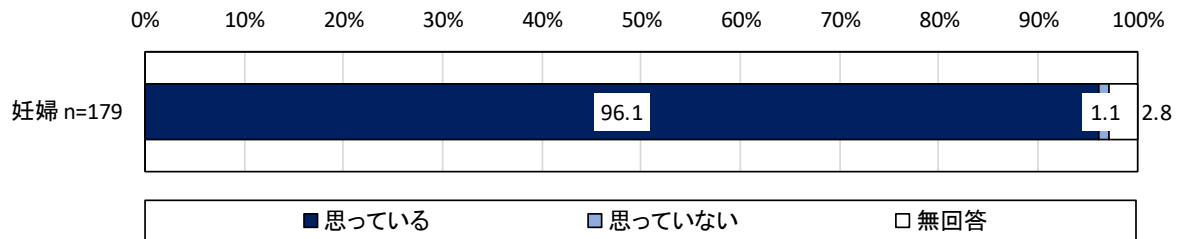
父親が育児休業を取得する予定がない理由については、「収入減となり、経済的に苦しくなるから」が 40.0%で最も高く、次いで「仕事が忙しいため」が 38.6%、「配偶者が育児休業制度を利用するため」が 37.9%となっています。



## 4. 保育所（園）や幼稚園について

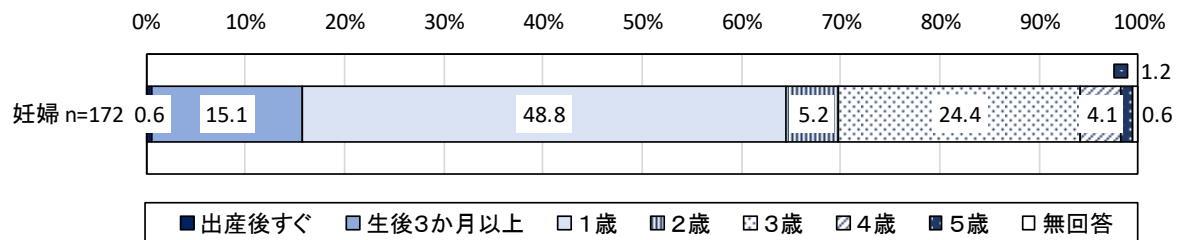
問6 出産後、「お子さん」を幼稚園や保育所（園）、認定こども園を利用したいと思っていますか。  
（〇は1つ）

出産後の幼稚園や保育所（園）、認定こども園の利用意向については、「思っている」が96.1%、「思っていない」が1.1%となっています。



問6-1 問6で「1. 思っている」と回答した方にうかがいます。  
いくつになったら利用したいと思っていますか。（〇は1つ）

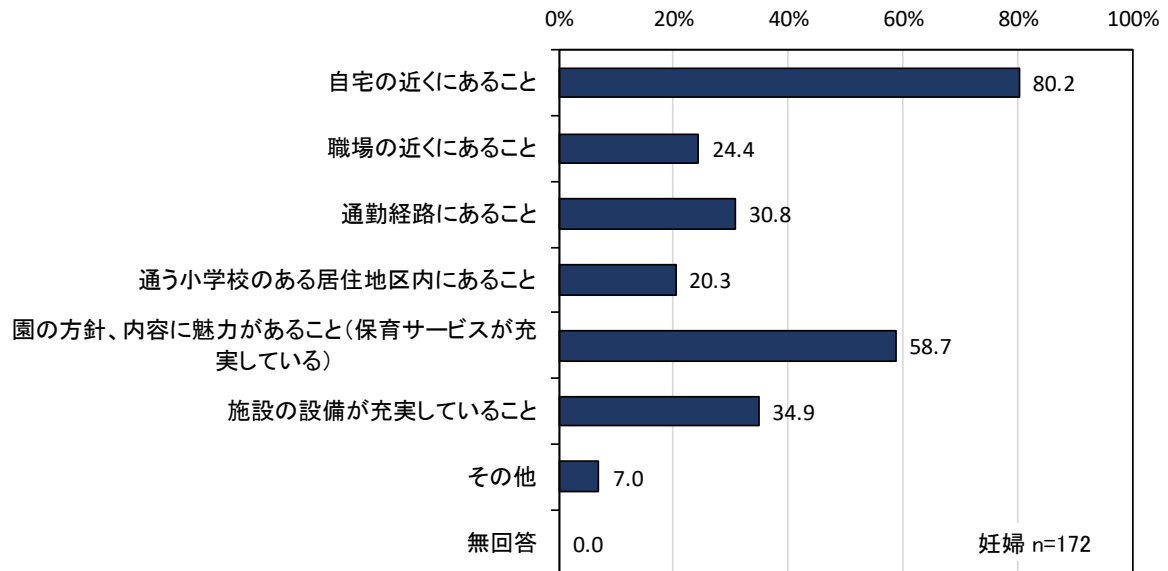
利用したいと思う時期については、「1歳」が48.8%で最も高く、次いで「3歳」が24.4%、「生後3か月以上」が15.1%となっています。



問6-2 問6で「1. 思っている」と回答した方にうかがいます。

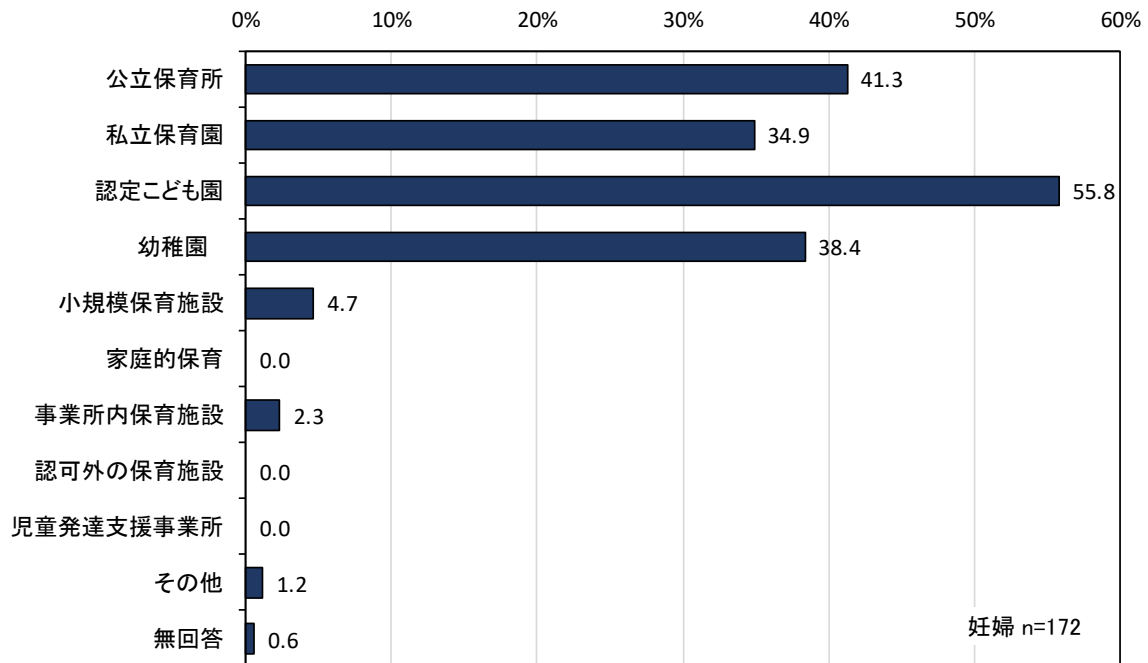
利用する際、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

利用する際、重視する点については、「自宅の近くにあること」が80.2%で最も高く、次いで「園の方針、内容に魅力があること(保育サービスが充実している)」が58.7%、「施設の設備が充実していること」が34.9%となっています。



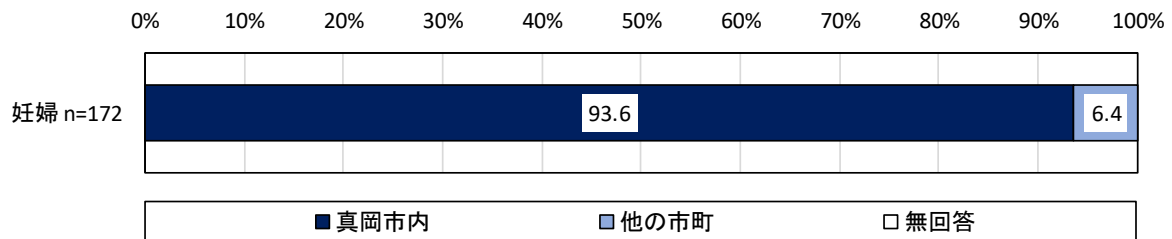
問6-3 問6で「1. 思っている」と回答した方にうかがいます。  
 実際に利用したいと考える事業をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

実際に利用したいと考える事業については、「認定こども園」が55.8%で最も高く、次いで「公立保育所」が41.3%、「幼稚園」が38.4%となっています。



問6-4 問6で「1. 思っている」と回答した方にうかがいます。  
 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

教育・保育事業を利用したい場所については、「真岡市内」が93.6%、「他の市町」が6.4%となっています。



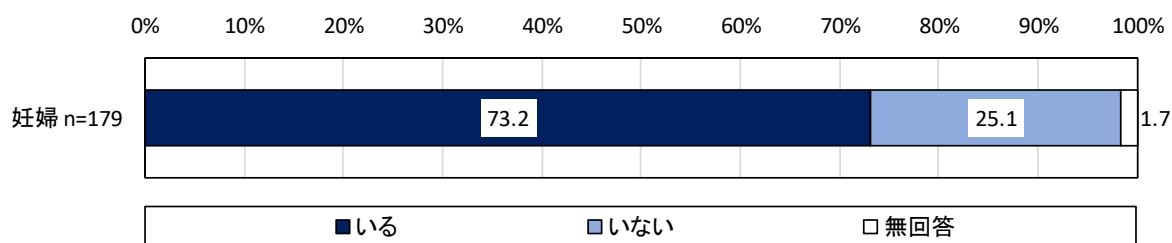
問6-5 問6で「2. 思っていない」と回答した方にうかがいます。

利用したいと思っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

教育・保育事業を利用したいと思わない理由については、該当する回答者は2人で、「利用する必要がない」が1人、「利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない」が1人となっています。

問7 一時的にお子さんを預かってくれる方はいますか。(○は1つ)

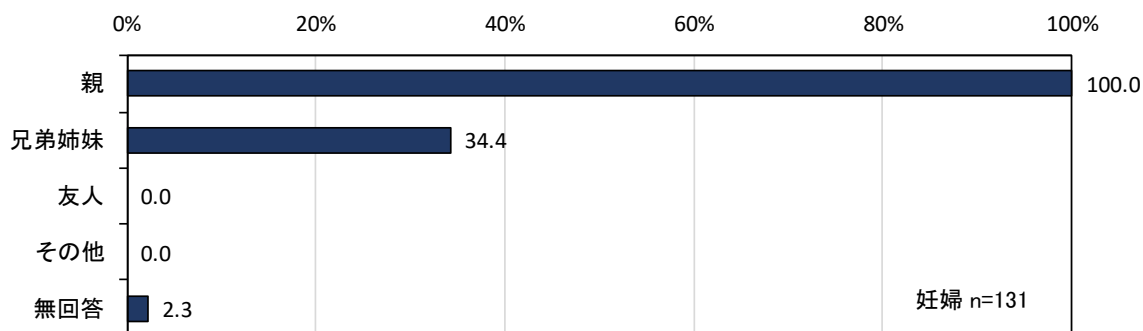
一時的にお子さんを預かってくれる方の有無については、「いる」が73.2%、「いない」が25.1%となっています。



問7-1 問7で「1. いる」と回答した方にうかがいます。

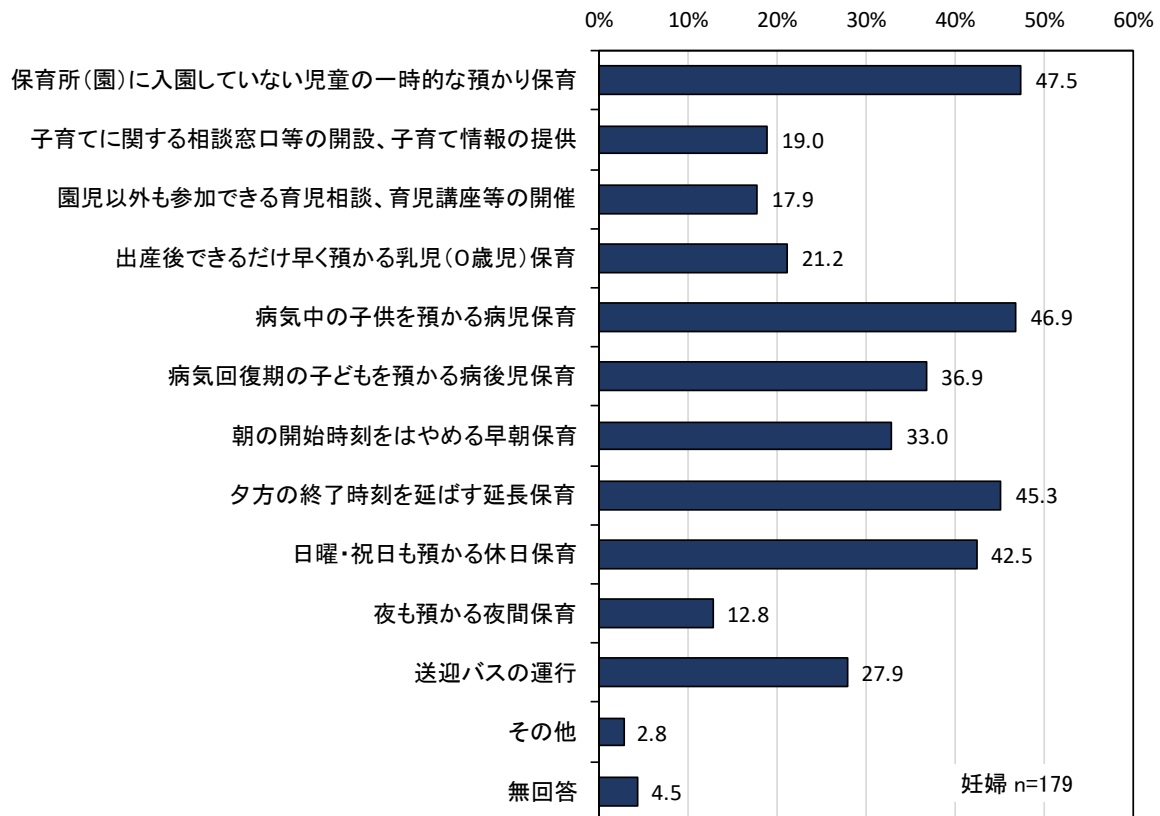
お子さんを預かってくれる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんを預かってくれる方については、「親」が100.0%で最も高く、次いで「兄弟姉妹」が34.4%となっています。



問8 保育所（園）や幼稚園がもっと利用しやすくなるためには、どのような機能が必要だと思いますか。  
（あてはまるものすべてに○）

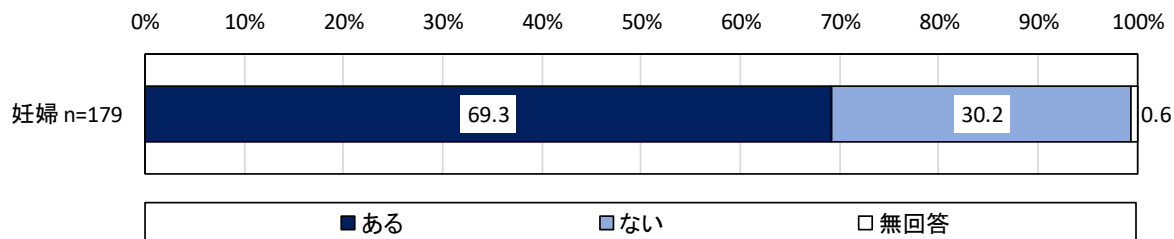
保育所（園）や幼稚園がもっと利用しやすくなるために必要な機能については、「保育所（園）に入園していない児童の一時的な預かり保育」が47.5%で最も高く、次いで「病気中の子供を預かる病児保育」が46.9%、「夕方の終了時刻を延ばす延長保育」が45.3%となっています。



## 5. 妊娠中の相談先について

問9 妊娠中の不安や悩みはありますか。(〇は1つ)

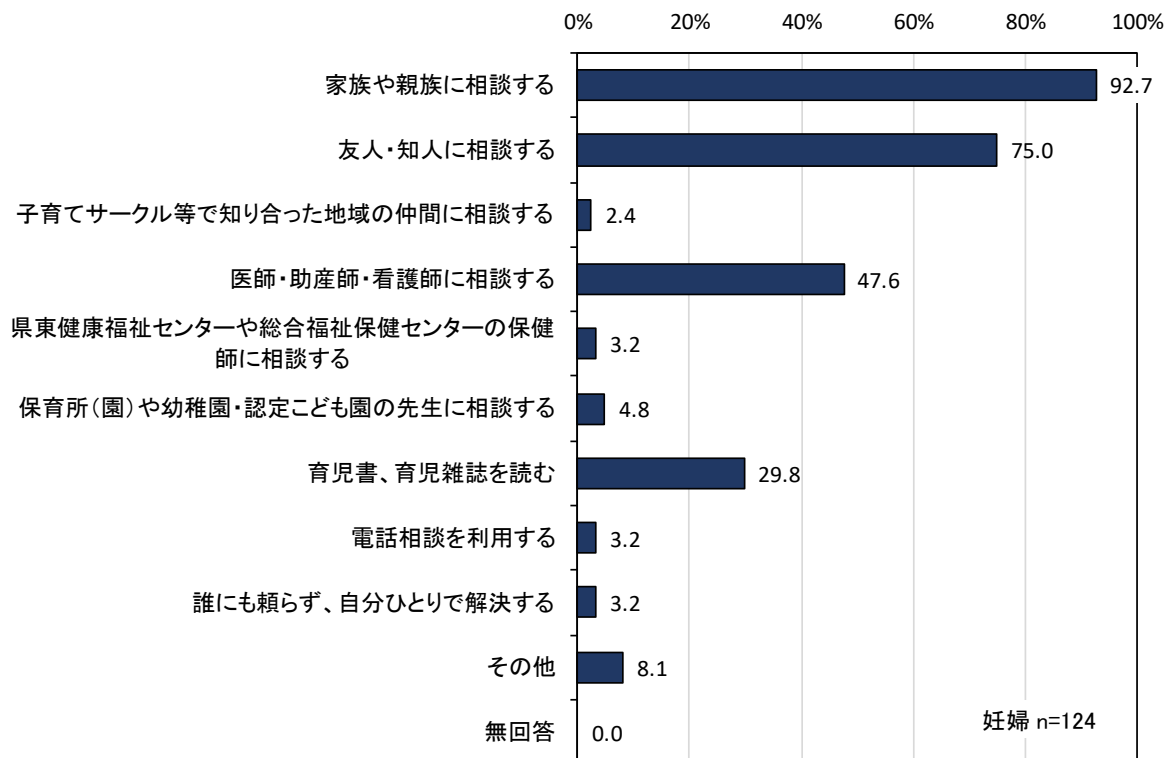
妊娠中の不安や悩みの有無については、「ある」が69.3%、「ない」が30.2%となっています。



問9-1 問9で「1. ある」と回答した方にうかがいます。

不安や悩みをどのような方に相談しますか。(あてはまるものすべてに〇)

不安や悩みの相談先については、「家族や親族に相談する」が92.7%で最も高く、次いで「友人・知人に相談する」が75.0%、「医師・助産師・看護師に相談する」が47.6%となっています。

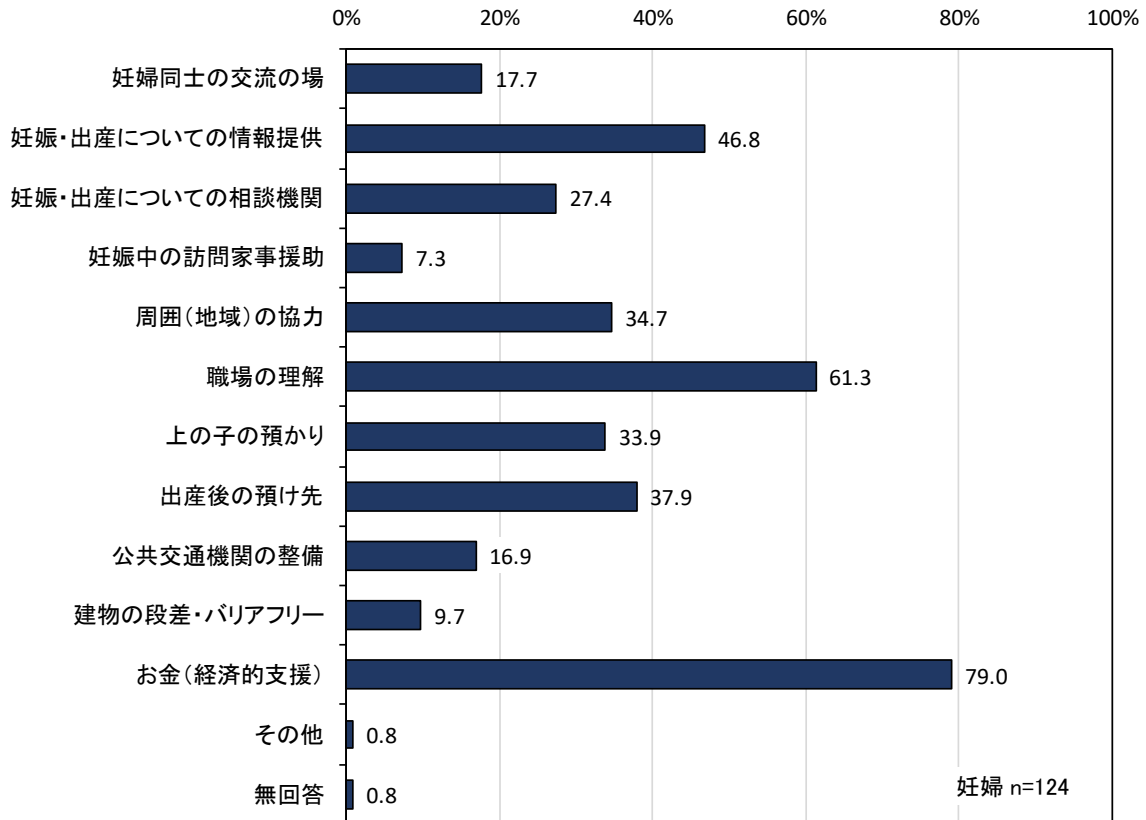




問9-2 問9で「1. ある」と回答した方にうかがいます。

あなたの妊娠中や出産のときに、必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

妊娠中や出産時に必要だと思うことについては、「お金（経済的支援）」が79.0%で最も高く、次いで「職場の理解」が61.3%、「妊娠・出産についての情報提供」が46.8%となっています。

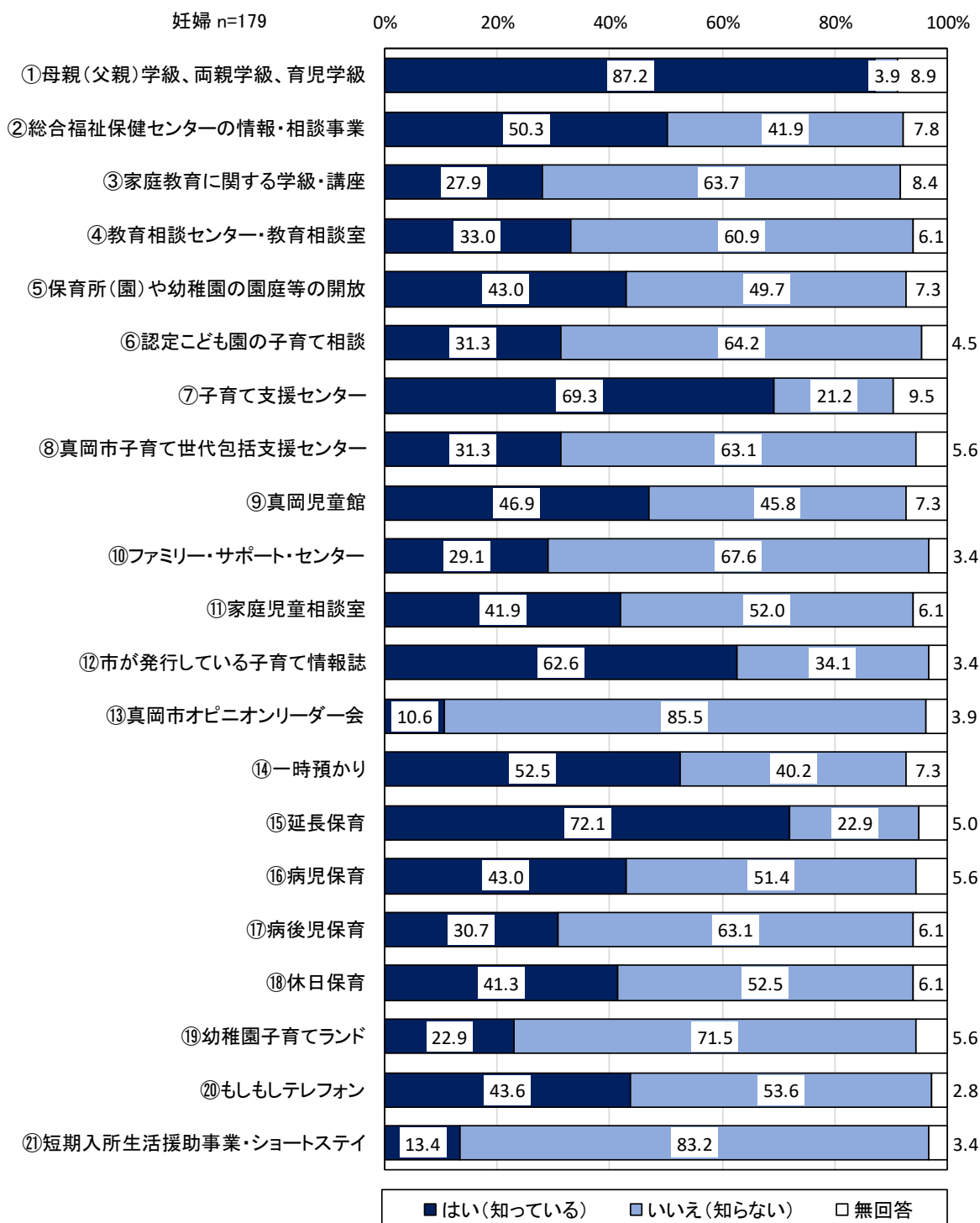


## 6. 子育て支援事業について

問 10 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑳の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

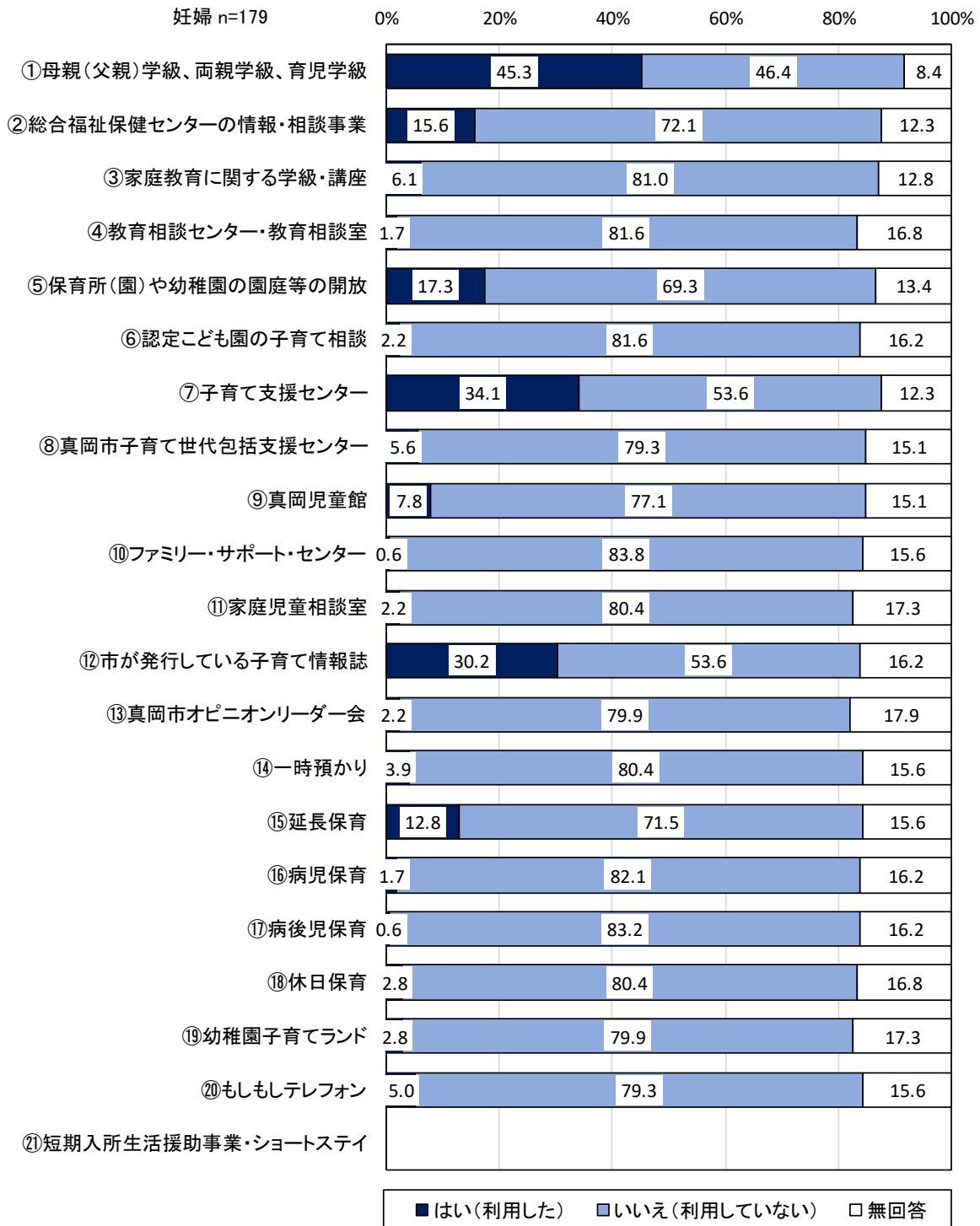
### (1) 事業の認知度

事業の認知度について、「はい(知っている)」をみると、『①母親(父親)学級、両親学級、育児学級』が87.2%で最も高く、次いで『⑮延長保育』が72.1%、『⑦子育て支援センター』が69.3%となっています。「はい(知っている)」の割合が最も低い事業は、『⑬真岡市オピニオンリーダー会』で10.6%となっています。



(2) 事業の利用状況

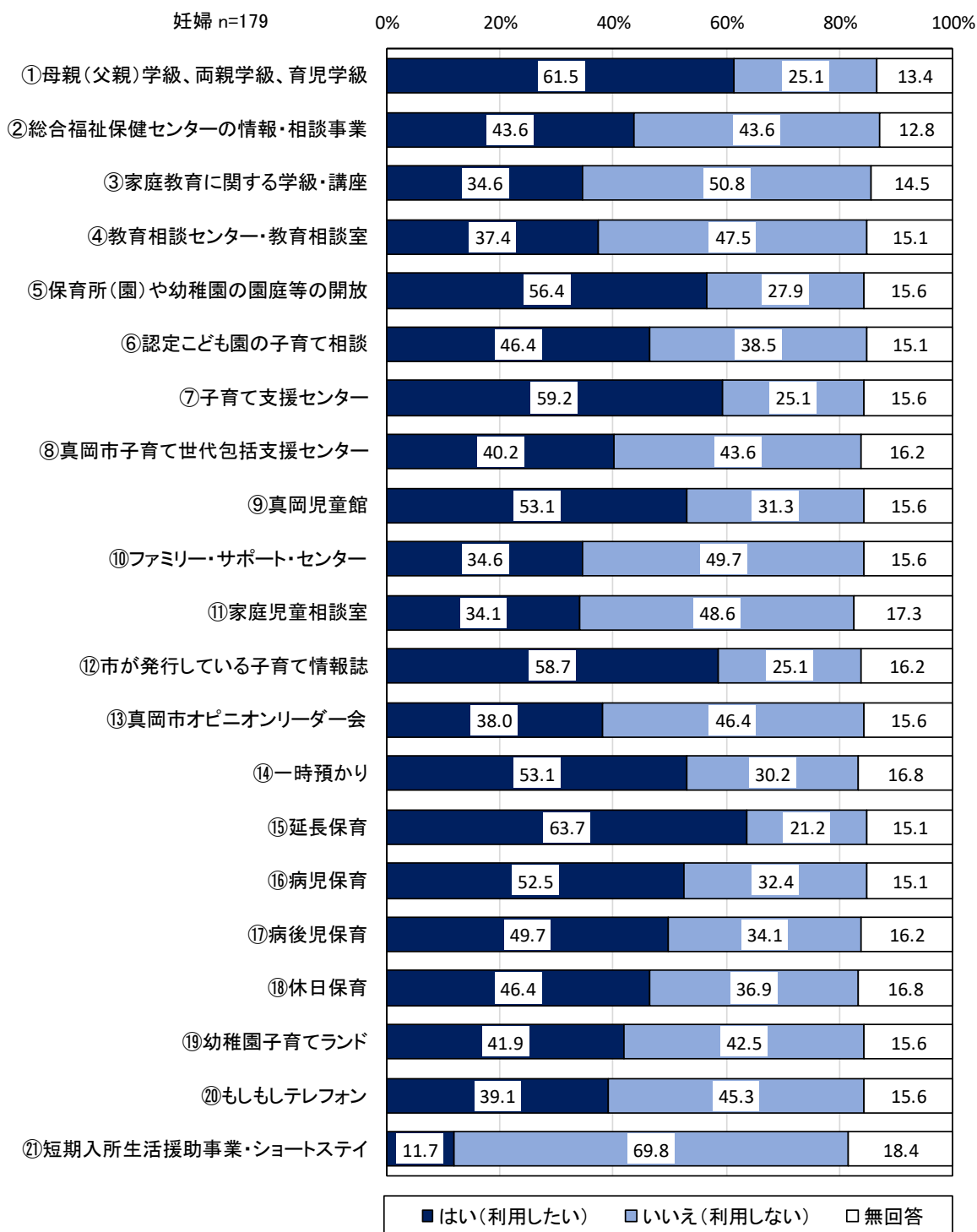
事業の利用状況について、「はい（利用した）」をみると、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』が45.3%で最も高く、次いで『⑦子育て支援センター』が34.1%、『⑫市が発行している子育て情報誌』が30.2%となっています。「はい（利用した）」の割合が最も低い事業は、『⑩ファミリー・サポート・センター』、『⑰病後児保育』でともに0.6%となっています。



※『㉑短期入所生活援助事業・ショートステイ』は、回答不要の項目のため空白となっています。

(3) 事業の利用意向

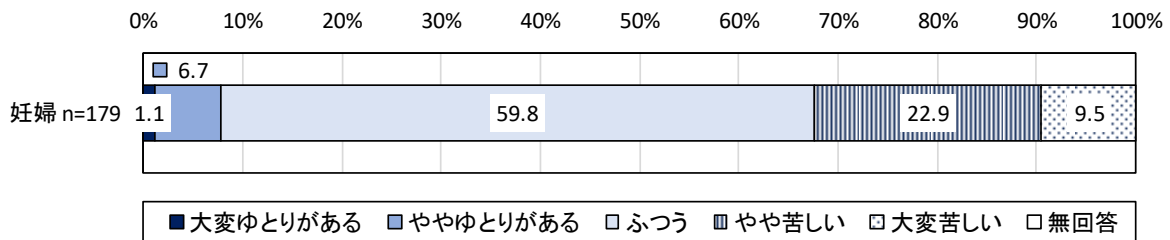
事業の利用意向について、「はい（利用したい）」をみると、『⑮延長保育』が63.7%で最も高く、次いで『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』が61.5%、『⑦子育て支援センター』が59.2%となっています。「はい（利用したい）」の割合が最も低い事業は、『⑳短期入所生活援助事業・ショートステイ』で11.7%となっています。



## 7. 暮らしについて

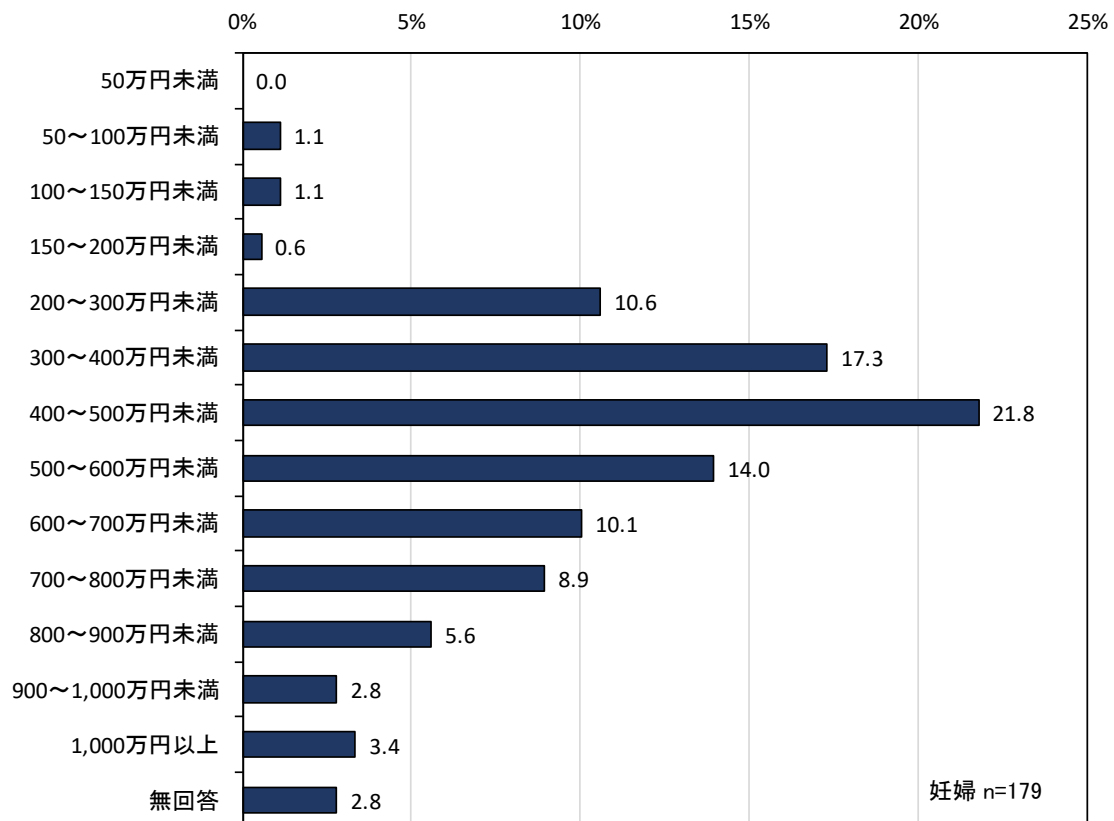
問 11 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(〇は1つ)

世帯の経済状況については、「ふつう」が59.8%で最も高く、次いで「やや苦しい」が22.9%、「大変苦しい」が9.5%となっています。



問 12 全世帯員の前年度の収入合計額（税込）はおよそいくらでしたか。(〇は1つ)

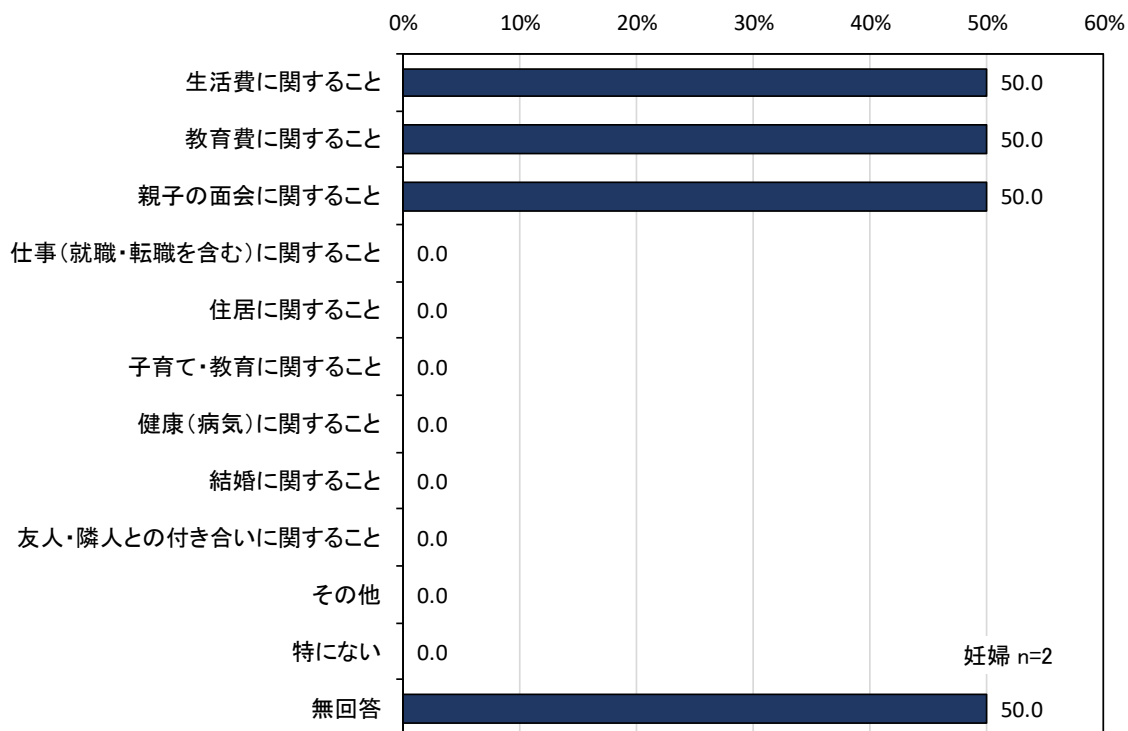
全世帯員の前年度の収入合計額については、「400～500万円未満」が21.8%で最も高く、次いで「300～400万円未満」が17.3%、「500～600万円未満」が14.0%となっています。



問 13 ひとり親家庭の保護者の方にはかかっています。

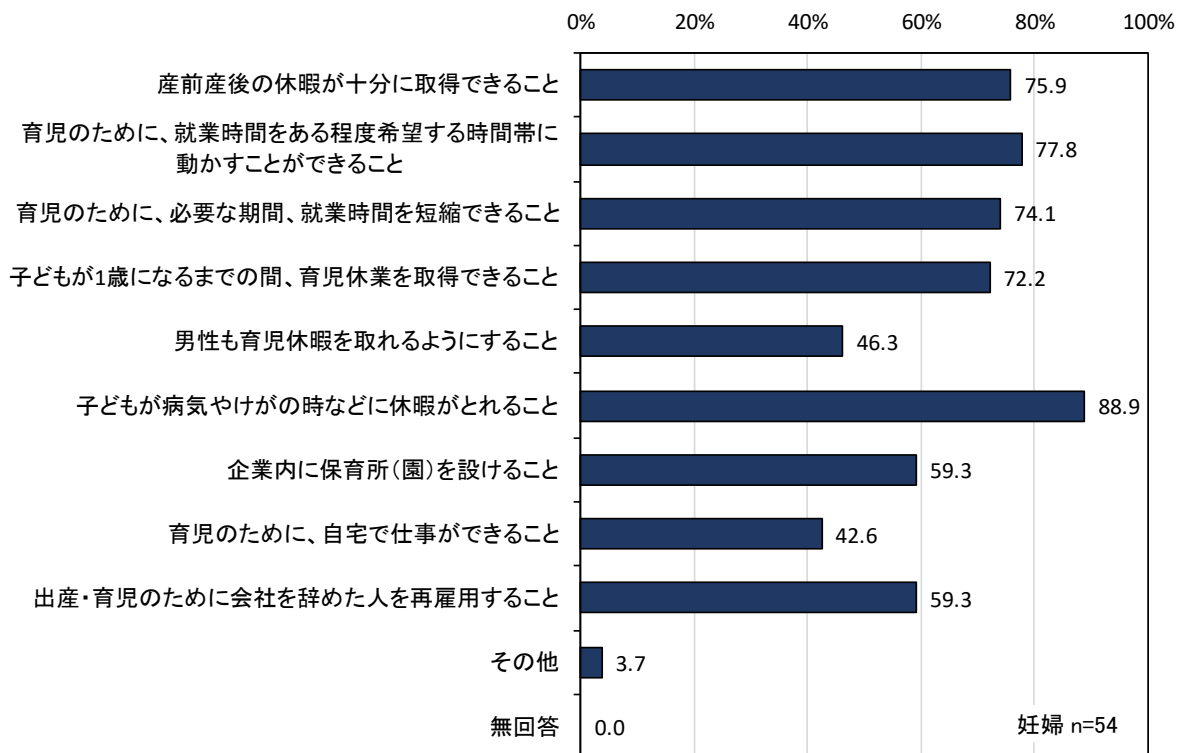
生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに○)

生活する上での不安や悩みについては、該当する回答者は2人で、「生活費に関すること」、「教育費に関すること」、「親子の面会に関すること」、「無回答」がともに1件となっています。



問 14 仕事を持っている女性が妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

仕事を持っている女性が妊娠・出産、子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことについては、「子どもが病気やけがの時などに休暇がとれること」が88.9%で最も高く、次いで「育児のために、就業時間をある程度希望する時間帯に動かすことができること」が77.8%、「産前産後の休暇が十分に取得できること」が75.9%となっています。



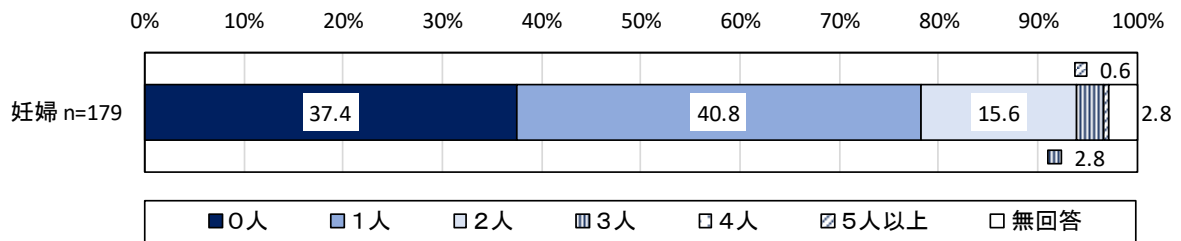
※本設問の構成比は、本設問に回答があった方を母数として算出しています。

## 8. 少子化について

問 15 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。  
(口内に数字をご記入ください。)

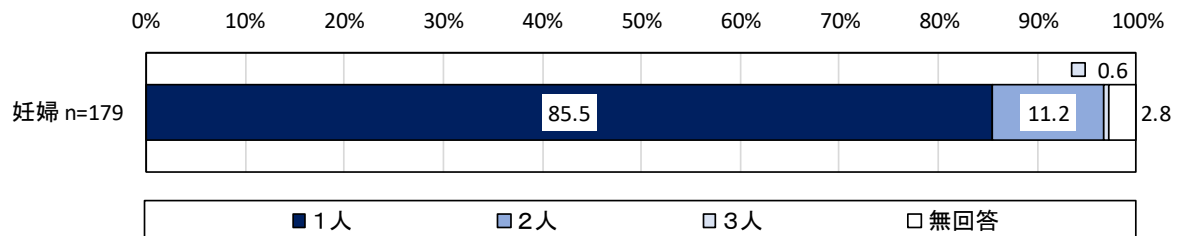
### ●現在の子どもの数

現在の子どもの数については、「1人」が40.8%で最も高く、次いで「0人」が37.4%、「2人」が15.6%となっています。



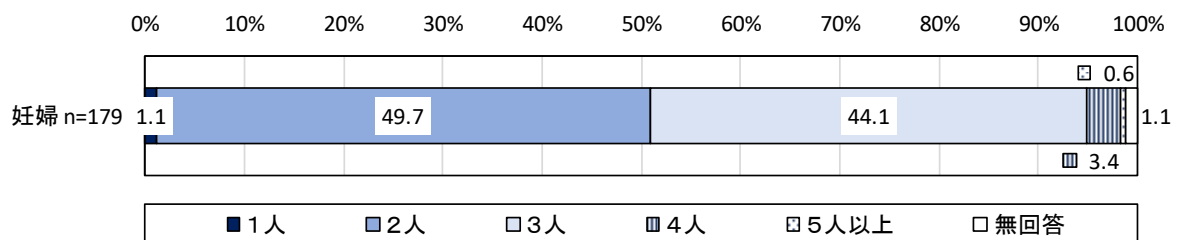
### ●出産予定の子どもの数

出産予定の子どもの数については、「1人」が85.5%で最も高く、次いで「2人」が11.2%、「3人」が0.6%となっています。



### ●理想とする子どもの数

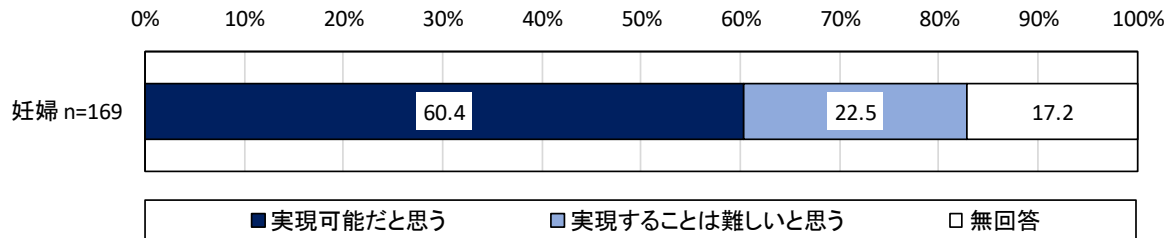
理想とする子どもの数については、「2人」が49.7%で最も高く、次いで「3人」が44.1%、「4人」が3.4%となっています。





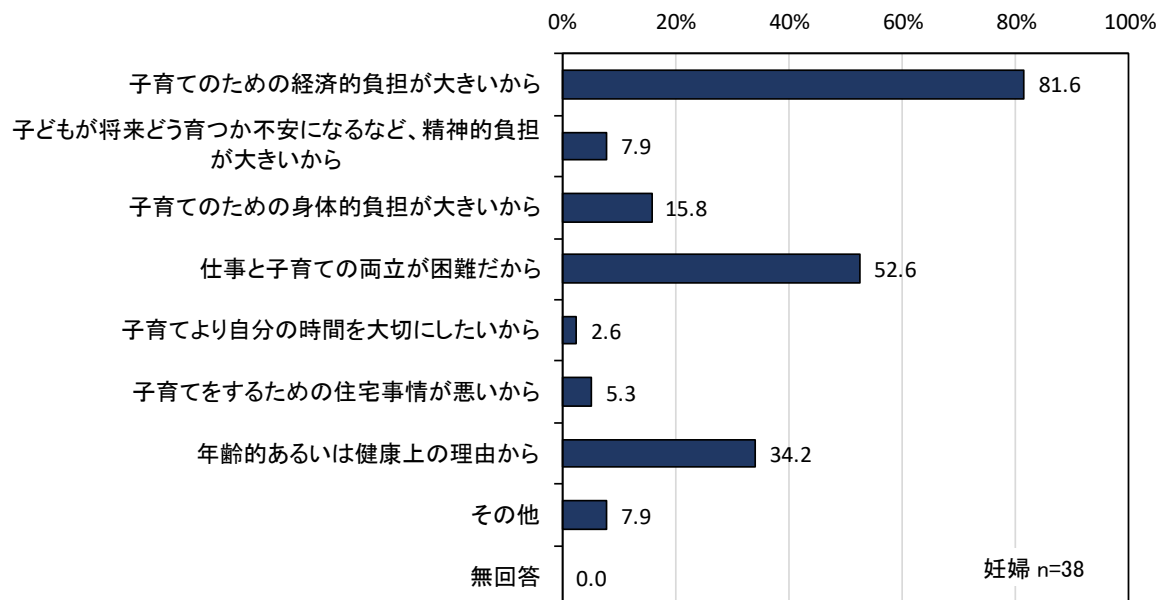
問 16 問 15 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方にうかがいます。  
あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(〇は1つ)

理想とする子どもの数は実現可能かについては、「実現可能だと思う」が60.4%、「実現することは難しいと思う」が22.5%となっています。



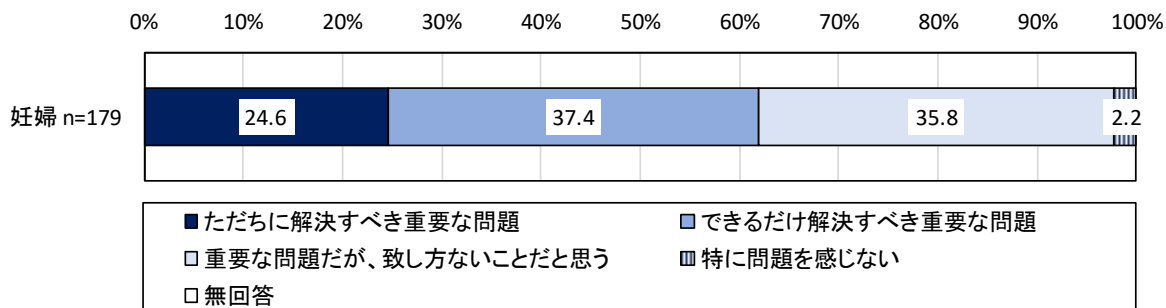
問 16-1 問 16 で「2. 実現することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。  
実現することが難しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

実現することが難しいと思う理由については、「子育てのための経済的負担が大きいから」が81.6%で最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が困難だから」が52.6%、「年齢的あるいは健康上の理由から」が34.2%となっています。



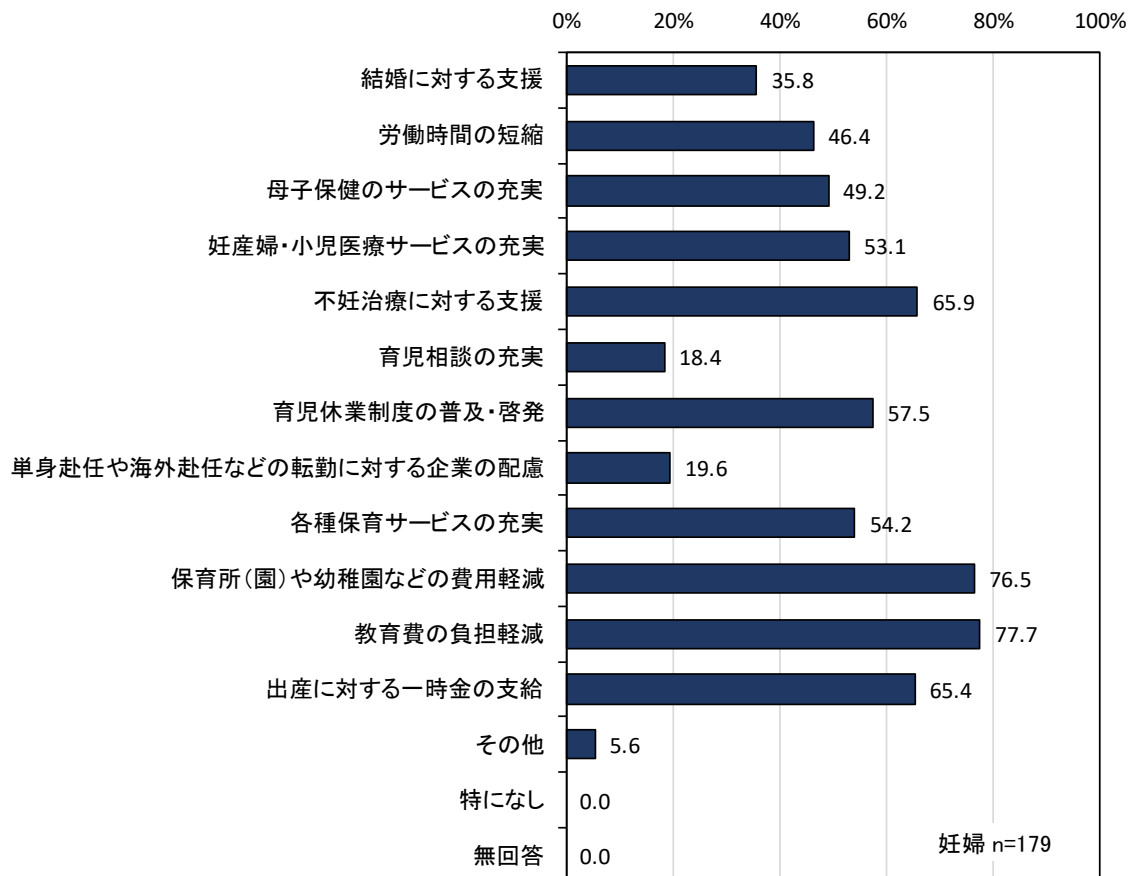
問 17 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(〇は1つ)

少子化問題に対する考えについては、「できるだけ解決すべき重要な問題」が37.4%で最も高く、次いで「重要な問題だが、致し方ないことだと思う」が35.8%、「ただちに解決すべき重要な問題」が24.6%となっています。



問 18 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

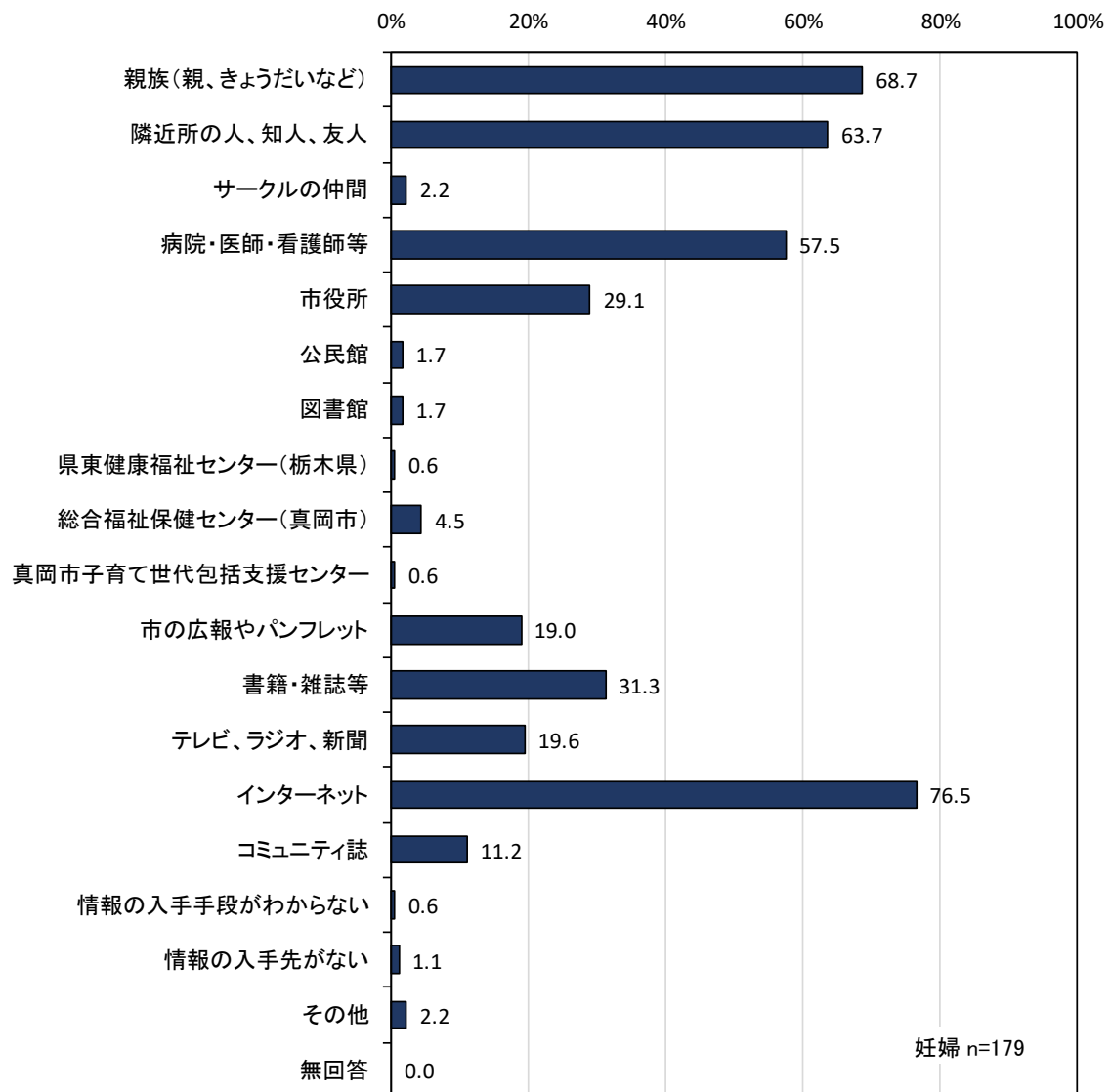
少子化対策として大切だと思うことについては、「教育費の負担軽減」が77.7%で最も高く、次いで「保育所(園)や幼稚園などの費用軽減」が76.5%、「不妊治療に対する支援」が65.9%となっています。



## 9. 真岡市の子育て施策について

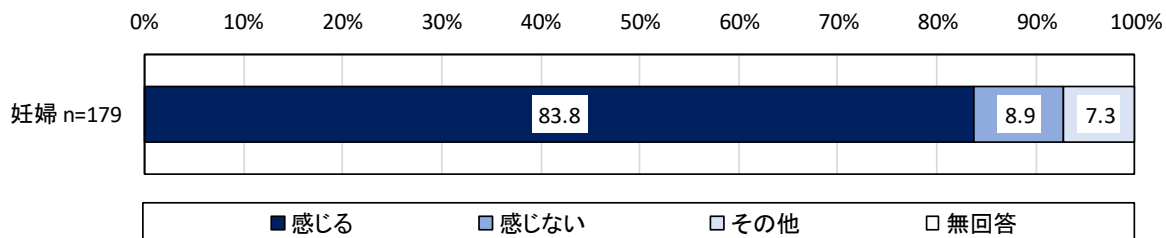
問 19 妊娠・出産に関する情報をどのように入手されていますか。(あてはまるものすべてに○)

妊娠・出産に関する情報の入手先については、「インターネット」が76.5%で最も高く、次いで「親族（親、きょうだいなど）」が68.7%、「隣近所の人、知人、友人」が63.7%となっています。



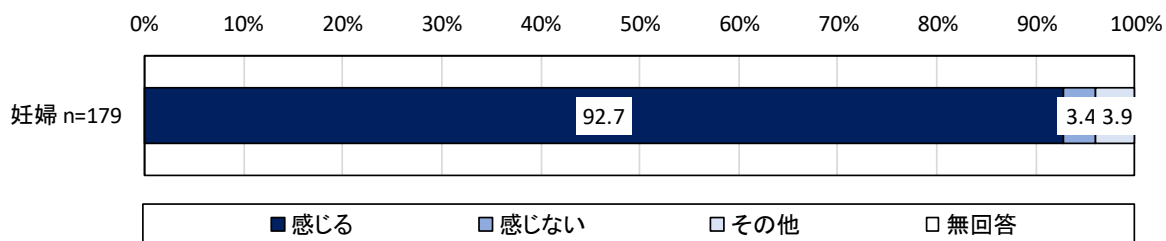
問 20 真岡市では独自に出産準備手当（マタニティ手当）と赤ちゃん誕生祝金を支給していますが、この手当を受けられることで、子育て支援が図られると感じますか。（〇は1つ）

出産準備手当（マタニティ手当）と赤ちゃん誕生祝金を支給していることで、子育て支援が図られていると感じるかについては、「感じる」が83.8%で最も高く、次いで「感じない」が8.9%、「その他」が7.3%となっています。



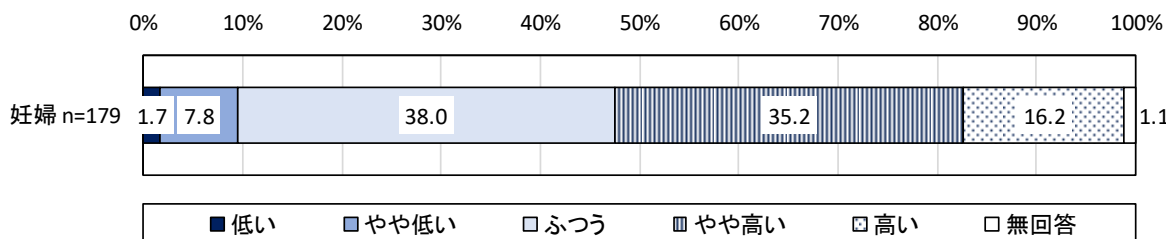
問 21 真岡市では妊産婦健康診査の助成として妊婦健康診査 14 回分に加え、独自に産後1か月健診の助成を行っています。この支援は安全で安心な出産ができる支援と感じますか。（〇は1つ）

妊産婦健康診査の助成として妊婦健康診査 14 回分に加え、独自に産後1か月健診の助成を行っているが、この支援は安全で安心な出産ができる支援と感じるかについては、「感じる」が92.7%で最も高く、次いで「その他」が3.9%、「感じない」が3.4%となっています。



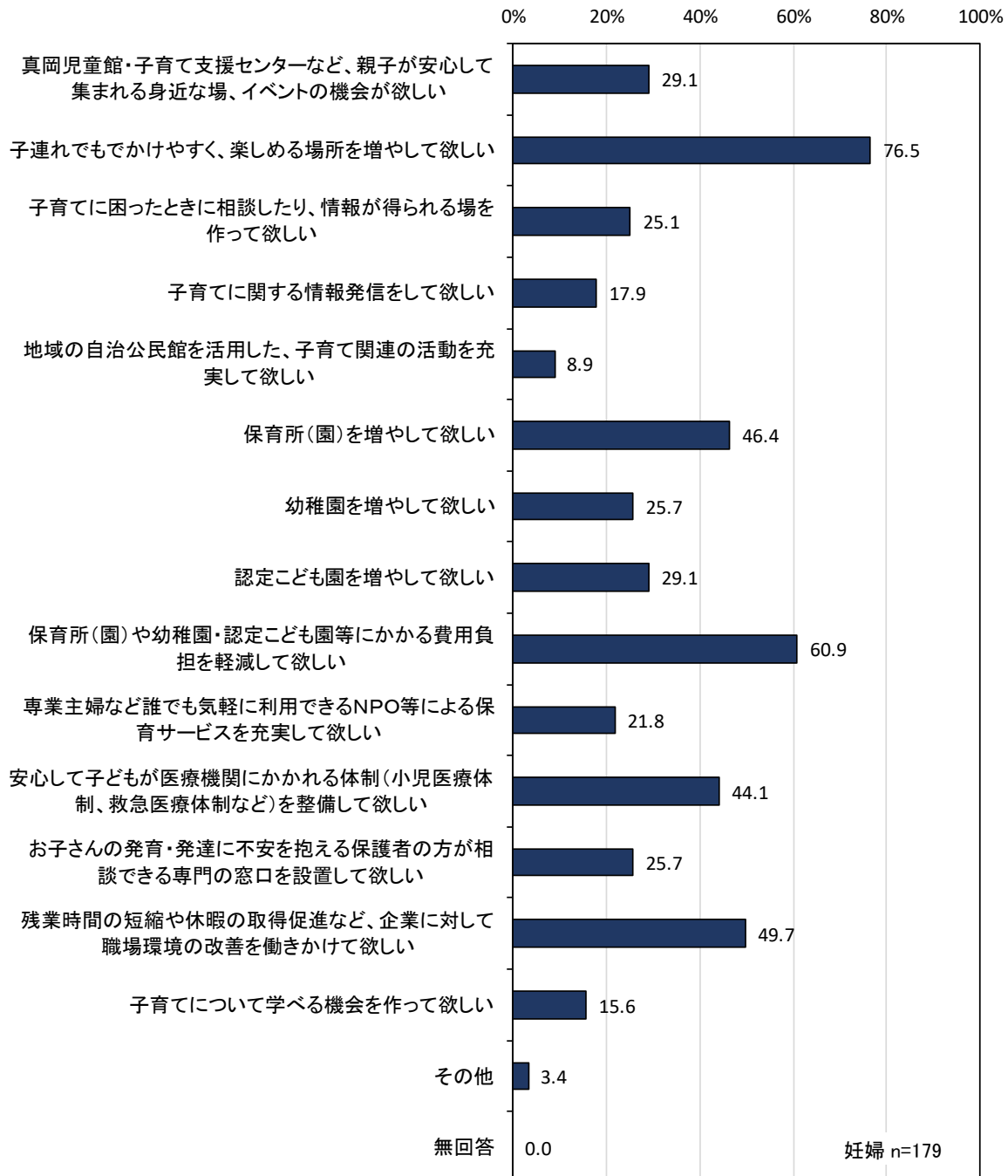
問 22 真岡市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（〇は1つ）

真岡市の子育て環境や支援への満足度については、「ふつう」が38.0%で最も高く、次いで「やや高い」が35.2%、「やや低い」が35.2%、「高い」が16.2%、「低い」が1.7%、「無回答」が1.1%となっています。



問 23 市に対して、今後どのような子育て支援の充実を期待しますか。(あてはまるものすべてに○)

市に対して充実を期待する子育て支援については、「子連れでもでかけやすく、楽しめる場所を増やして欲しい」が76.5%で最も高く、次いで「保育所（園）や幼稚園・認定こども園等にかかる費用負担を軽減して欲しい」が60.9%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい」が49.7%となっています。



問 24 最後に、みなさんが子育てに関することや市に対する要望等を自由に記入してください。

全部で 55 の回答があり、内訳は以下のとおりとなっています。ひとりの対象者が複数の項目に関して記述している場合もありますが、ここでは主な意見を 1 つとして分類してあります。

分類／主な意見（抜粋）	件数
<b>●子育て支援全般について</b>	20
<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な子育て支援サービスがあるかもしれないが、それらを知る機会、実際に利用する機会があまりないので、もっと情報を発信してほしい。</li> <li>・おむつ券を増やしてほしい。</li> <li>・マタニティ手当や赤ちゃん誕生祝金はとても助かった。</li> </ul>	
<b>●幼稚園、保育所（園）について</b>	11
<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育所（園）の情報が知りたい。</li> <li>・待機児童問題を解決してほしい。</li> <li>・通勤時間にあった保育園での預かり、迎えを可能にしてほしい。</li> </ul>	
<b>●妊娠・出産について</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠中のつわりがひどかったため、申請の度に市役所に行くのがとても大変だった。</li> <li>・陣痛タクシーを誘致してほしい。産後ケアサービスも利用しやすくしてほしい。</li> </ul>	
<b>●遊び場、公園について</b>	4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時に利用できる屋内施設があったら良い。</li> <li>・小さい子どもが遊べる遊具をつくってほしい。</li> </ul>	
<b>●保健・医療について</b>	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・産科が少ない。</li> <li>・子どもの医療費助成は、たくさん利用する場合には申請が必要など、何か規制がないと安易に使い過ぎてしまう。</li> </ul>	
<b>●安心・安全について</b>	3
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の子どもや、不登校の子どもが安心して暮らせる環境づくり。</li> <li>・暴走族の取り締まりをしてほしい。</li> </ul>	
<b>●その他</b>	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種申請手続きが、もう少し簡潔に行えるようにしてほしい。</li> <li>・初めての妊娠、出産のため、何が必要とか、何が足りないとか、よくわからない。</li> </ul>	

**真 岡 市**  
**子ども・子育て支援事業ニーズ調査**  
**【結果報告書】**

**平成 31 年 3 月発行**

発行 真岡市

編集 真岡市 健康福祉部 こども家庭課

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 番地

TEL : 0285-83-8131 (直通)

FAX : 0285-82-2340

URL : <https://www.city.moka.lg.jp/>